

長浜市地域公共交通計画

参考資料編

令和6年3月

長浜市

第1章 長浜市の概況・地域公共交通の現状	1
1 人口	1
1-1. 人口推移	1
1-2. 世帯数	2
1-3. 人口分布	3
2 土地利用	6
2-1. 土地利用状況	6
2-2. 施設分布	7
3 人の移動	12
3-1. 市内外への移動	12
3-2. 移動手段	13
3-3. 観光客入込状況	14
4 交通現況	15
4-1. 自動車交通	15
4-2. 鉄道	19
4-3. コミュニティバス	21
4-4. 乗合タクシー	29
4-5. 人口カバー圏域	35
4-6. その他の輸送資源	36
5 市の財政状況	40
5-1. 歳入	40
5-2. 歳出	40
5-3. 地域公共交通における負担	41

第2章 地域公共交通の利用実態・ニーズの把握	42
1 市民アンケート	42
1-1. 回答者の属性について	42
1-2. 普段の移動について	56
1-3. 地域公共交通の利用について	89
1-4. 一般タクシーの利用について	124
1-5. 地域公共交通に対する考えについて	128
2 コミュニティバス利用者アンケート	147
2-1. 回答者の属性について	147
2-2. 普段の利用について	149
2-3. 地域公共交通に対する考えについて	162
3 乗合タクシー利用者アンケート	170
3-1. 回答者の属性について	170
3-2. 普段の利用について	172
3-3. 地域公共交通に対する考えについて	183
4 交通事業者等アンケート	191
4-1. 交通事業者・庁内関係部署・関係団体からの意見	191
4-2. 企業からの意見	192
4-3. 高校からの意見	196
参考 アンケート調査票	200
1 市民アンケート	200
2 コミュニティバス利用者アンケート	204
3 乗合タクシー利用者アンケート	206

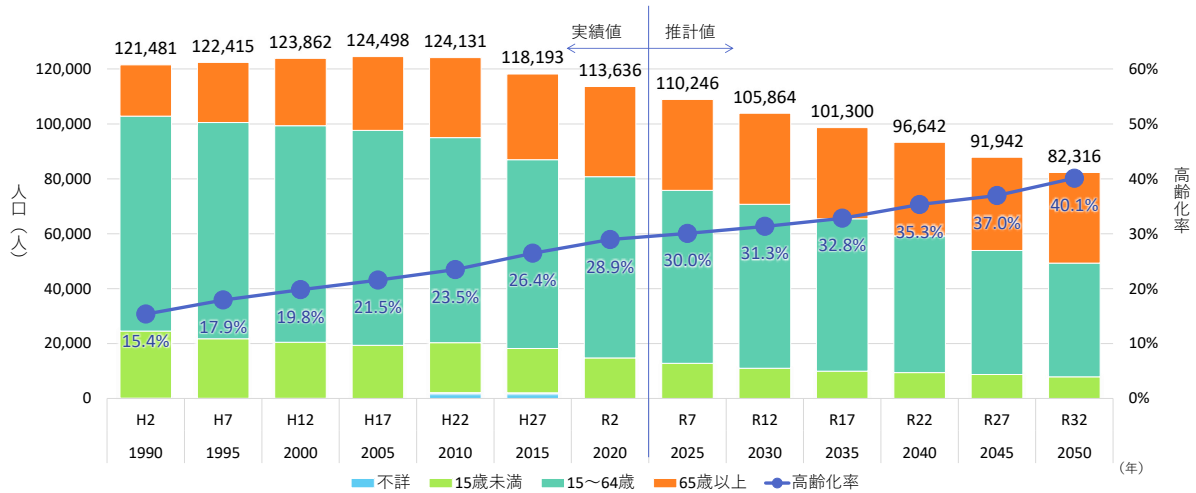
第1章 長浜市の概況・地域公共交通の現状

1 人口

1-1. 人口推移

本市の人口は、平成17（2005）年まで人口増加が続いていましたが、それ以降は、減少傾向に転じており、令和2（2020）年では約11.3万人となっています。国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によれば、令和22（2040）年には10万人を下回る結果となっています。

また、高齢化率は年々上昇しており、将来推計では令和12（2030）年には高齢化率が30%を超えることが想定されています。



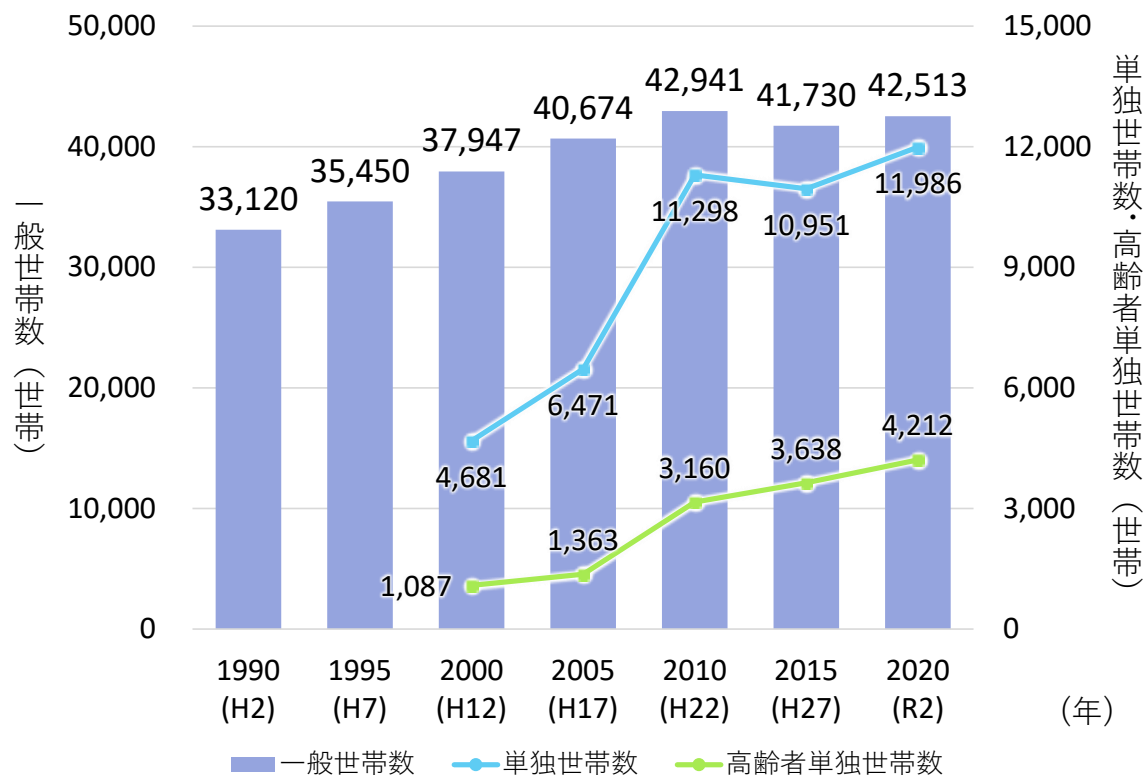
資料：国勢調査（～令和2（2020）年）、国立社会保障・人口問題研究所（令和7（2025）年～）

図 人口の推移と将来推計

1-2. 世帯数

本市の一般世帯総数は年々増加傾向にあり、令和2（2020）年で約43,000世帯となっています。

単独世帯数、高齢者単独世帯数も一般世帯数と同様に増加傾向にあります。



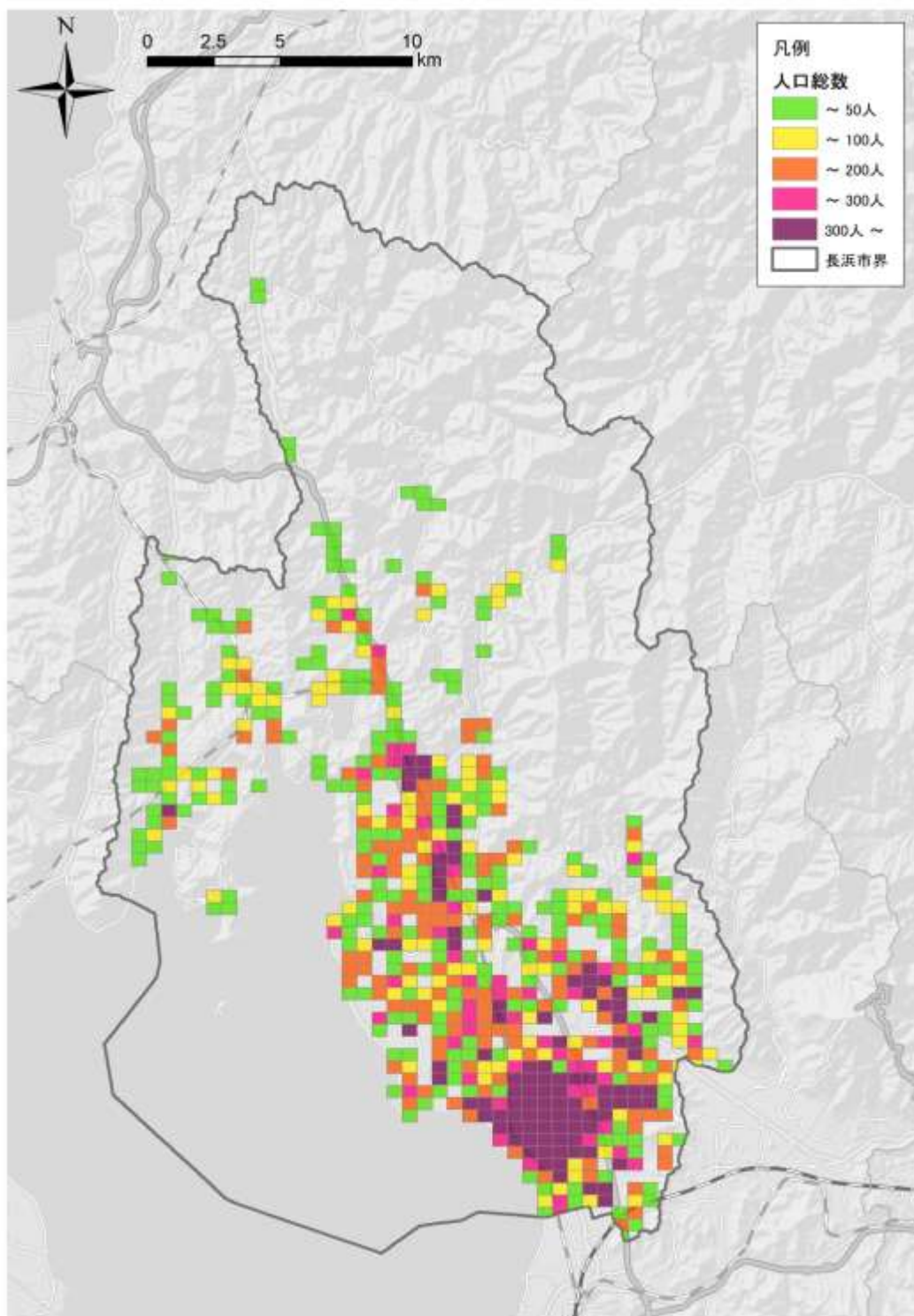
※単独世帯数及び高齢者単独世帯数は平成12（2000）年より公開。

資料：国勢調査（～令和2（2020）年）

図 世帯数の推移

1-3. 人口分布

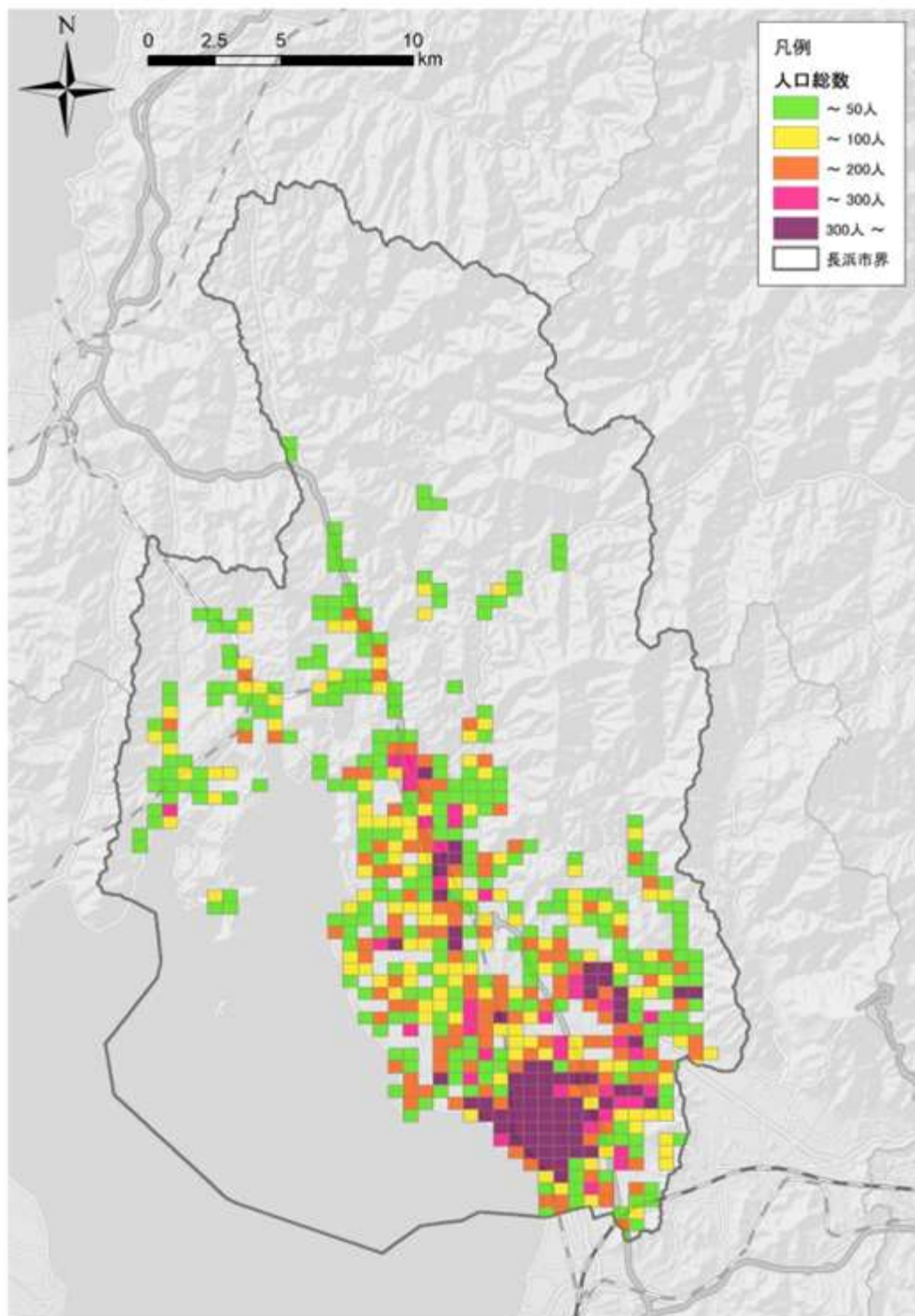
国道8号やJR北陸本線などの自動車道・鉄道沿線に広く居住しています。特に旧長浜地域、浅井地域、高月地域に多く居住していることがわかります。



資料：国勢調査（令和2（2020）年）

図 人口分布図（500mメッシュ）

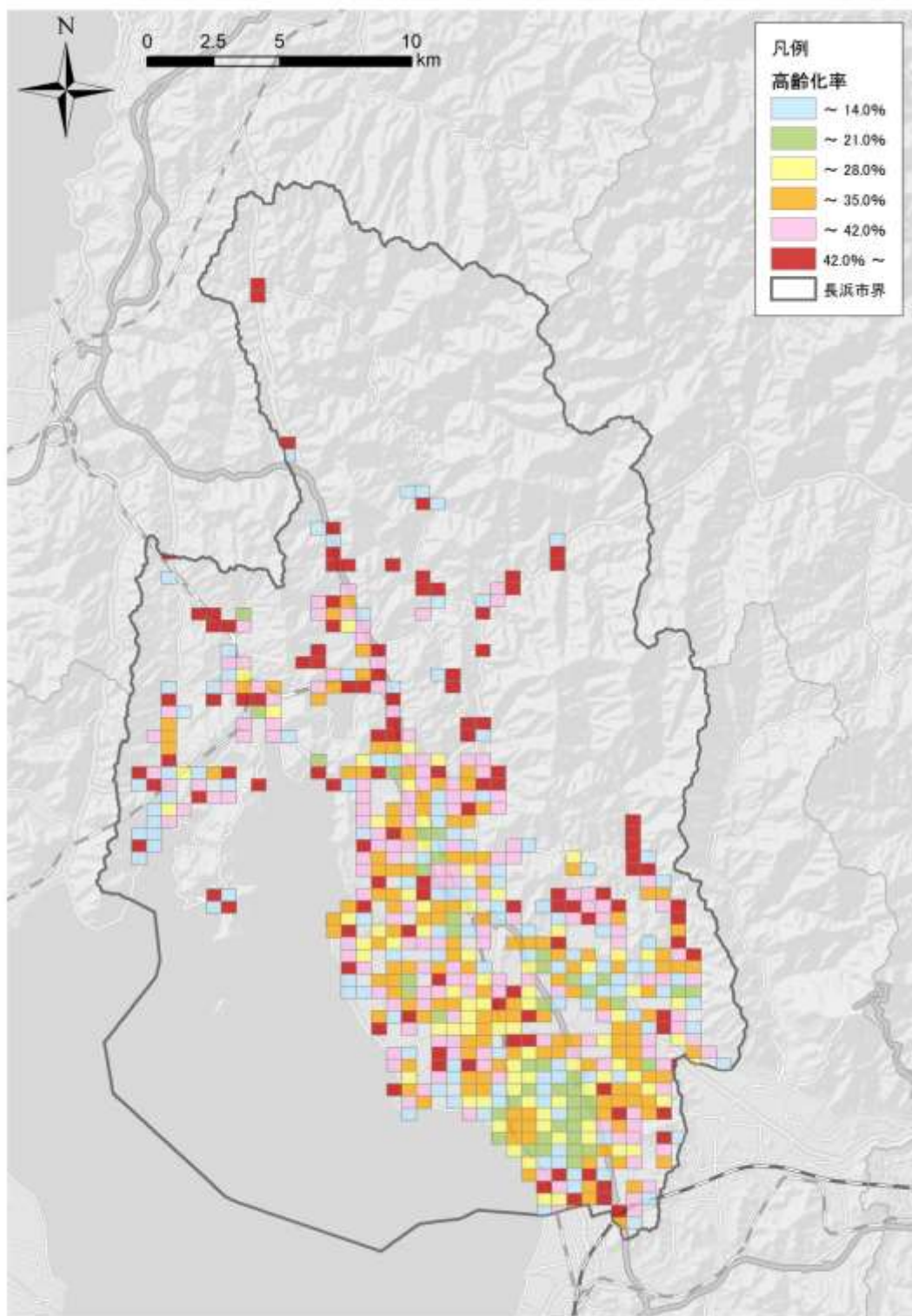
令和32（2050）年になると、旧長浜地域周辺に人口が集中している傾向は変わりありませんが、市北部や山間部の人口は減少しています。



資料：国勢調査（平成27（2015）年を基準とした令和32（2050）年の推計人口）

図 令和32（2050）年における将来人口分布図（500mメッシュ）

高齢化率をみると、人口の多い旧長浜地域以外の地域で高くなる傾向にあり、山間部に近づくほど、その傾向は顕著になっています。



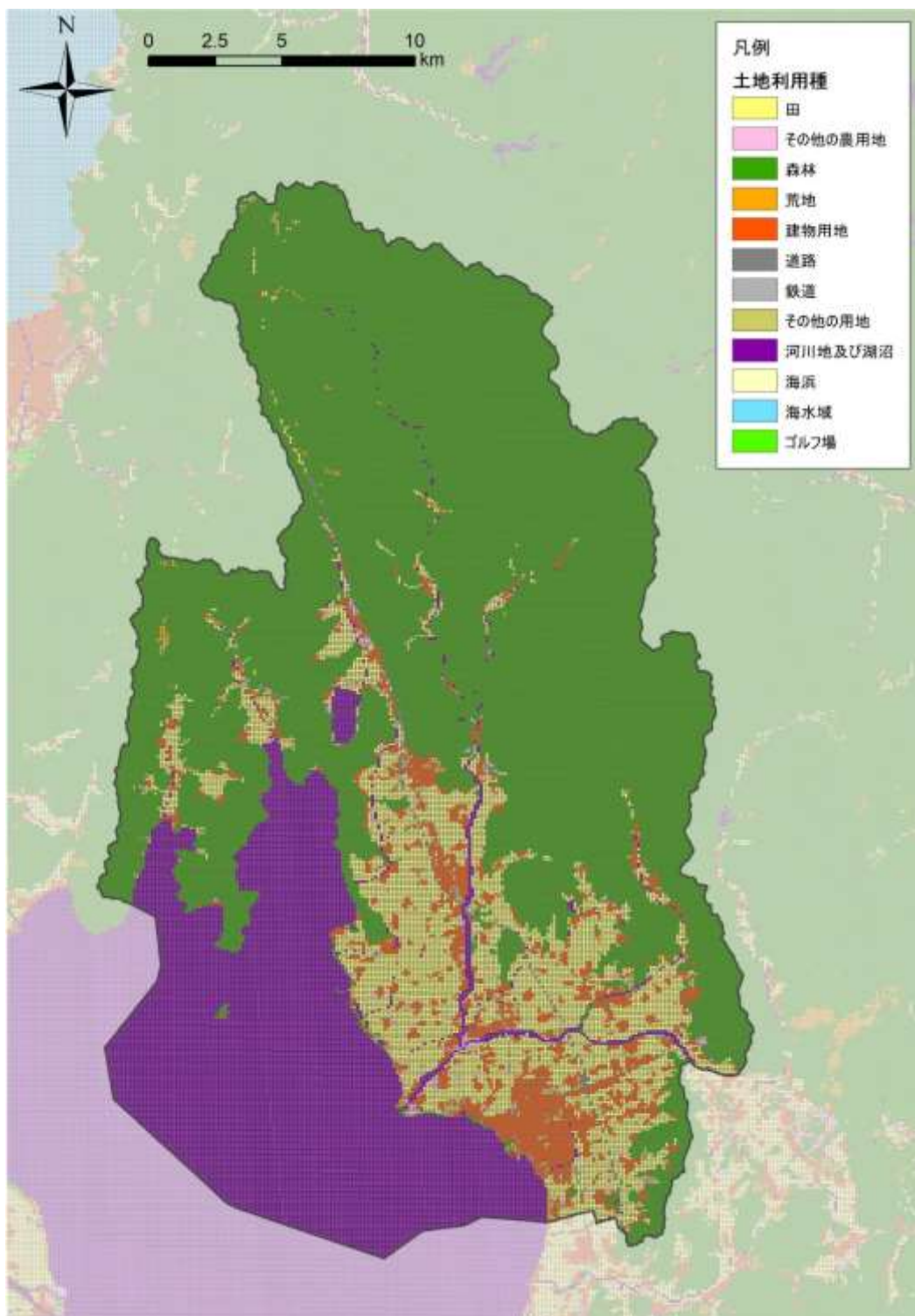
資料：国勢調査（令和2（2020）年）

図 高齢化率分布（500mメッシュ）

2 土地利用

2-1. 土地利用状況

市中央部から南側にかけて建物用地、田が広がっており、それ以外は全体的に森林となっています。市全体の約21%は琵琶湖、約55%は森林となっており、可住地面積は165km²で約24%となっています。



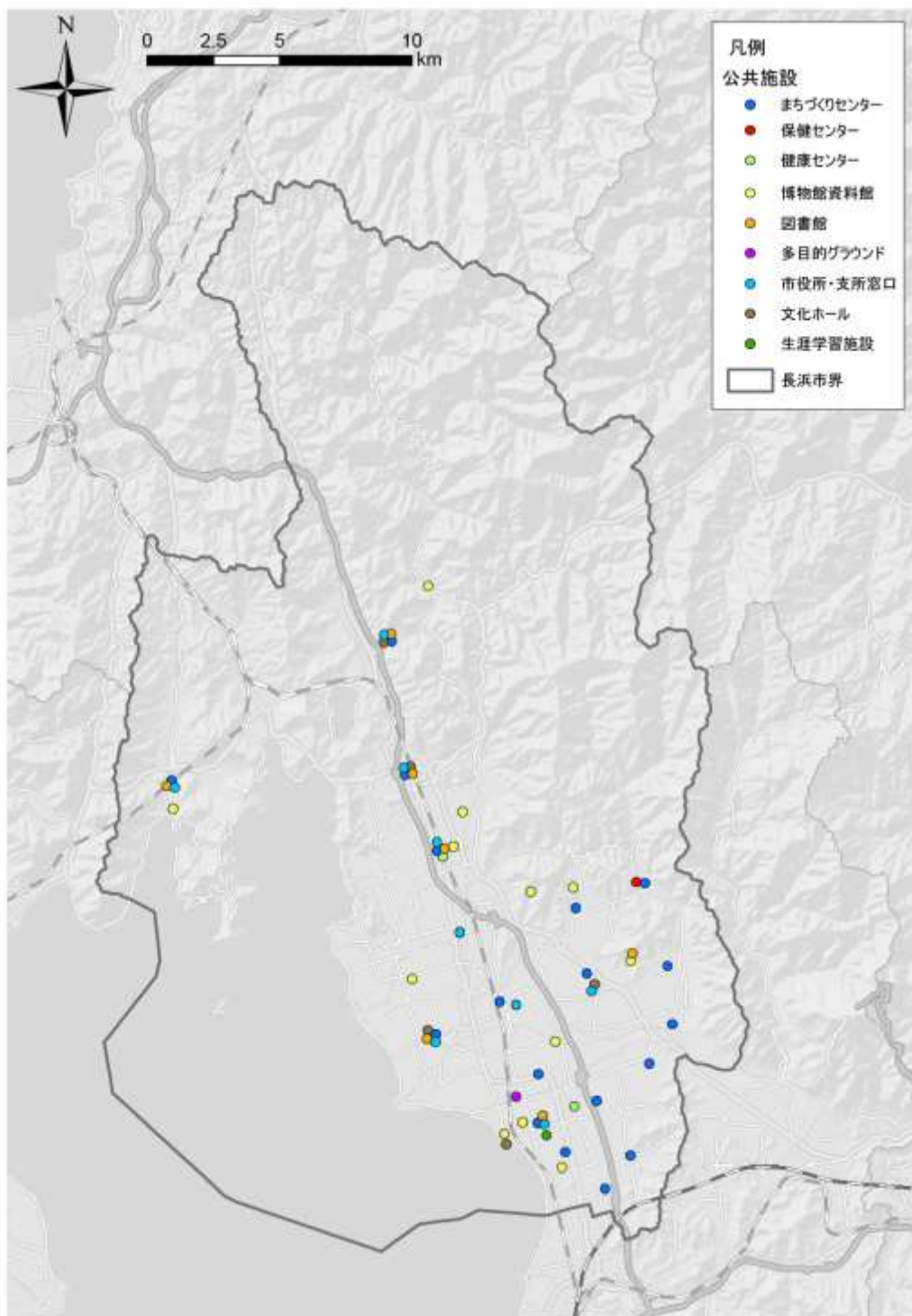
資料：国土数値情報

図 土地利用状況

2-2. 施設分布

(1) 公共施設

高月地域以北では、地域ごとに各種公共施設が概ね1施設ずつあり、それらがまとまって立地しています。一方、湖北地域以南では、1つの地域に複数の公共施設が存在し、各施設が地域に散在しています。また、地域ごとにまちづくりセンターや支所窓口が立地しています。

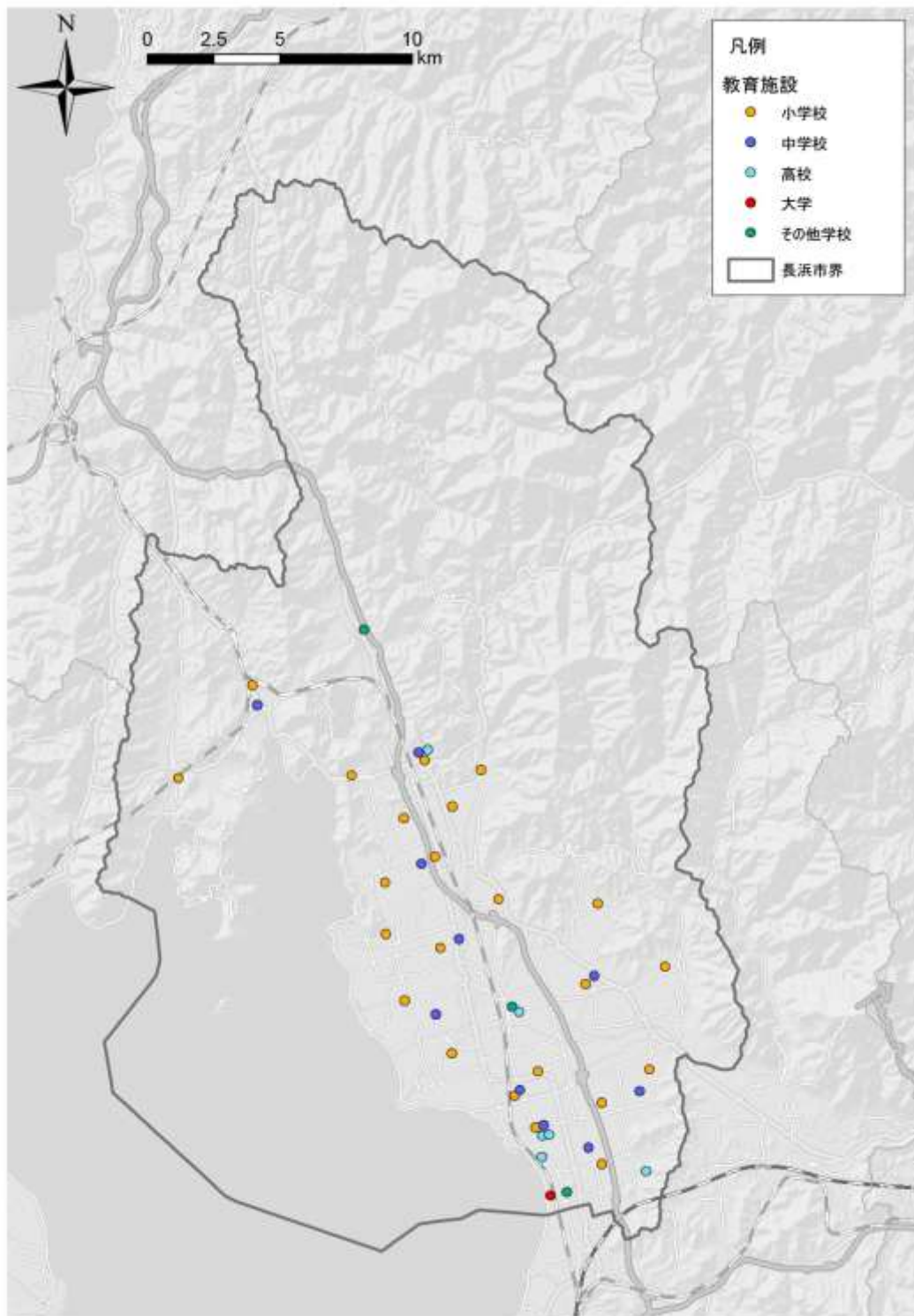


資料：市ホームページ

図 本市内の主な公共施設分布

(2) 教育施設

地域ごとに小学校、中学校が立地しているものの、小学校の統廃合が進んだ一部の地域においては、コミュニティバスやスクールバス等を利用しないと通学が難しい距離となっています。

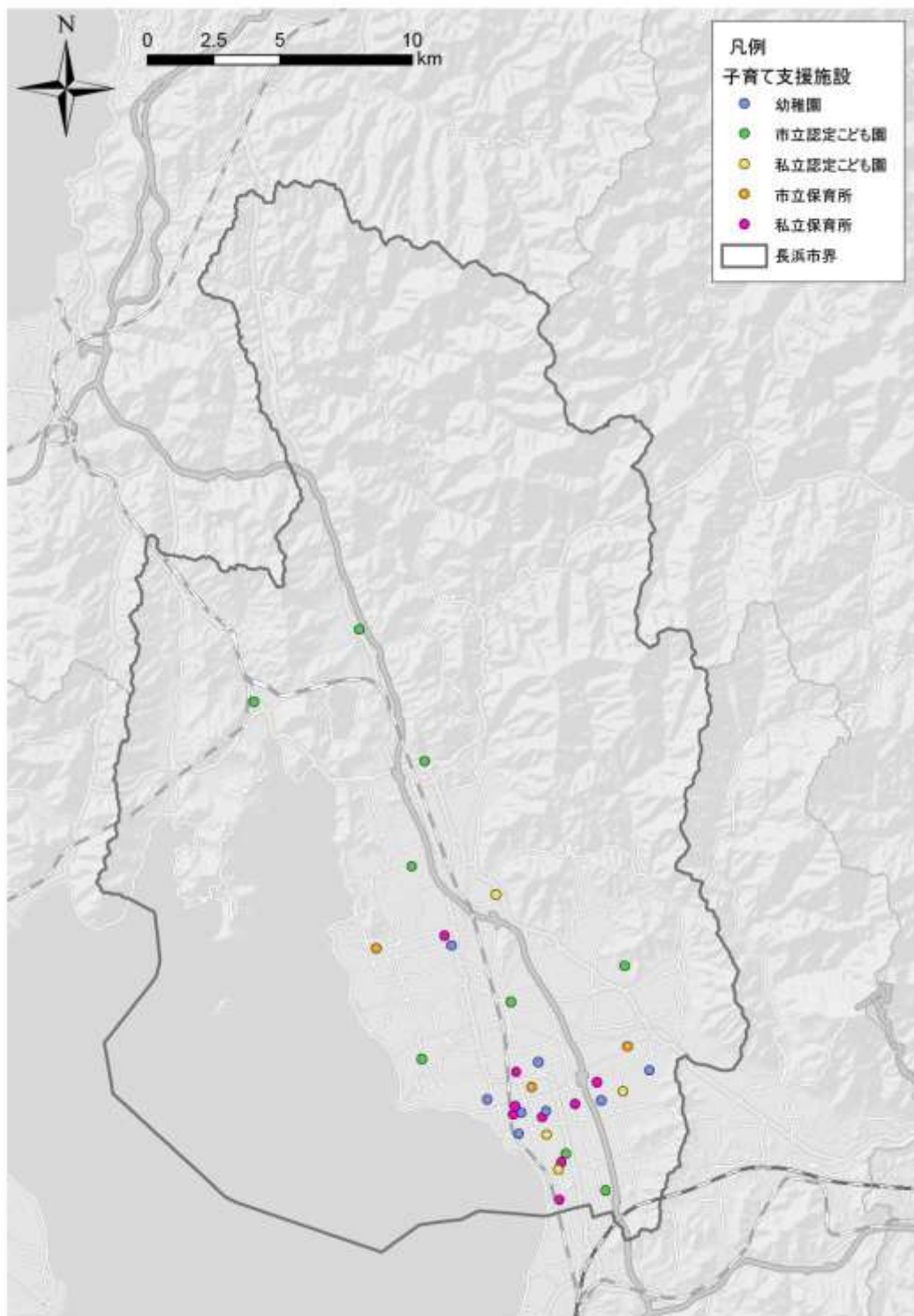


資料：市ホームページ

図 本市内の主な教育施設分布

(3) 子育て支援施設

旧長浜地域を中心に幼稚園、私立保育所等が多く立地しています。

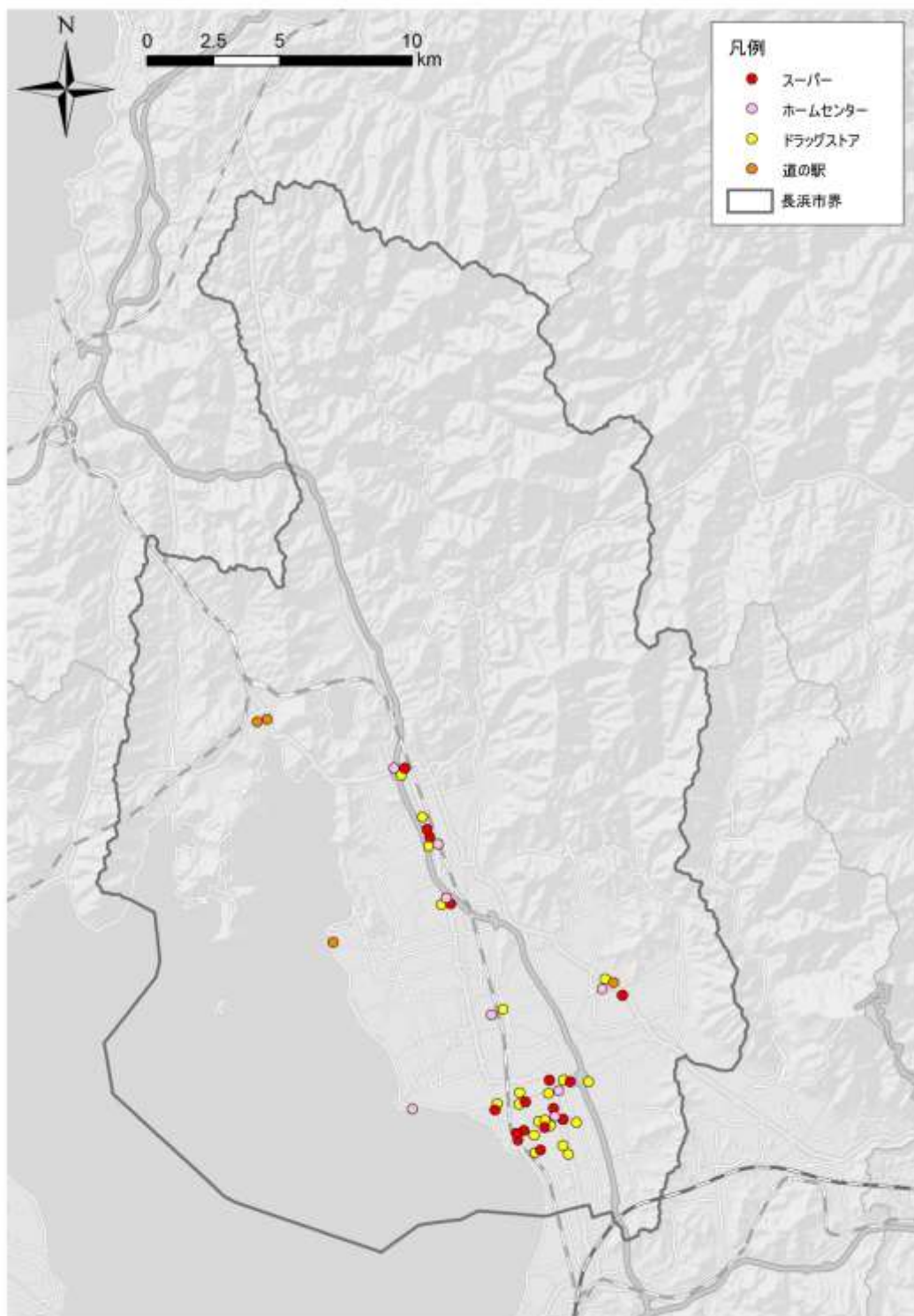


資料：市ホームページ

図 本市内の主な子育て支援施設分布

(4) 商業施設

国道8号や国道365号の沿線、主要地方道（県道）沿い、旧長浜地域にスーパー・ホームセンター・ドラッグストア等の商業施設が集中しています。



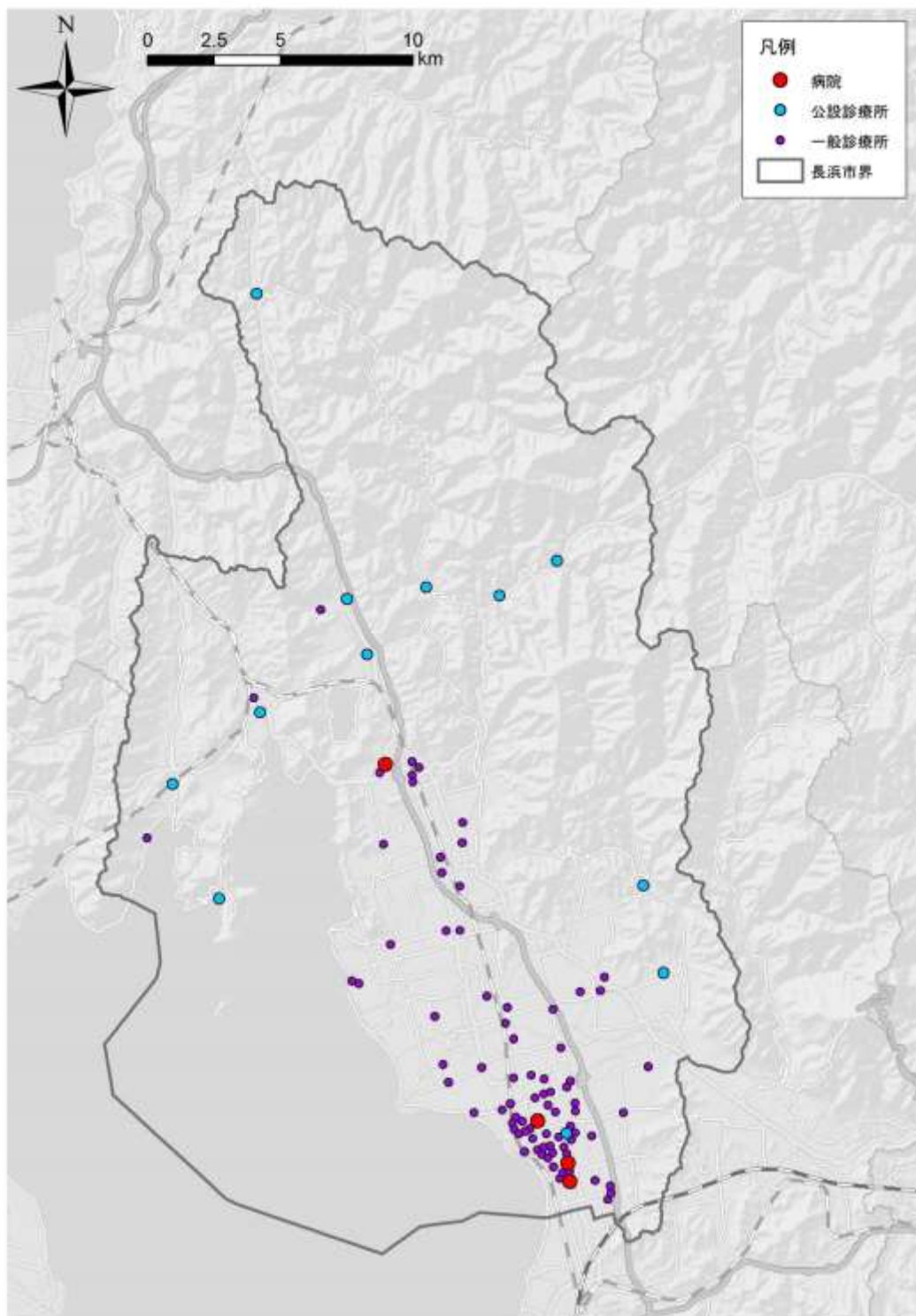
資料：iタウンページ（令和4（2022）10月時点（一部更新有））

図 本市内の主な商業施設分布

(5) 医療施設

市の南部に3施設、北部に1施設の病院が立地し、また、山間部を中心に公設診療所が12施設立地しています。

一方、市の平野部には民間の一般診療所が多く、特に JR 長浜駅周辺や JR 北陸本線、国道沿いに集中しています。



資料：市ホームページ、滋賀県ホームページ「医療機関等一覧」（令和4（2022）年10月時点
（一部更新有））

図 本市内の主な医療施設分布

3 人の移動

3-1. 市内外への移動

通勤においては、市内での流動が最も多くなっています。市外の流動をみると、米原市、彦根市間の流動が他都市間での流動と比較して多くなっていることがわかります。

通学においては、市内での流動が最も多くなっています。一方、市外の流動をみると、本市から京都府、彦根市への流動が多くなっており、通勤とはやや傾向が異なることがわかります。



	高校	大学
長浜市	6	2
米原市	2	0
彦根市	6	3
大津市	14	6
京都府	110	46
岐阜県	81	25

※大学の数は短期大学・高等専門学校を含む。

※図に示している値は15歳以上の移動を対象としている。

資料：国勢調査（令和2（2020）年）、各自治体の学校便覧等

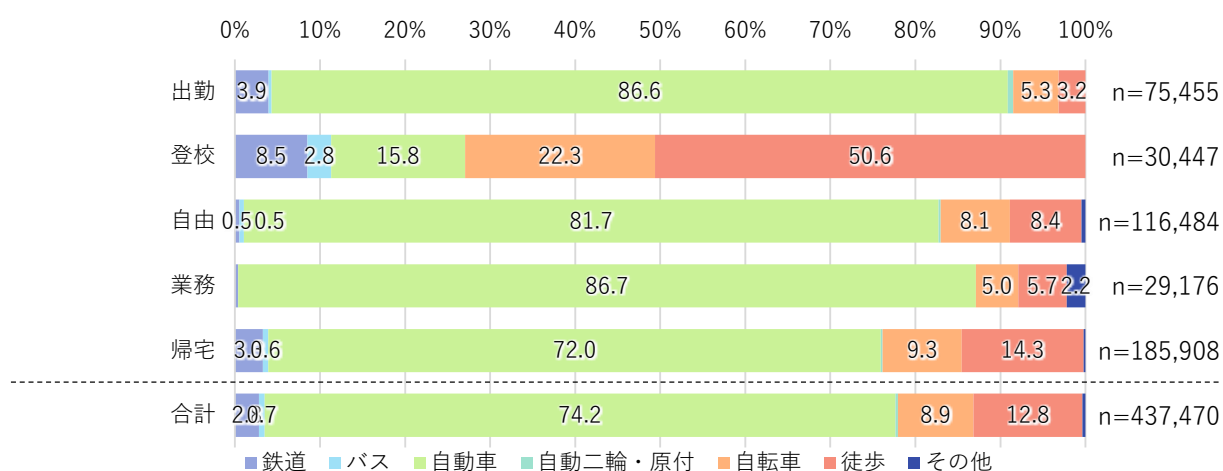
図 本市内外への人の動き

3-2. 移動手段

市民の移動手段をみると、全体の約74%が自動車による移動であり、自動車社会となっています。一方、鉄道・バスといった地域公共交通を用いた移動は全体の約4%に留まっています。

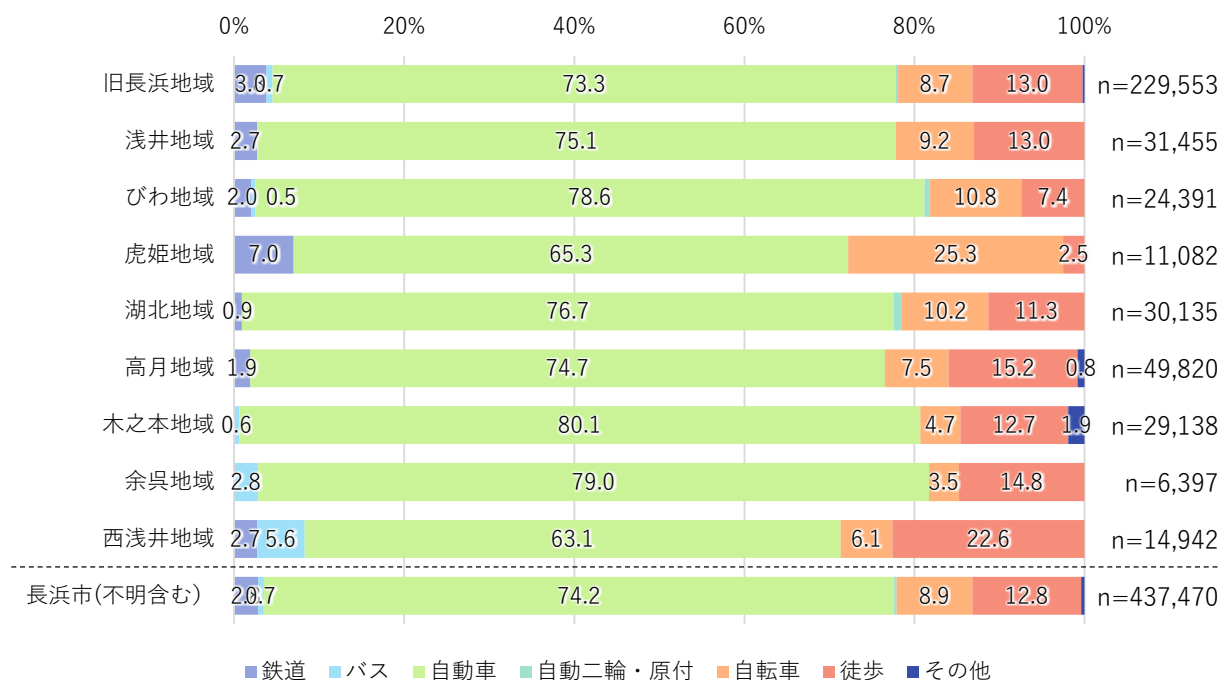
目的別に移動手段をみると、通学（登校）以外の目的における自動車での移動は約7～8割となっています。通学においては、自転車、徒歩での移動が約73%を占めており、鉄道・バスでの移動は約11%になっています。

地域別に比較すると、虎姫地域では鉄道と自転車の割合が、西浅井地域ではバスと徒歩の割合が高くなっています。



資料：第6回近畿圏パーソントリップ調査（令和3（2021）年度）

図 目的別の交通手段分担率

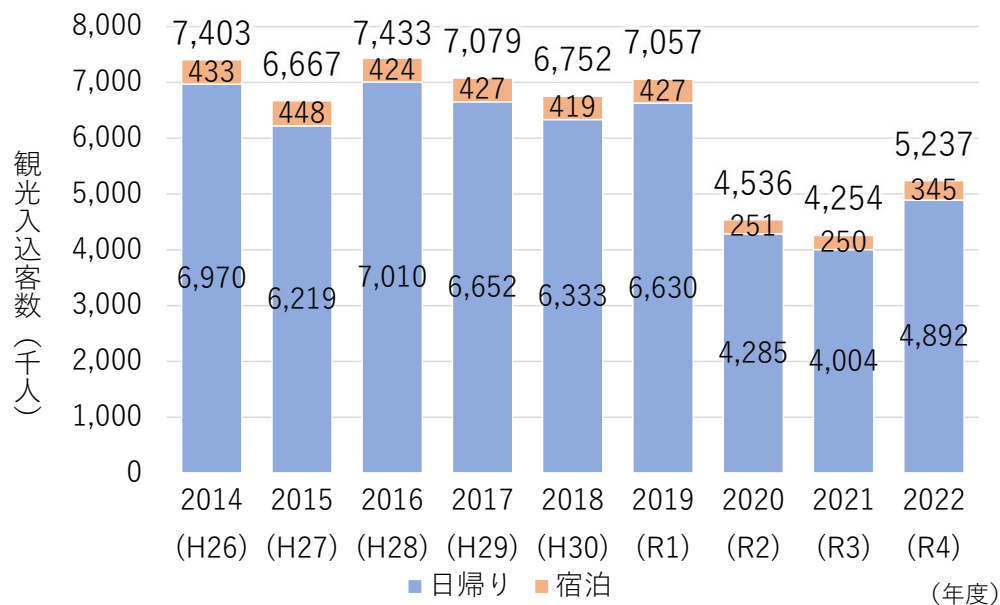


資料：第6回近畿圏パーソントリップ調査（令和3（2021）年度）

図 地域別の交通手段分担率

3-3. 観光客入込状況

年度によって増減はあるものの、令和元（2019）年度まで年間約700万人前後で推移していましたが、令和2（2020）年度には、新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少し、令和4（2022）年度時点で約520万人となっています。観光客の内訳をみると、約95%が日帰りとなっています。



出典：長浜市統計書

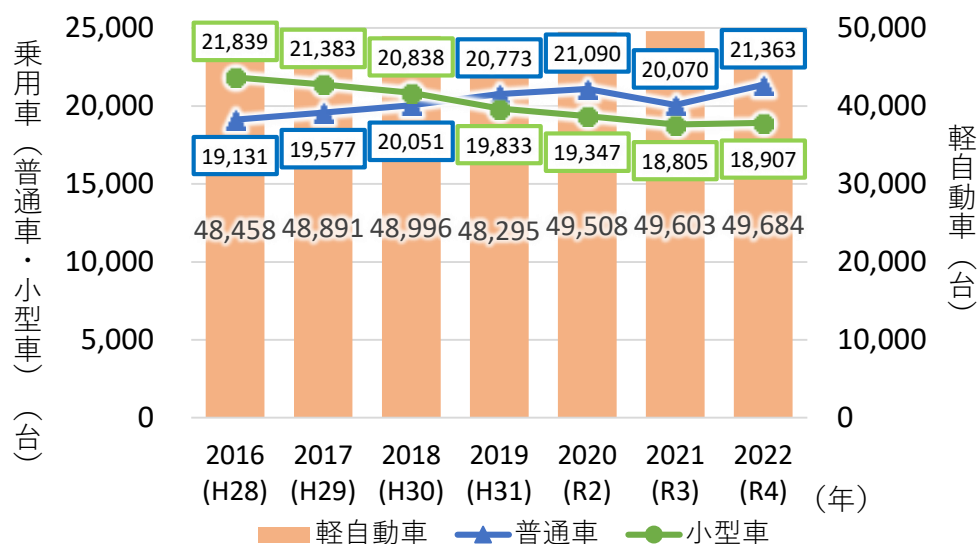
図 観光入込客数の推移

4 交通現況

4-1. 自動車交通

(1) 自動車保有台数

普通車と小型車の台数が約 20,000 台前後であるのに対し、軽自動車は約 50,000 台と倍以上の台数となっています。普通車と軽自動車の台数が年々増加傾向にある一方で、小型車の台数は減少傾向になっています。



※各年の3月31日時点の値を記載しているため、2019年は平成31年と記載している。

資料：長浜市統計書

図 車種別の車両保有台数の推移

(2) 道路ネットワーク

市の南北を北陸自動車道が縦断しており、木之本IC、長浜IC、小谷城スマートICの3箇所から利用することが可能です。今後、神田スマートICの整備が計画されています。

市内の移動においては、国道が市の東西南北に延び、国道を補完するように、特に市南部において県道が密に張り巡らされています。

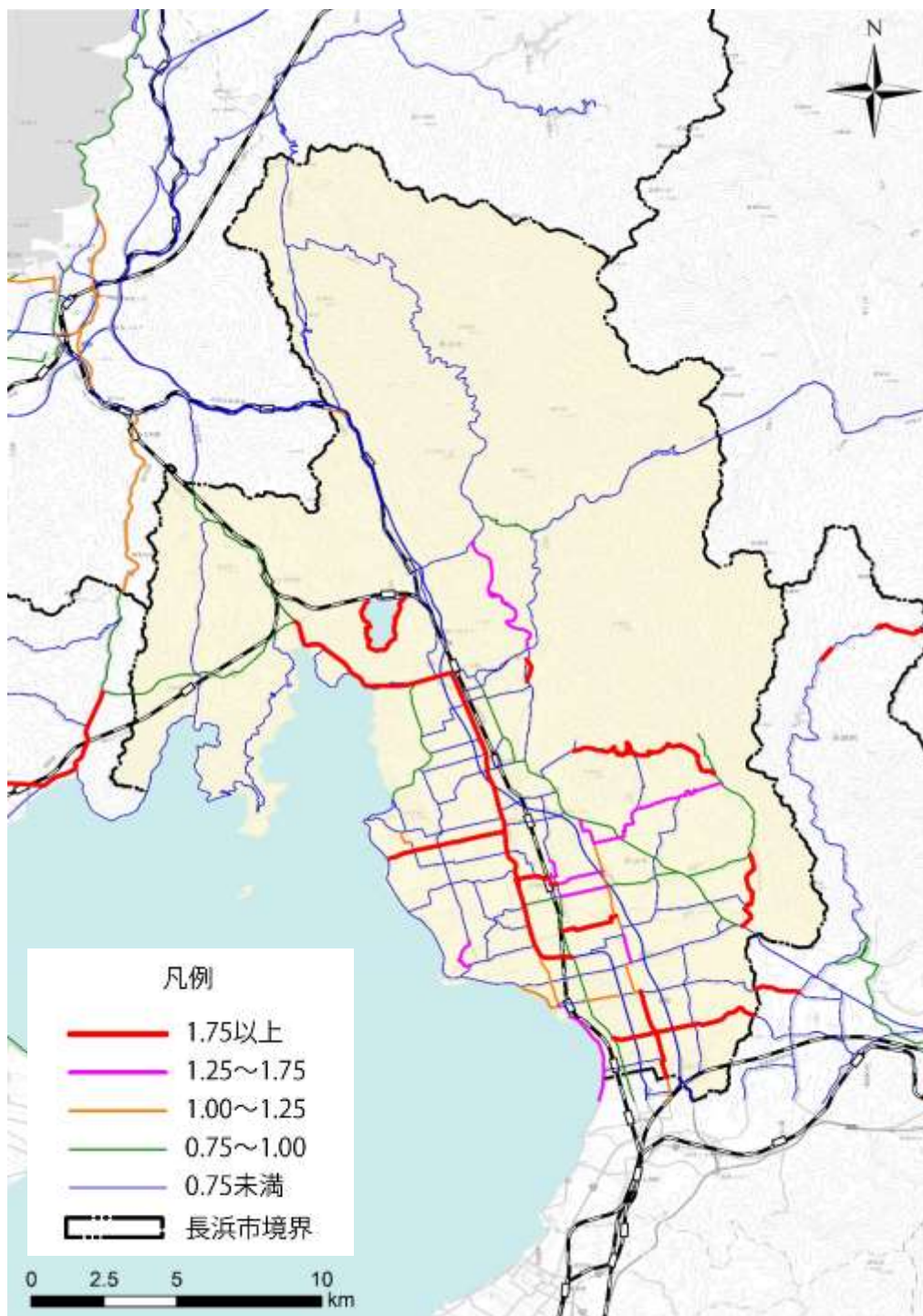


資料：国土地理院

図 本市内の主な道路ネットワーク図

(3) 道路混雑度

国道8号をはじめ、市中央部から南部の市街地の細街路などで混雑が生じています。

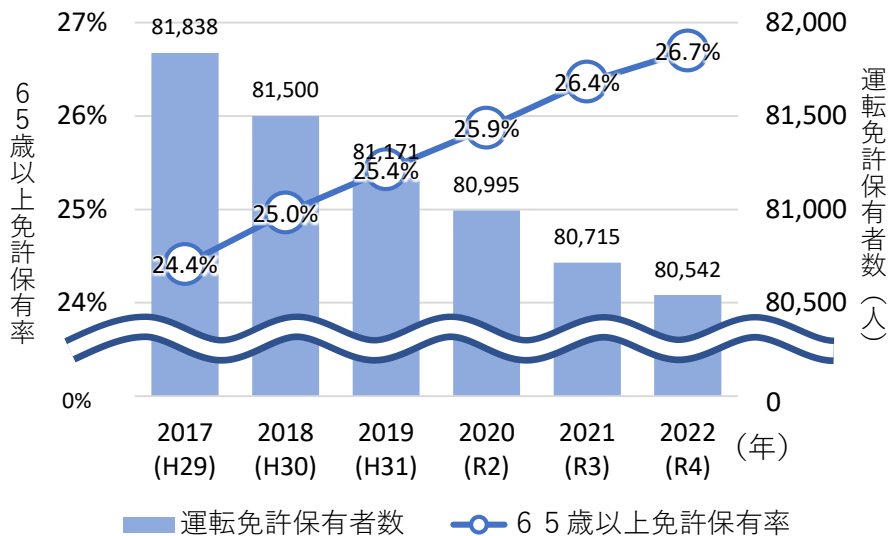


資料：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査

図 本市内の主要な道路の混雑度

(4) 運転免許保有状況

本市の運転免許保有者数は年々減少傾向にある一方で、65歳以上の運転免許保有割合は年々増加傾向にあり、交通事故のリスクの増大が懸念されます。

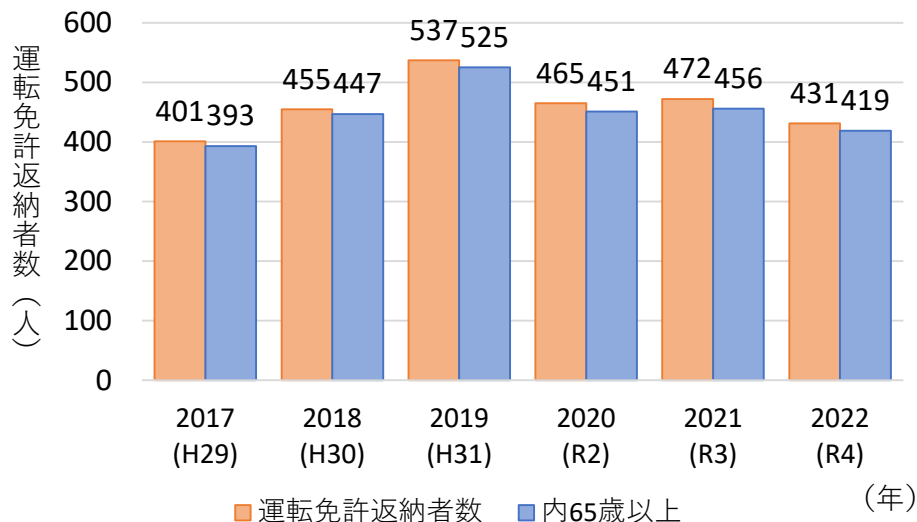


資料：滋賀県警察本部「滋賀の交通」

図 本市の運転免許保有者数と65歳以上の運転免許保有率の推移

(5) 運転免許返納状況

運転免許の返納者数は毎年約400～500人になっており、その多くが65歳以上の高齢者の返納となっています。車社会の成熟化や運転免許返納後の移動手段の不安により、運転免許の返納は遅れていると考えられます。



資料：滋賀県警察本部「滋賀の交通」

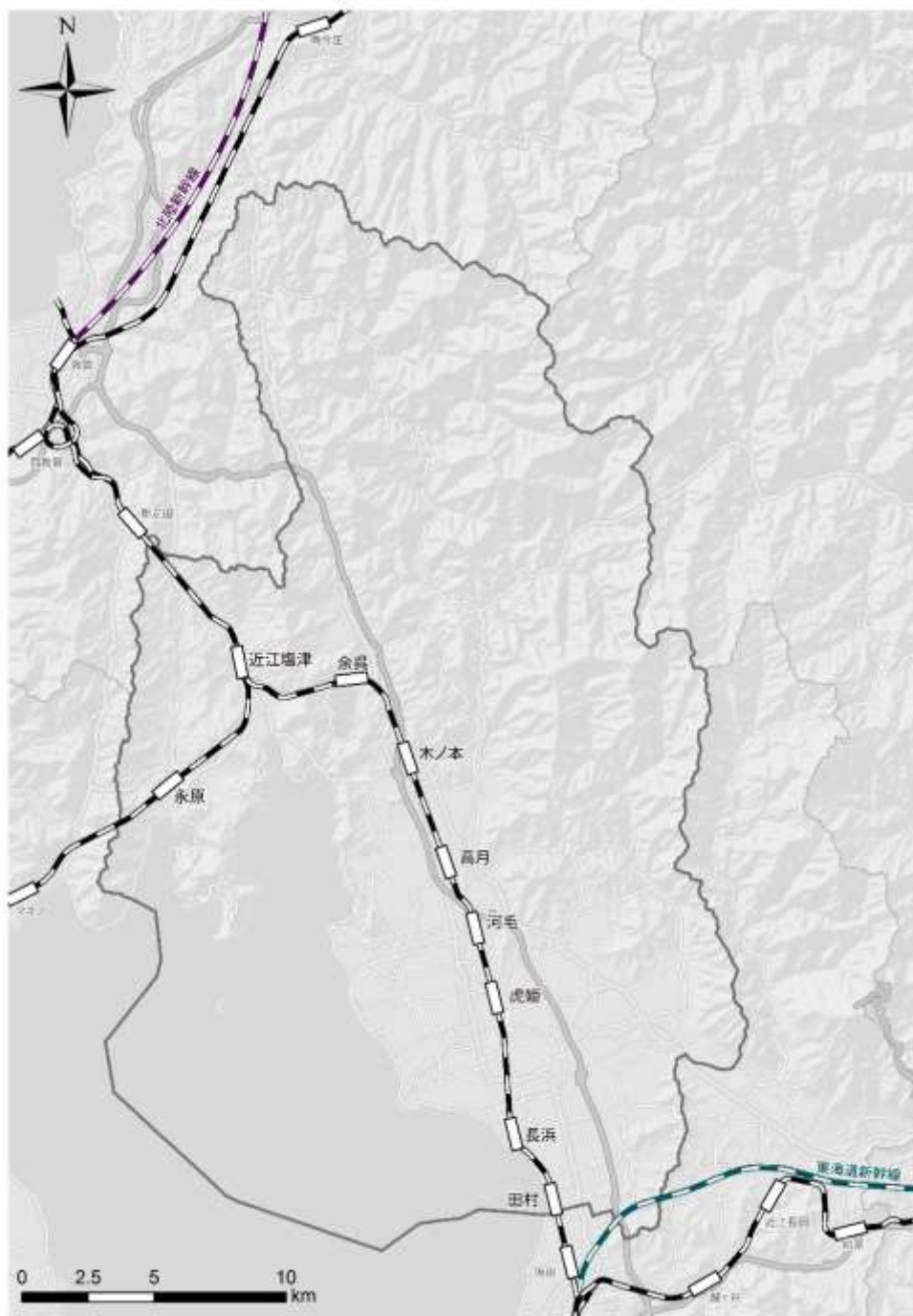
図 本市の運転免許返納者数の推移

4-2. 鉄道

(1) ネットワーク

JR 西日本の北陸本線が市域の南北を走っており、隣接する米原市の米原駅で東海道本線、東海道新幹線、近江鉄道へと接続しています。また、近江塩津駅で湖西線にも接続しており、高島市、大津市を通過して、京都方面に向かうことも可能です。

令和6（2024）年3月には、隣接する敦賀市の敦賀駅まで北陸新幹線が延伸されています。



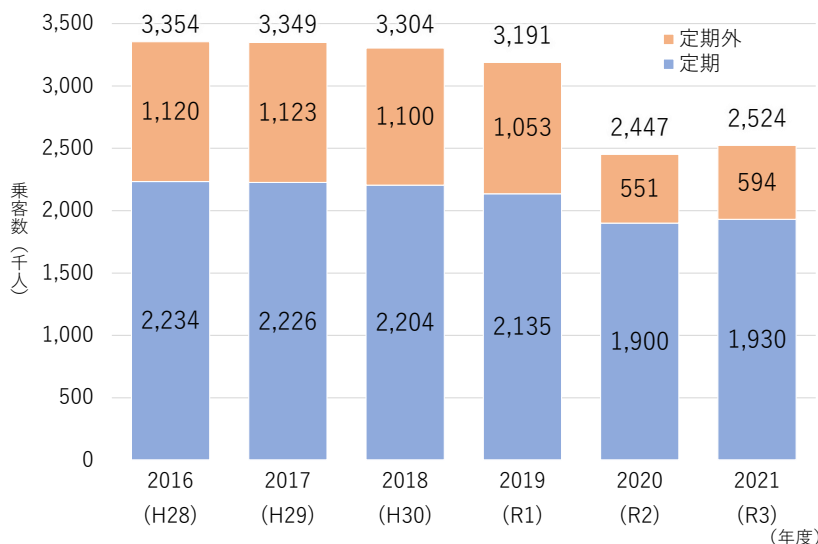
資料：各地域公共交通ホームページ

図 鉄道路線図

(2) 乗客数

平成 28 (2016) 年頃からやや減少傾向にありましたが、令和 2 (2020) 年度には新型コロナウイルス感染症の影響により乗客数が大きく減少し、令和 3 (2021) 年度でやや回復したものの、約 250 万人にまで落ち込んでいます。

乗客数の内訳をみると、令和 2 (2020) 年度以前と以後で、定期外での利用が約半数にまで落ち込んでいます。

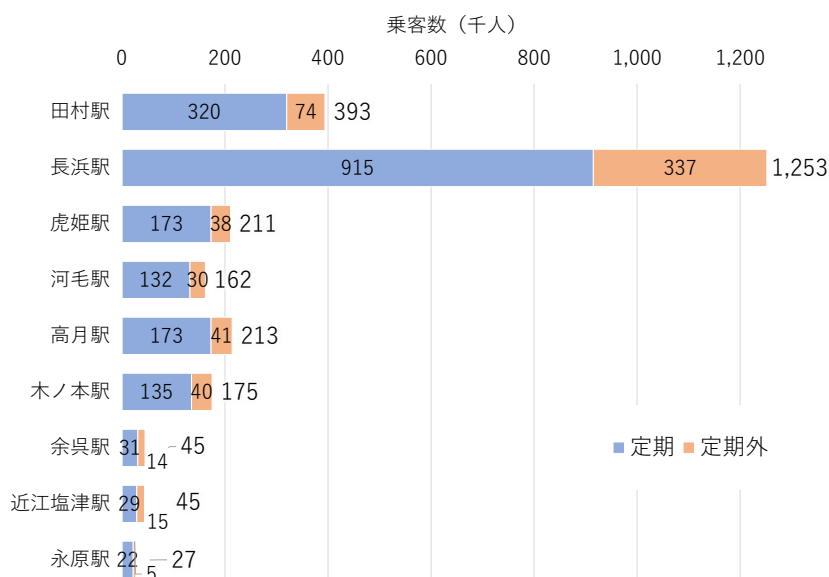


※端数処理により合計値が一致しない場合があります。

資料：長浜市統計書

図 鉄道の乗客数の推移

駅別の年間乗客数をみると、長浜駅における利用が最も多くなっており、余呉駅、近江塩津駅、永原駅といった市北部に位置する駅は、居住人口が少ないこともあり、利用が非常に少なくなっています。



※端数処理により合計値が一致しない場合があります。

資料：長浜市統計書

図 各鉄道駅の乗客数 (令和 3 (2021) 年実績)

4-3. コミュニティバス

(1) ネットワーク

本市では、市民の移動手段を確保するため、13 路線のコミュニティバス運行に対して補助（一部委託）を行っています。

13 路線のうち、片岡西線は終日デマンド運行（予約制）となっています。また、西浅井交通ネットワーク線を運行する「おでかけワゴン」については自家用有償運送であり、午前は定時運行、午後からはデマンド運行（予約制）となっています。

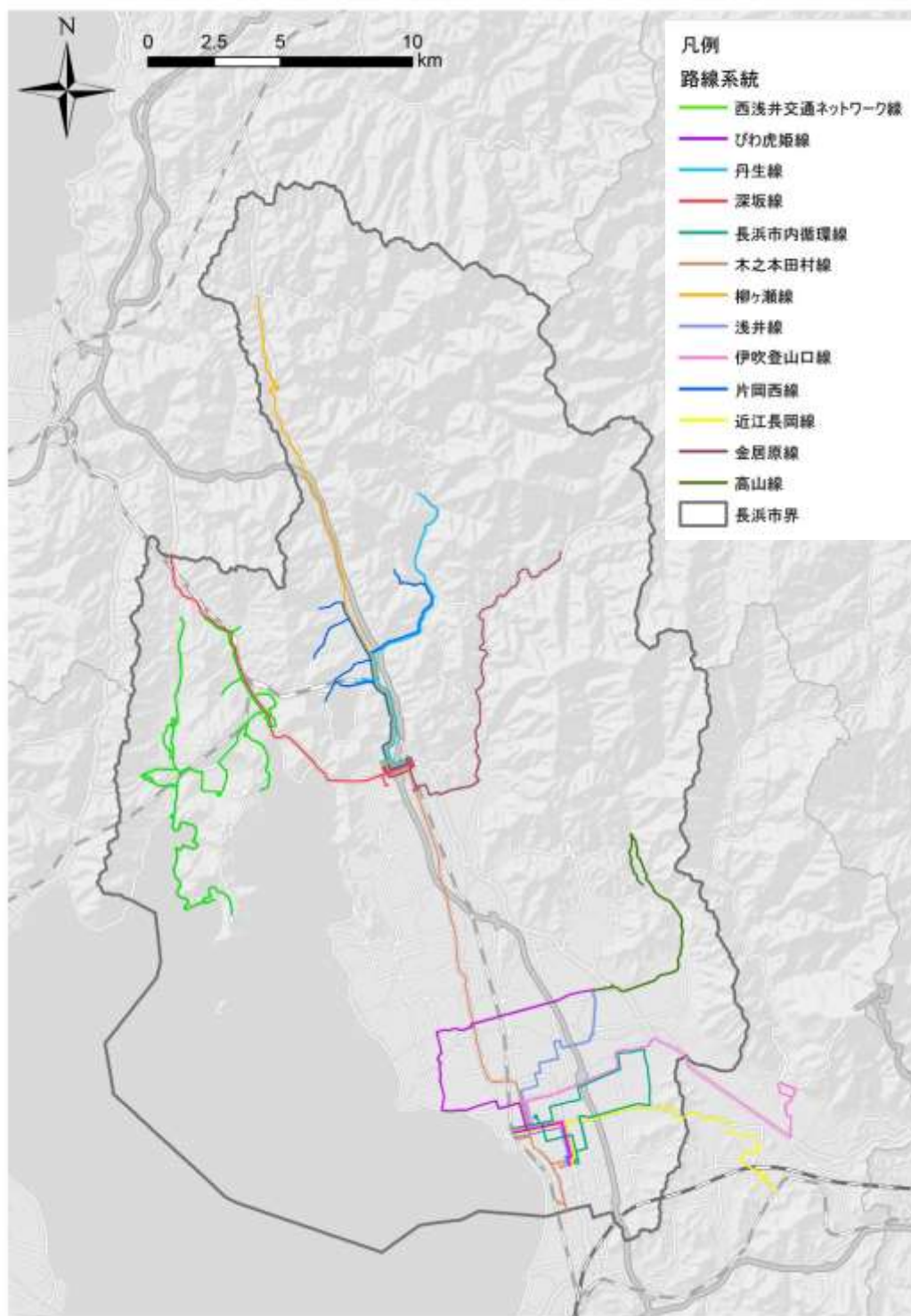
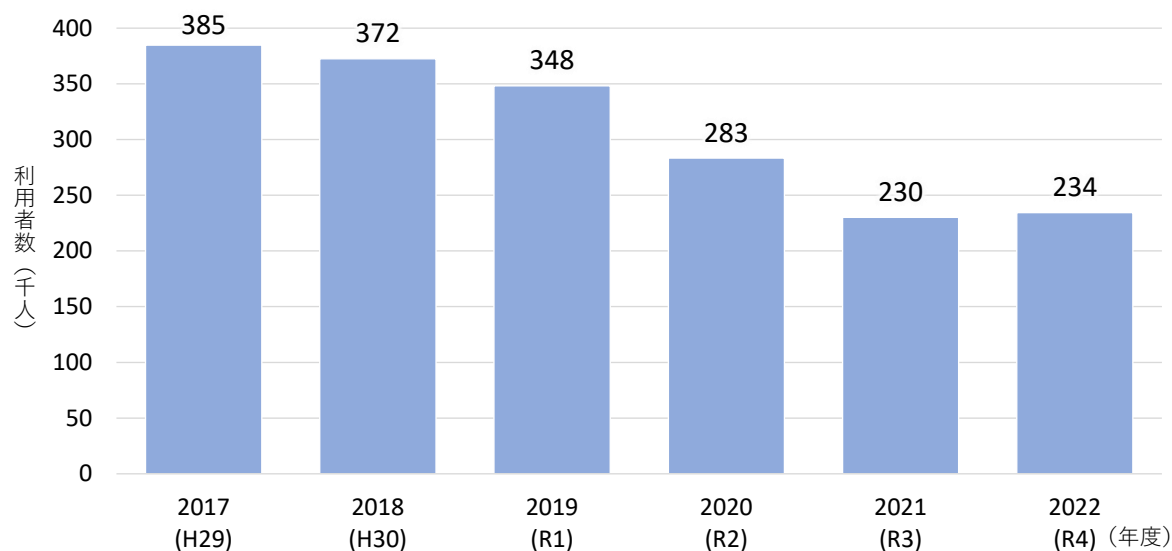


図 コミュニティバス路線図

(2) 利用者数

利用者数の減少が進むなか、令和2（2020）年度には新型コロナウイルス感染症の影響によって利用者が前年度に比べて約20%減少しました。令和3（2021）年度にはさらに減少しており、約23万人となっています。

また、路線ごとの内訳をみると高山線・びわこ線・浅井線の利用者が比較的多くなっています。

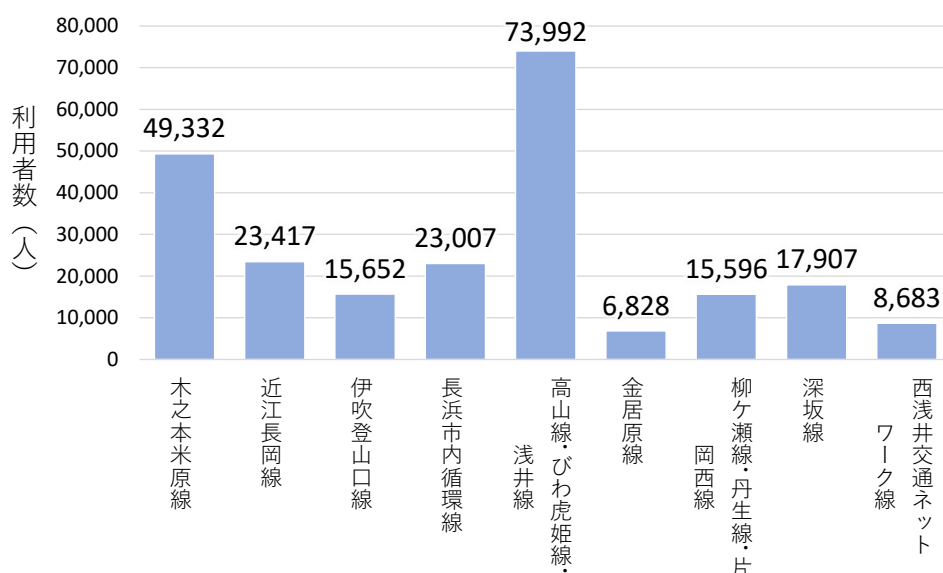


※利用者の合計値は平成30（2018）年9月末に廃止された高月観音号線、びわこ線、小谷山線、令和元（2019）年に廃止された菅浦線の利用者数を含んでいる。

※グラフ内の年度は前年10月から当年9月までの期間を示している。

資料：長浜市資料

図 コミュニティバス利用者数の推移



※木之本米原線は令和4（2022）年10月から路線の再編により運行区間が変更され、木之本田村線となっている。

資料：長浜市資料

図 路線別の利用者数（令和4（2022）年度実績）

①木之本米原線

「長浜駅」のほか、「米原駅西口」「市立長浜病院」「湖北病院」など、鉄道駅や病院での乗降が多くなっています。

表 乗降の多い停留所（上位10位）

順位	停留所名	1日当たりの乗降者数
1	長浜駅	45.3
2	米原駅西口	32.4
3	市立長浜病院	32.4
4	湖北病院	30.1
5	木之本バスターミナル	20.0
6	北中前	11.4
7	中山	8.9
8	速水	8.7
9	虎姫南	6.6
10	北新町	6.1

※令和4（2022）年7～9月の運行の内、データの取得ができた運行日のみを対象に集計を行っている。

※木之本米原線は令和4（2022）年10月より路線の再編より運行区間が変更され、木之本田村線となっている。

資料：湖国バス提供資料

②近江長岡線

「長浜駅」での乗降が非常に多く、そのほかに「近江長岡駅」「伊吹高校前」「アルプラザ口」など、鉄道駅や学校、商業施設での乗降が多く見られます。

表 乗降の多い停留所（上位10位）

順位	停留所名	1日当たりの乗降者数
1	長浜駅	81.9
2	近江長岡駅	29.4
3	伊吹高校前	23.8
4	アルプラザ口	22.3
5	市立長浜病院	8.9
6	宮司北	8.3
7	八幡泉町	7.4
8	市役所前	6.5
9	石田	5.4
10	東中前	4.5

※令和4（2022）年7～9月の運行の内、データの取得ができた運行日のみを対象に集計を行っている。

資料：湖国バス提供資料

③伊吹登山山口線

「長浜駅」「伊吹登山口」での乗降が特に多く、その他に「市立長浜病院」「イオン長浜店」など病院や商業施設での乗降も多く見られます。

表 乗降の多い停留所（上位10位）

順位	停留所名	1日当たりの乗降者数
1	長浜駅	25.3
2	伊吹登山口	14.9
3	市立長浜病院	8.8
4	イオン長浜店	6.2
5	加納	3.4
6	間田南	3.4
7	坂口	2.3
8	アルプラザ口	2.1
9	西上坂西	1.7
10	長浜警察署前	1.6

※令和4（2022）年7～9月の運行の内、データの取得ができた運行日のみを対象に集計を行っている。

資料：湖国バス提供資料

④長浜市内循環線

「長浜駅」での乗降が同路線の他の停留所と比べて非常に多くなっています。

表 乗降の多い停留所（上位10位）

順位	停留所名	1日当たりの乗降者数
1	長浜駅	46.9
2	イオン長浜店	11.6
3	八幡泉町	9.5
4	西友長浜楽市前	6.7
5	平方東	6.4
6	市立長浜病院	5.9
7	長浜赤十字病院	4.1
8	新栄口	3.4
9	クリスタルプラザ	2.8
10	石田	2.2

※令和4（2022）年7～9月の運行の内、データの取得ができた運行日のみを対象に集計を行っている。

資料：湖国バス提供資料

⑤高山線・浅井線・びわ湖線

「長浜市役所浅井支所」「長浜駅」での乗降が同路線の他の停留所と比較して非常に多くなっています。

表 乗降の多い停留所（上位10位）

順位	停留所名	1日当たりの乗降者数
1	長浜市役所浅井支所	44.7
2	長浜駅	42.2
3	市立長浜病院	13.6
4	健康パークあざい	11.2
5	アルプラザ口	4.8
6	神小前	3.2
7	市民体育館前	2.8
8	大通寺	2.8
9	神照	2.3
10	今	2.2

※令和4（2022）年7～9月の運行の内、データの取得ができた運行日のみを対象に集計を行っている。

資料：湖国バス提供資料

⑥金居原線

「木ノ本駅」「湖北病院」のほか、路線の終点である「金居原」での乗降が同路線の他の停留所と比べて多くなっています。

表 乗降の多い停留所（上位10位）

順位	停留所名	1日当たりの乗降者数
1	木ノ本駅	9.4
2	湖北病院	8.3
3	金居原	7.9
4	木之本バスターミナル	4.2
5	古橋	3.3
6	川合	2.3
7	長浜伊香ツインアリーナ	1.9
8	井明神	1.8
9	杉本	1.4
10	木之本口	1.4

※令和4（2022）年7～9月の運行の内、データの取得ができた運行日のみを対象に集計を行っている。

資料：湖国バス提供資料

⑦丹生線・片岡西線・柳ヶ瀬線

「中之郷」「木ノ本駅」での乗降が特に多くなっています。その他には「余呉駅」「湖北病院」などで乗降が多くなっています。

表 乗降の多い停留所（上位10位）

順位	停留所名	1日当たりの乗降者数
1	中之郷	9.4
2	木ノ本駅	9.0
3	余呉駅	6.3
4	湖北病院	6.0
5	平和堂木之本店	5.2
6	木之本バスターミナル	3.6
7	片岡郵便局 今市	3.3
8	下丹生	2.1
9	中之郷北 よご認定こども園	2.0
10	柳ヶ瀬	2.0

※令和4（2022）年7～9月の運行の内、データの取得ができた運行日のみを対象に集計を行っている。

資料：余呉バス提供資料

⑧深坂線

「木ノ本駅」での乗降が多く、「道の駅あぢかまの里」「塩津小学校前」が同程度の利用状況となっています。

表 乗降の多い停留所（上位10位）

順位	停留所名	1日当たりの乗降者数
1	木ノ本駅	11.4
2	道の駅あぢかまの里	8.1
3	塩津小学校前	7.9
4	新道野	6.0
5	集福寺	5.9
6	平和堂木之本店	5.9
7	湖北病院	4.0
8	塩津駅前	3.2
9	下沓掛	3.0
10	塩津浜	2.6

※令和4（2022）年7～9月の運行の内、データの取得ができた運行日のみを対象に集計を行っている。

資料：湖国バス提供資料

⑨西浅井交通ネットワーク線（塩津地区方面）

「保健センター・診療所」「永原小学校」「塩津小学校」といった公共施設や学校での乗降が集中しています。

表 乗降の多い停留所（上位10位）

順位	停留所名	1日当たりの乗降者数
1	保健センター・診療所	12.3
2	永原小学校	7.1
3	塩津小学校	5.2
4	永原駅	1.0
5	菅浦	0.6
6	近江塩津駅	0.5
7	西浅井支所・診療所	0.3
8	沓掛会館	0.3
9	集福寺会館	0.2
10	殿村	0.1

※令和4（2022）年9月の運行結果を対象に集計を行っている。
 ※午前は定時運行、午後はデマンド運行の形式で運行を行っている

資料：西浅井総合サービス提供資料

⑩西浅井交通ネットワーク線（永原地区方面・菅浦線）

「あぢかまの里」以外の停留所では、1日当たりの乗降者数は1人を下回っています。

表 乗降の多い停留所（上位10位）

順位	停留所名	1日当たりの乗降者数
1	あぢかまの里	1.6
2	菅浦口・菅浦	0.9
3	黒山会館	0.3
4	永原小学校	0.2
5	菅浦・菅浦口	0.2
6	永原駅	0.1
7	中センター	0.1
8	山田公民館	0.1
9	西浅井支所・診療所	0.1
10	小山作業所	0.1
10	八田部公会堂	0.1

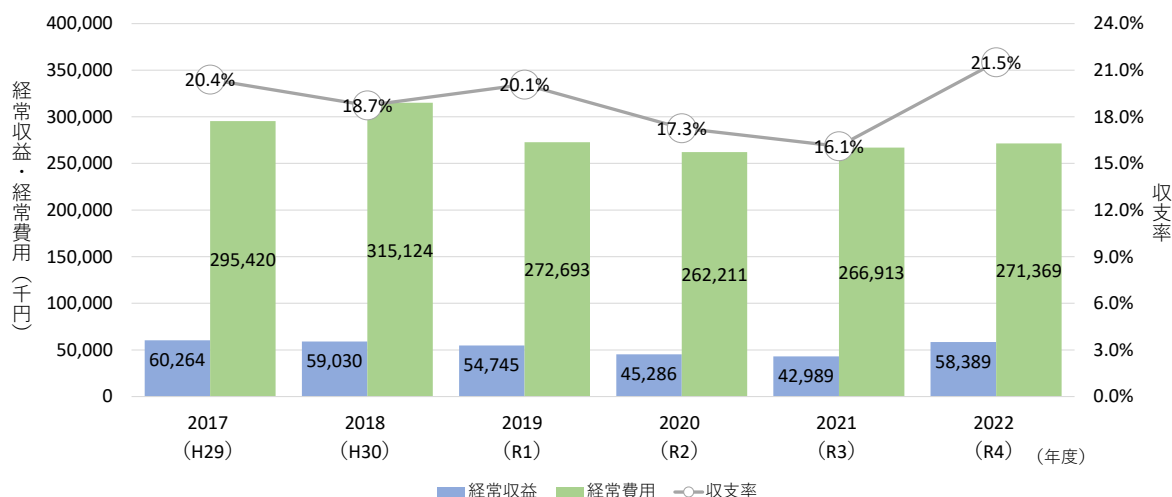
※令和4（2022）年9月の運行結果を対象に集計を行っている。

資料：西浅井総合サービス提供資料

(3) 収支状況

コミュニティバスにおける全路線での経常費用は、平成30(2018)年度に湖北・高月地域において乗合タクシーに切り替えたことから令和元(2019)年度から大きく減少し、以降、令和4(2022)年度まで約2.7億円で推移しています。一方経常収益は、年々減少傾向にありましたが、新型コロナウイルス感染症対策の補助金等の関係で令和4(2022)年度は増加しています。

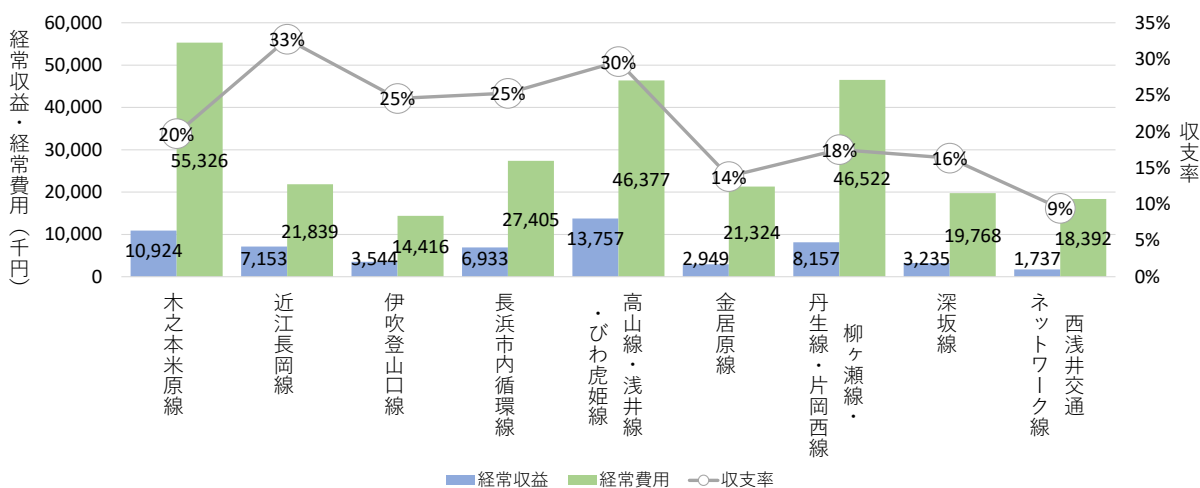
路線別の経常収益と経常費用、収支率をみると、路線によって収支率に大きな違いが見られます。



※グラフ内の年度は前年10月から当年9月までの期間を示している。

資料：長浜市資料

図 経常収益、経常費用及び収支率の推移



※木之本米原線は令和4(2022)年10月から路線の再編により運行区間が変更され木之本田村線となっている。

資料：長浜市資料

図 路線別の経常収益、経常費用及び収支率(令和4(2022)年度実績)

4-4. 乗合タクシー

(1) ネットワーク

主にコミュニティバスが運行していない地域の移動手段を確保するため、空いたタクシー車両を活用し、需要に応じた運行を行うものです。本市においては6つの地区で乗合タクシーを実施しています。

表 乗合タクシーの運行概要

項目	概要
運賃※	大人 300 円/小学生・しょうがい者 150 円 未就学児 150 円（2 人までは無料）
運行時間	午前 7:00～午後 8:00

※各地区で定められた区域外の停留所を利用する場合、200円が加算される。

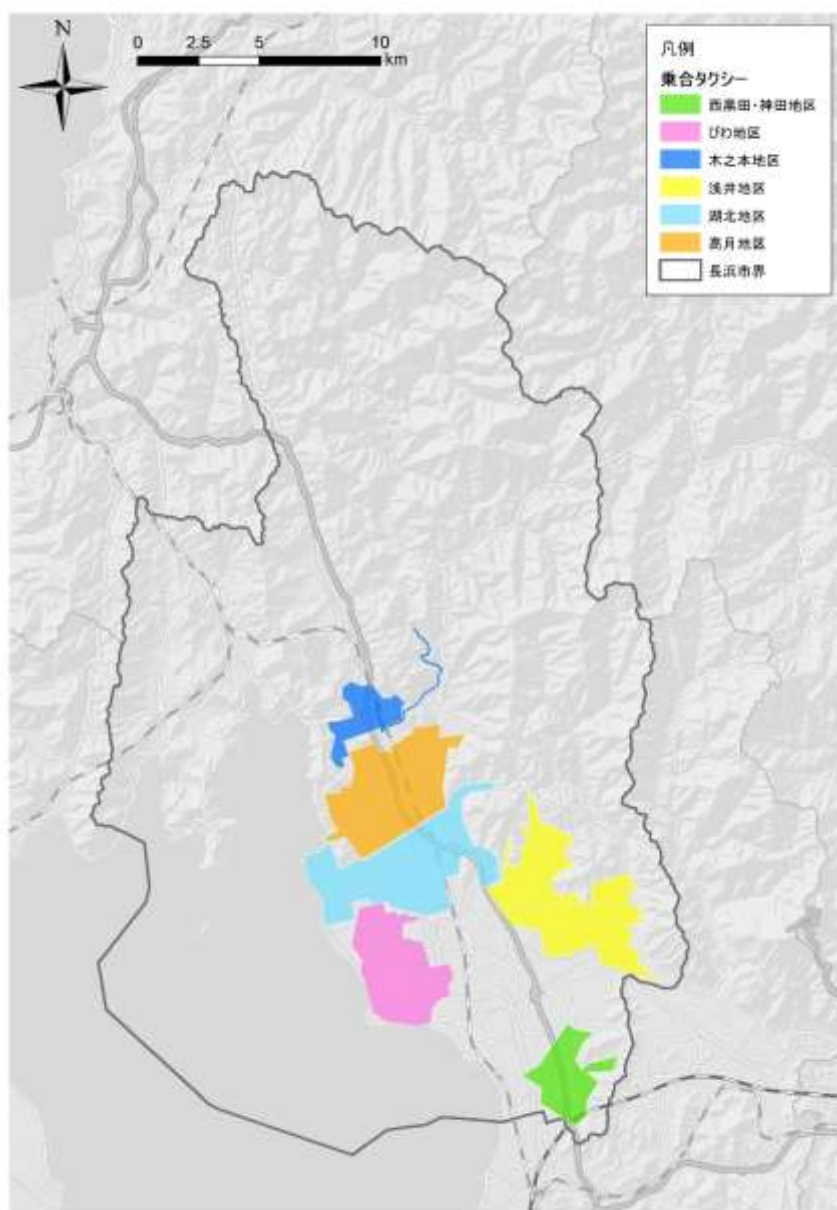
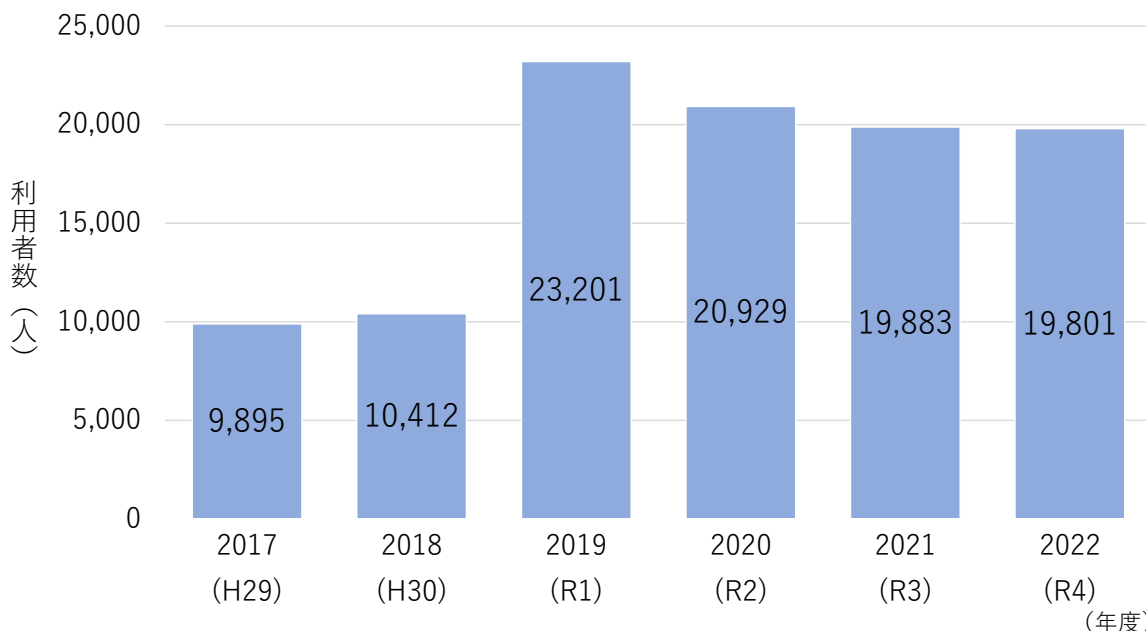


図 乗合タクシー運行範囲

(2) 利用者数

令和元（2019）年度に湖北・高月地区で新たに運行が開始されたことに伴い、利用者が大きく増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、令和元（2019）年度以降は年々減少し、令和4（2022）年度時点で約19,800人となっています。

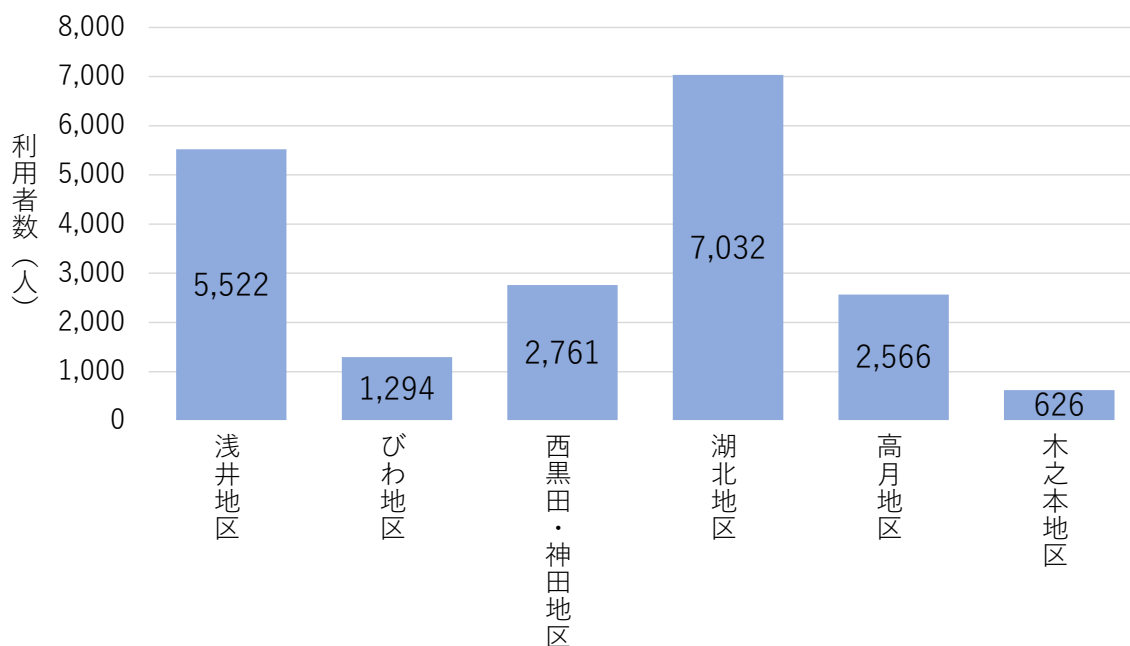
地区別にみると、浅井地区と湖北地区での利用が他地区と比べて多くなっています。



※グラフ内の年度は前年10月から当年9月までの期間を示している。

資料：長浜市資料

図 乗合タクシー利用者数の推移



資料：長浜市資料

図 地区別の利用者数（令和4（2022）年度実績）

①浅井地区

乗合タクシーの中でも利用の多い浅井地区では、特に日常的に複数人が田根地域から内保地域への移動に乗合タクシーを利用しているため、それを反映して「野田」と「おしたにクリニック」での乗降が多くなっています。それ以外の利用では、「フレンドマート浅井店」「養護学校」など、地区内の施設への移動が多くなっています。

表 浅井地区乗合タクシーにおける停留所別利用状況（上位10位）

順位	停留所名	1日当たりの乗降者数	全利用に対する割合
1	野田	4.21	12.1%
2	フレンドマート浅井店	3.09	8.9%
3	おしたにクリニック	2.87	8.3%
4	養護学校	2.48	7.2%
5	浅井支所前	1.78	5.1%
6	さざなみ整形外科	1.77	5.1%
7	嶋田ファミリークリニック	1.58	4.6%
8	虎姫駅	1.55	4.5%
9	浅井高原	1.15	3.3%
10	黒部	0.87	2.5%

※令和2（2020）年10月から令和3（2021）年9月の実利用結果を集計している。

②びわ地区

「長浜駅」での利用が最も多く、全利用のうち約27%を占めており、地区内の移動より地区外に出るために活用されている傾向にあります。

表 びわ地区乗合タクシーにおける停留所別利用状況（上位10位）

順位	停留所名	1日当たりの乗降者数	全利用に対する割合
1	長浜駅	1.98	27.3%
2	八木浜	0.98	13.5%
3	富田	0.86	11.9%
4	細江	0.70	9.7%
5	びわ郵便局	0.55	7.5%
6	南浜口	0.34	4.7%
7	びわ支所	0.29	4.0%
8	上八木	0.20	2.8%
9	香花寺	0.17	2.3%
10	南浜B	0.16	2.2%

※令和2（2020）年10月から令和3（2021）年9月の実利用結果を集計している。

③西黒田・神田地区

医療施設である「市立長浜病院」や商業施設である「アルプラザ」の利用が多く、この2停留所での利用が全体の約33%を占めています。

表 西黒田・神田地区乗合タクシーにおける停留所別利用状況（上位10位）

順位	停留所名	1日当たりの乗降者数	全利用に対する割合
1	市立長浜病院	2.52	17.3%
2	アルプラザ	2.27	15.6%
3	名越	1.26	8.7%
4	長浜駅	1.00	6.9%
5	田村駅	0.78	5.3%
6	小一条	0.74	5.1%
7	鳥羽上北	0.68	4.7%
8	布勢	0.63	4.3%
9	老人ホーム長浜荘	0.53	3.6%
10	常喜新	0.50	3.4%

※令和2（2020）年10月から令和3（2021）年9月の実利用結果を集計している。

④湖北地区

「河毛駅」での利用が最も多くなっており、全利用のうち約22%を占めています。「平和堂前」「尾上」「湖北水鳥の里」の3停留所での利用がそれぞれ10%を超えるなど、特定の停留所での利用が多くなっています。

表 湖北地区乗合タクシーにおける停留所別利用状況（上位10位）

順位	停留所名	1日当たりの乗降者数	全利用に対する割合
1	河毛駅	7.42	21.8%
2	平和堂前	4.41	13.0%
3	尾上	3.68	10.8%
4	湖北水鳥の里	3.61	10.6%
5	山本三条橋	1.75	5.1%
6	留目	1.45	4.3%
7	速水北	1.35	4.0%
8	湖北郵便局前	1.09	3.2%
9	湖北支所	0.67	2.0%
10	ビッグ北	0.65	1.9%

※令和2（2020）年10月から令和3（2021）年9月の実利用結果を集計している。

⑤高月地区

「湖北病院」「高月駅東口」の2停留所で全利用の約10%ずつを占めています。

表 高月地区乗合タクシーにおける停留所別利用状況（上位10位）

順位	停留所名	1日当たりの乗降者数	全利用に対する割合
1	湖北病院	1.69	10.6%
2	高月駅東口	1.64	10.3%
3	片山	1.52	9.5%
4	古保利小学校前	1.11	7.0%
5	ビッグ北	0.92	5.7%
6	高月支所前	0.90	5.7%
7	上松医院	0.80	5.0%
8	井口	0.58	3.6%
9	東高田	0.57	3.6%
10	熊野	0.50	3.1%

※令和2（2020）年10月から令和3（2021）年9月の実利用結果を集計している。

⑥木之本地区

木之本地区の乗合タクシーにおいては18の停留所のうち、令和2年10月から令和3年9月の1年間で利用されているのは6停留所となっています。「大見いこいの広場」「木ノ本駅」の2停留所で全利用の約87%を占めています。

表 木之本地区乗合タクシーにおける停留所別利用状況（利用された停留所のみ抜粋）

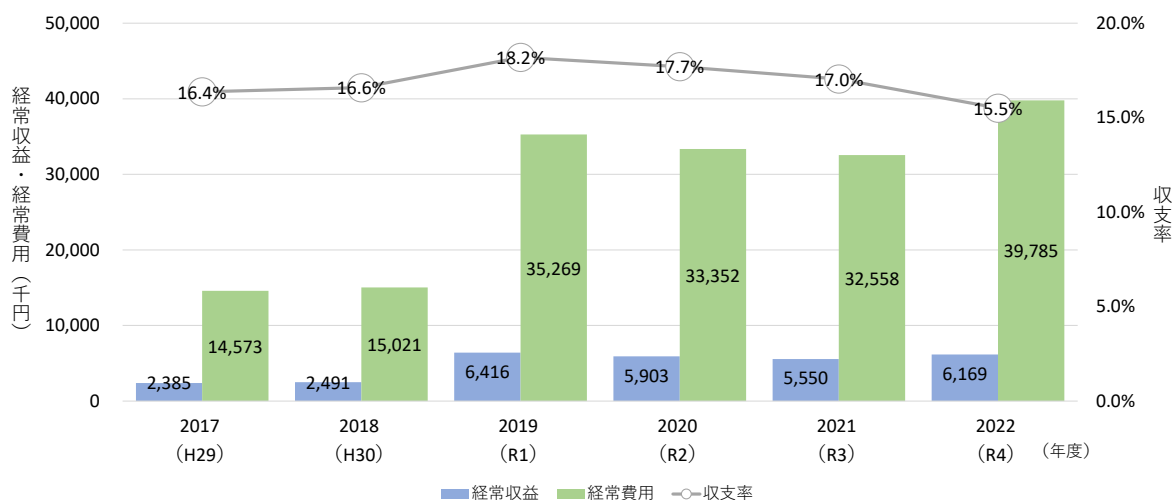
順位	停留所名	1日当たりの乗降者数	全利用に対する割合
1	大見いこいの広場	1.01	45.2%
2	木ノ本駅	0.93	41.7%
3	大見口	0.12	5.2%
4	市立湖北病院	0.10	4.7%
5	平和堂木之本店	0.04	2.0%
6	黒田	0.03	1.3%

※令和2（2020）年10月から令和3（2021）年9月の実利用結果を集計している。

(3) 収支状況

乗合タクシーでは、令和元（2019）年度に湖北・高月地区で新たに運行が開始されたことで費用が増え、令和4（2022）年度時点で経常費用が約3,980万円、経常収入は約620万円となり、収支率は約16%となっています。

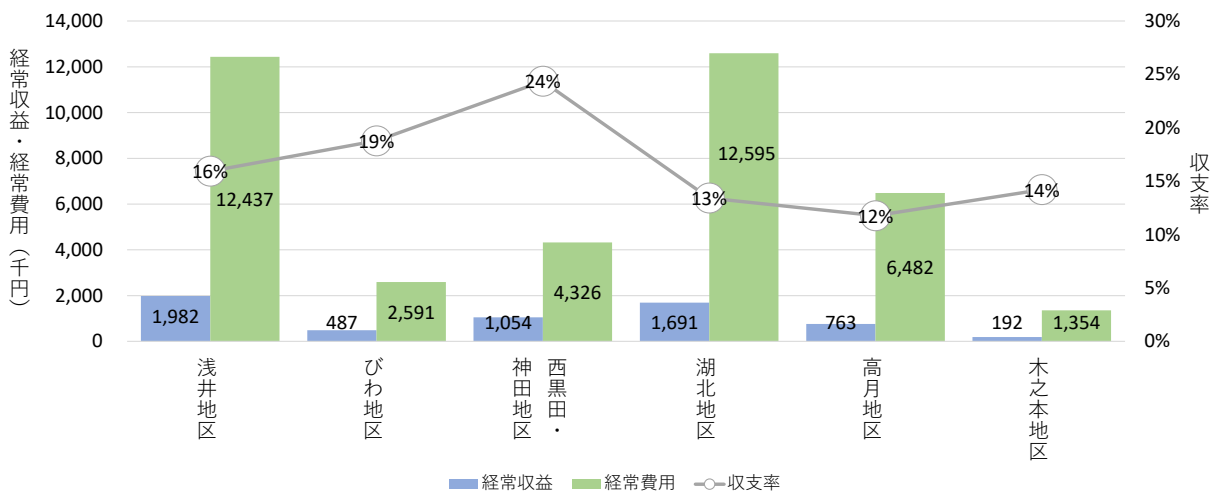
各地区別の経常費用と経常収益、収支率をみると、地区によって大きく違いが見られ、西黒田・神田地区では収支率が20%を超えているほか、浅井地区、湖北地区では経常費用が比較的高くなっています。



※グラフ内の年度は前年の10月から当年9月までの期間を示している。

資料：長浜市資料

図 経常収益、経常費用及び収支率の推移



資料：長浜市資料

図 地区別の経常収益、経常費用及び収支率（令和4（2022）年度実績）

4-5. 人口カバー圏域

本市は、鉄道、コミュニティバス、乗合タクシーによる地域公共交通ネットワークが形成されており、地域公共交通のカバー圏域に住んでいる人口は、本市の総人口のうち約79.5%となっています。

※人口カバー圏域：本計画においては、鉄道駅から半径800m、コミュニティバス、乗合タクシー停留所から半径300m以内の地域を交通地域としています。

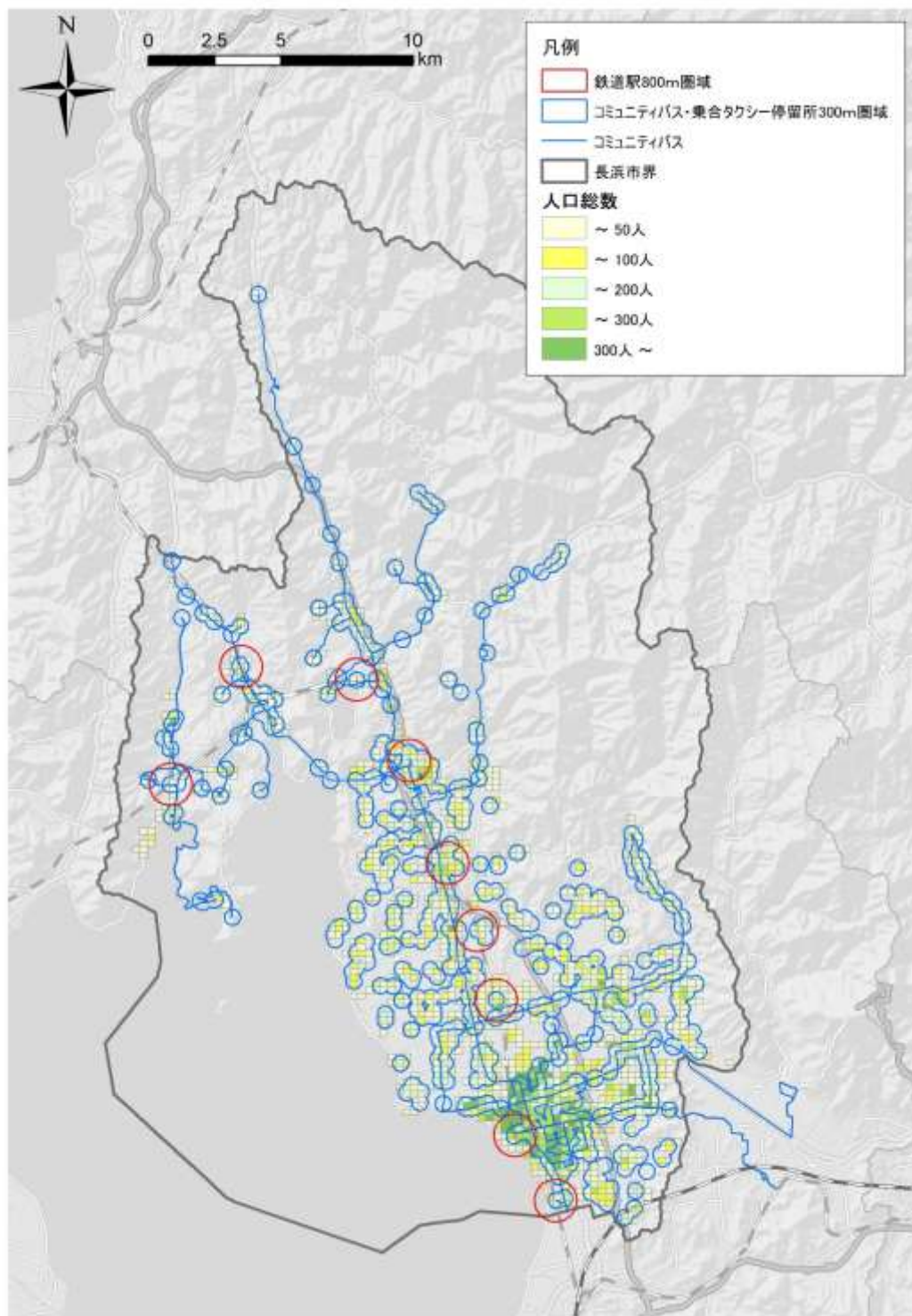


図 本市の地域公共交通における人口カバー圏域

4-6. その他の輸送資源

(1) 一般タクシー

本市内に営業所を設けている事業者は6社あり、このうち乗合タクシー事業の免許を持っている事業者は3社存在します。

表 本市内のタクシー事業者（令和5年11月現在）

No	事業者名	車両台数 (台)	運転士数 (人)	所在地	乗合 免許
1	株式会社 さくらタクシー	20	18	滋賀県長浜市末広町372-3	
2	長浜タクシー 株式会社	12	12	滋賀県長浜市平方町318	
3	滋賀中央交通 株式会社	17	19	滋賀県長浜市内保町758-4	○
4	近江タクシー 株式会社	42	47	滋賀県長浜市西上坂町128	○
5	都タクシー 株式会社	39	18	滋賀県長浜市平方町244	
6	伊香交通 株式会社	11	7	滋賀県長浜市木之本町木之本1545	○

(2) スクールバス

本市では、小学校で23校中3校、中学校で10校中2校、義務教育学校で2校中1校の学校においてスクールバスが運行されており、各事業者への事業委託を行っています。

表 スクールバスが運行されている学校（令和5年4月現在）

No	学校名	運行台数 (台)	利用者数 (人)	運行事業者	対象地域
1	長浜南小学校	3	225	滋賀観光バス(株)	六荘、西黒田
2	浅井小学校	4	80	滋賀中央観光バス(株)	上草野、七尾
3	木之本小学校・ 木之本中学校	1	9	(株)余呉バス	杉野
4	西浅井中学校	1	48	滋賀中央観光バス(株)	永原
5	余呉小中学校	2	50	(株)余呉バス	丹生、片岡、余呉

資料：長浜市資料

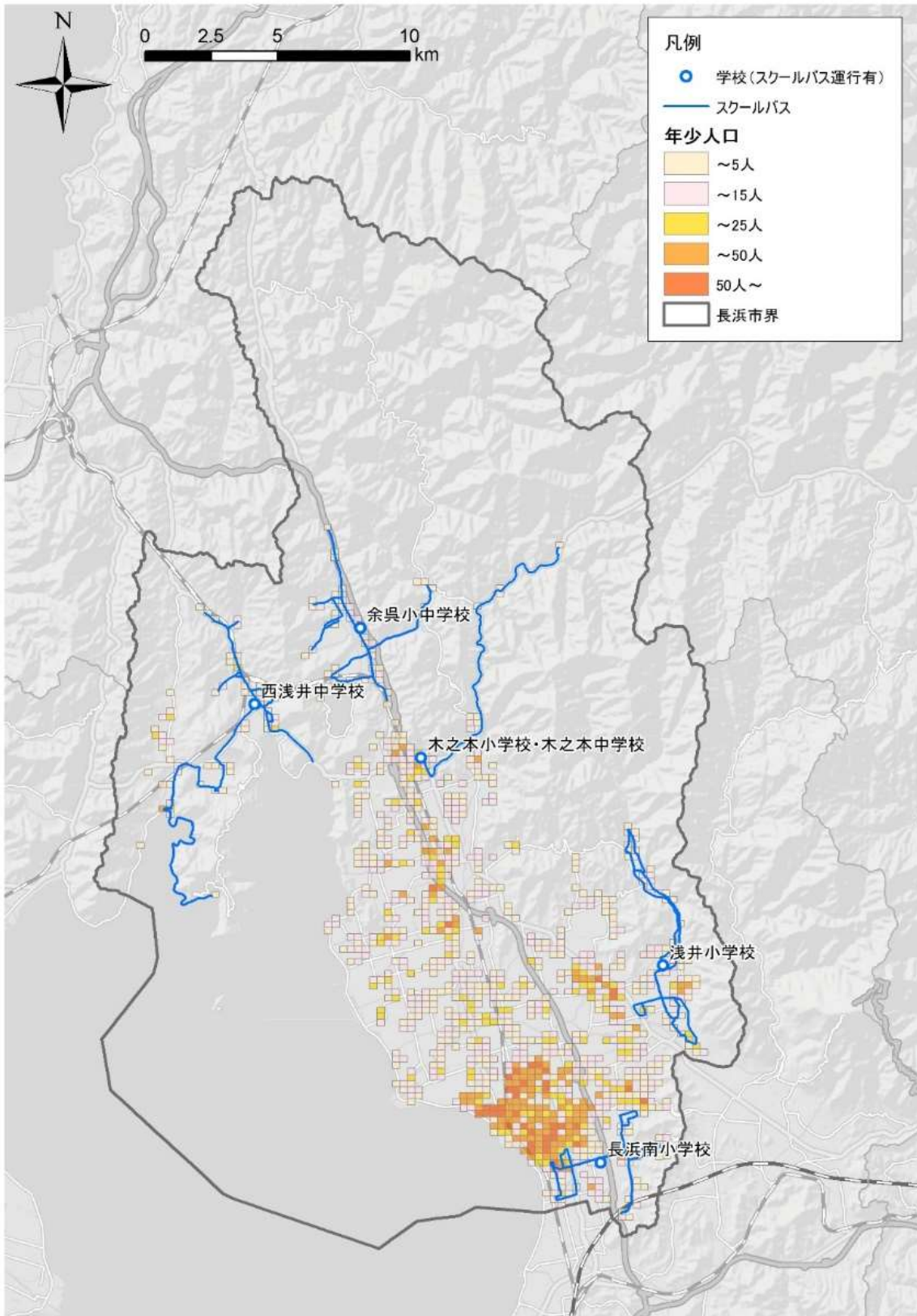


図 スクールバスの運行地域と年少人口の居住地域

(3) 福祉有償運送

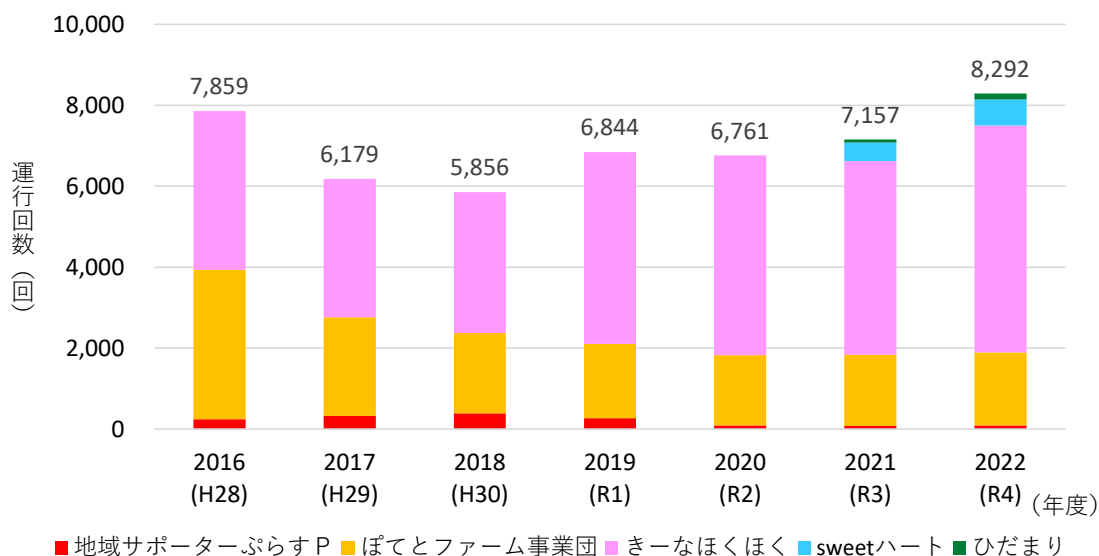
本市では、単独で地域公共交通の利用が困難な身体しょうがい者の方の移動手段として、福祉有償運送を実施しています。利用するには、特定非営利活動法人等に会員として登録されていることが必要です。

表 福祉有償運送を実施している事業者一覧（令和5年4月現在）

No	事業者名	所在地	運送区域
1	特定非営利活動法人 地域サポーターぷらすP	滋賀県長浜市三ツ矢元町26-6	長浜市
2	社会福祉法人 ぼてとファーム事業団	滋賀県長浜市神照町277-2	長浜市 米原市
3	特定非営利活動法人 きーなほくほく	滋賀県長浜市大路町945-12	長浜市 米原市
4	一般社団法人 sweetハート	滋賀県長浜市新庄馬場町77	長浜市
5	社会福祉法人 ひだまり	滋賀県米原市本郷603-1	長浜市 米原市

資料：長浜市資料

福祉有償運送の運行回数は平成30（2018）年度まで減少傾向でしたが、その後回復傾向になり、令和4（2022）年度時点で年間約8,300回運行されており、過去最高となっています。



資料：長浜市資料

図 福祉有償旅客運送の運行回数の推移

(4) 自動車学校

市内に長浜自動車学校、北近江自動車学校の2校が存在しており、それぞれ予約制による送迎バスが運行されています。

表 自動車学校における送迎バス

学校名	乗降場所指定
長浜自動車学校	有
北近江自動車学校	無

資料：各施設ホームページ

5 市の財政状況

5-1. 歳入

新型コロナウイルス感染症への対応経費の財源として令和2（2020）年度は国庫支出金が大きく増えていますが、平成27（2015）年度頃から全体的に歳入は増加傾向にあります。一方で、自主財源割合は令和2（2020）年度から減少し、令和3（2021）年度にはやや回復したものの、令和元（2019）年度以前の水準には戻っていません。

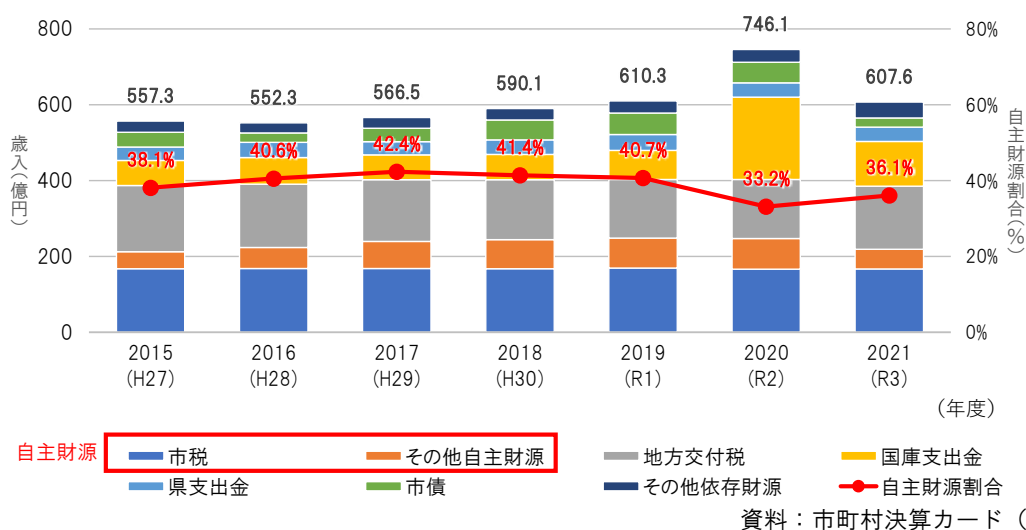


図 歳入の推移

5-2. 歳出

新型コロナウイルス感染症の影響で令和2（2020）年度は補助費等が大きく増えていますが、歳出も歳入と同様、全体的に増加傾向にあります。また、令和2（2020）年度まで人件費等の義務的経費の割合は減少傾向にありましたが、令和3（2021）年度の義務経費の割合は扶助費の増加により約48%と過去7年間で最も大きくなっています。

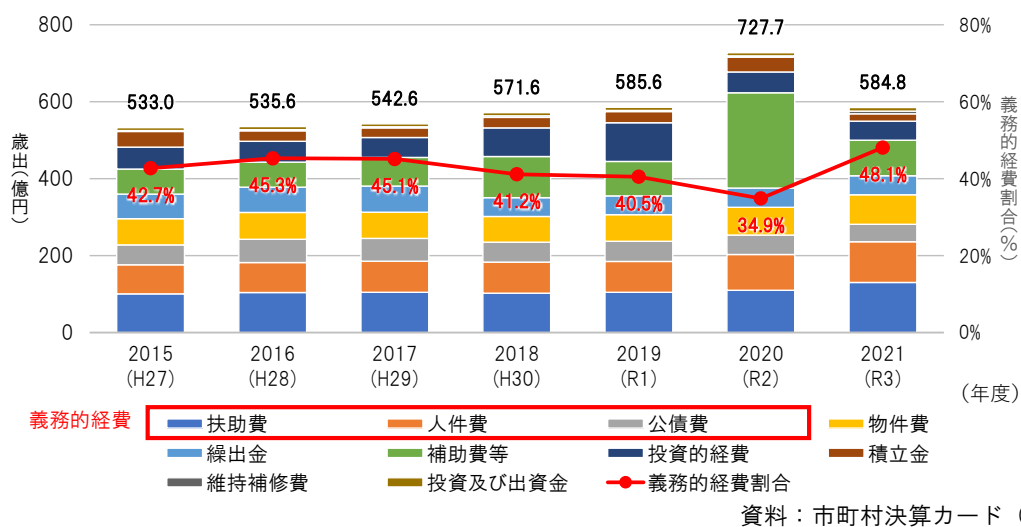
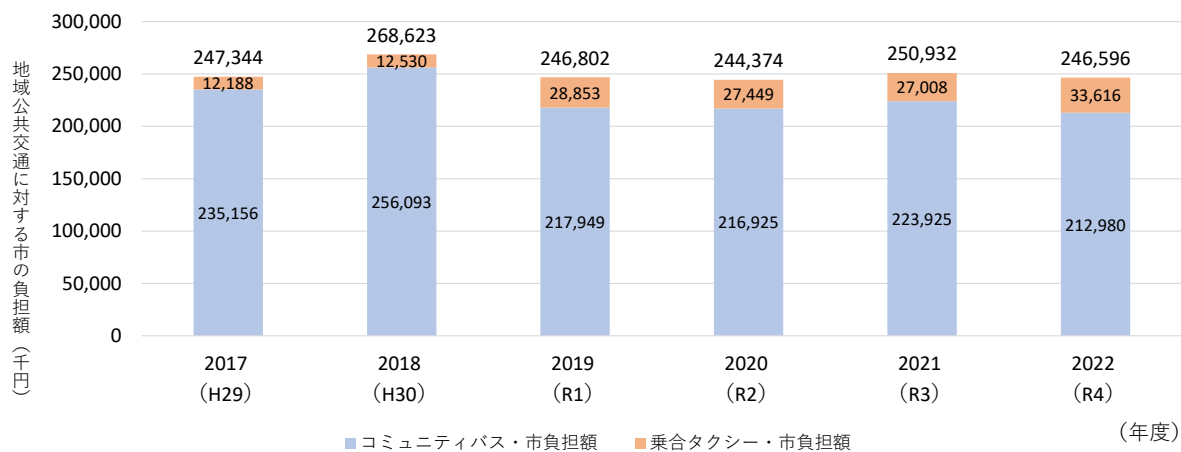


図 歳出の推移

5-3. 地域公共交通における負担

市がコミュニティバス、乗合タクシーに対して支出している負担額は、年間約2.5億円となっています。このうち、乗合タクシーにおける負担額は、運行範囲の拡大も影響し、徐々に増えてきています。燃料費高騰等の観点から、今後も地域公共交通にかかる負担は増加することが想定されます。



※前年10月から当年9月までの経常欠損額を記載している。

資料：長浜市資料

図 地域公共交通に対する市の負担額の推移

第2章 地域公共交通の利用実態・ニーズの把握

1 市民アンケート

調査概要（市民アンケート）

市民の移動実態を把握するために無作為抽出によるアンケート調査を行いました。調査概要を下記に記載します。なお、パーセント表記は小数第二位の値を四捨五入した値を記載しているため、合計値が100%とならない場合もあります。

表 市民アンケート調査の実施概要

調査時期	令和4(2022)年11月1日(火)～令和4(2022)年11月16日(水)
調査対象者	長浜市内に住居登録がある18歳以上の市民2,000名(無作為抽出)※
調査方法	対象者への調査票の送付
回答数	927名(回収率46.7%)

※うち17名は住所不特定で郵送されなかった。

1-1. 回答者の属性について

(1) 性別

男性が約43%、女性が約56%となっています。

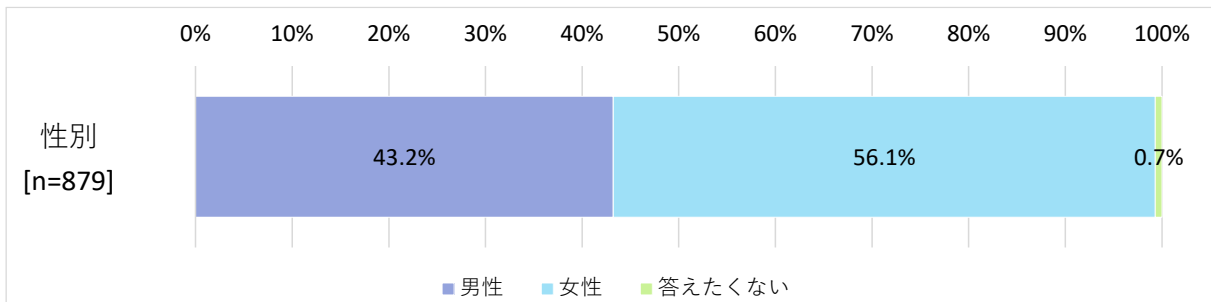


図 性別

(2) 年齢

65歳以上の高齢者からの回答が約48%となっています。

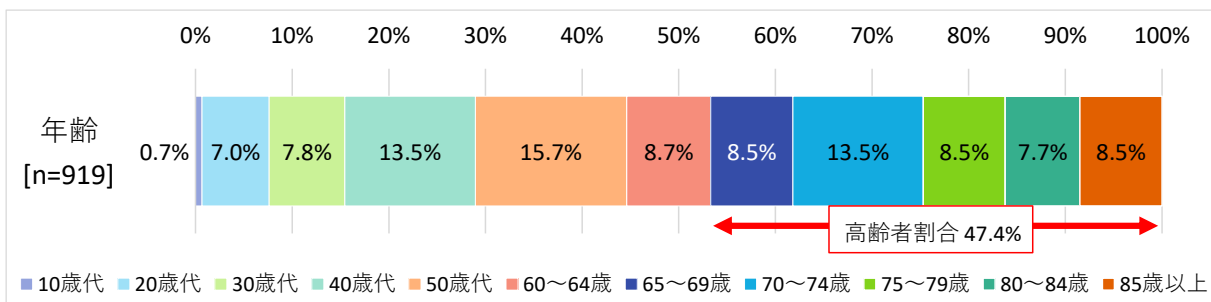


図 年齢層

(3) 居住地域

旧長浜地域が約50%と最も多くなっています。その次に多いのが浅井地域で約11%となっています。

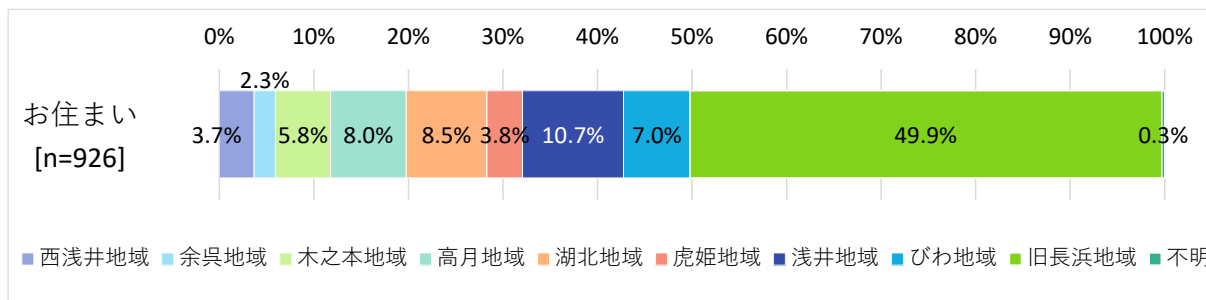


図 お住まいの地域

(4) 世帯構成

子ども又はその他親族と同居している世帯が約62%と最も多くなっています。

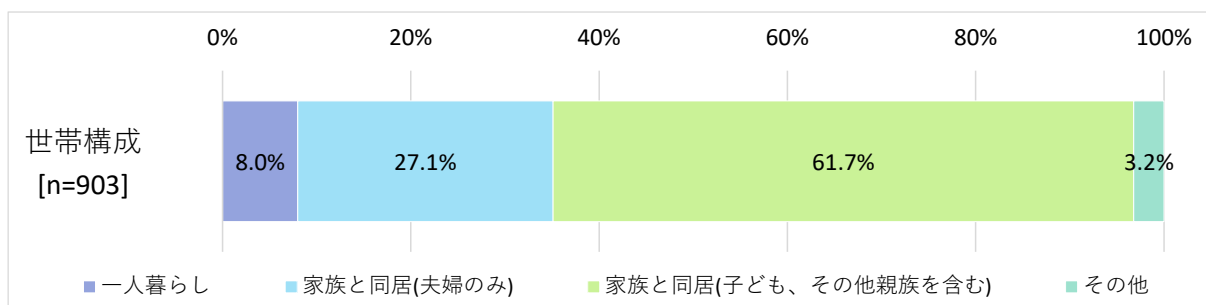


図 世帯構成

(5) 運転免許の保有状況

運転免許を持っている方が約85%と最も多くなっています。運転免許の返納を検討されている方は約1%となっています。

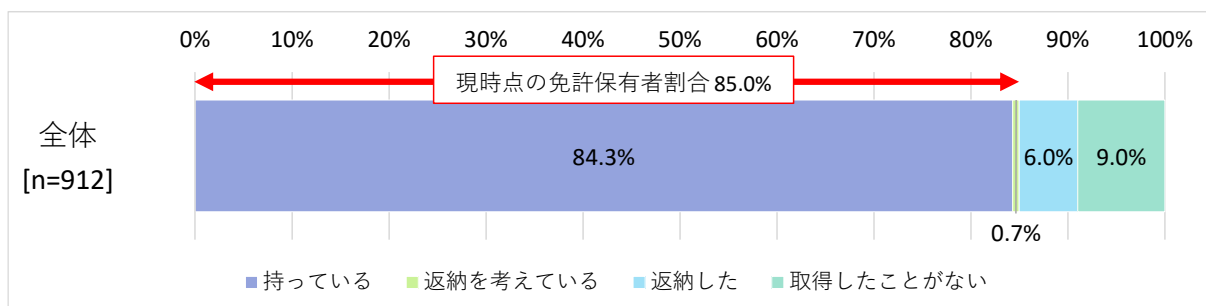


図 運転免許保有状況

年齢層別にみると、65～74歳の方では約91%が運転免許を保有しているのに対し、75歳以上の方においては、約50%まで低下しています。75歳以上の後期高齢者では約22%の方が運転免許を返納しています。

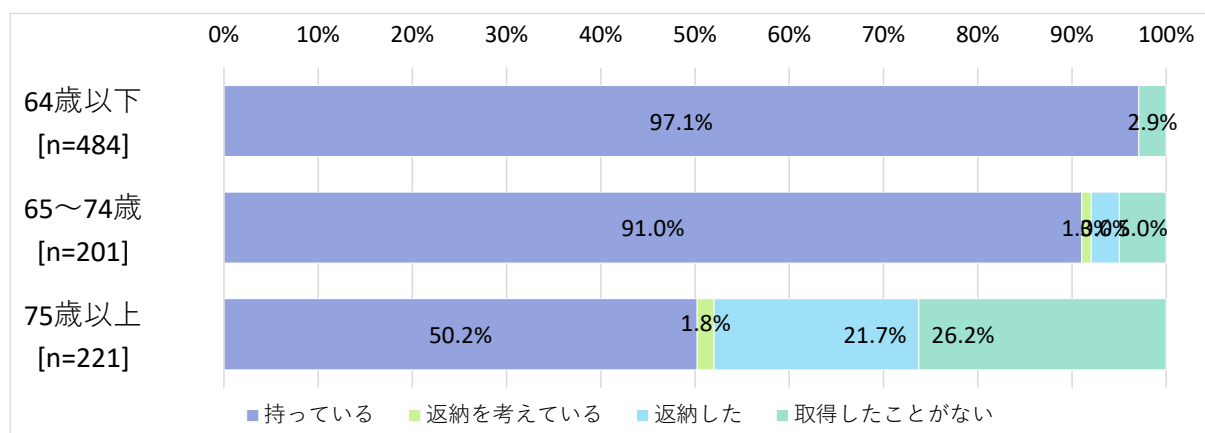


図 運転免許保有状況（年齢層別）

（6）外出時の介助の有無

一人で不自由なく外出できている方が約93%おり、外出時に介助等を必要とされている方が約7%となっています。

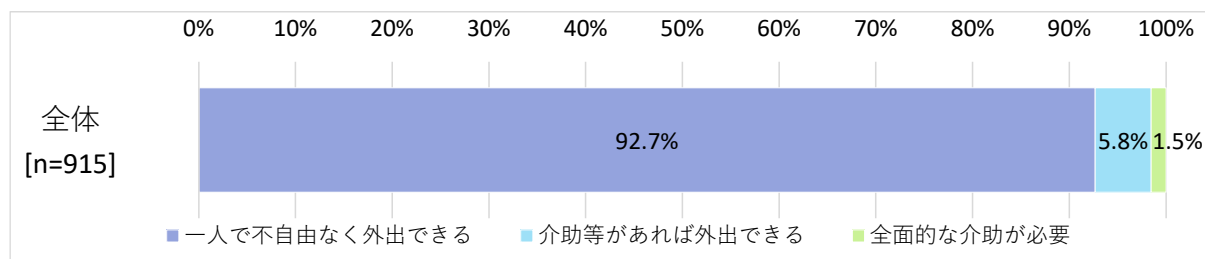


図 外出時の介助の必要性

年齢層別にみると、65～74歳の方でも約98%が一人で問題なく外出できると回答しているものの、75歳以上になるとその割合は約74%に低下しています。

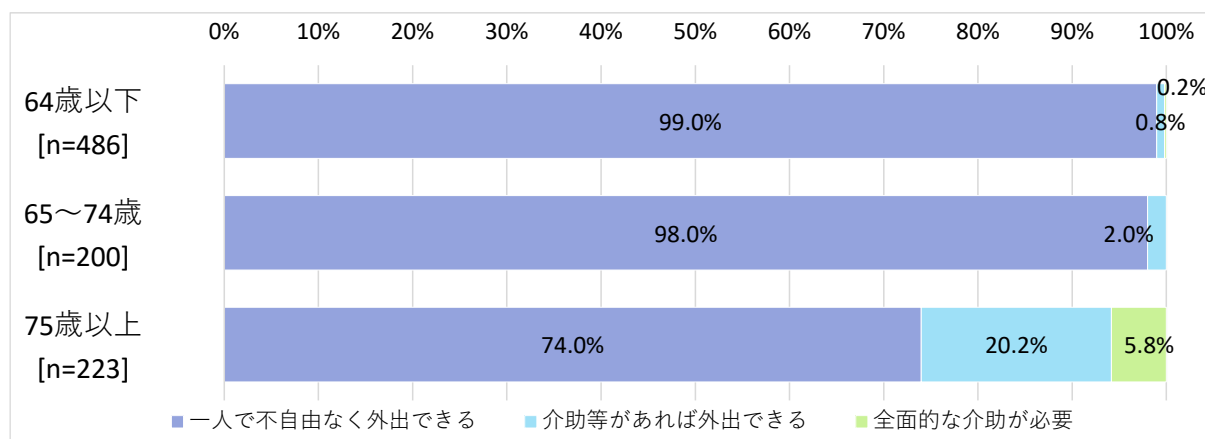


図 外出時の介助の必要性（年齢層別）

(7) スマートフォンなどの所有や活用について

① スマートフォンなどの所有

スマートフォン若しくはタブレットを所有している方が約 76%となっており、通話機能を有する携帯端末を保有していない方が約 8%となっています。

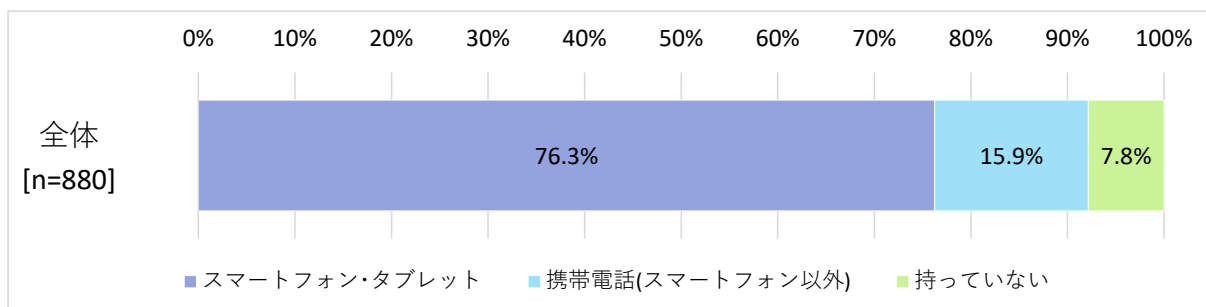


図 スマートフォンなどの所有状況

年齢層別にみると、65～74 歳の方でも約 77%の方がスマートフォンやタブレットを保有されています。75 歳以上になると、通話機能を有する携帯端末を保有していない方が約 26%となっています。

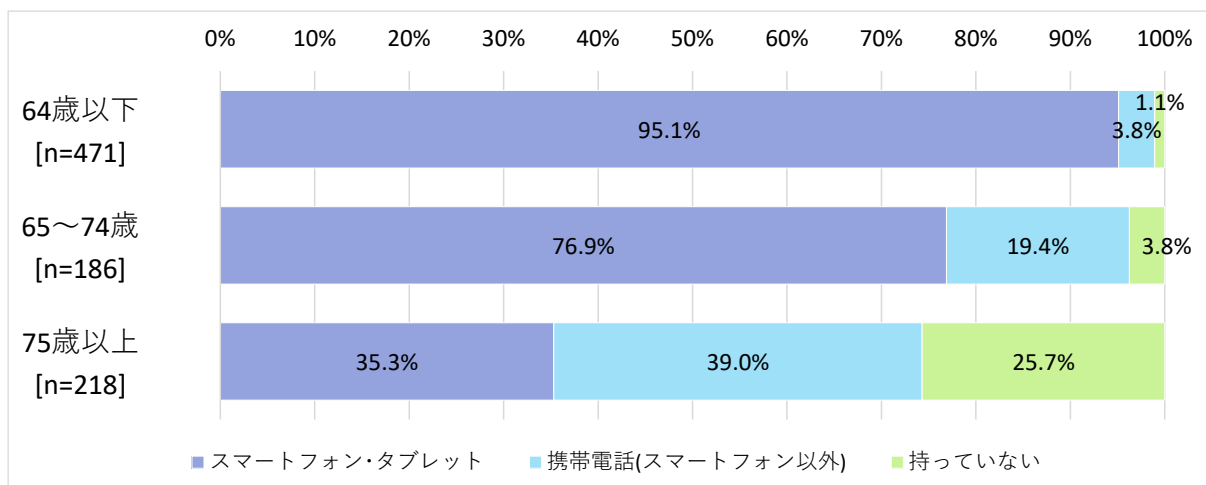


図 スマートフォンなどの所有状況（年齢層別）

居住地域別にみると、余呉地域や虎姫地域でのスマートフォン・タブレットの所有者割合は他地域と比べてやや低くなっています。

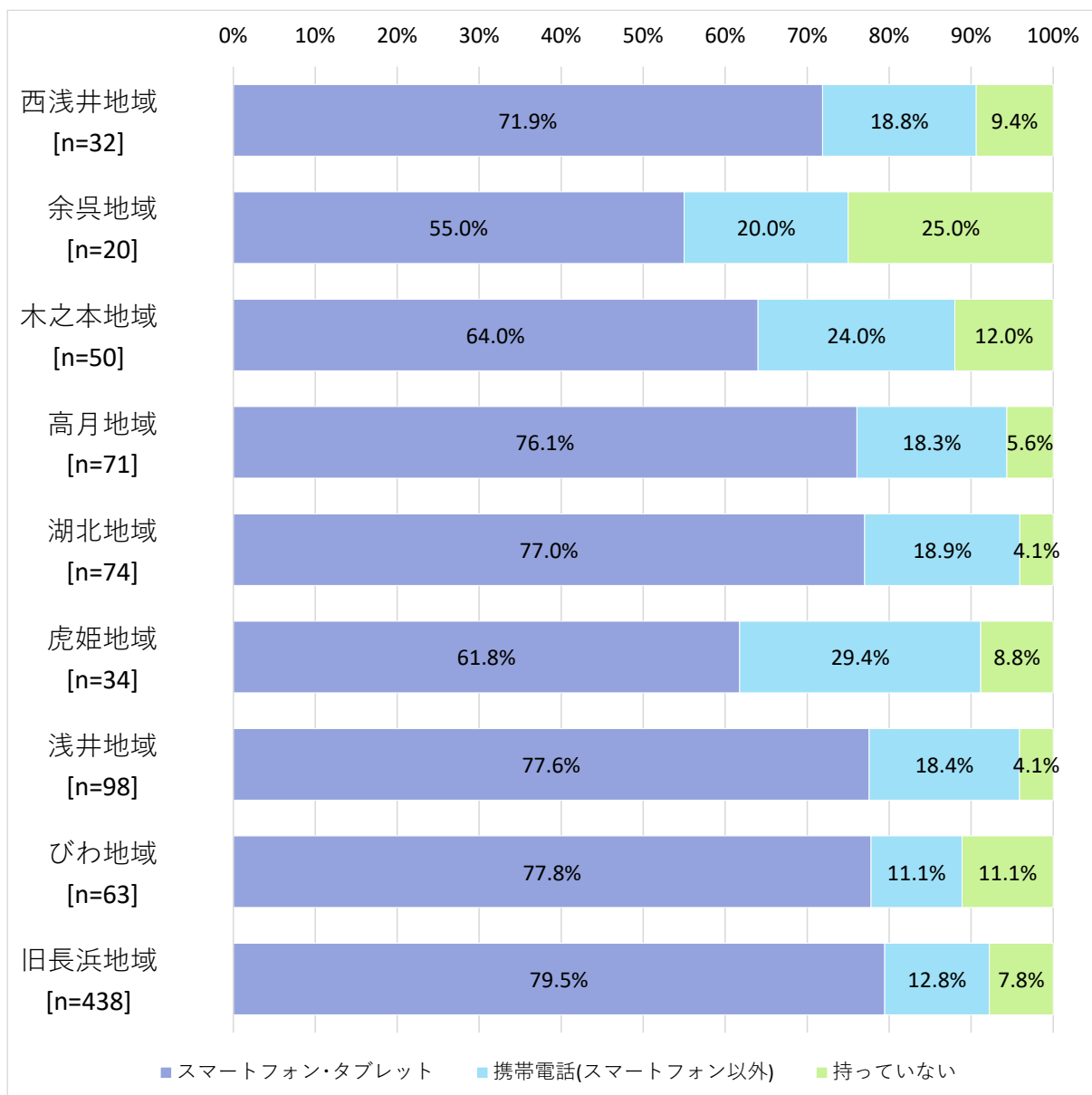


図 スマートフォンなどの所有状況（居住地域別）

②スマートフォンなどで利用する機能

通話やメール、SNS等の他人との連絡機能を活用している方が約70%以上を占める一方、路線・乗換検索やキャッシュレス決済での活用をしている方はおよそ半数程度となっています。

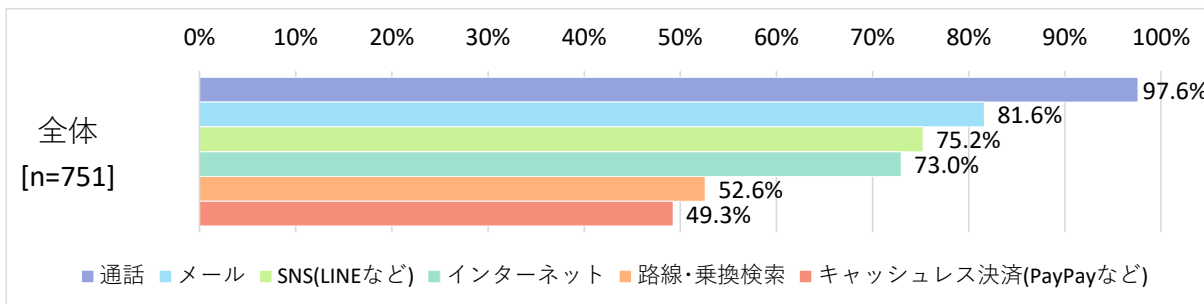


図 スマートフォン・タブレットで利用する機能

年齢層別にみると、通話はどの年齢層でも多く利用されていますが、インターネットや路線・乗換案内、キャッシュレス決済において、65歳以上の高齢者で利用されている割合が大きく減少しています。

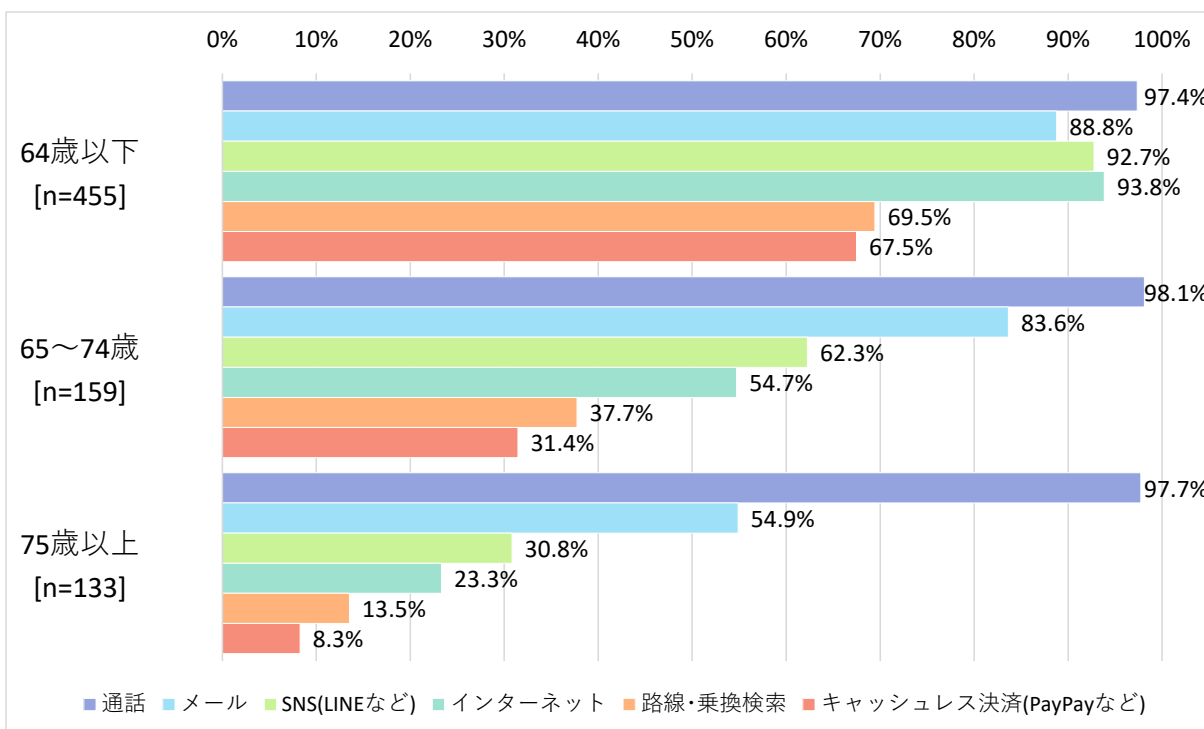


図 スマートフォン・タブレットで利用する機能（年齢層別）

居住地域別にみると、高月地域、浅井地域、びわ地域、旧長浜地域において路線・乗換検索を利用されている方が50%を超えています。

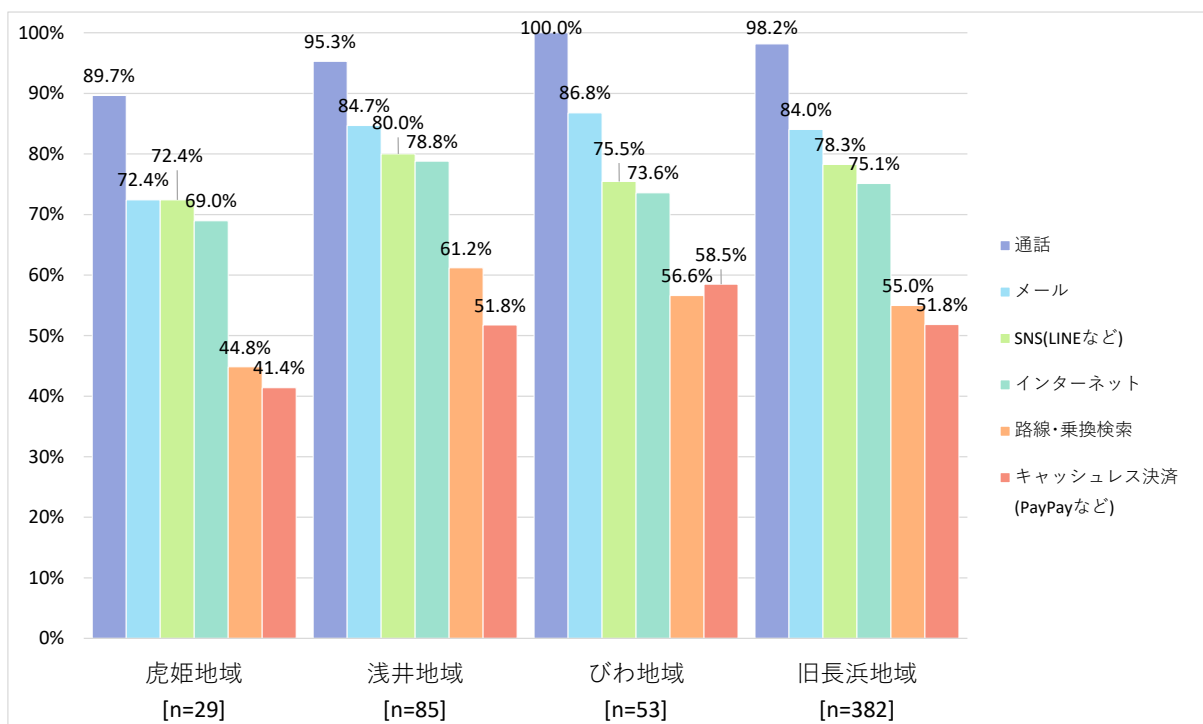
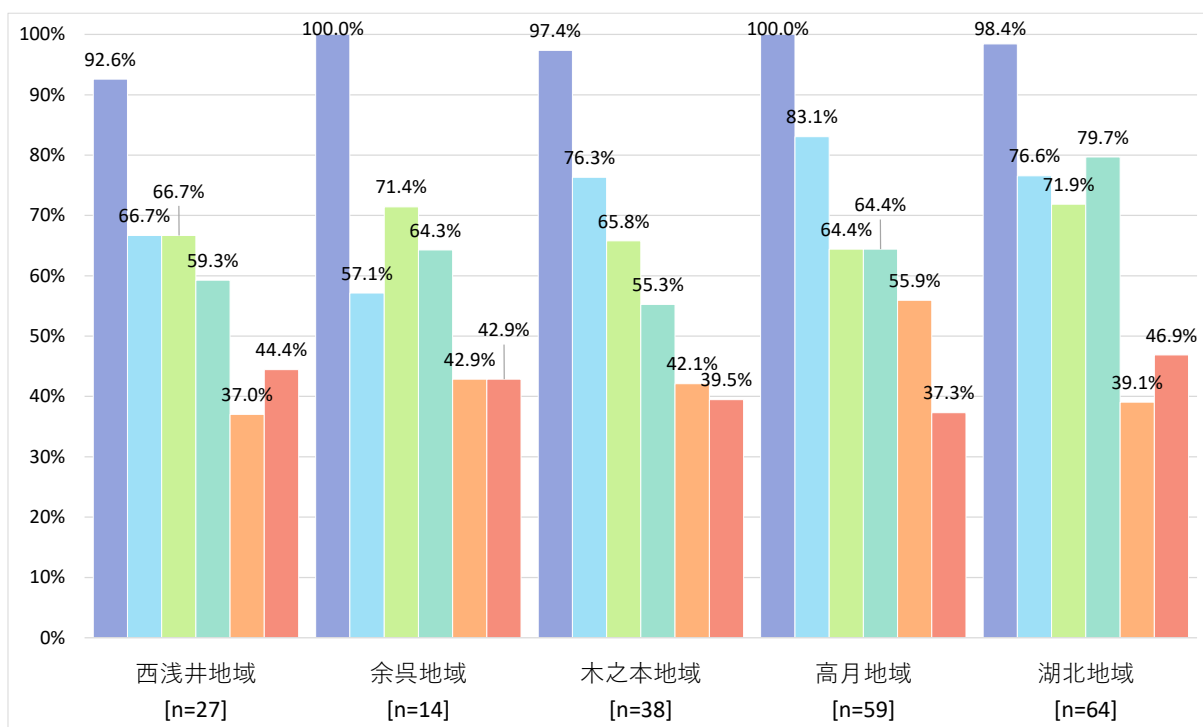


図 スマートフォン・タブレットで利用する機能（居住地域別）

(8) 新型コロナウイルス感染症による移動への影響

①外出頻度

コロナ禍前と比較して、外出頻度が減少した方が約65%となっています。

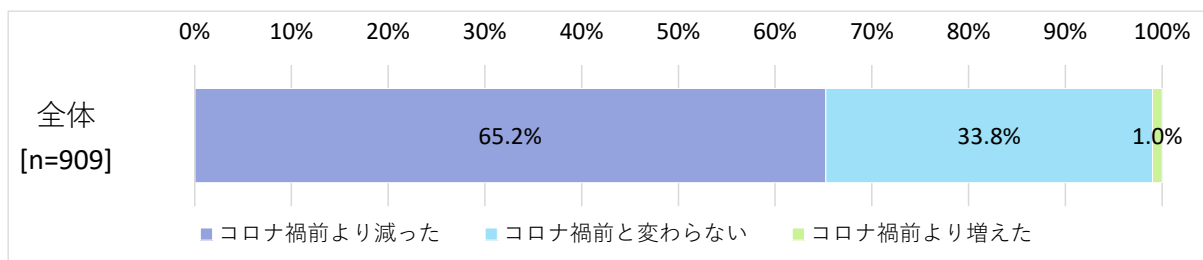


図 外出頻度の変化

運転免許の有無別で見ると、運転免許を保有していない方のうち、コロナ禍前と変わらないと回答されている方が約40%と、運転免許を保有している方で同じ回答をされている方と比較するとやや高くなっています。

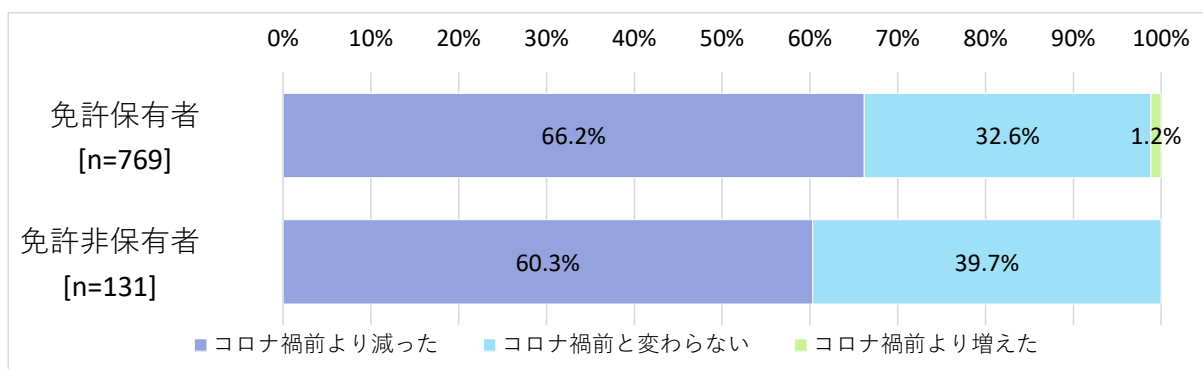


図 外出頻度の変化（運転免許の有無別）

年齢層別にみても外出頻度は、全体の割合と比較しても大きな違いは見られません。

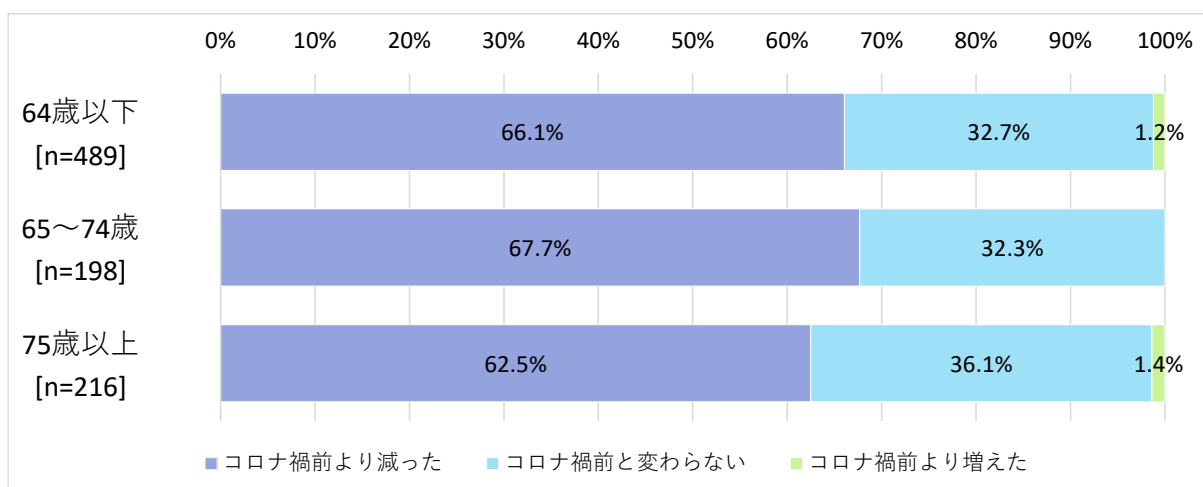


図 外出頻度の変化（年齢層別）

居住地域別にみると、虎姫地域にお住まいの方で外出頻度が減ったとしている方が70%を超えていますが、地域による大きな違いは見られません。

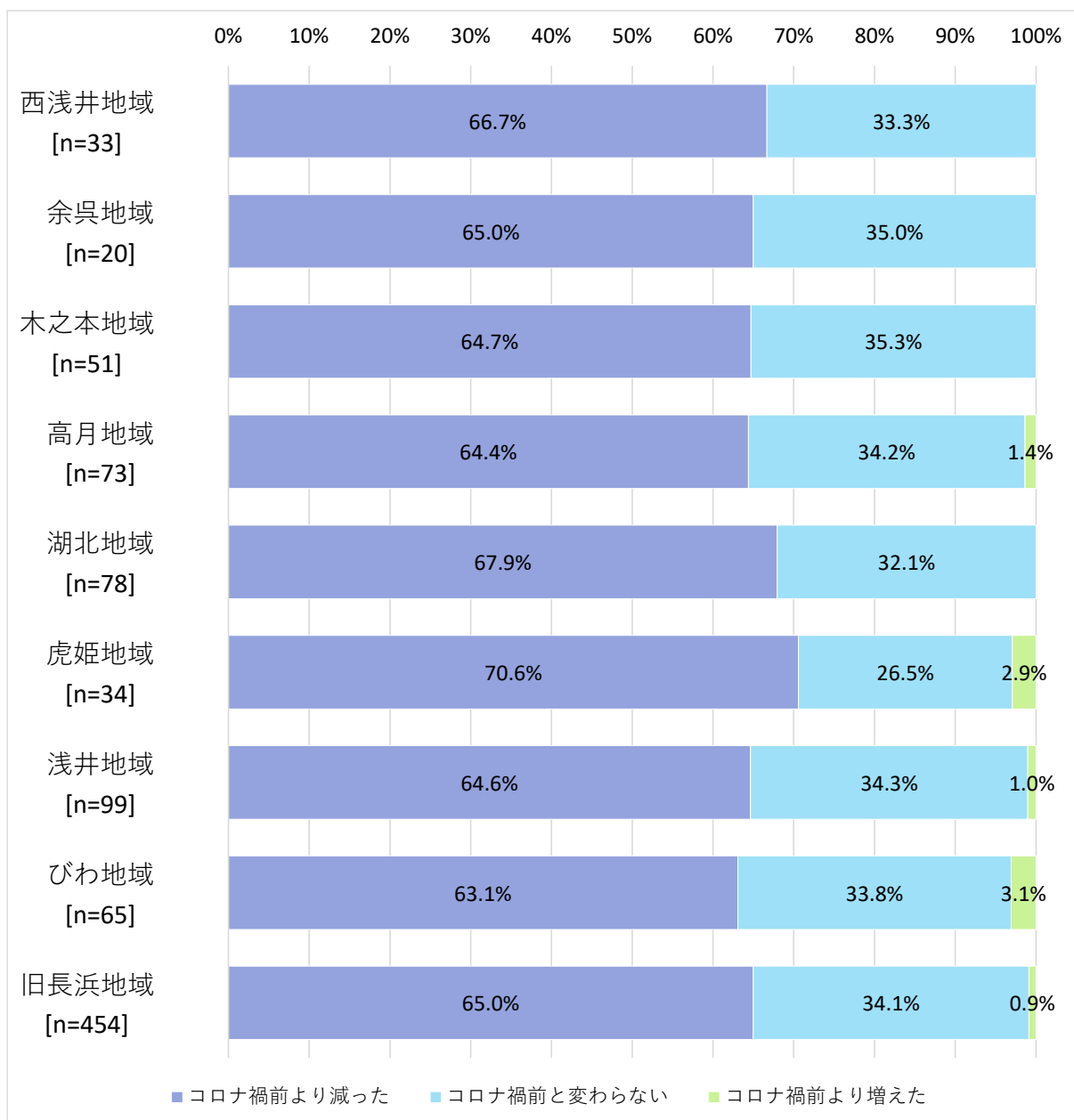


図 外出頻度の変化（居住地域別）

②地域公共交通の利用頻度

コロナ禍前と比較して、約 56%が地域公共交通の利用頻度は変わらないとしています。

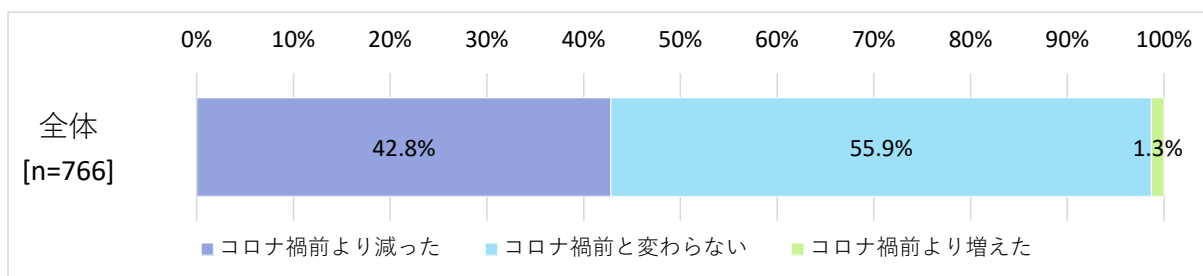


図 地域公共交通の利用頻度の変化

運転免許の有無別で見ると、運転免許を保有していない方のうち、コロナ禍前と変わらないと回答されている方が約 65%と、運転免許を保有している方で同じ回答をされている方と比較するとやや高くなっています。

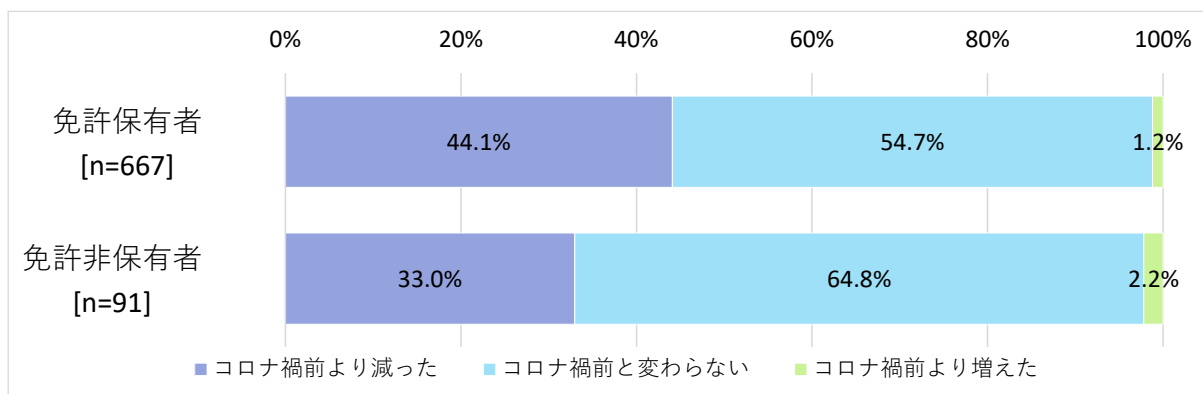


図 地域公共交通の利用頻度の変化（運転免許の有無別）

年齢層別にみると、75歳以上でコロナ禍前と変わらないとしている方が約 63%と他年齢層と比較してやや高くなっています。

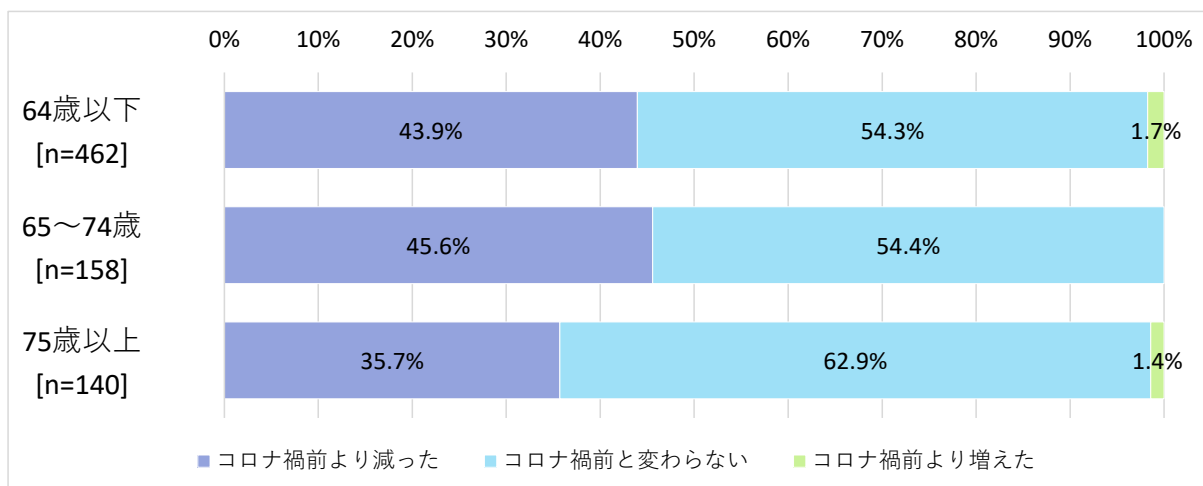


図 地域公共交通の利用頻度の変化（年齢層別）

居住地域別にみると、高月地域や浅井地域でコロナ禍前より減ったとしている方が約50%と、他地域と比較してやや多くなっています。

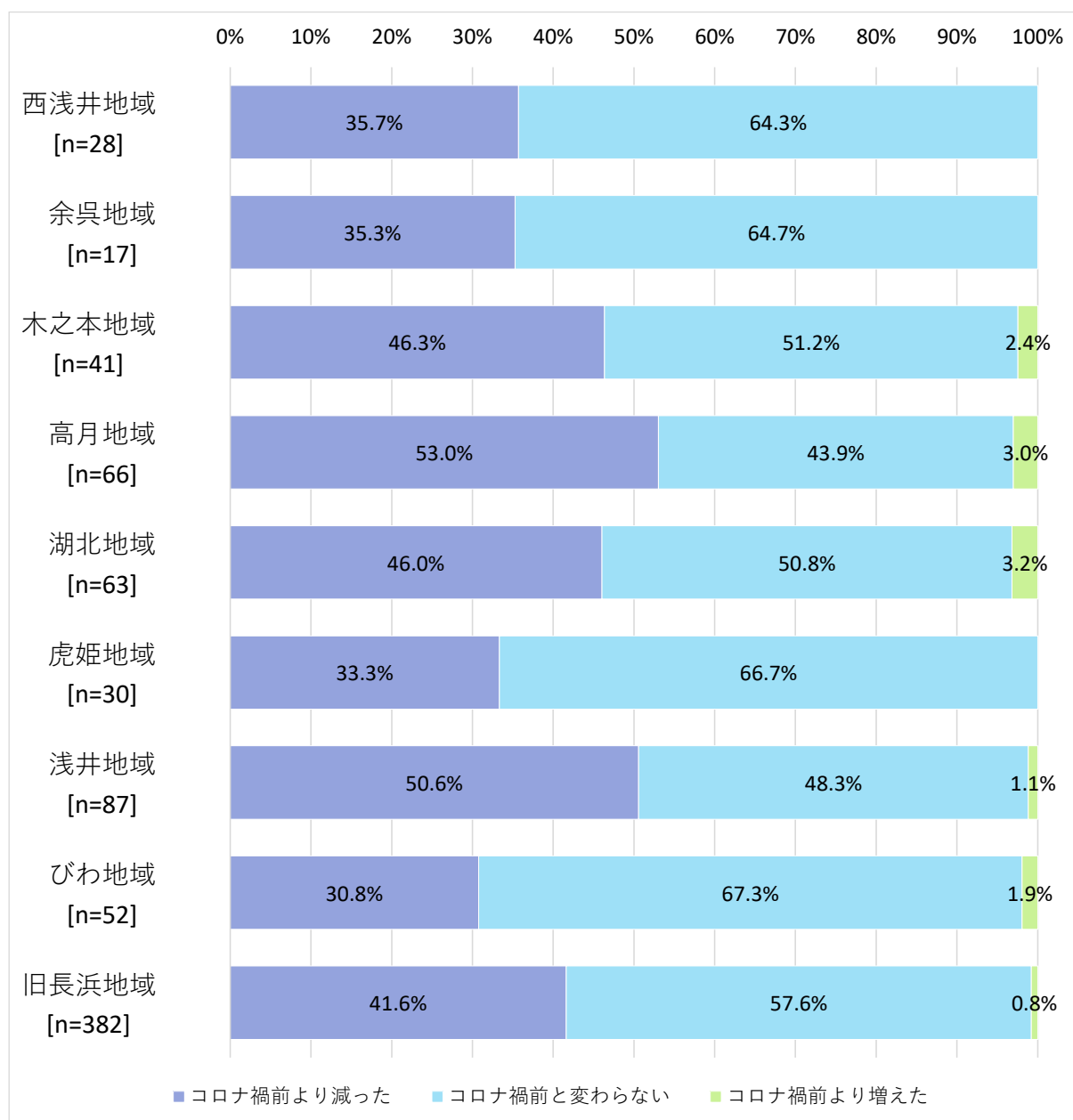


図 地域公共交通の利用頻度の変化（居住地域別）

また、コロナ禍前より減ったと回答された方のうち、自分で自動車を運転する方が約74%となっています。

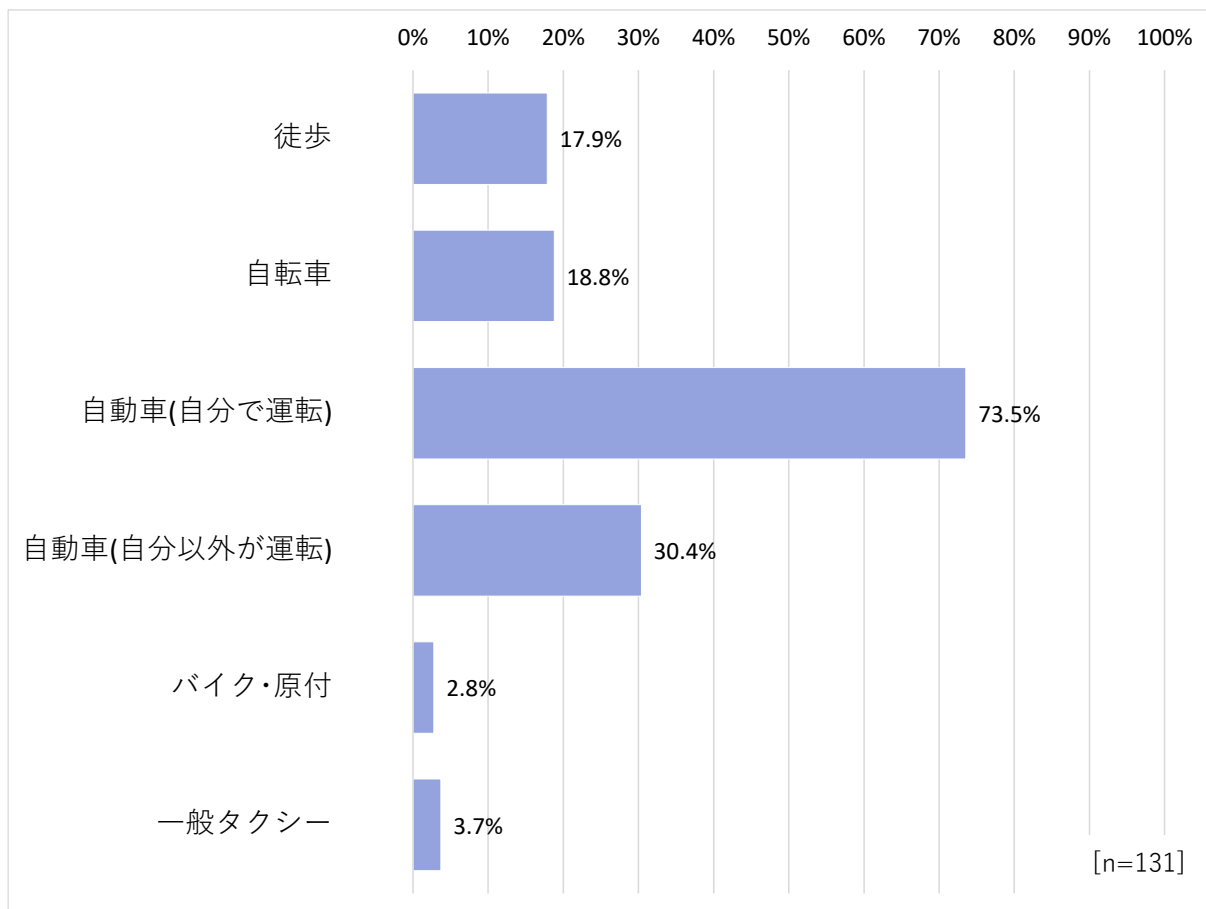


図 コロナ禍で増えた移動手段

③地域公共交通に対する感染症対策への不安

地域公共交通に対して、安心できないために利用を控えているとしている方が約31%となっています。

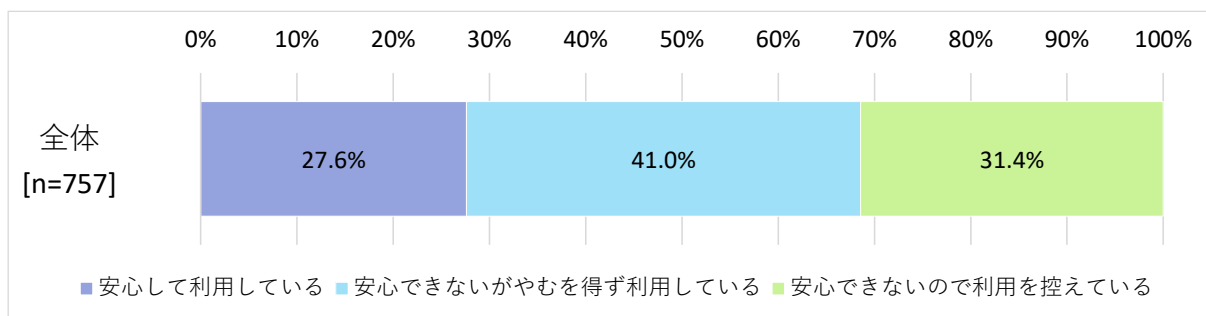


図 地域公共交通に対する安心感と利用状況

年齢層別にみると、65歳以上の方で地域公共交通に対して安心できないために利用を控えている方の割合が全体の割合に比べて多くなっています。

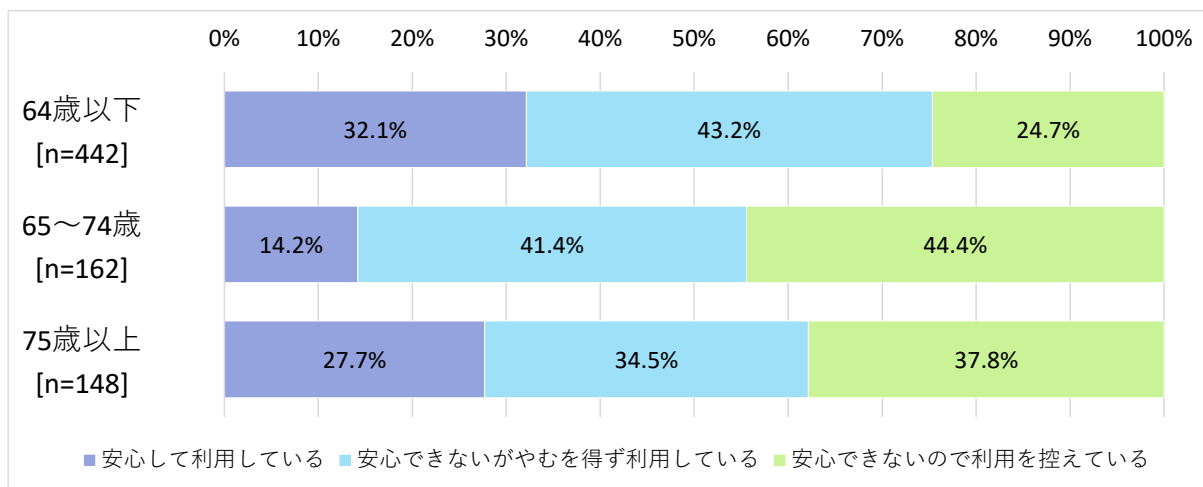


図 地域公共交通に対する安心感と利用状況（年齢層別）

居住地域別にみると、虎姫地域で安心できないがやむを得ず利用していると回答されている方の割合が約63%と他地域と比べて非常に高くなっています。

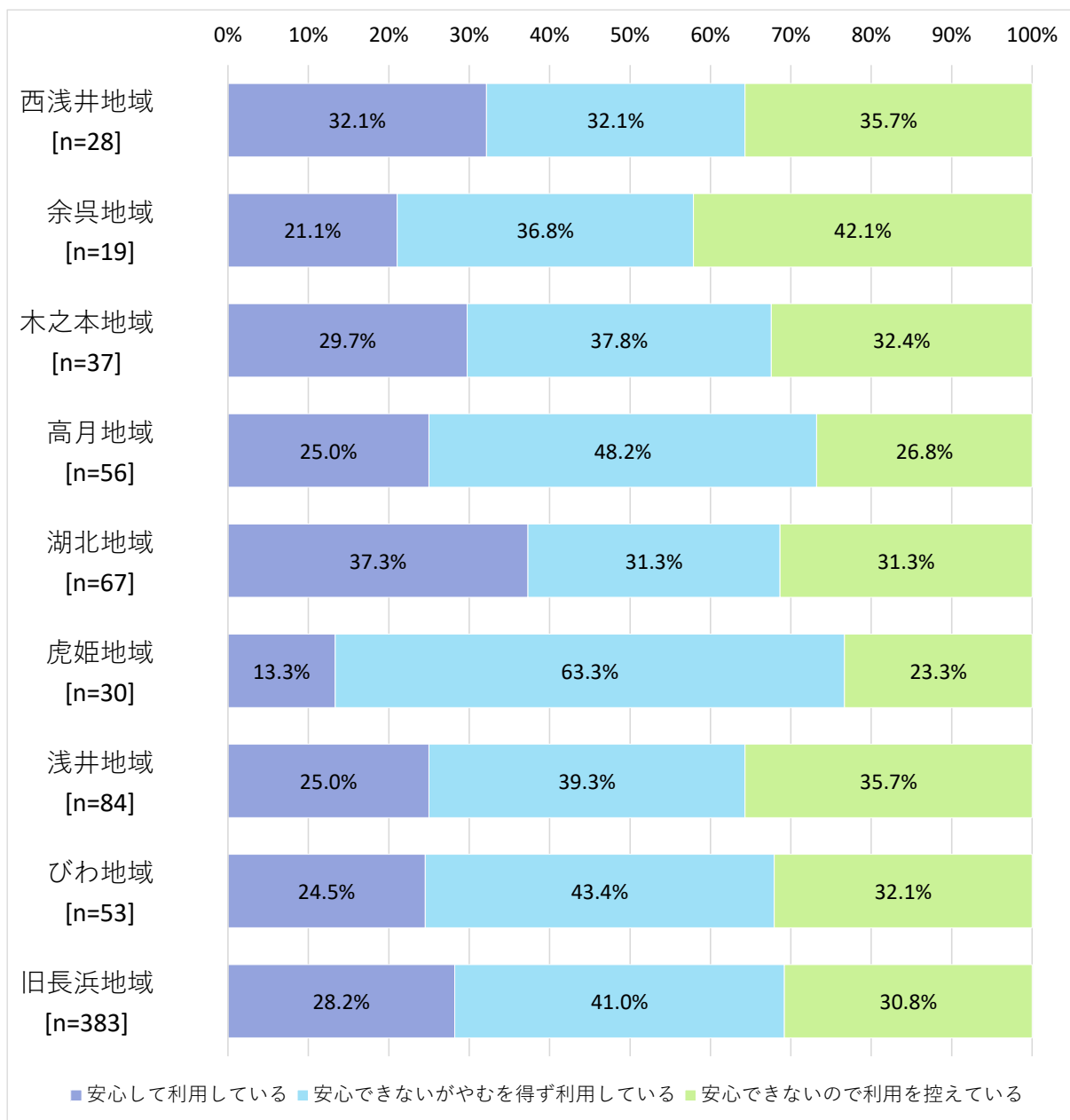


図 地域公共交通に対する安心感と利用状況（居住地域別）

1-2. 普段の移動について

(1) 通勤・通学

①外出頻度

週5日以上通勤・通学をしている方が約52%となっています。また、通勤・通学で外出されていない方が約20%となっています。

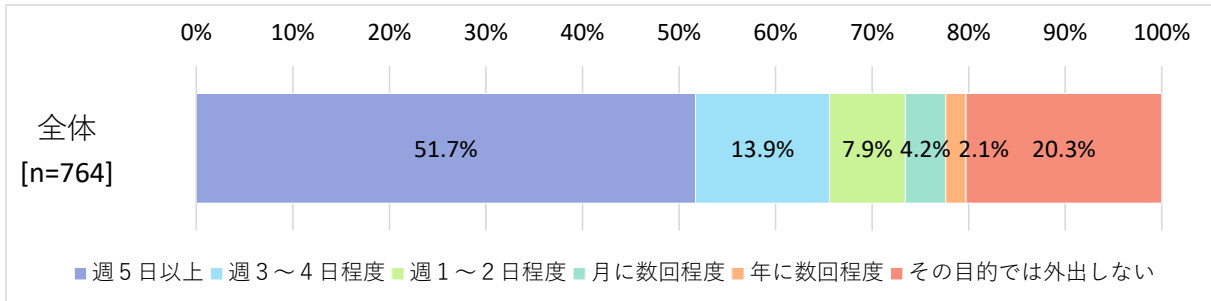


図 通勤・通学の頻度

年齢層別にみると、65歳以上になると通勤・通学による移動をしていない方が多くなっています。また、64歳以下の方において週5日以上外出している方は約72%となっています。

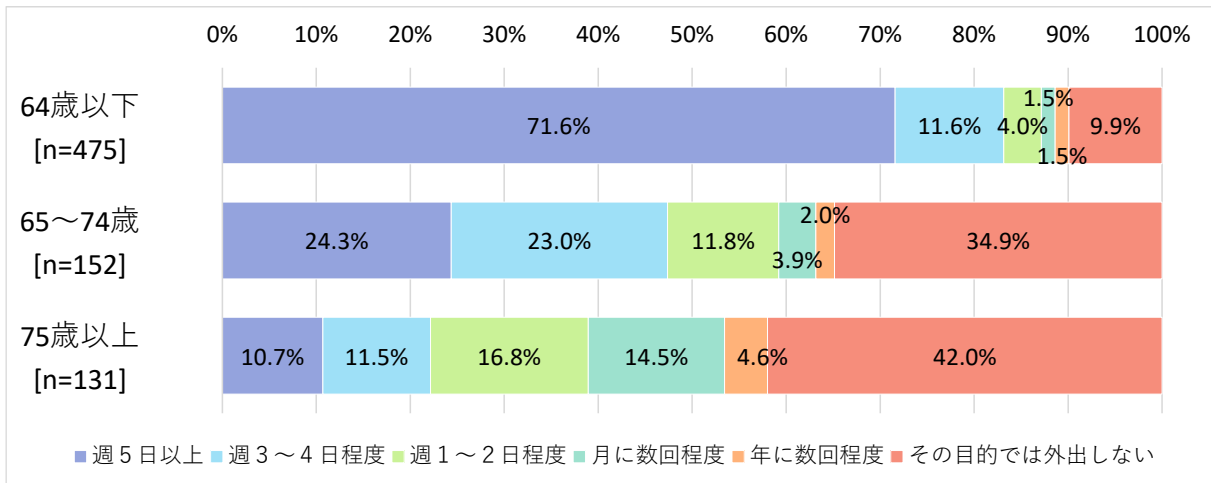


図 通勤・通学の頻度（年齢層別）

居住地域別にみると、余呉地域、木之本地域で週5日以上外出している方が40%を下回っており、他地域と比べて低くなっています。

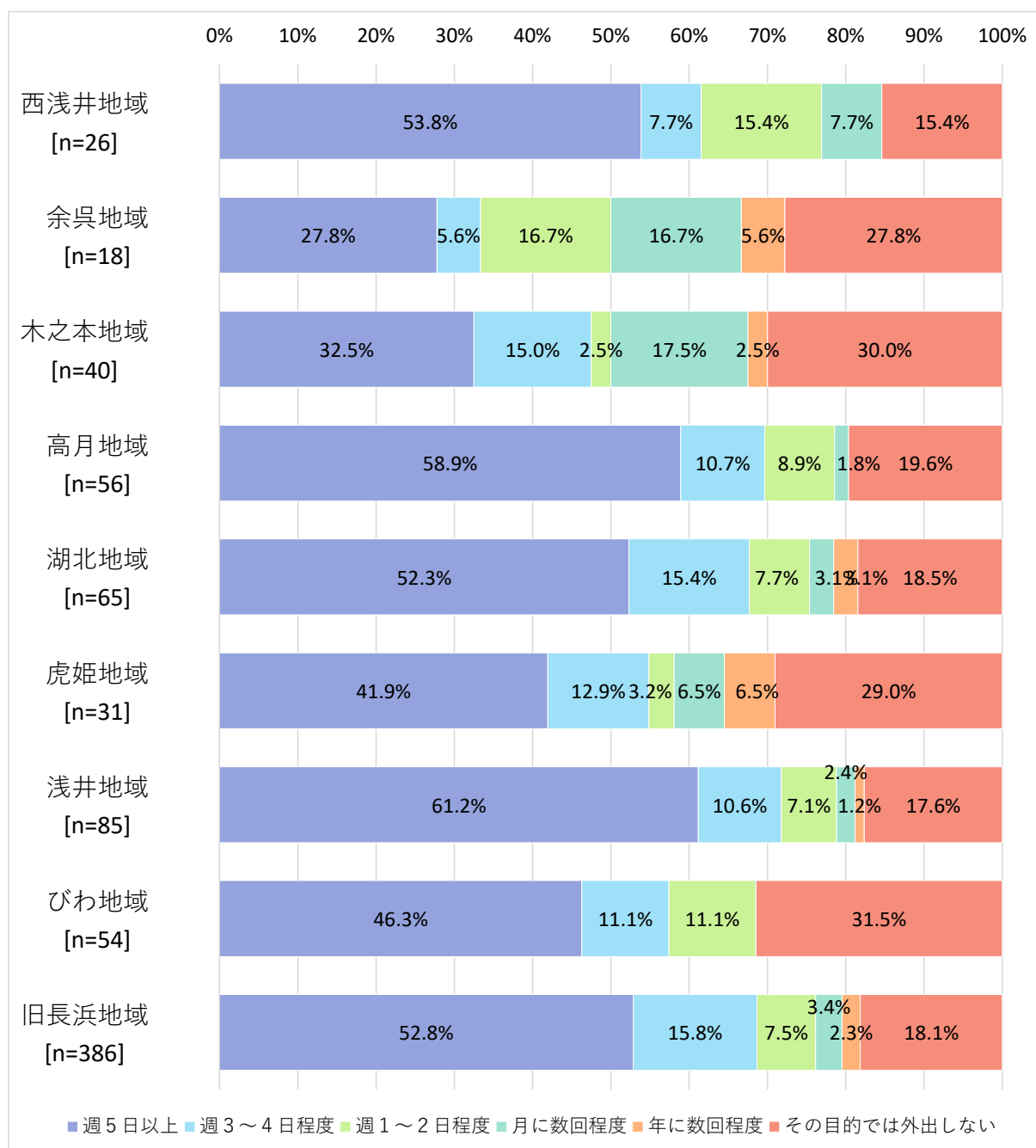


図 通勤・通学の頻度（居住地域別）

②行先

学校や企業が他の地域より多く立地している旧長浜地域に通勤・通学している方が約43%と最も多くなっています。その他には、長浜市外へ通勤・通学している方が約18%となっています。

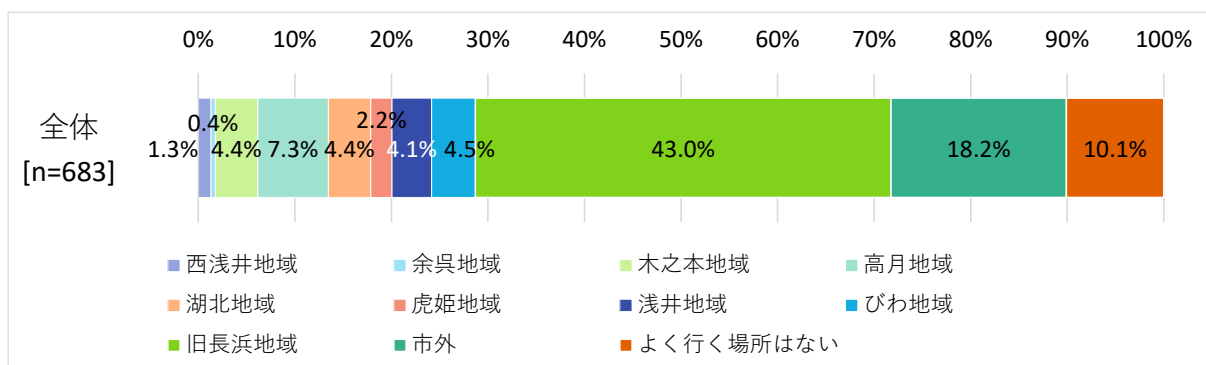


図 通勤・通学の行先

年齢層別にみると、市外へ通勤・通学している方が64歳以下において約24%となっています。

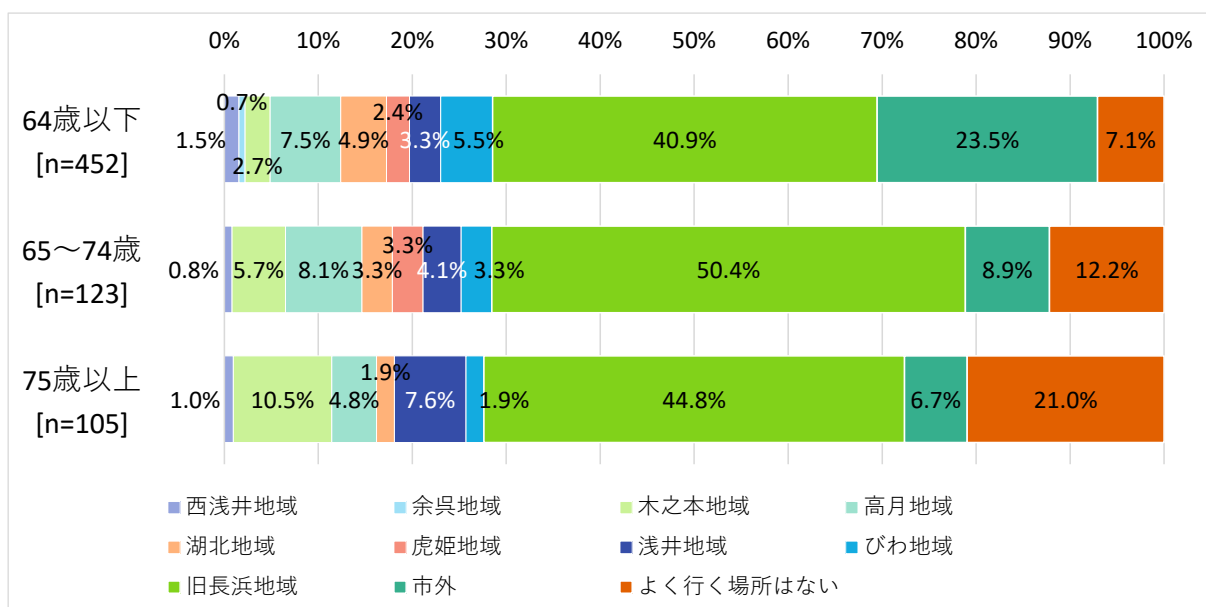


図 通勤・通学の行先（年齢層別）

居住地域別にみると、長浜市内の通勤・通学においては、西浅井地域、余呉地域、木之本地域では木之本地域に、それ以外の6地域では旧長浜地域へ通勤・通学されている方が多い傾向にあります。

市外への通勤・通学に関しては余呉地域、木之本地域、浅井地域、びわ地域の方が20%を超えています。

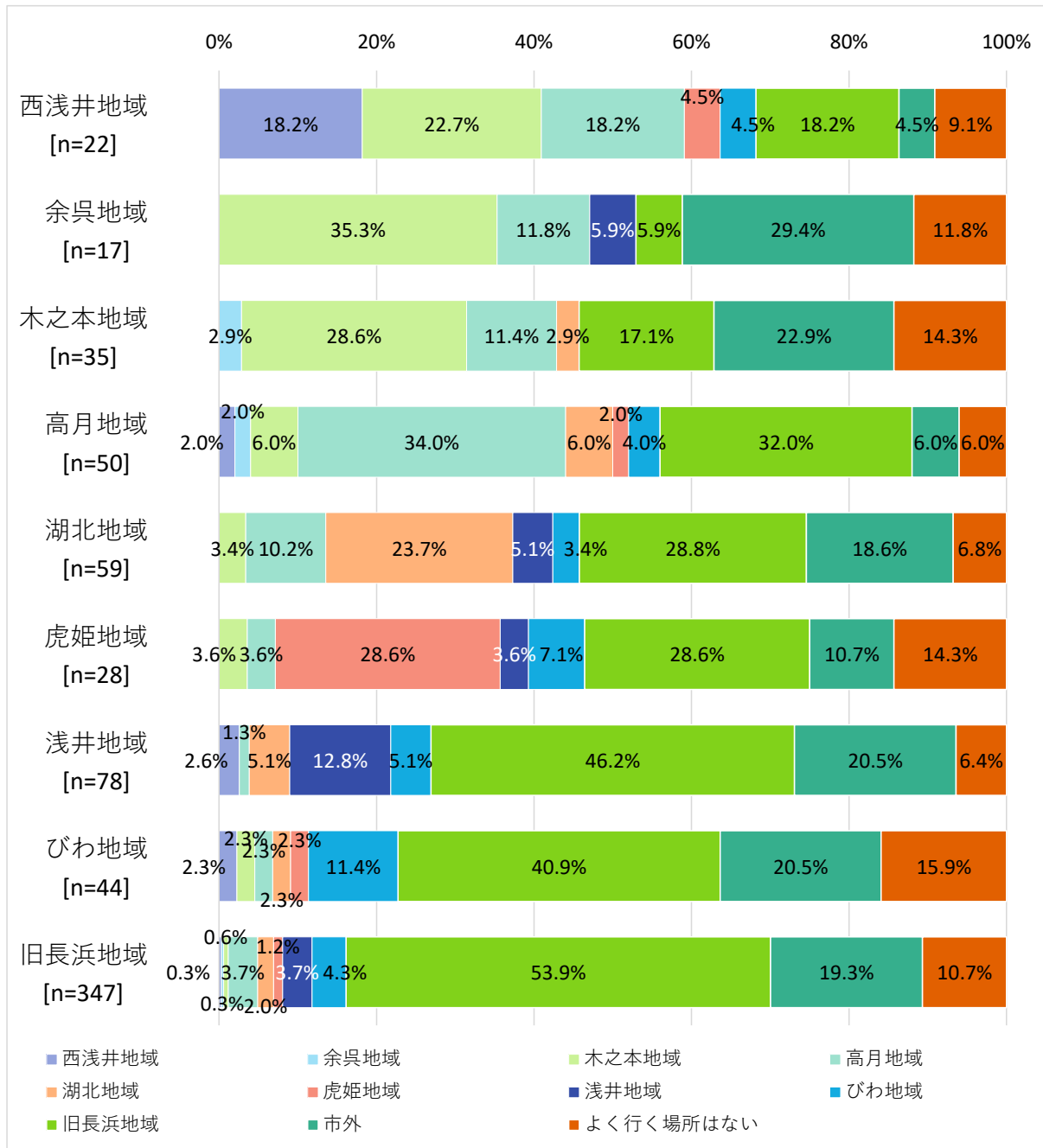
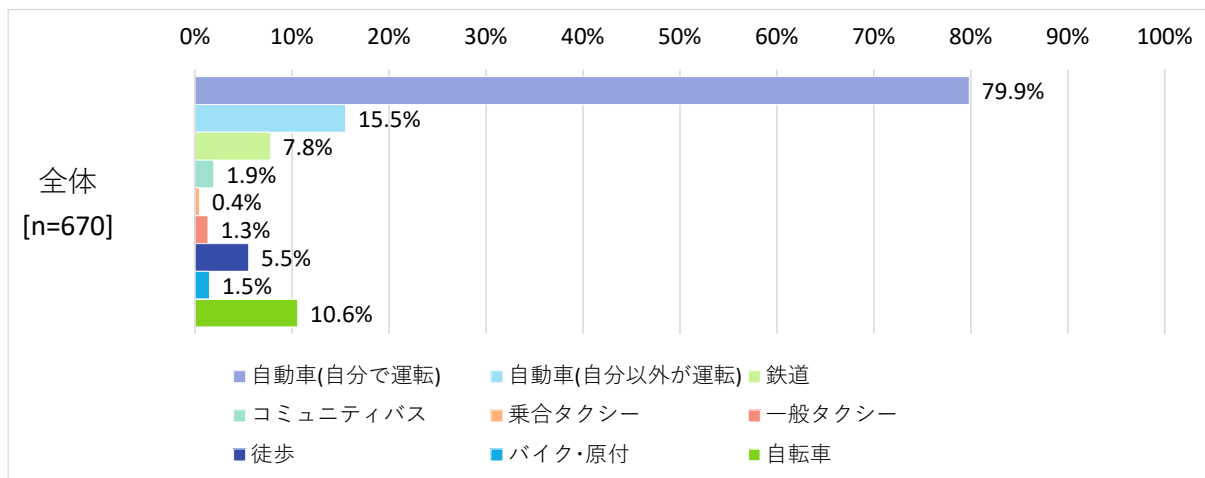


図 通勤・通学の行先（居住地域別）

③移動手段

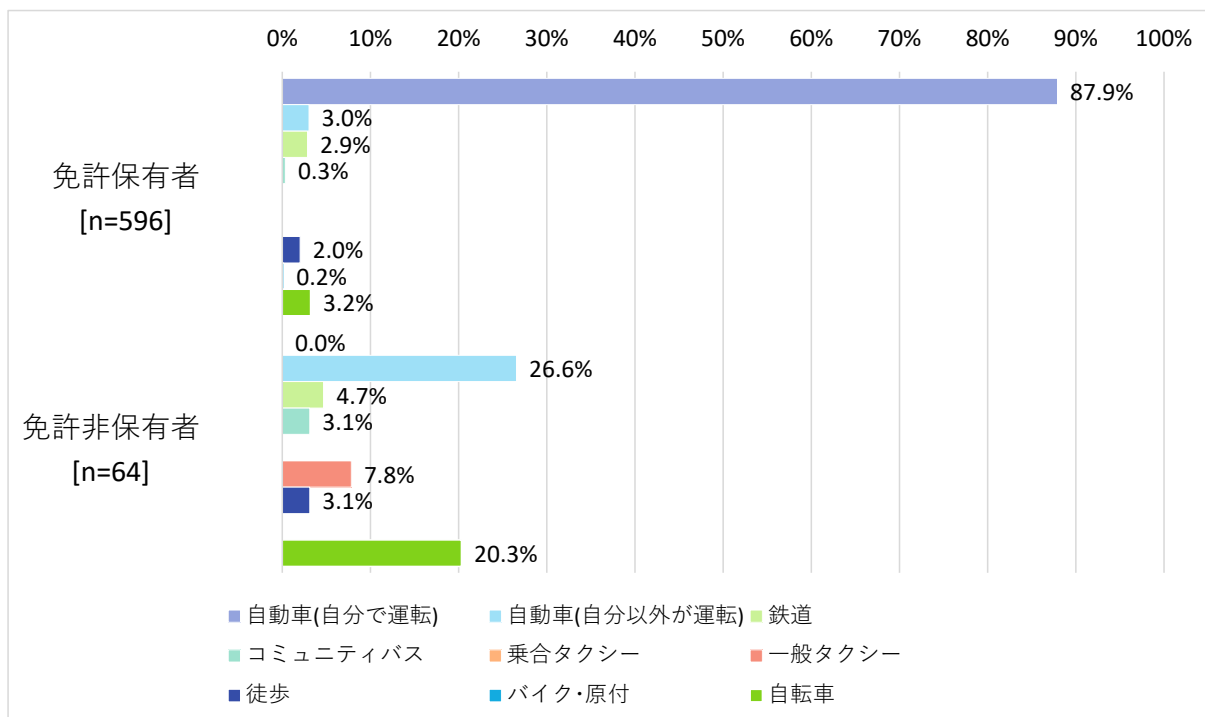
自分で自動車を運転して移動している方が約 80%と最も多くなっています。そのほかには、自分以外が運転して自動車で移動している方や自転車で移動している方が 10%を超えています。



※複数回答

図 通勤・通学の移動手段

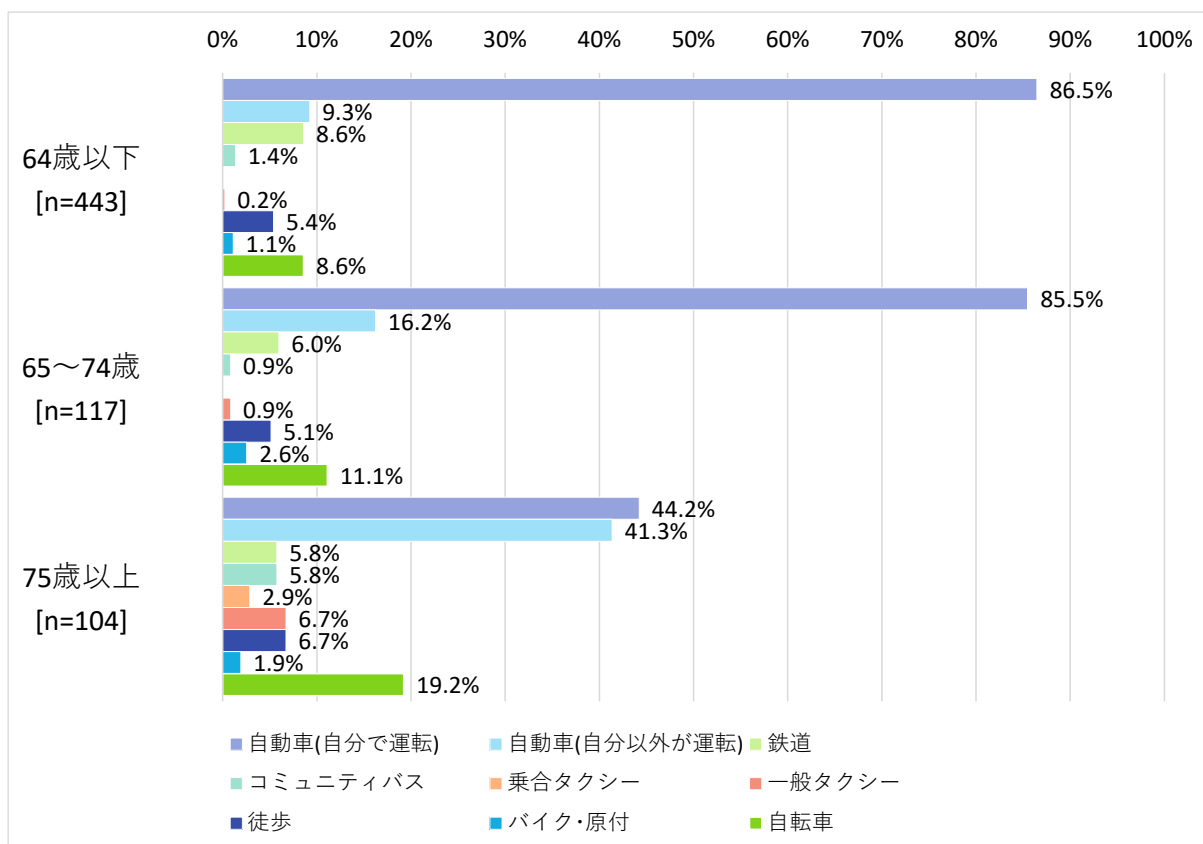
運転免許の有無別で見ると、運転免許を保有している方は自分で自動車を運転している場合が約 88%と最も多くなっており、運転免許を保有していない方は自分以外に自動車を運転してもらう場合と自転車で移動している場合が多く、それぞれ 20%を超えています。



※複数回答

図 通勤・通学の移動手段（運転免許の有無別）

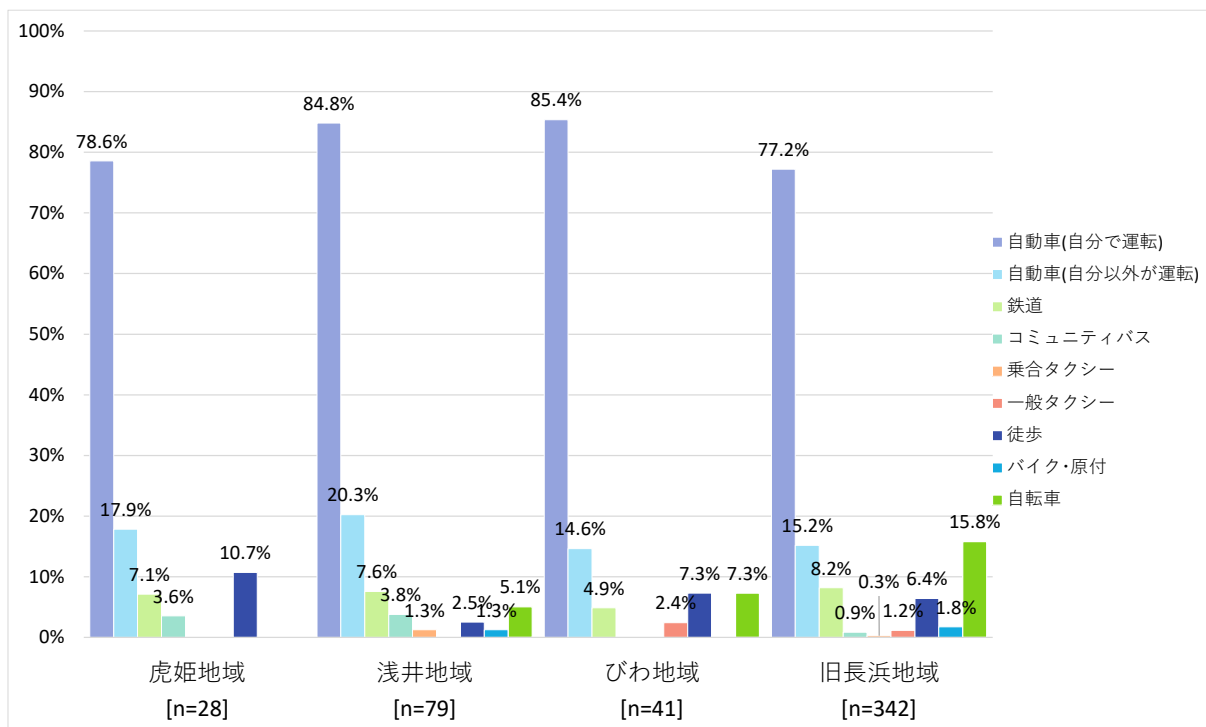
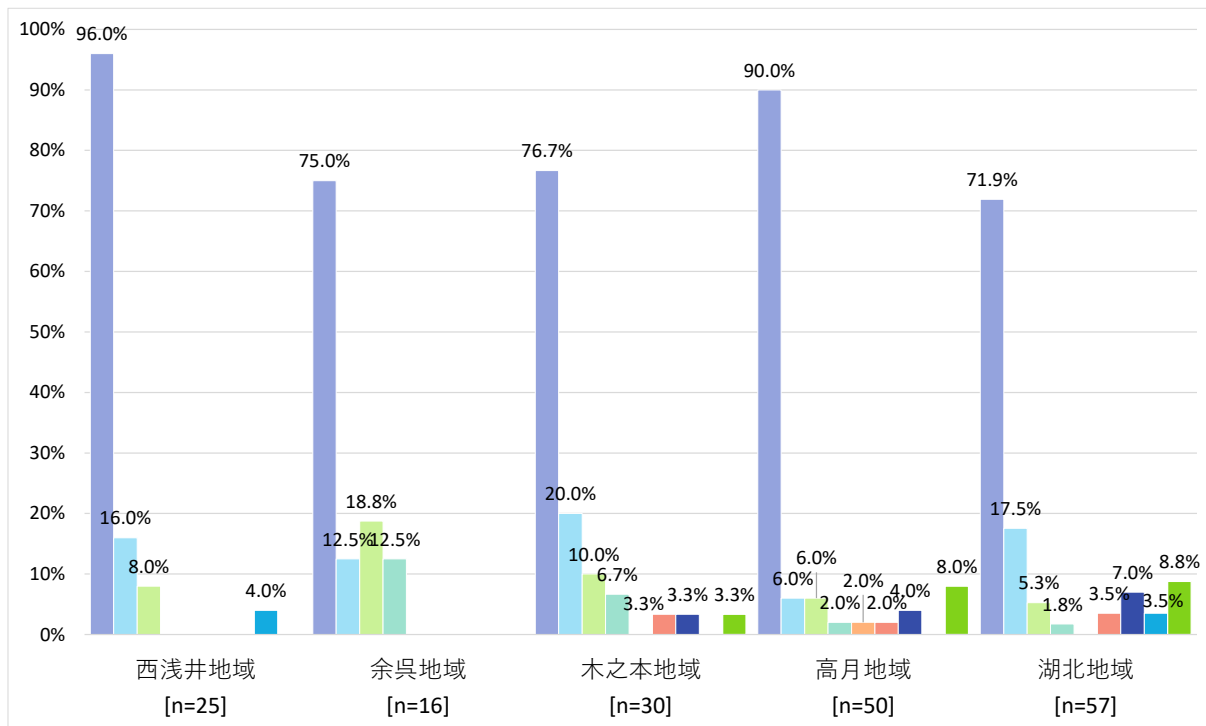
年齢層別にみると、全ての年齢層において、自分で自動車を運転するケースが多くなっています。ただし、75歳以上においては、自動車を自分で運転するケースと、自分以外に自動車を運転してもらうケースがほぼ同程度となっています。



※複数回答

図 通勤・通学の移動手段（年齢層別）

居住地域別にみると、余呉地域、木之本地域、湖北地域、虎姫地域、旧長浜地域では自分で自動車を運転して移動している方が80%を下回っており、代替となる移動手段として自分以外に自動車を運転してもらい移動される、鉄道、自転車での移動が多く見られます。余呉地域は唯一、コミュニティバスによる移動が10%を超えています。



※複数回答

図 通勤・通学の移動手段（居住地域別）

(2) 買物

①外出頻度

週1～2日程度外出している方が約49%と最も多くなっています。

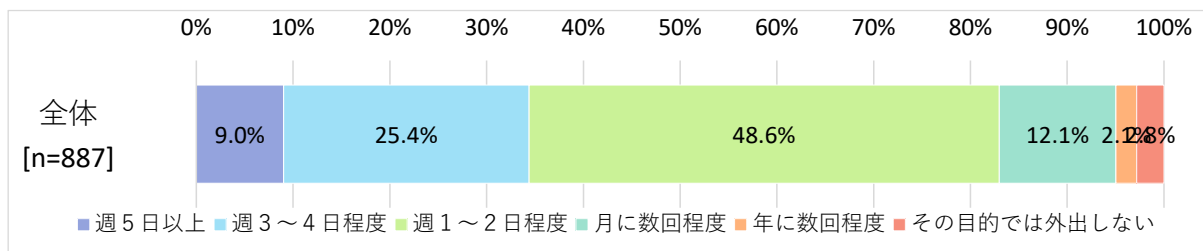


図 買物の頻度

運転免許の有無別で見ると、運転免許を保有している方のほうが買物の頻度が多く、週1日以上買物をしている方が運転免許を保有している場合 80%を超えているのに対し、運転免許を保有していない場合、60%を下回っています。

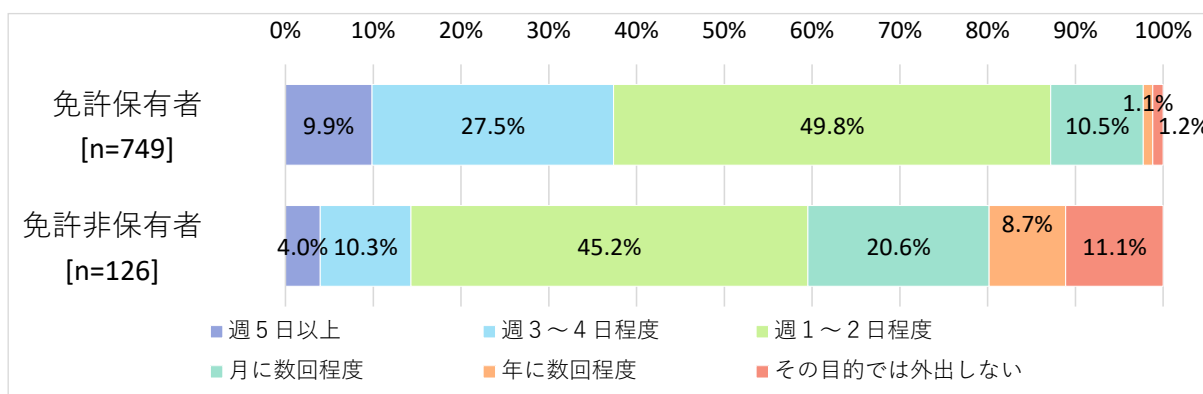


図 買物の頻度（運転免許の有無別）

年齢層別にみると、65～74歳で週3～4日程度外出している方が約35%と、他の年齢層と比べると多くなっています。一方、75歳以上になると買物の頻度が週1日未満となる方の割合が30%を超えています。

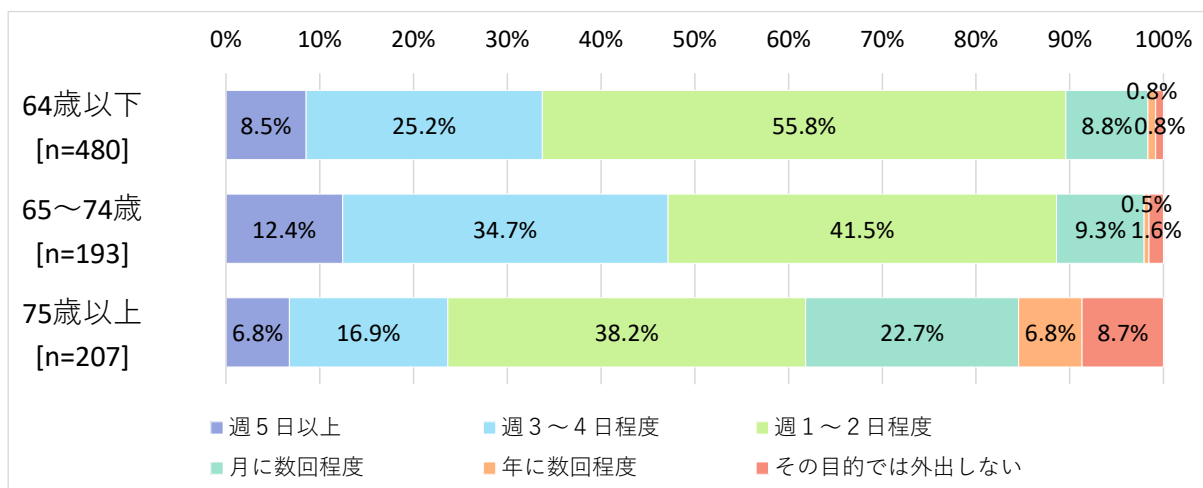


図 買物の頻度（年齢層別）

居住地域別にみると、木之本地域、高月地域、湖北地域、びわ地域、旧長浜地域で買物の頻度が週3日以上の方が30%を超えています。一方で西浅井地域、余呉地域で買物の頻度が週1日未満となっている方が30%を超えています。

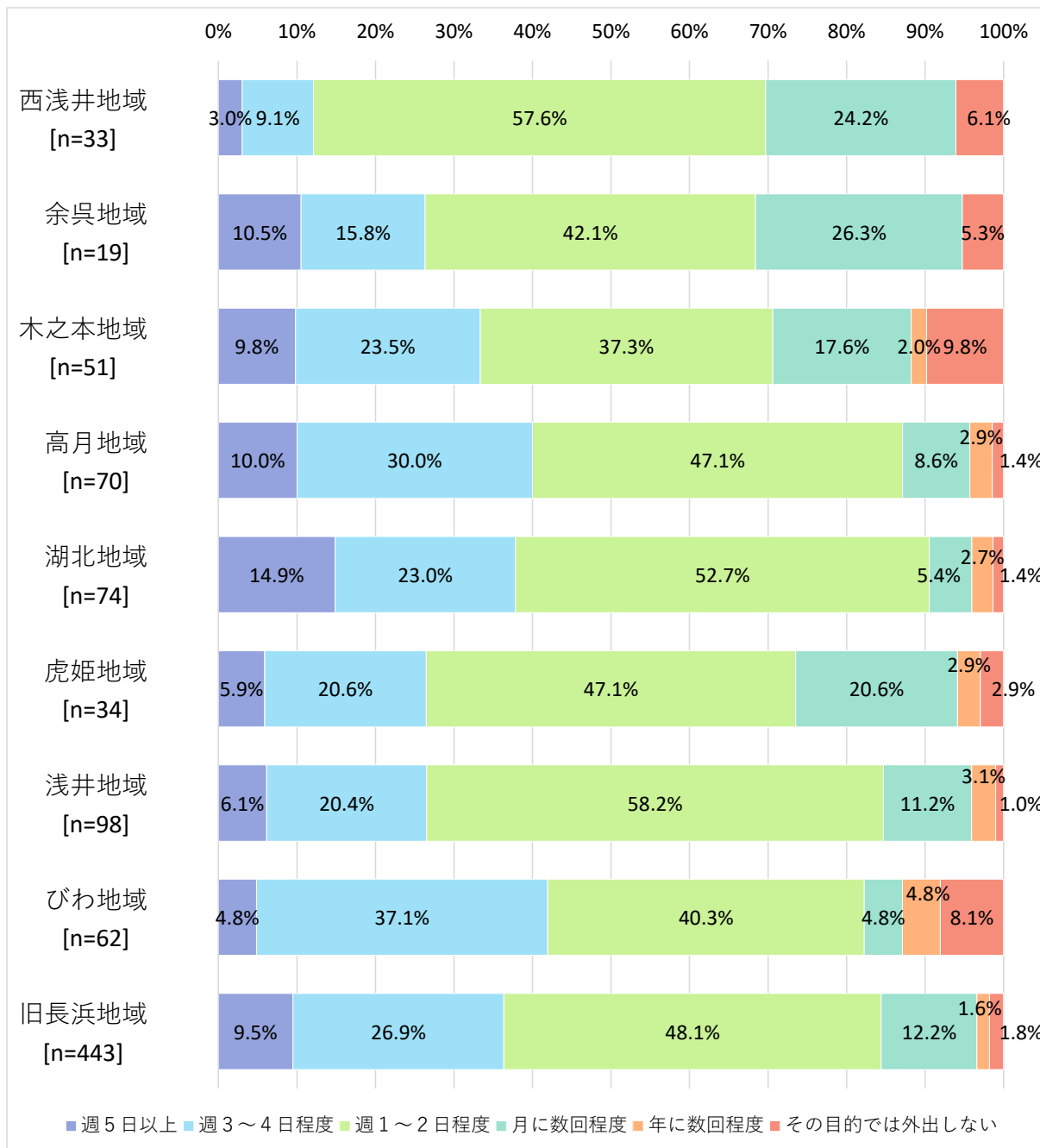
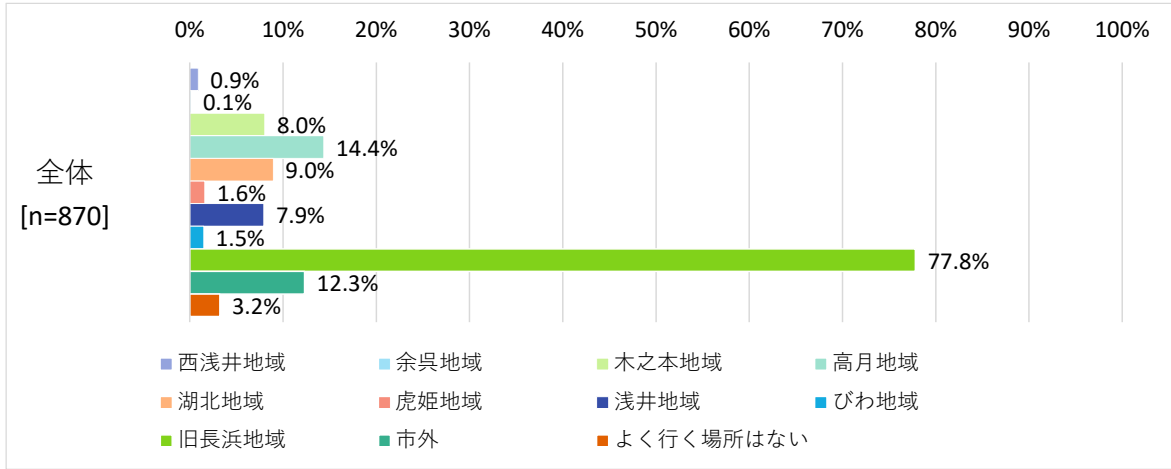


図 買物の頻度（居住地域別）

②行先

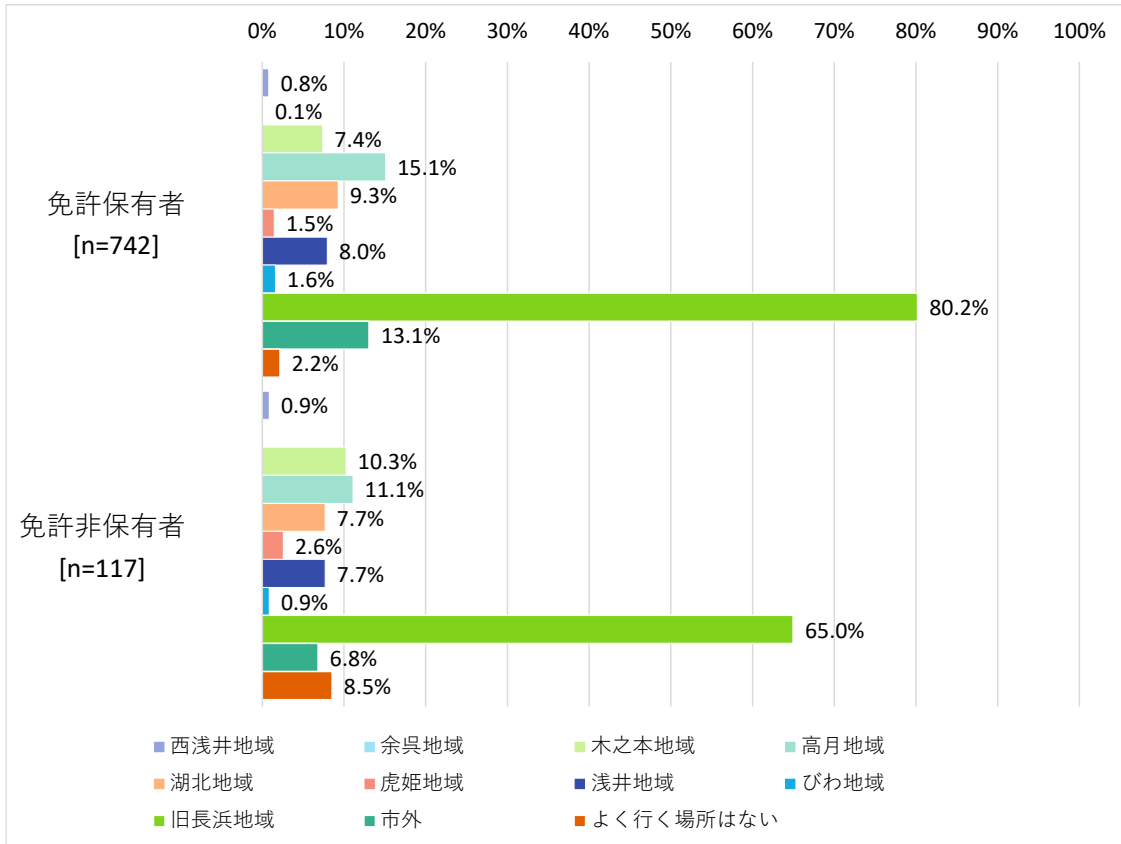
旧長浜地域に移動している方が約 78%と最も多くなっており、そのほかに高月地域、長浜市外に移動されている方が10%を超えています。



※複数回答

図 買物の行先

運転免許の有無別で見ると、運転免許を保有していない方は、運転免許を保有している方と比べ、旧長浜地域へ移動している方が少なくなり、他地域への移動が増えています。



※複数回答

図 買物の行先（運転免許の有無別）

また、回答者の居住地に対する行き先を運転免許の有無別でみると、西浅井地域、余呉地域、びわ地域以外では、居住地域内で買物をしており、運転免許の有無で行先に大きな影響は見られません。

【免許保有者（回答者数 742人）】

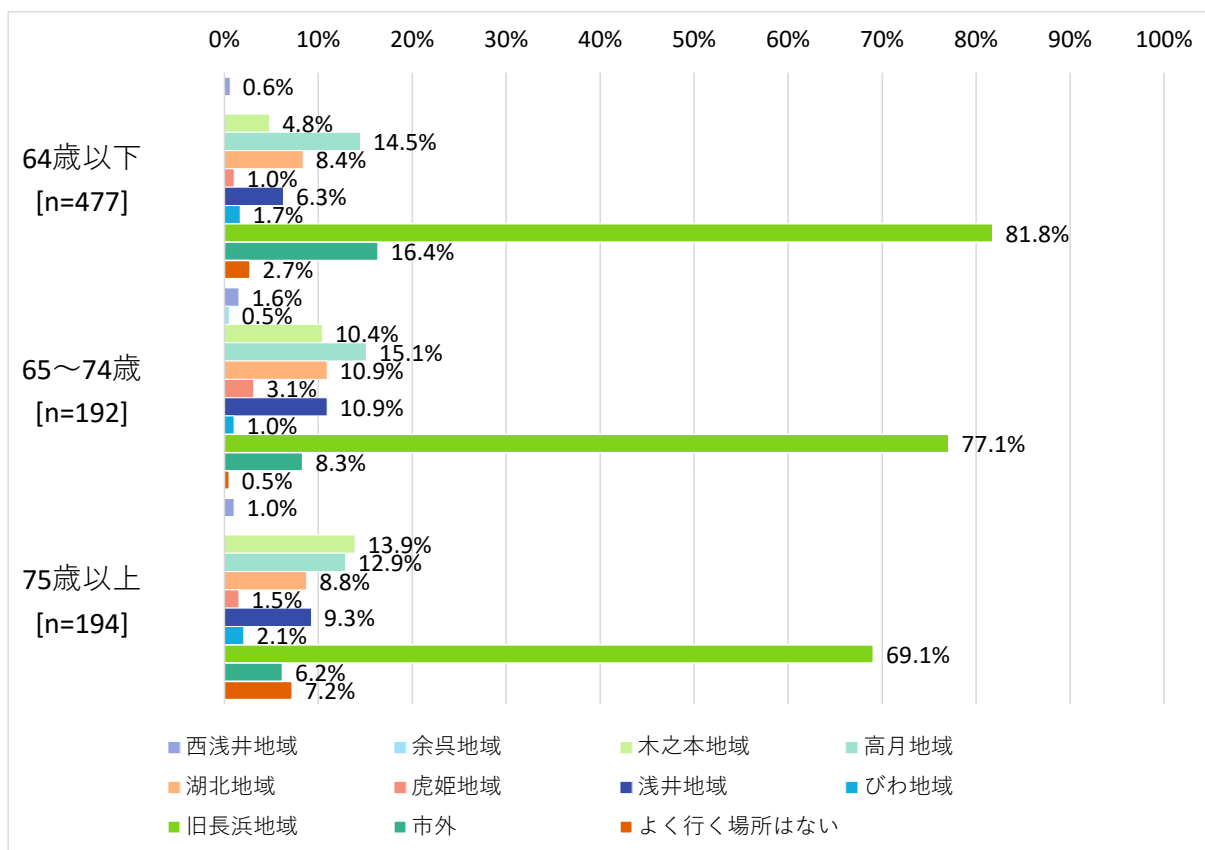
居住地	西浅井地域	余呉地域	木之本地域	高月地域	湖北地域	虎姫地域	浅井地域	びわ地域	旧長浜地域	合計
行き先										
西浅井地域	2件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	3件	6件
[合計件数 6]	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%
余呉地域	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	1件
[合計件数 1]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
木之本地域	15件	11件	22件	6件	1件	0件	0件	0件	0件	55件
[合計件数 55]	27.3%	20.0%	40.0%	10.9%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
高月地域	13件	3件	21件	41件	14件	3件	6件	6件	5件	112件
[合計件数 112]	11.6%	2.7%	18.8%	36.6%	12.5%	2.7%	5.4%	5.4%	4.5%	100.0%
湖北地域	0件	0件	3件	10件	36件	4件	3件	6件	7件	69件
[合計件数 69]	0.0%	0.0%	4.3%	14.5%	52.2%	5.8%	4.3%	8.7%	10.1%	100.0%
虎姫地域	0件	0件	0件	0件	0件	9件	2件	0件	0件	11件
[合計件数 11]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.8%	18.2%	0.0%	0.0%	100.0%
浅井地域	0件	0件	0件	0件	2件	2件	40件	0件	15件	59件
[合計件数 59]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%	3.4%	67.8%	0.0%	25.4%	100.0%
びわ地域	0件	0件	0件	0件	0件	1件	1件	8件	2件	12件
[合計件数 12]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	66.7%	16.7%	100.0%
旧長浜地域	15件	6件	17件	35件	33件	22件	65件	53件	348件	594件
[合計件数 594]	2.5%	1.0%	2.9%	5.9%	5.6%	3.7%	10.9%	8.9%	58.6%	100.0%
市外	7件	1件	3件	1件	5件	3件	8件	2件	67件	97件
[合計件数 97]	7.2%	1.0%	3.1%	1.0%	5.2%	3.1%	8.2%	2.1%	69.1%	100.0%
よく行く場所はない	0件	0件	0件	3件	1件	1件	1件	1件	9件	16件
[合計件数 16]	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	6.3%	6.3%	6.3%	6.3%	56.3%	100.0%

【免許保有者（回答者数 117人）】

居住地	西浅井地域	余呉地域	木之本地域	高月地域	湖北地域	虎姫地域	浅井地域	びわ地域	旧長浜地域	合計
行き先										
西浅井地域	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件
[合計件数 1]	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
余呉地域	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
[合計件数 0]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
木之本地域	2件	3件	4件	2件	1件	0件	0件	0件	0件	12件
[合計件数 12]	16.7%	25.0%	33.3%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
高月地域	0件	1件	0件	8件	3件	0件	0件	0件	1件	13件
[合計件数 13]	0.0%	7.7%	0.0%	61.5%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	100.0%
湖北地域	0件	0件	0件	1件	7件	0件	1件	0件	0件	9件
[合計件数 9]	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	77.8%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%
虎姫地域	0件	0件	0件	0件	0件	3件	0件	0件	0件	3件
[合計件数 3]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
浅井地域	0件	0件	0件	0件	0件	0件	8件	0件	0件	8件
[合計件数 8]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
びわ地域	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	1件
[合計件数 1]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
旧長浜地域	1件	0件	0件	4件	3件	1件	9件	4件	54件	76件
[合計件数 76]	1.3%	0.0%	0.0%	5.3%	3.9%	1.3%	11.8%	5.3%	71.1%	100.0%
市外	0件	0件	2件	0件	0件	0件	1件	0件	5件	8件
[合計件数 8]	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	62.5%	100.0%
よく行く場所はない	0件	0件	3件	0件	1件	0件	0件	0件	6件	10件
[合計件数 10]	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	100.0%

※複数回答、行き先の地域で移動割合が最も多い居住地を橙色で表記している。

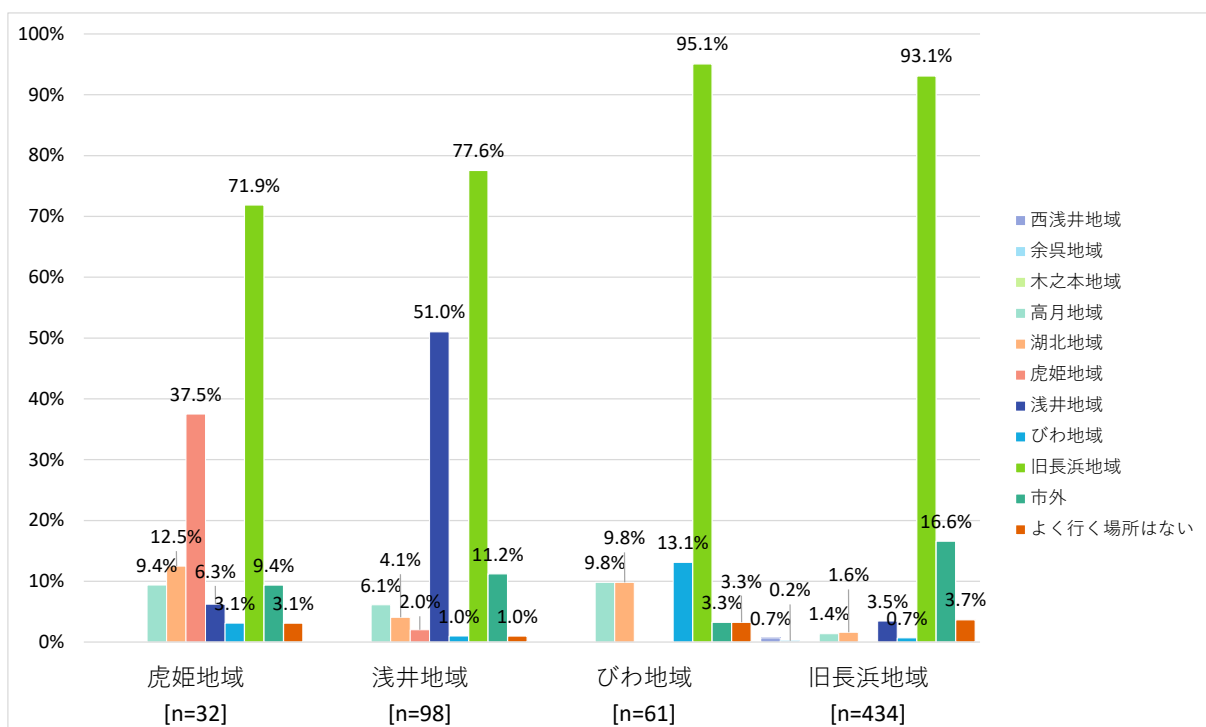
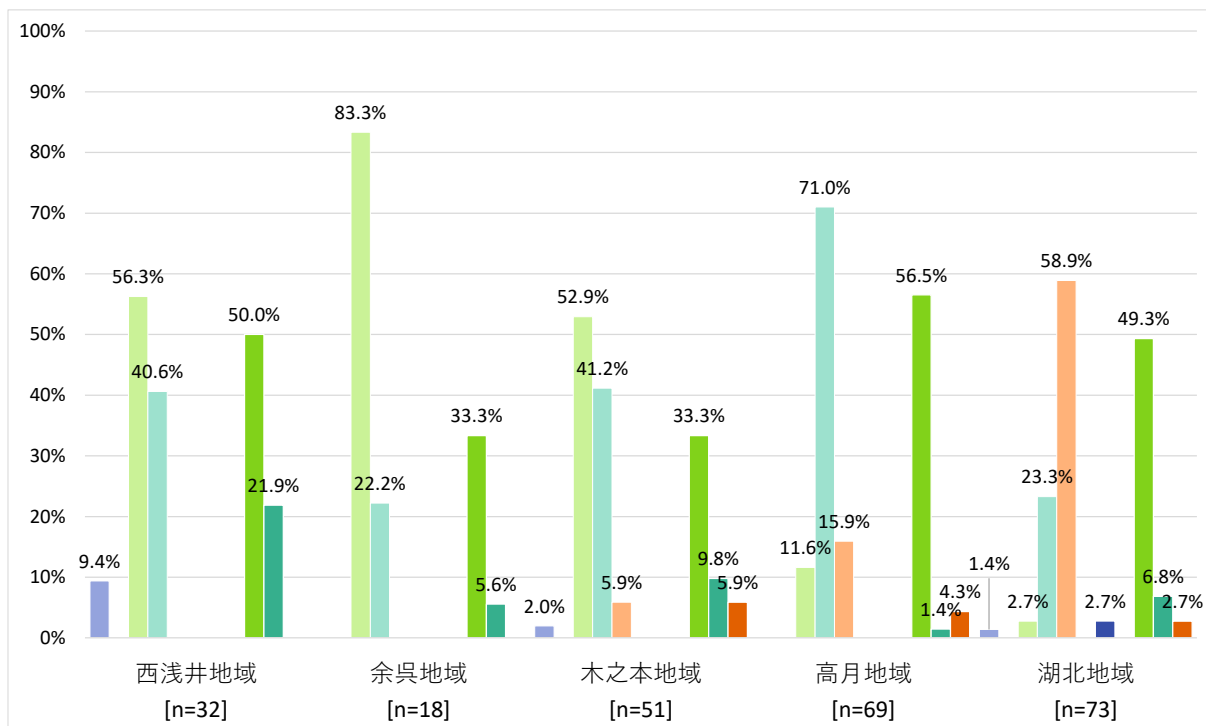
年齢層別にみると、年齢が高くなるほど旧長浜地域、市外へ買物に行く方の割合が減少しています。



※複数回答

図 買物の行先（年齢層別）

居住地域別にみると、西浅井地域、余呉地域、木之本地域、湖北地域において、旧長浜地域への移動が50%を下回っており、西浅井地域、余呉地域、木之本地域では木之本地域に、湖北地域では湖北地域内へ移動している方が最も多くなっています。

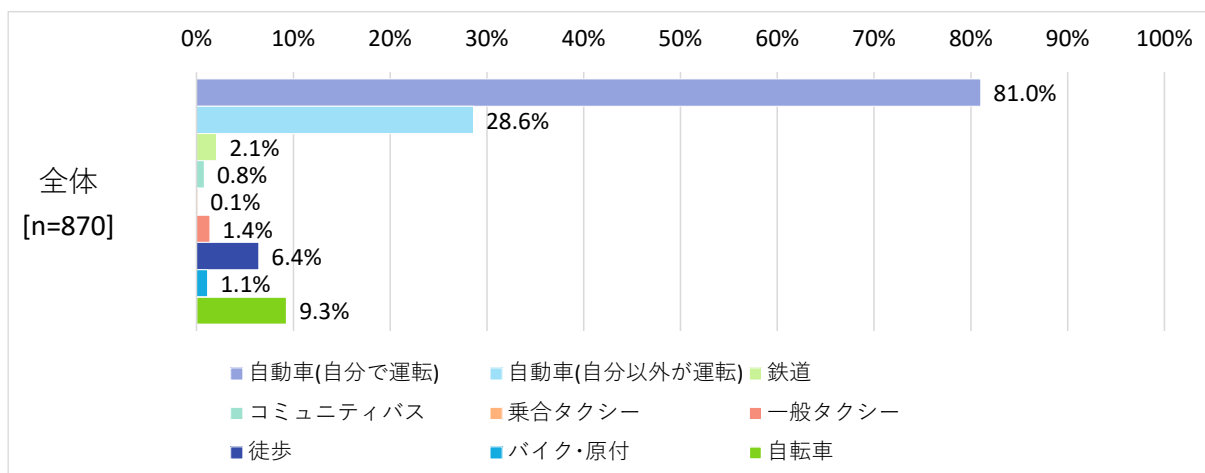


※複数回答

図 買物の行先（居住地域別）

③移動手段

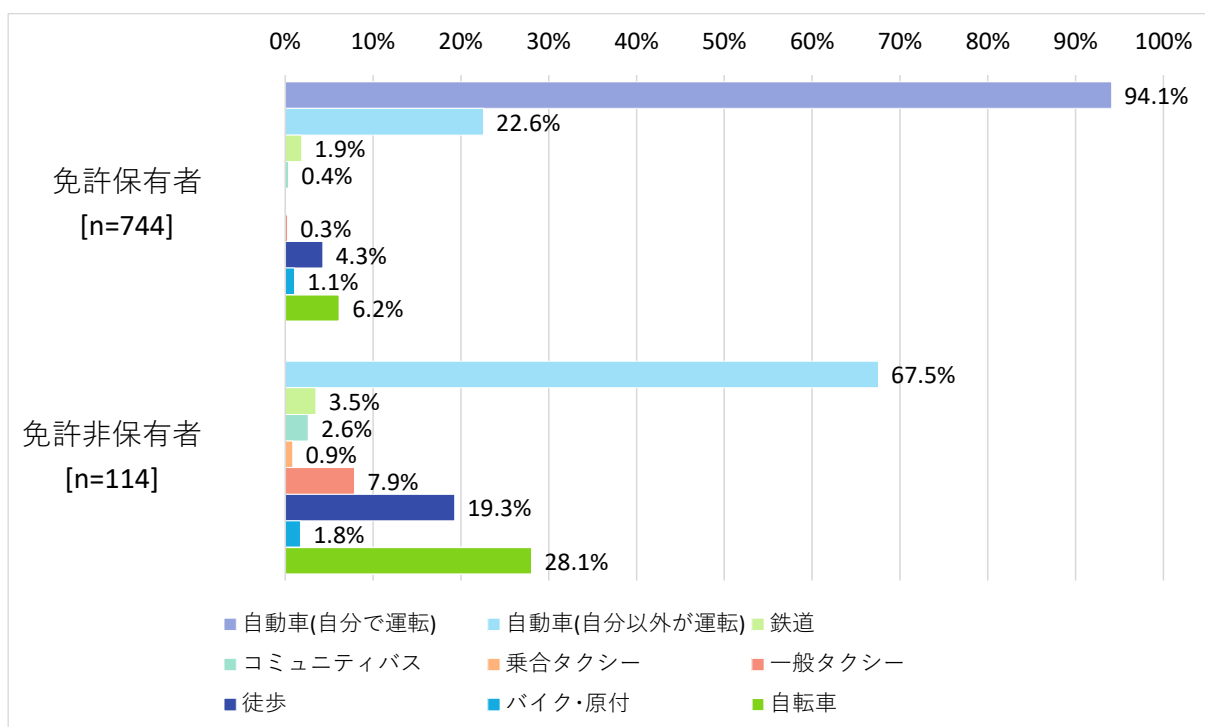
自分で自動車を運転して移動している方が約 81%と最も多くなっています。そのほかには、自分以外が運転して自動車で移動している方が約 29%、自転車で移動している方が約 9%となっています。



※複数回答

図 買物の移動手段

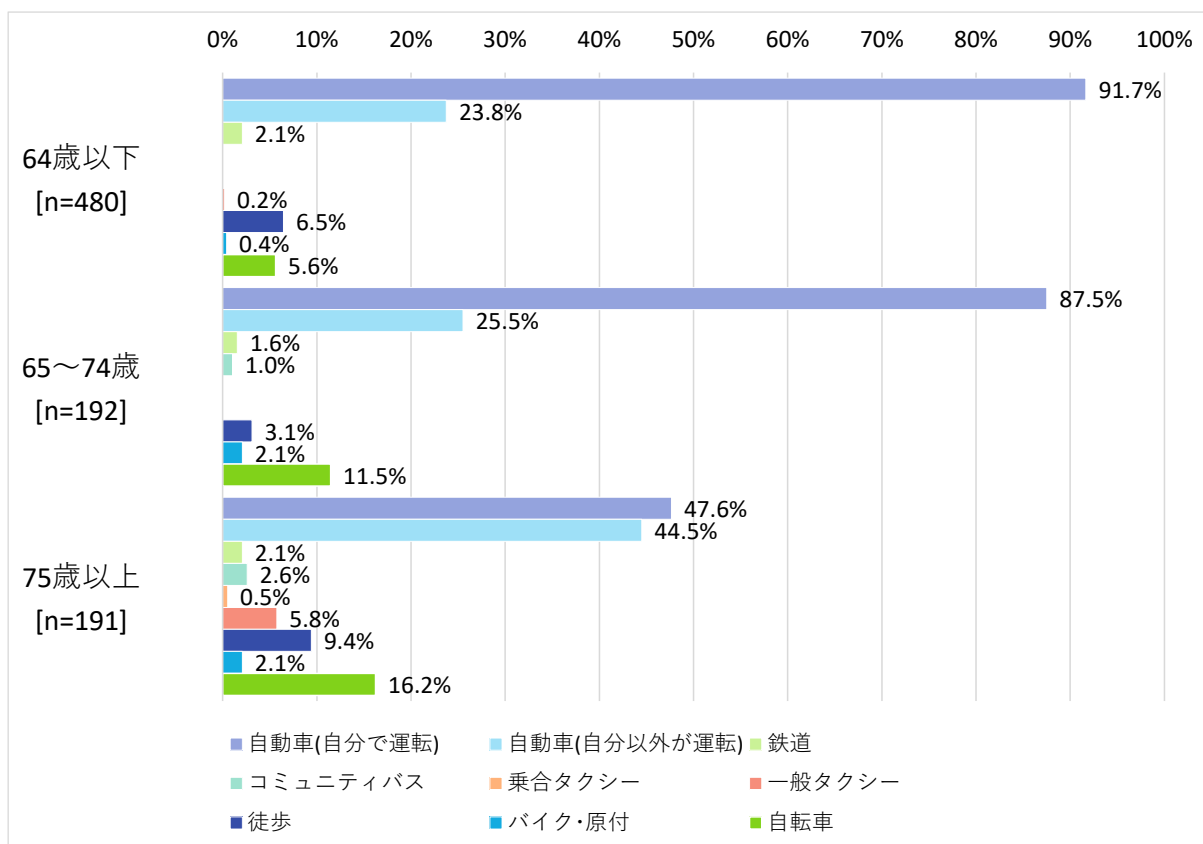
運転免許の有無別で見ると、運転免許を保有している方は自分で自動車を運転している場合が約 94%と最も多くなっており、運転免許を保有していない方は自動車（自分以外が運転）もしくは自転車で移動が多く、それぞれ約 68%、約 28%となっています。



※複数回答

図 買物の移動手段（運転免許の有無別）

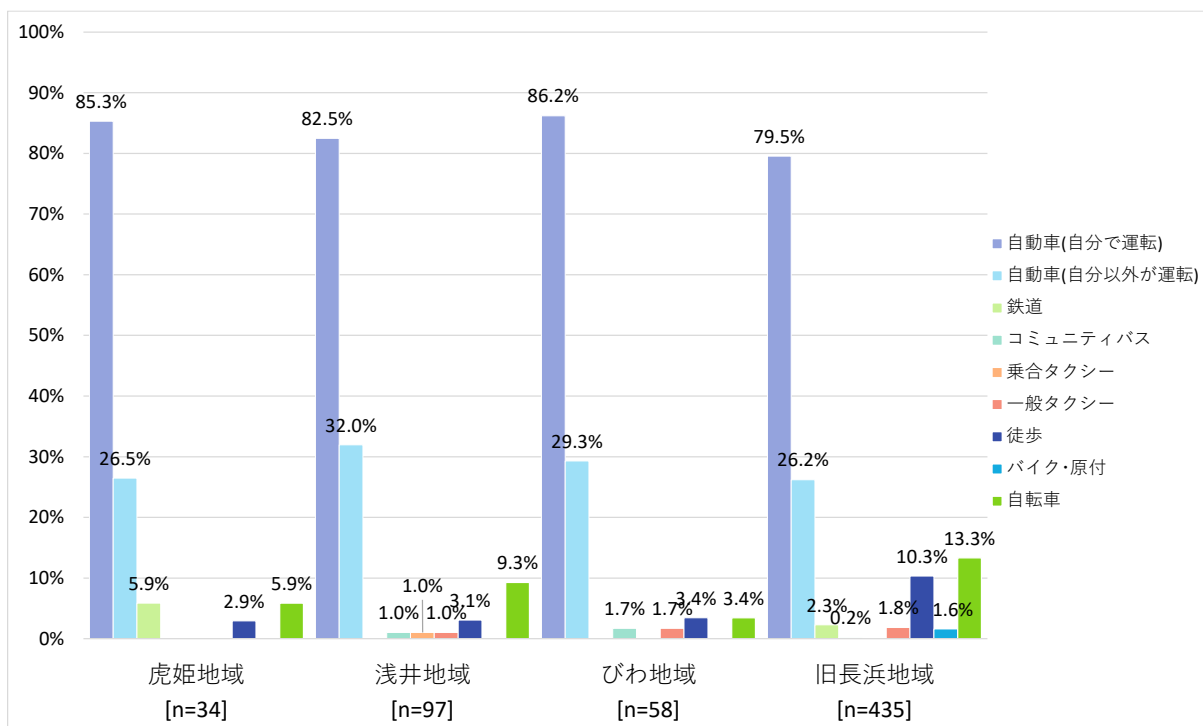
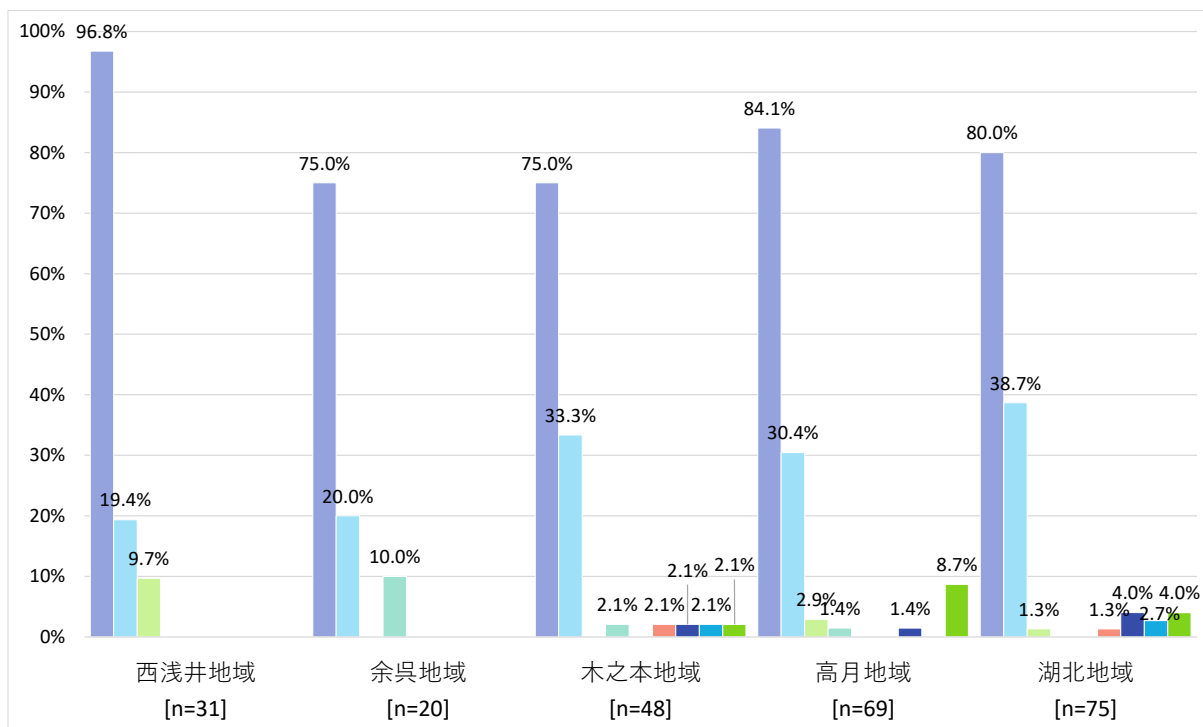
年齢層別にみると、全ての年齢層において、自分で自動車を運転するケースが多くなっています。ただし、75歳以上においては、自動車を自分で運転するケースと、自分以外に自動車を運転してもらうケースがほぼ同程度となっています。



※複数回答

図 買物の移動手段（年齢層別）

居住地域別にみると、余呉地域、木之本地域、旧長浜地域では自分で自動車を運転して移動している方が 80%を下回っており、代替となる移動手段として自分以外に自動車を運転してもらうことで移動している方が多く見られます。



※複数回答

図 買物の移動手段（居住地域別）

(3) 通院

①外出頻度

年に数回程度外出している方が約 46%と最も多くなっており、週に1日以上通院している方は5%を下回っています。

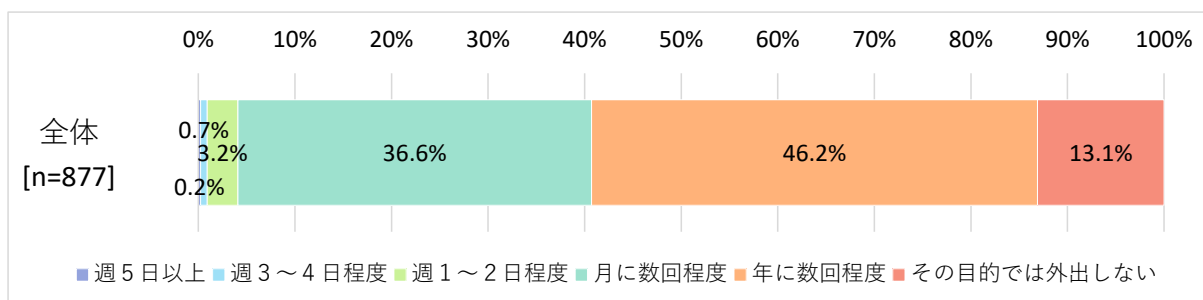


図 通院の頻度

運転免許の有無別で見ると、運転免許を所有していない人の方が通院する頻度は多くなっています。

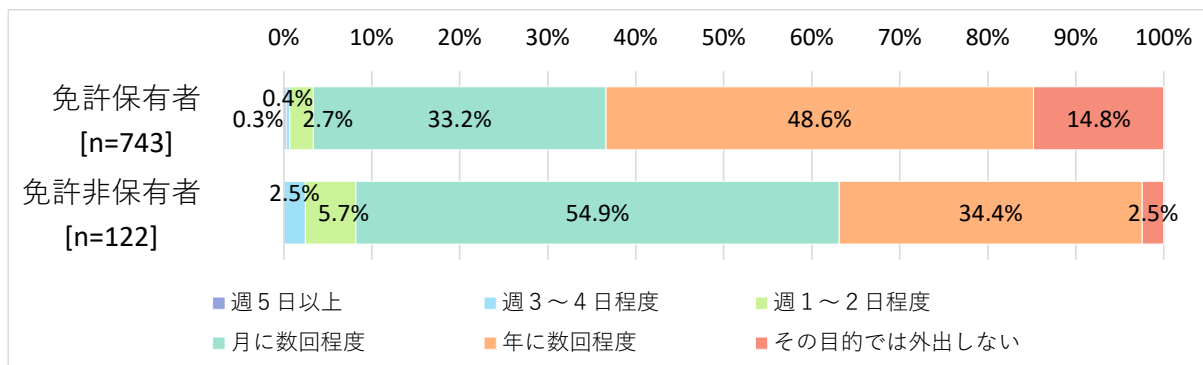


図 通院の頻度（運転免許の有無別）

年齢層別にみると、65歳以上から通院の頻度が増えている方が多くなっており、75歳以上の場合、週1回以上通院している方が10%を超えています。

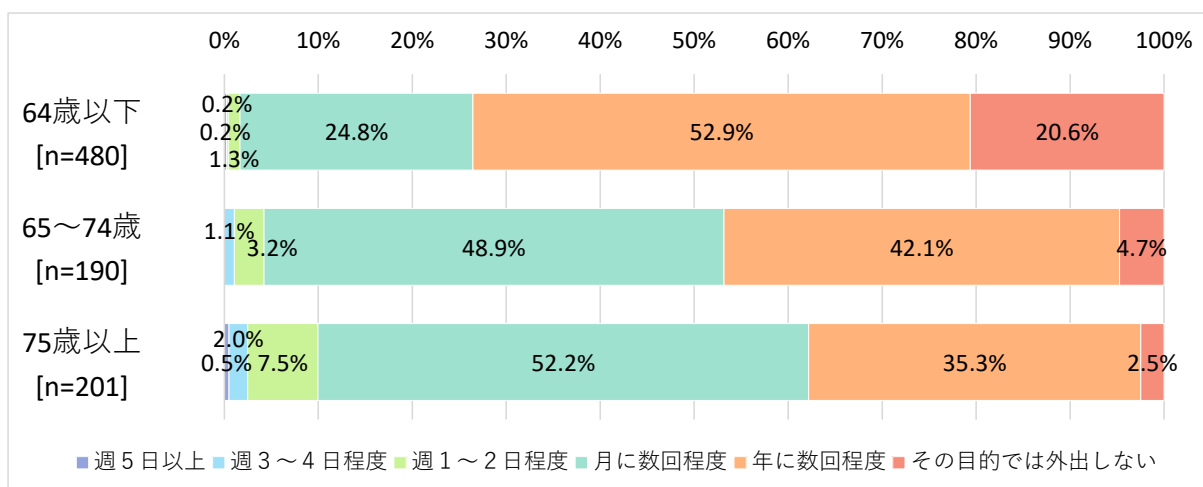


図 通院の頻度（年齢層別）

居住地域別にみると、湖北地域で週1回以上通院している方が10%を超えています。

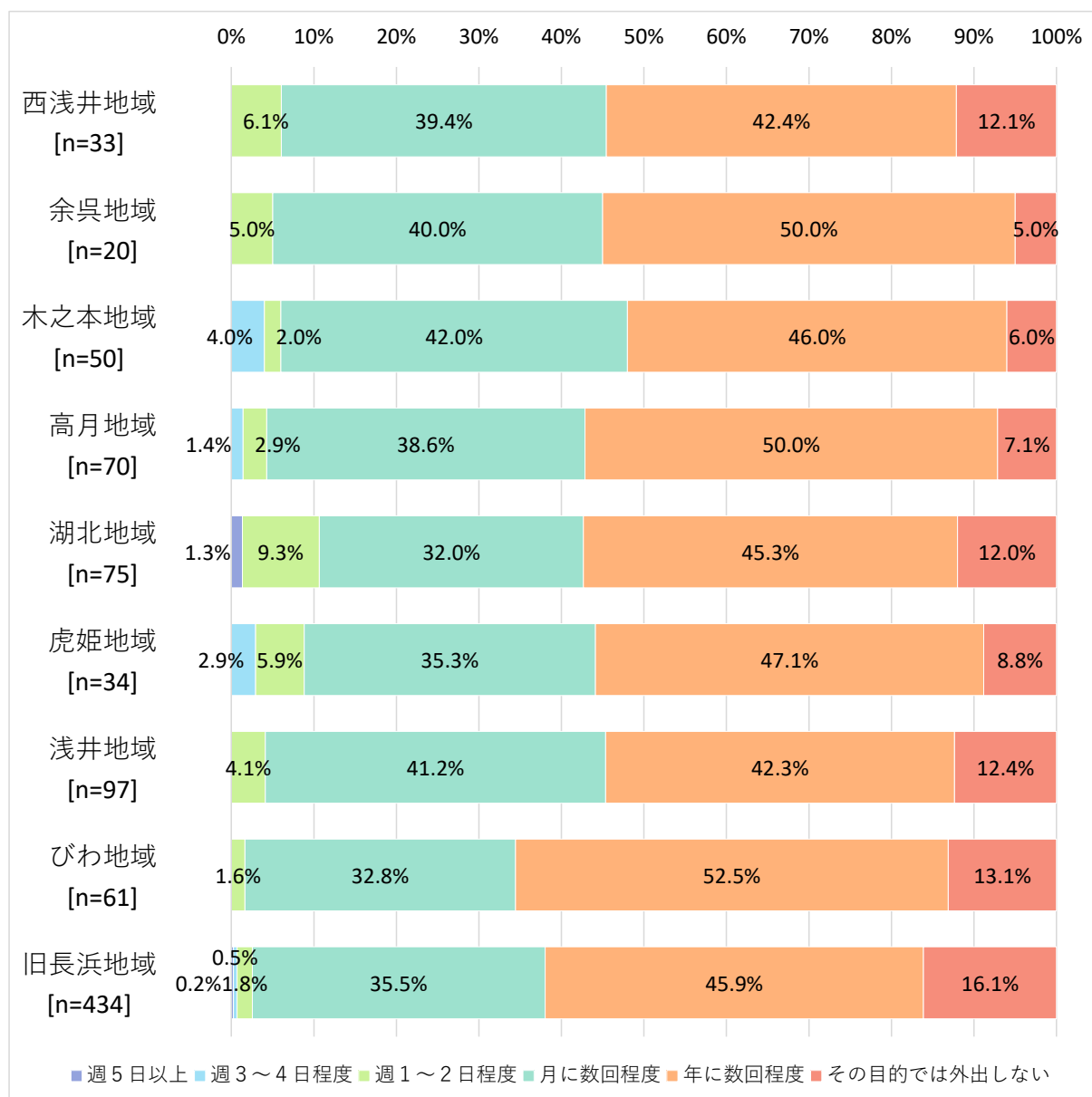
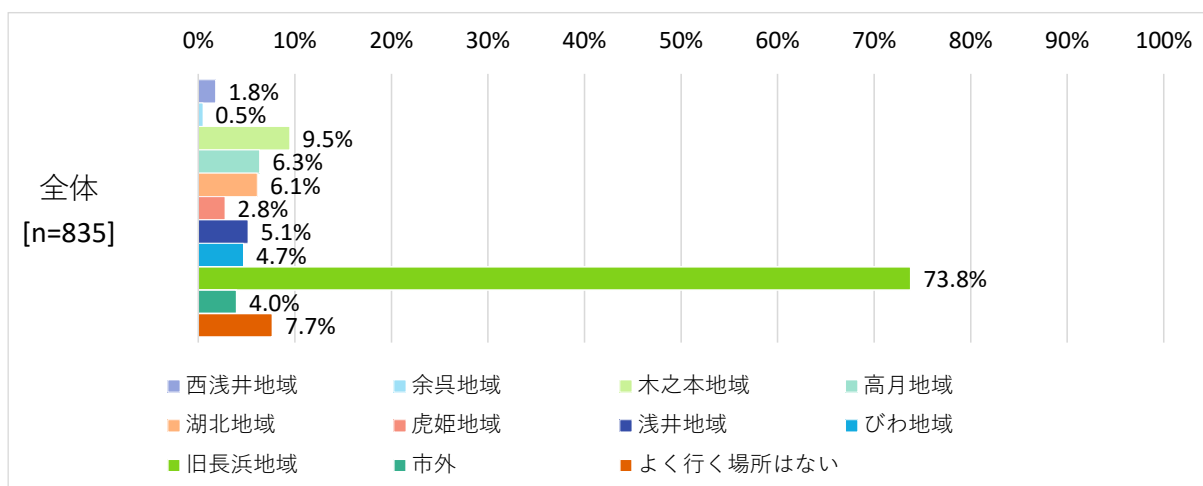


図 通院の頻度（居住地域別）

②行先

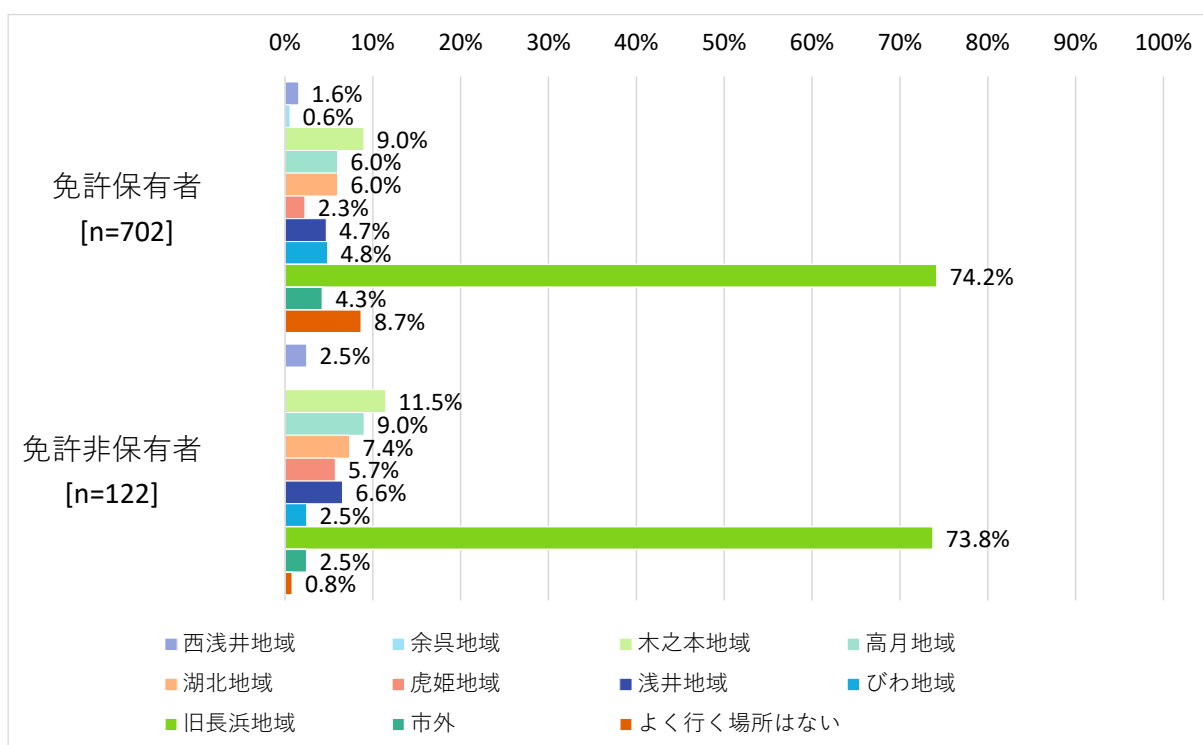
旧長浜地域に通院している方が約74%と最も多くなっています。



※複数回答

図 通院の行先

運転免許の有無別でも、全体的に大きな違いは見られません。



※複数回答

図 通院の行先（運転免許の有無別）

また、回答者の居住地に対する行先を運転免許の有無別でみると、基本的に居住地域内で通院をしており、運転免許の有無で行先に大きな影響は見られません。

【免許保有者（回答者数 702人）】

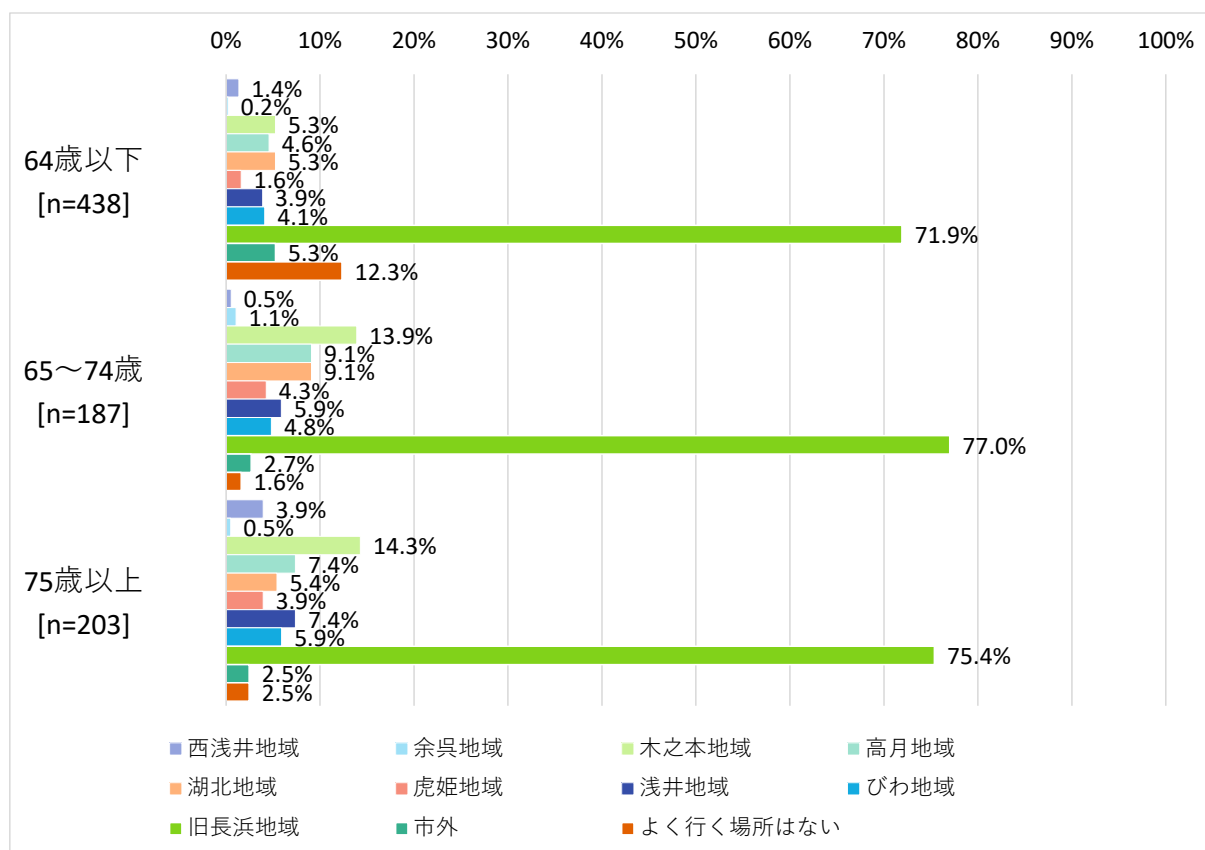
行き先	居住地									合計
	西浅井地域	余呉地域	木之本地域	高月地域	湖北地域	虎姫地域	浅井地域	びわ地域	旧長浜地域	
西浅井地域	9件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	1件	11件
[合計件数 11]	81.8%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	100.0%
余呉地域	0件	4件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	4件
[合計件数 4]	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
木之本地域	9件	7件	27件	13件	4件	0件	1件	0件	2件	63件
[合計件数 63]	14.3%	11.1%	42.9%	20.6%	6.3%	0.0%	1.6%	0.0%	3.2%	100.0%
高月地域	3件	1件	5件	25件	5件	0件	1件	0件	2件	42件
[合計件数 42]	7.1%	2.4%	11.9%	59.5%	11.9%	0.0%	2.4%	0.0%	4.8%	100.0%
湖北地域	1件	1件	1件	2件	29件	1件	3件	3件	1件	42件
[合計件数 42]	2.4%	2.4%	2.4%	4.8%	69.0%	2.4%	7.1%	7.1%	2.4%	100.0%
虎姫地域	0件	0件	0件	0件	2件	5件	2件	2件	5件	16件
[合計件数 16]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	31.3%	12.5%	12.5%	31.3%	100.0%
浅井地域	0件	0件	0件	1件	0件	2件	28件	0件	2件	33件
[合計件数 33]	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	6.1%	84.8%	0.0%	6.1%	100.0%
びわ地域	0件	0件	0件	1件	3件	2件	0件	23件	5件	34件
[合計件数 34]	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	8.8%	5.9%	0.0%	67.6%	14.7%	100.0%
旧長浜地域	12件	6件	19件	35件	33件	25件	61件	34件	295件	520件
[合計件数 520]	2.3%	1.2%	3.7%	6.7%	6.3%	4.8%	11.7%	6.5%	56.7%	100.0%
市外	2件	0件	0件	1件	3件	2件	3件	1件	18件	30件
[合計件数 30]	6.7%	0.0%	0.0%	3.3%	10.0%	6.7%	10.0%	3.3%	60.0%	100.0%
よく行く場所はない	3件	1件	1件	4件	4件	1件	2件	3件	42件	61件
[合計件数 61]	4.9%	1.6%	1.6%	6.6%	6.6%	1.6%	3.3%	4.9%	68.9%	100.0%

【免許保有者（回答者数 122人）】

行き先	居住地									合計
	西浅井地域	余呉地域	木之本地域	高月地域	湖北地域	虎姫地域	浅井地域	びわ地域	旧長浜地域	
西浅井地域	3件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	3件
[合計件数 3]	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
余呉地域	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
[合計件数 0]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
木之本地域	0件	2件	6件	6件	0件	0件	0件	0件	0件	14件
[合計件数 14]	0.0%	14.3%	42.9%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
高月地域	0件	2件	1件	8件	0件	0件	0件	0件	0件	11件
[合計件数 11]	0.0%	18.2%	9.1%	72.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
湖北地域	0件	0件	1件	0件	7件	0件	1件	0件	0件	9件
[合計件数 9]	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	77.8%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	100.0%
虎姫地域	0件	0件	0件	0件	0件	4件	0件	0件	3件	7件
[合計件数 7]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%	42.9%	100.0%
浅井地域	0件	0件	0件	0件	0件	0件	7件	0件	1件	8件
[合計件数 8]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	87.5%	0.0%	12.5%	100.0%
びわ地域	0件	0件	0件	0件	1件	0件	0件	2件	0件	3件
[合計件数 3]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	100.0%
旧長浜地域	0件	2件	4件	4件	6件	1件	9件	4件	59件	89件
[合計件数 89]	0.0%	2.2%	4.5%	4.5%	6.7%	1.1%	10.1%	4.5%	66.3%	100.0%
市外	0件	0件	0件	0件	1件	0件	1件	0件	1件	3件
[合計件数 3]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	100.0%
よく行く場所はない	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	1件
[合計件数 1]	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%

※複数回答、行き先の地域で移動割合が最も多い居住地を橙色で表記している。

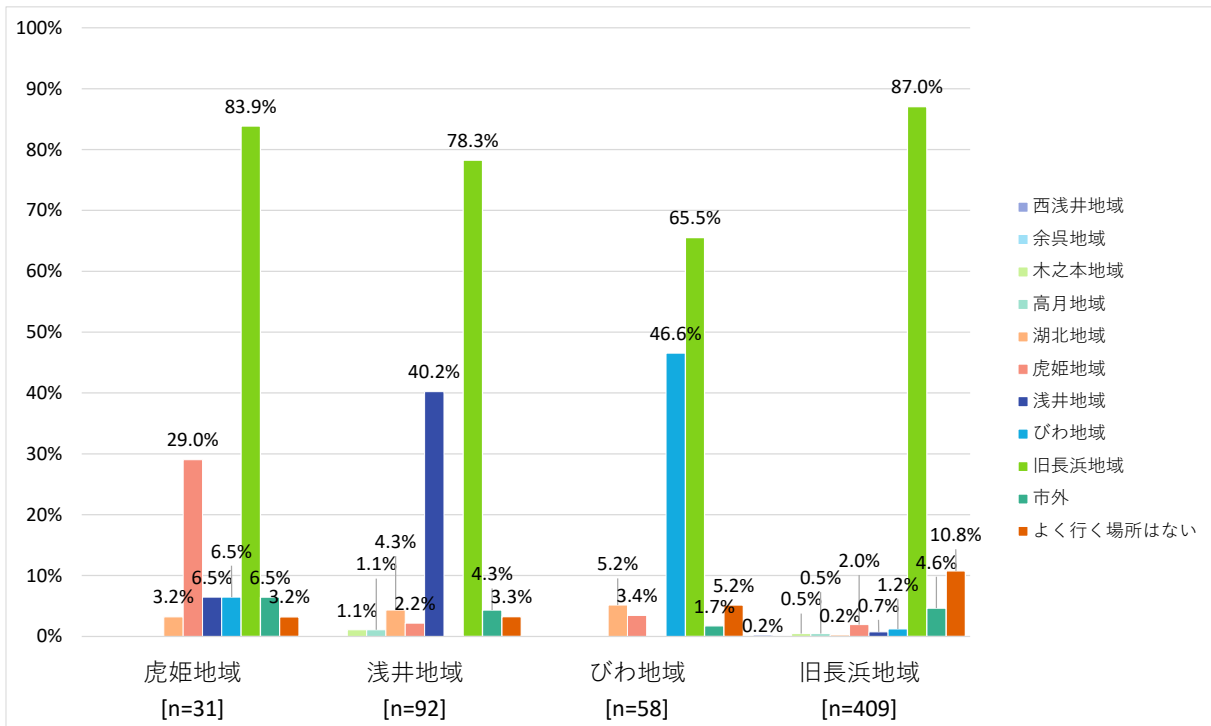
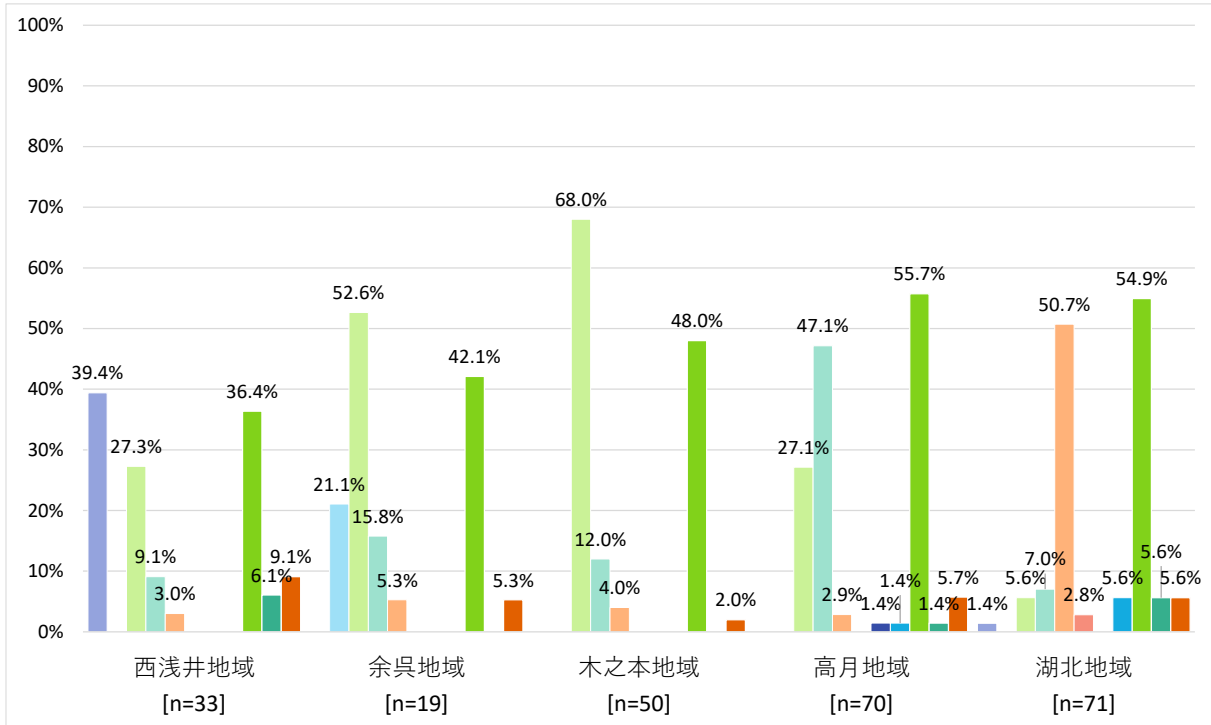
年齢層別にみると、65歳以上で木之本地域へ通院される方が10%を超えています。



※複数回答

図 通院の行先（年齢層別）

居住地域別にみると、西浅井地域、余呉地域、木之本地域以外においては、旧長浜地域へ通院される方が最も多くなっています。西浅井地域では西浅井地域内、余呉地域、木之本地域では木之本地域へそれぞれ通院している方が最も多くなっています。

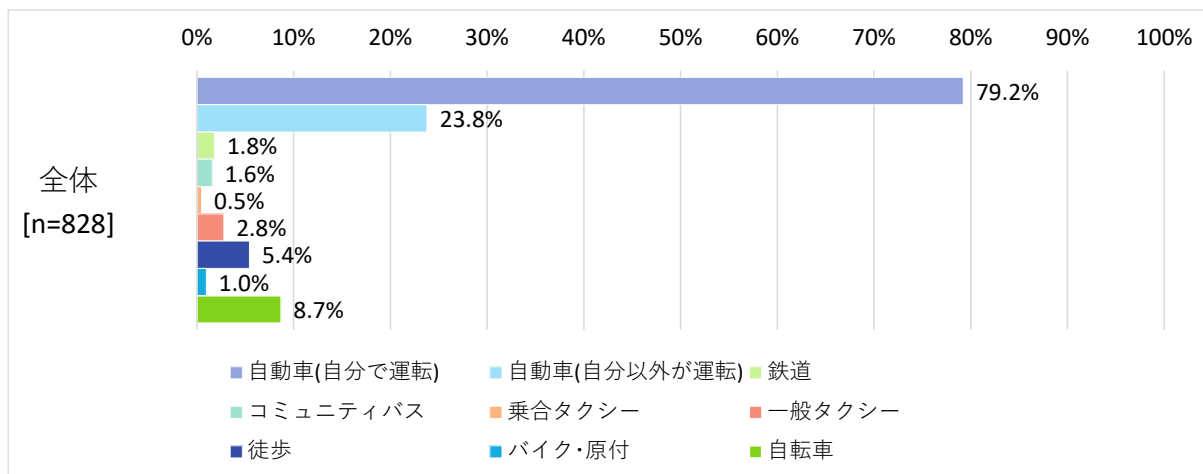


※複数回答

図 通院の行先（居住地域別）

③移動手段

自分で自動車を運転して移動している方が約 79%と最も多くなっています。そのほかに、自分以外が自動車を運転して移動している方が 20%を超えています。

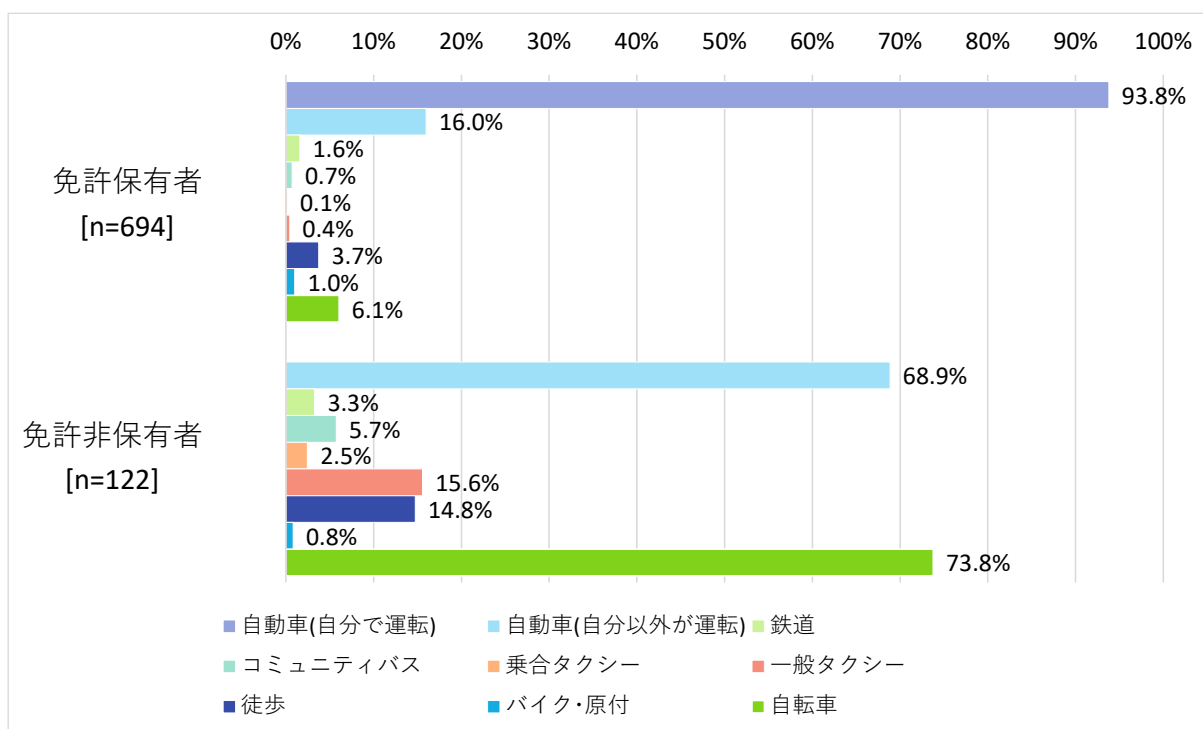


※複数回答

図 通院の移動手段

運転免許の有無別で見ると、運転免許を所有している場合、自分で自動車を運転する方が約 94%、自分以外に自動車を運転してもらう場合が約 16%となっています。

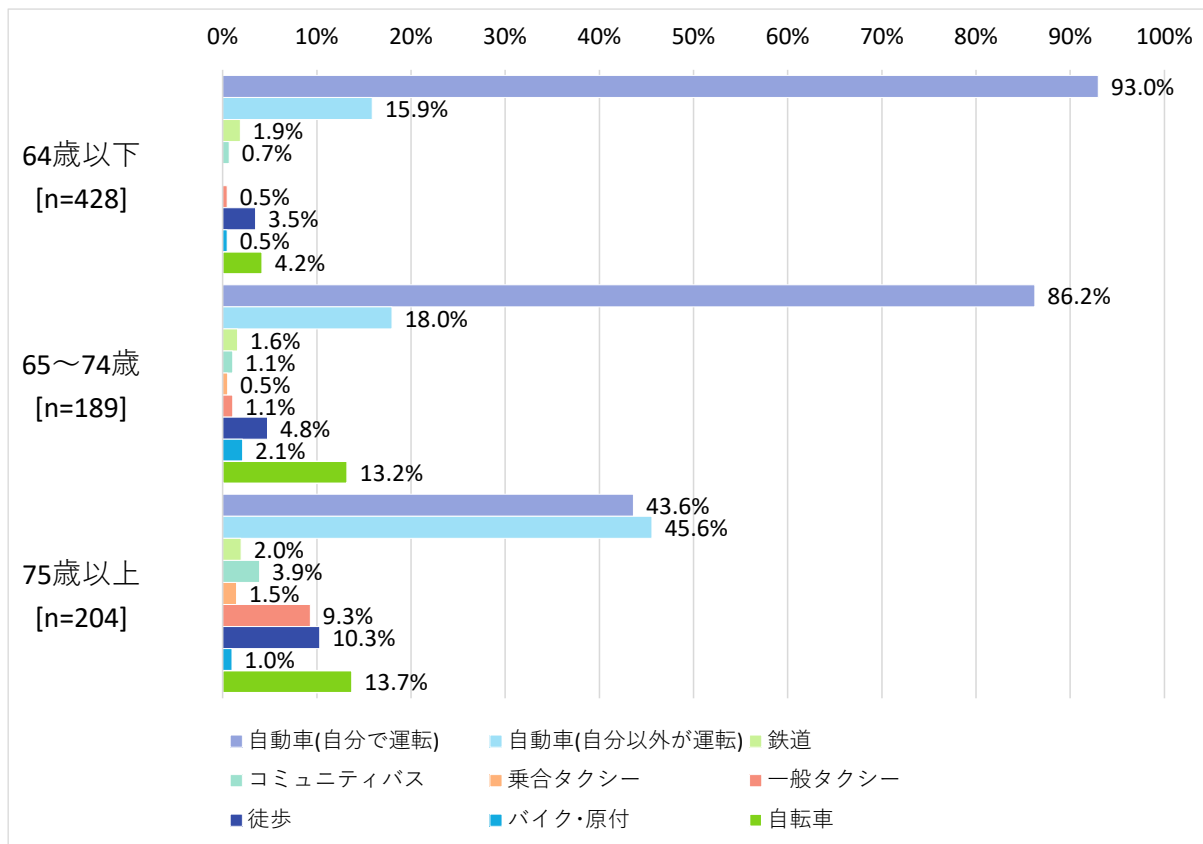
運転免許を所有していない場合、自分以外に自動車を運転してもらうか、自転車で移動している方が多くなっています。



※複数回答

図 通院の移動手段（運転免許の有無別）

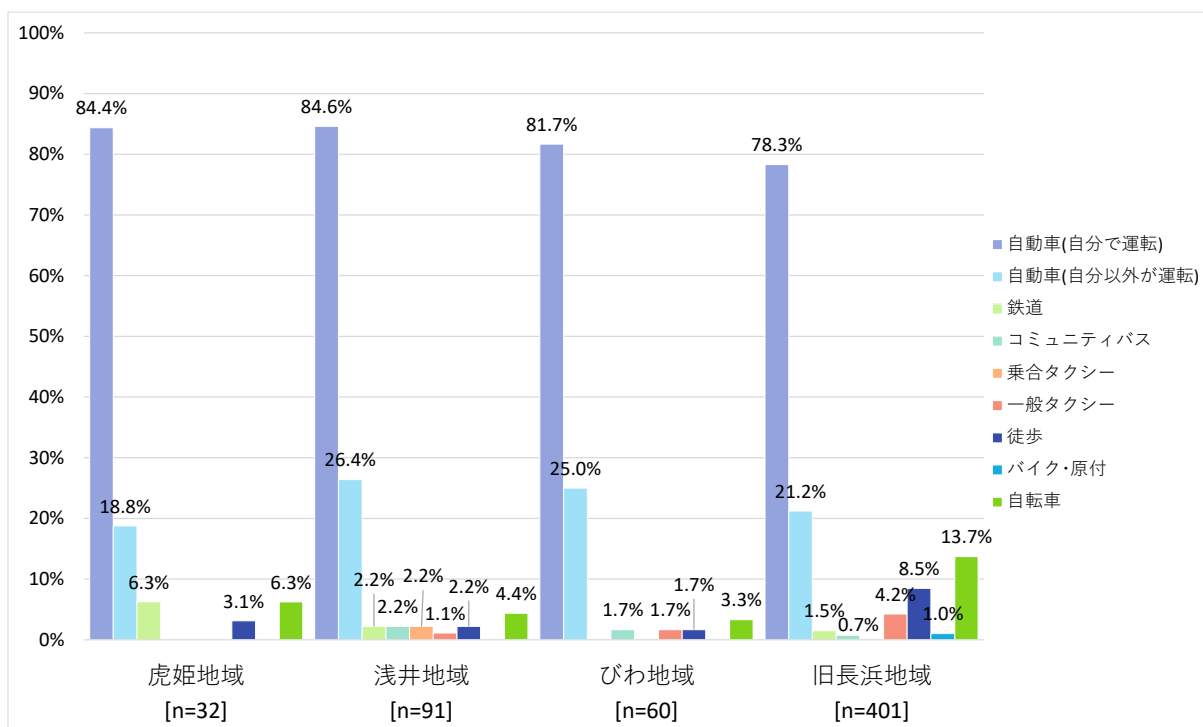
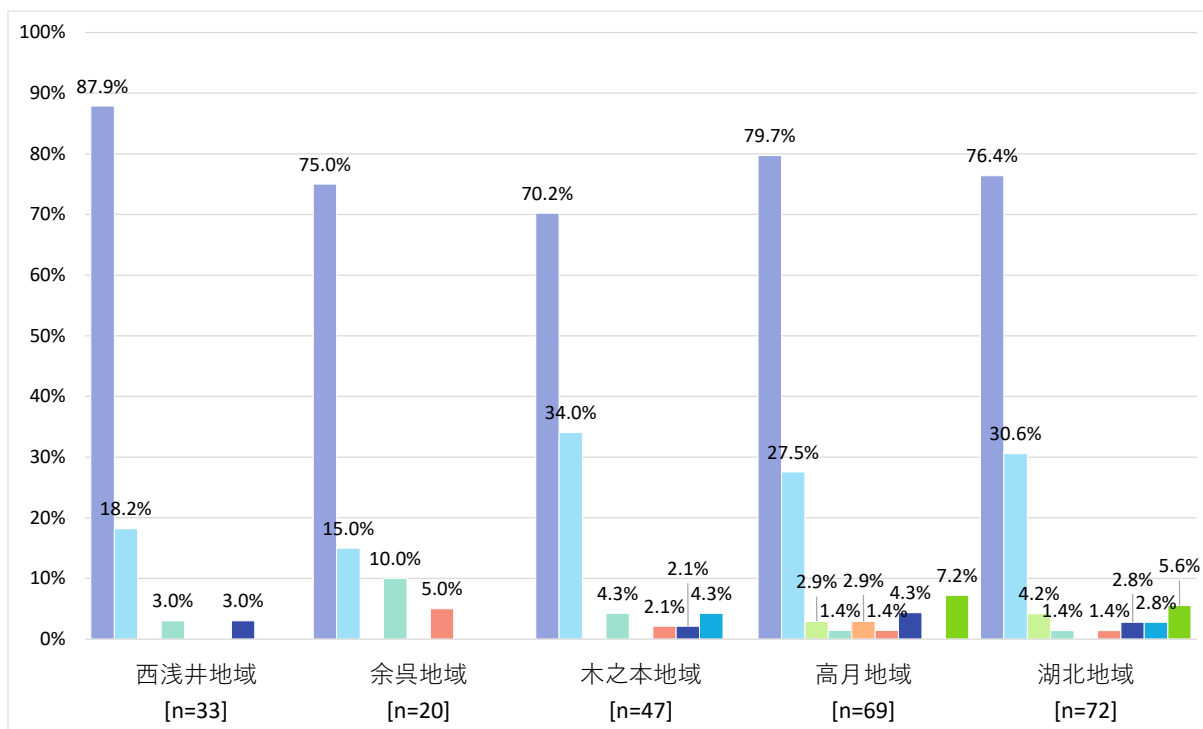
年齢層別にみると、75歳以上において、自分で自動車を運転して移動している方が半分以下に減り、代わりに自分以外に自動車を運転してもらう方が約46%と多くなっています。



※複数回答

図 通院の移動手段（年齢層別）

居住地域別にみると、余呉地域でコミュニティバス、旧長浜地域で徒歩、自転車による移動が他地域と比べて多くなっています。



※複数回答

図 通院の移動手段（居住地域別）

(4) その他の目的（行事への参加や余暇など）の移動

①外出頻度

月に数回程度以下の頻度の方が70%を超えています。

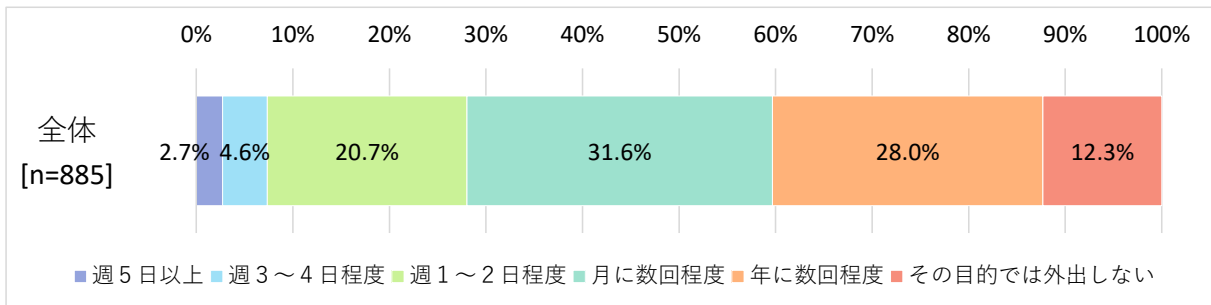


図 その他の目的（行事への参加や余暇など）での移動頻度

運転免許の有無別で見ると、運転免許を保有していない方において、行事への参加や余暇での目的で外出しない方が約28%と運転免許を保有している方と比べて多くなっています。

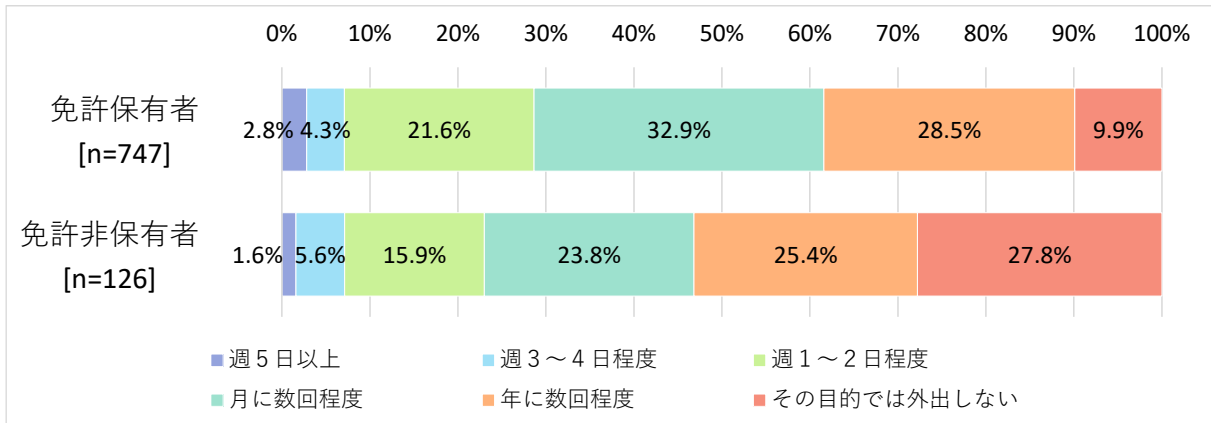


図 その他の目的（行事への参加や余暇など）での移動頻度（運転免許の有無別）

年齢層別にみると、年齢が高くなるにつれ、行事への参加や余暇での目的で外出しない方の割合が増えています。

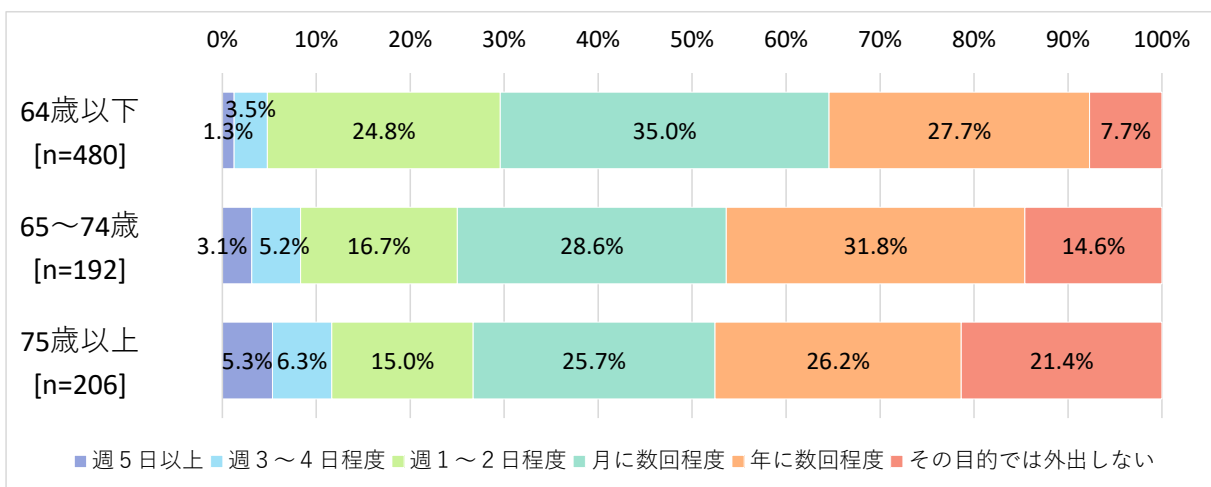


図 その他の目的（行事への参加や余暇など）での移動頻度（年齢層別）

居住地域別にみると、びわ地域、旧長浜地域で週1回以上、行事への参加や余暇での目的で外出している方が30%を超えています。

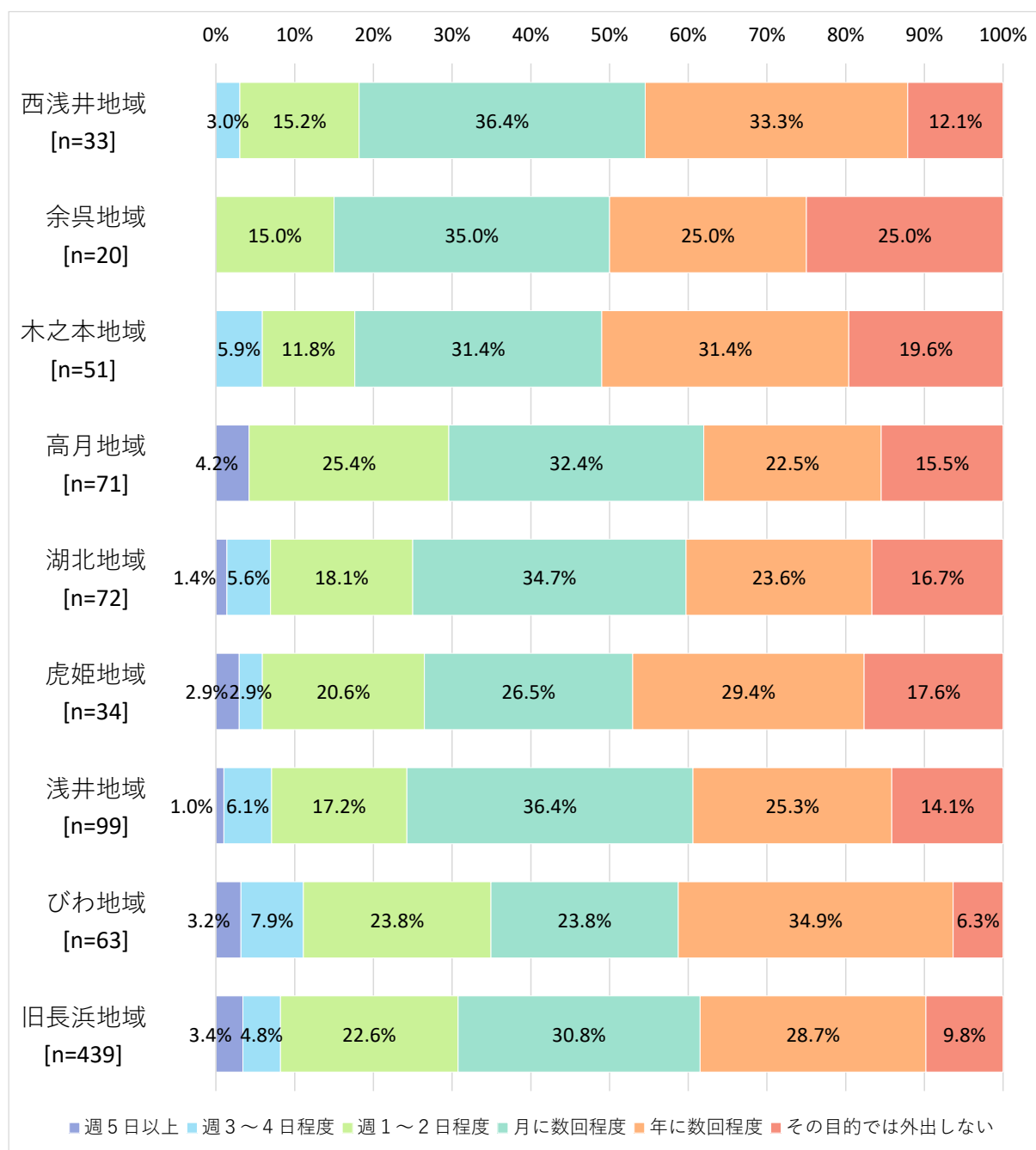
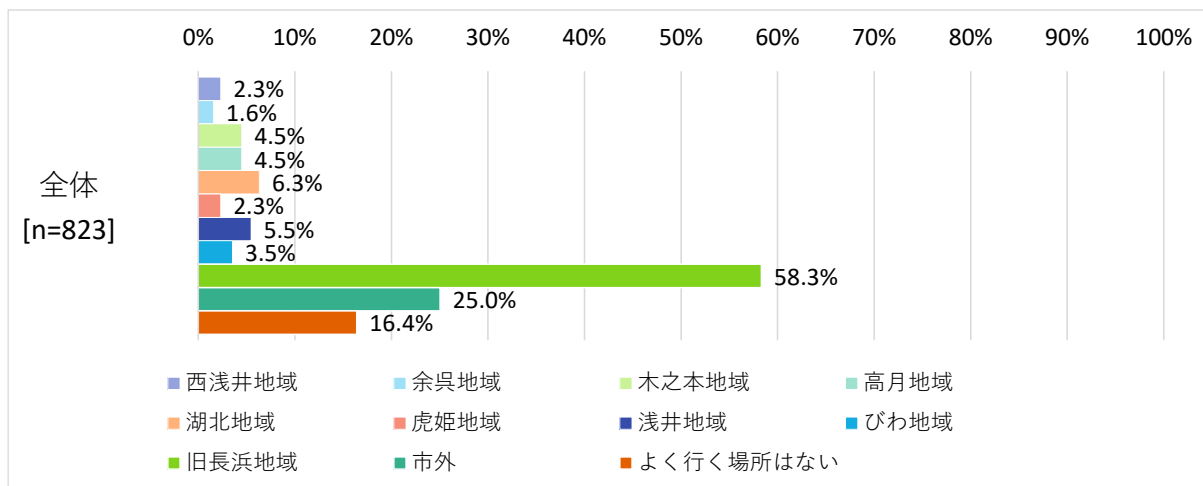


図 その他の目的（行事への参加や余暇など）での移動頻度（居住地域別）

②行先

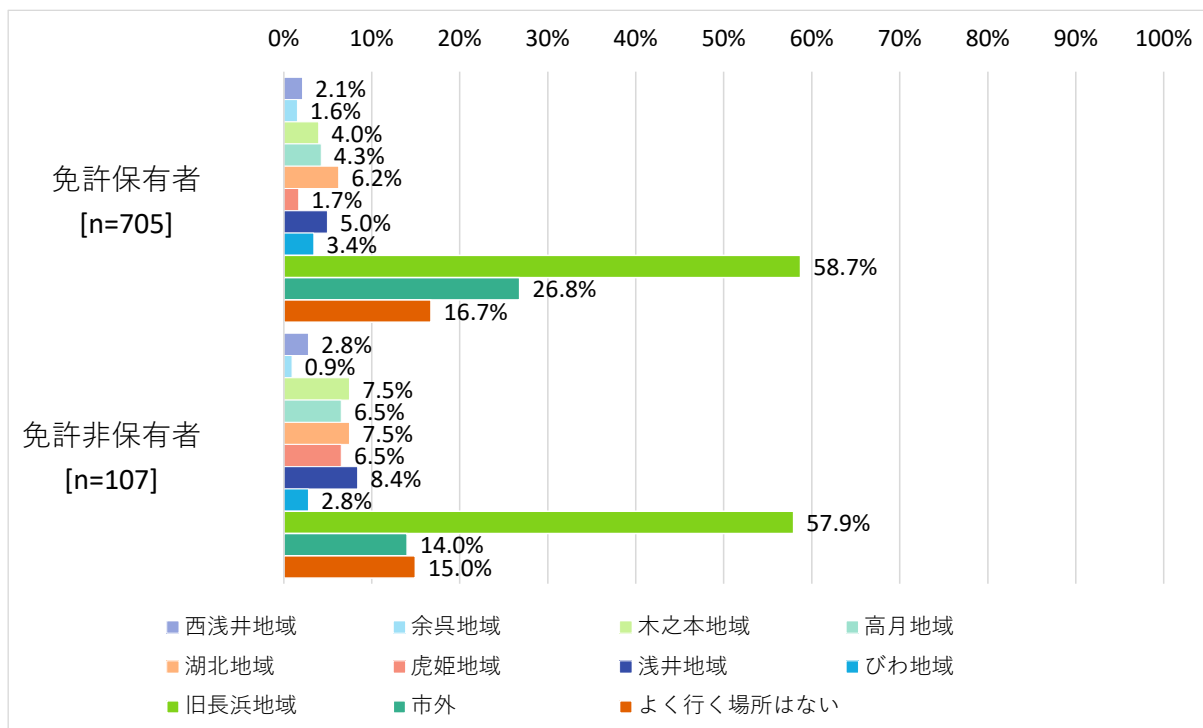
旧長浜地域に移動している方が約 58%と最も多くなっており、そのほかに長浜市外に移動されている方が 20%を超えています。



※複数回答

図 その他の目的（行事への参加や余暇など）での行先

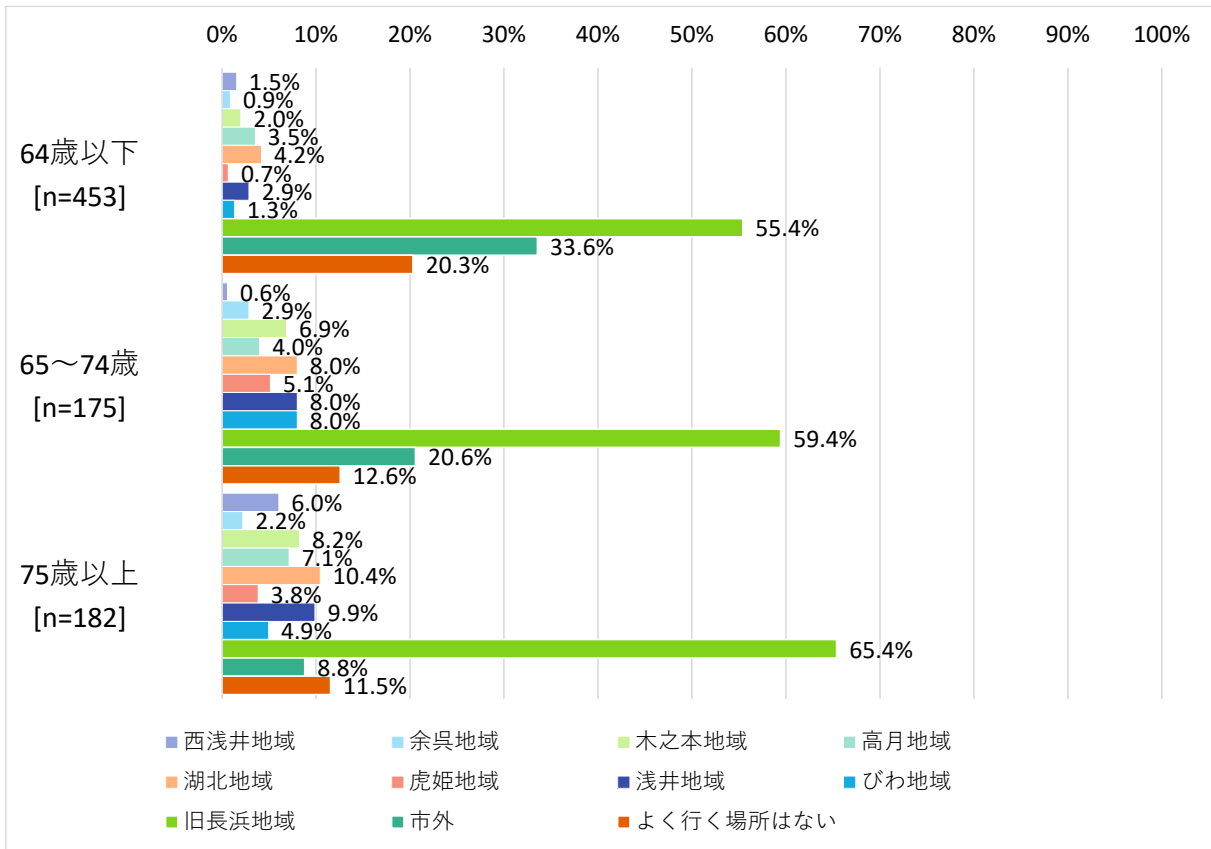
運転免許の有無別で見ると、運転免許を保有している方は長浜市外に移動している方が 25%を超えています。運転免許を所有していない方は、保有している方と比べて市内での移動がやや多くなっています。



※複数回答

図 その他の目的（行事への参加や余暇など）での行先（運転免許の有無別）

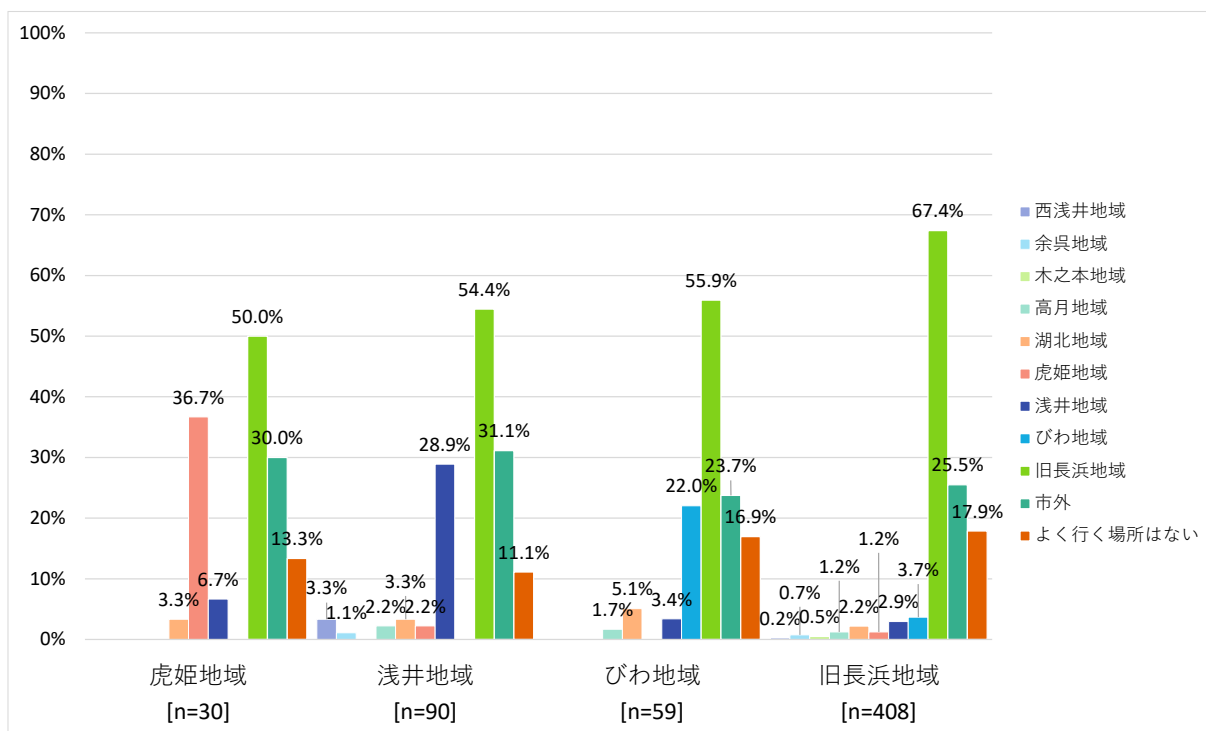
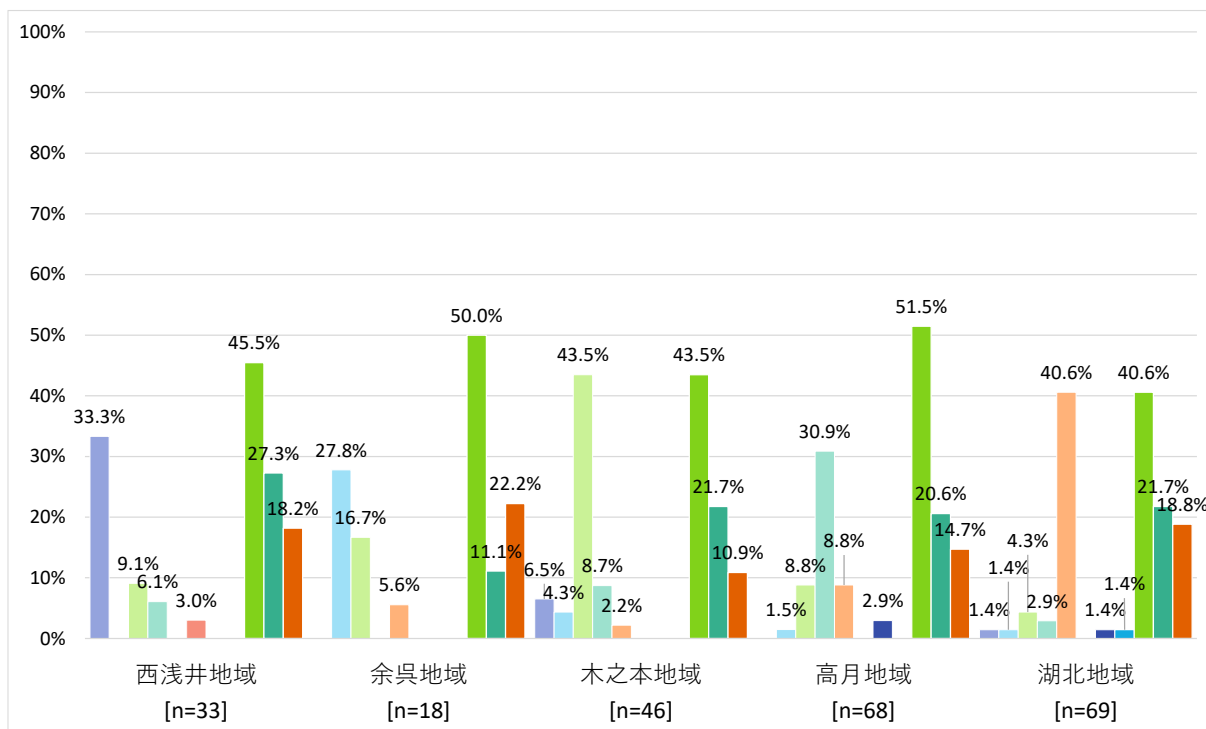
年齢層別にみると、市外へその他の目的で出かけている方が64歳以下において約34%となっています。また年齢が高くなるほど旧長浜地域へ移動されている方が多くなっています。



※複数回答

図 その他の目的（行事への参加や余暇など）での行先（年齢層別）

居住地域別にみると、長浜市内の移動においては、どの地域も旧長浜地域が最も多く、その次にそれぞれの居住地域内で移動されている方が多い傾向にあります。市外への移動に関しては余呉地域以外の方が20%を超えています。

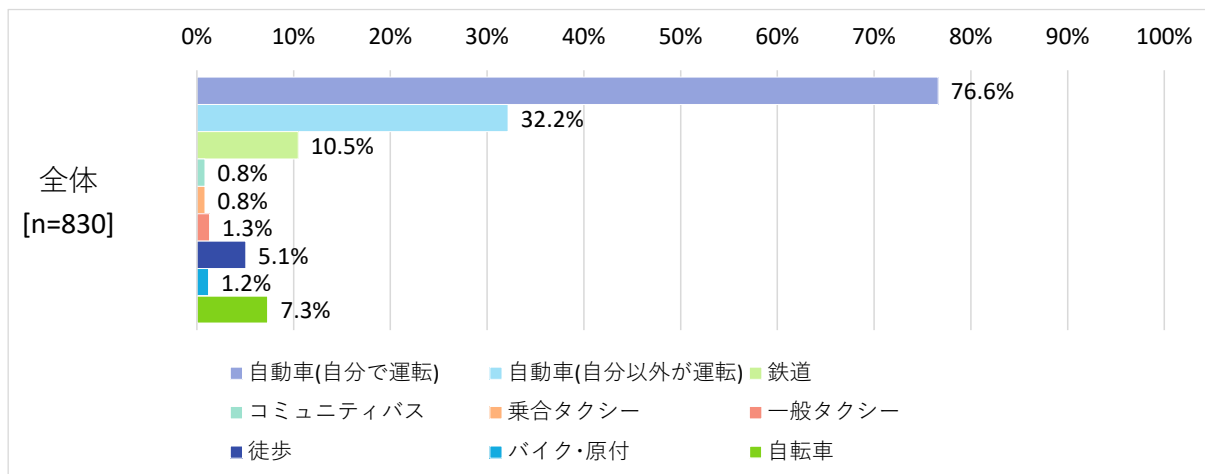


※複数回答

図 その他の目的（行事への参加や余暇など）での行先（居住地域別）

③移動手段

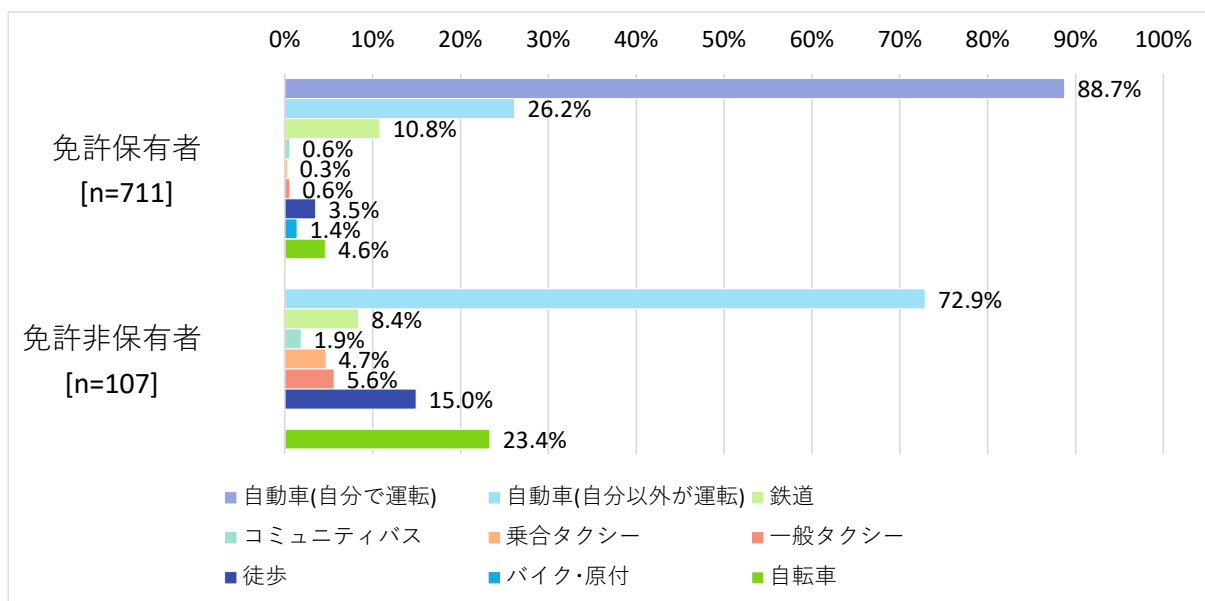
自分で自動車を運転して移動している方が約 77%と最も多くなっています。そのほかに、自分以外が自動車を運転して移動している方が 30%を超えています。



※複数回答

図 その他の目的（行事への参加や余暇など）での移動手段

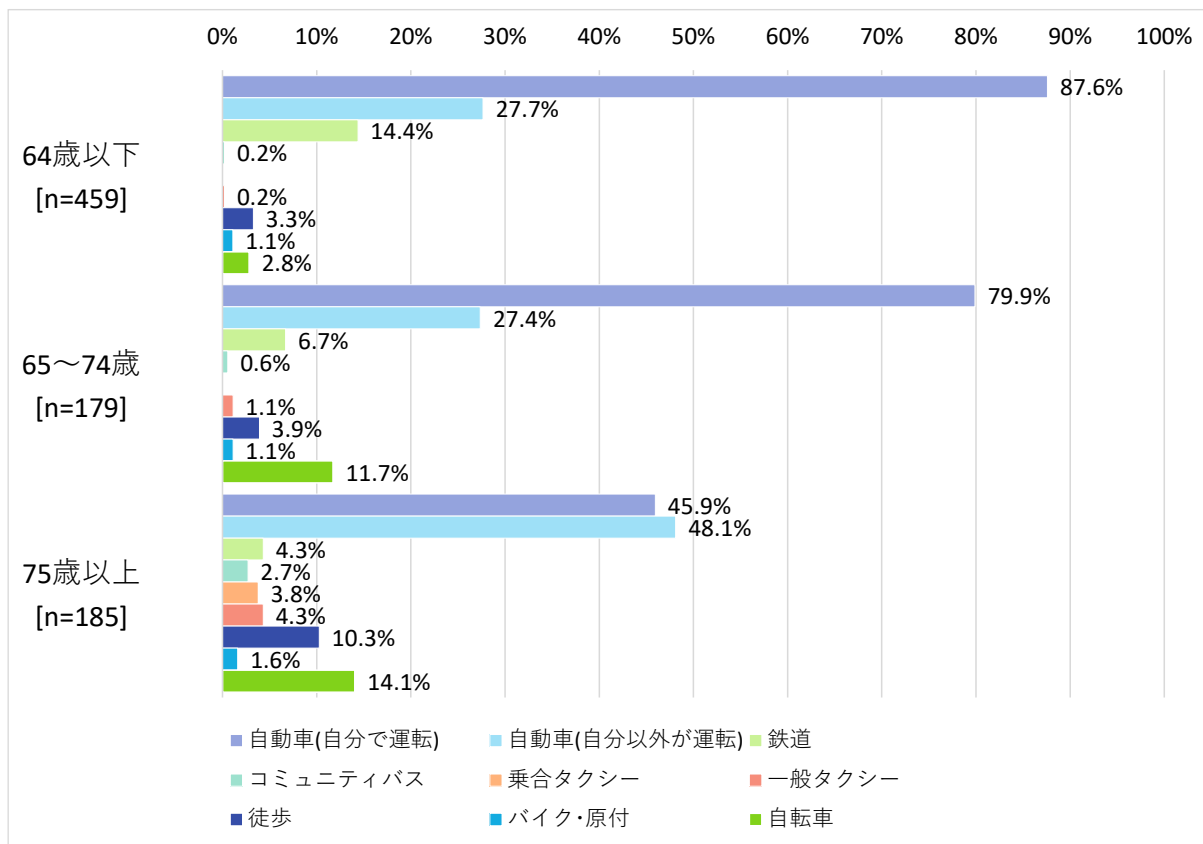
運転免許の有無別で見ると、運転免許を所有していない方は自分以外に自動車を運転してもらい移動する方が約 73%と最も多くなっています。その他には、自転車や徒歩での移動が 10%を超えています。



※複数回答

図 その他の目的（行事への参加や余暇など）での移動手段（運転免許の有無別）

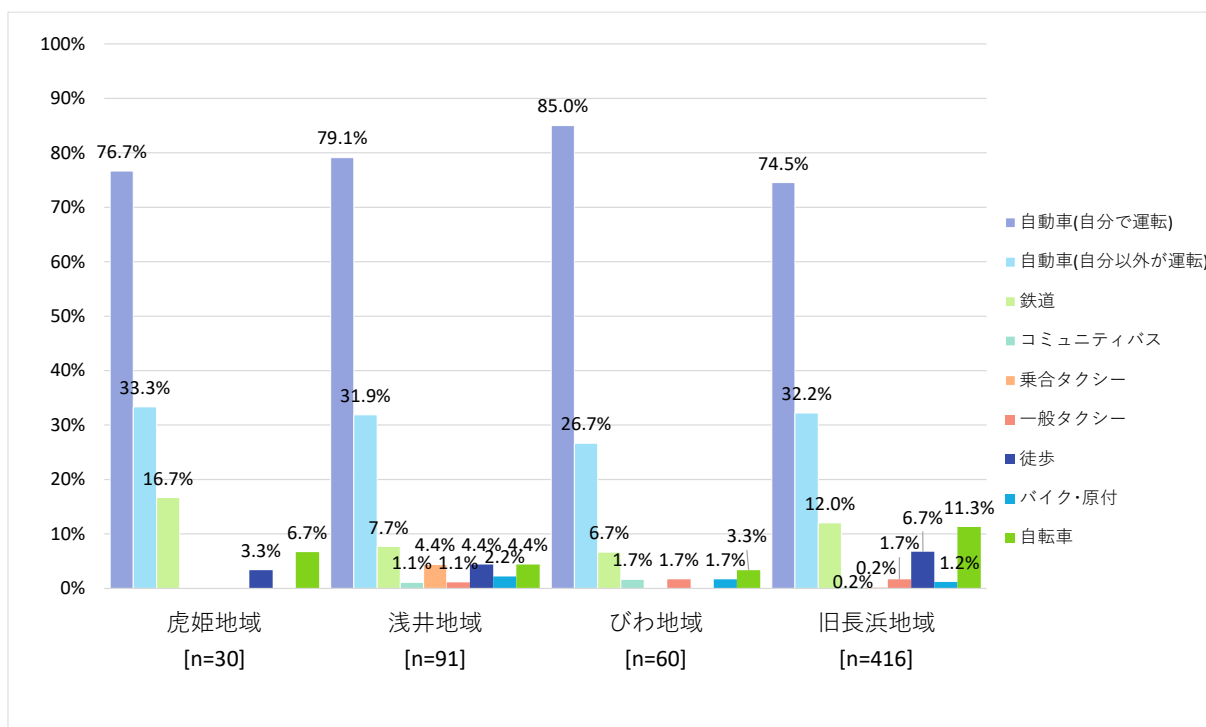
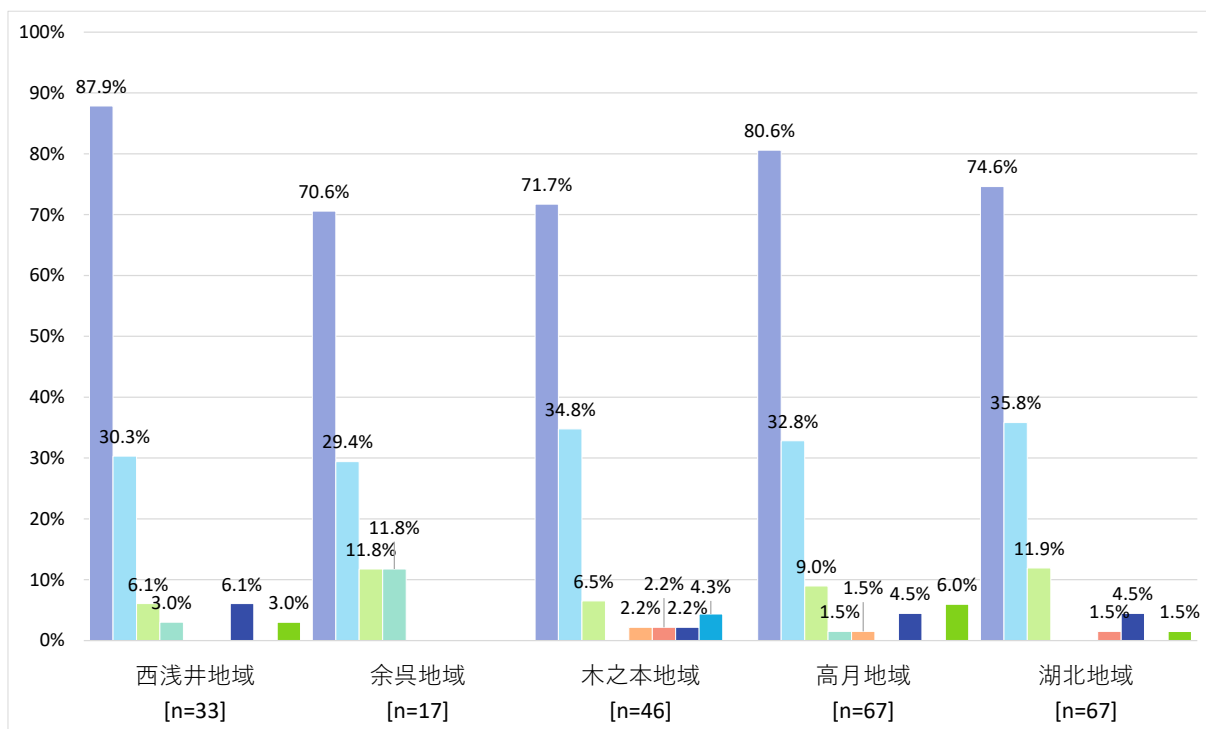
年齢層別に見ると75歳以上でも自分で自動車を運転して移動する方が約46%となっています。そのほかには自分以外に自動車を運転してもらい移動する方が約48%、自転車での移動が約14%、徒歩での移動が約10%となっています。



※複数回答

図 その他の目的（行事への参加や余暇など）での移動手段（年齢層別）

居住地域別にみると、余呉地域でコミュニティバス、旧長浜地域で徒歩、自転車による移動が他地域と比べて多くなっています。



※複数回答

図 その他の目的（行事への参加や余暇など）での移動手段（居住地域別）

1-3. 地域公共交通の利用について

(1) 長浜市内の地域公共交通の認知度

① 鉄道

路線や時刻表について知っている方が約 30%となっている一方で、長浜市内を運行する鉄道について知らないという方が約 10%となっています。

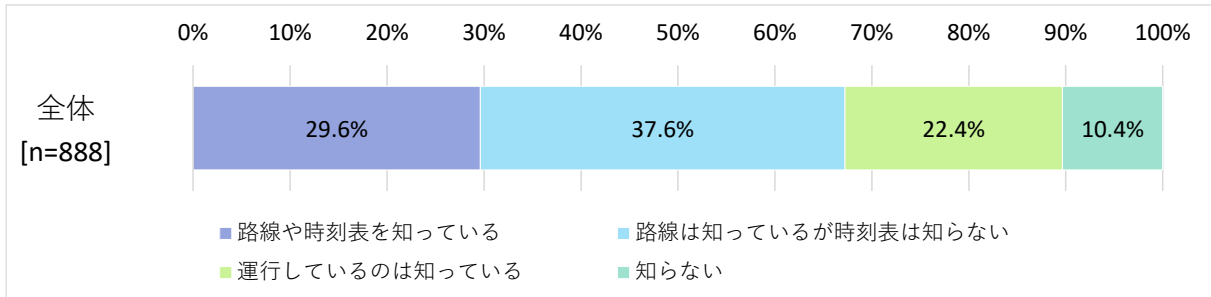


図 長浜市内を運行する鉄道の認知度

年齢層別にみると、74歳以下の年齢層で約30%以上の方が路線や時刻表について知っていますが、75歳以上で長浜市内を運行している鉄道について知らないという方が約15%を超えています。

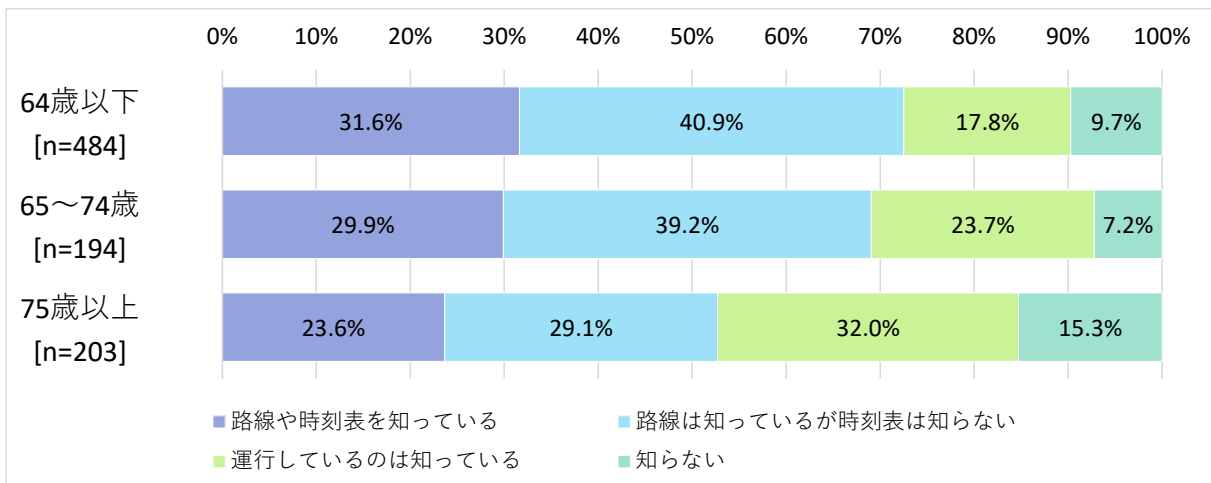


図 長浜市内を運行する鉄道の認知度（年齢層別）

居住地域別にみると、余呉地域、木之本地域などの5地域で鉄道のことを知らない方が10%を超えています。

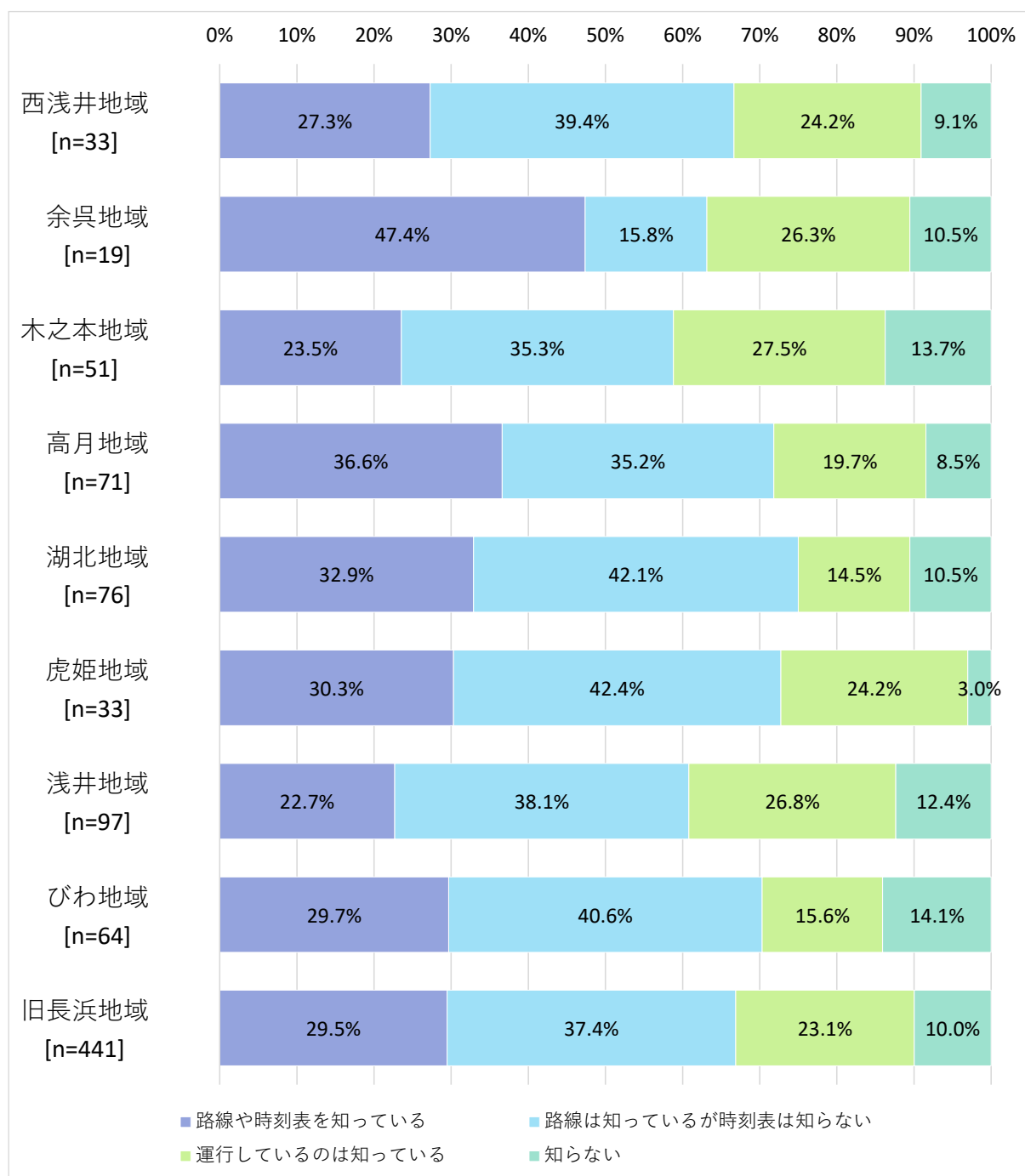


図 長浜市内を運行する鉄道の認知度（居住地域別）

②コミュニティバス

長浜市内でコミュニティバスが運行していることを知っている方が約 56%と最も多くなっている一方で、コミュニティバスが運行していることを知らない方が約 18%となっています。

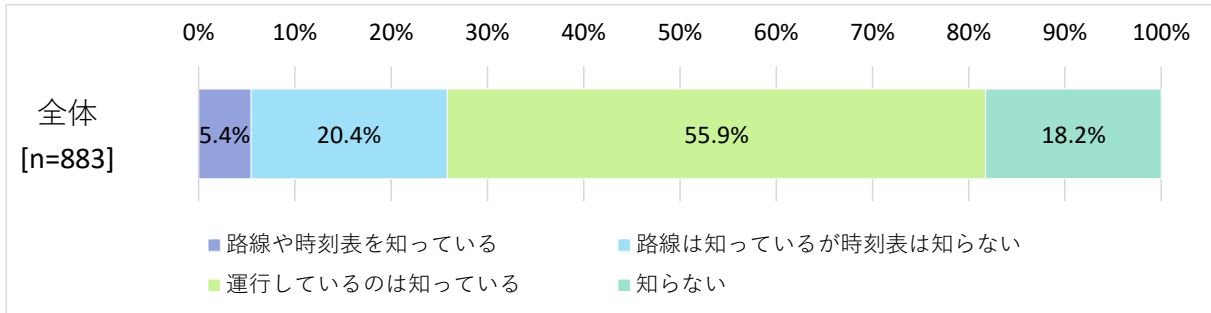


図 長浜市内を運行するコミュニティバスの認知度

年齢層別にみると、64歳以下、75歳以上の方において、路線や時刻表について知っている方がやや多くなっています。

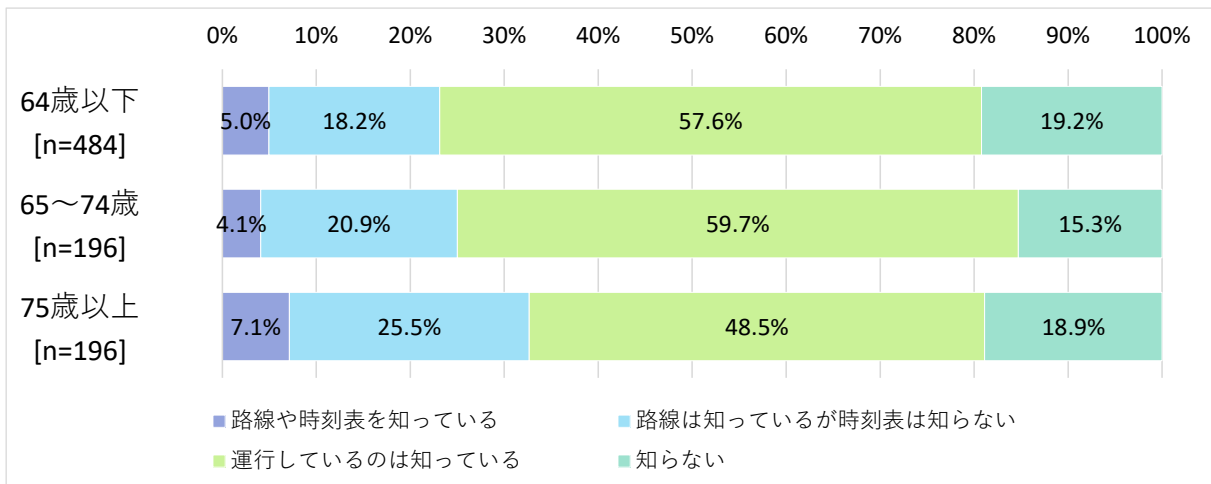


図 長浜市内を運行するコミュニティバスの認知度（年齢層別）

居住地域別にみると、余呉地域において、路線や時刻表を知っている、時刻表は知らなくとも路線について知っている方が約半数となっています。一方で西浅井地域、木之本地域、湖北地域、びわ地域の4地域でコミュニティバスのことを知らない方が20%を超えています。

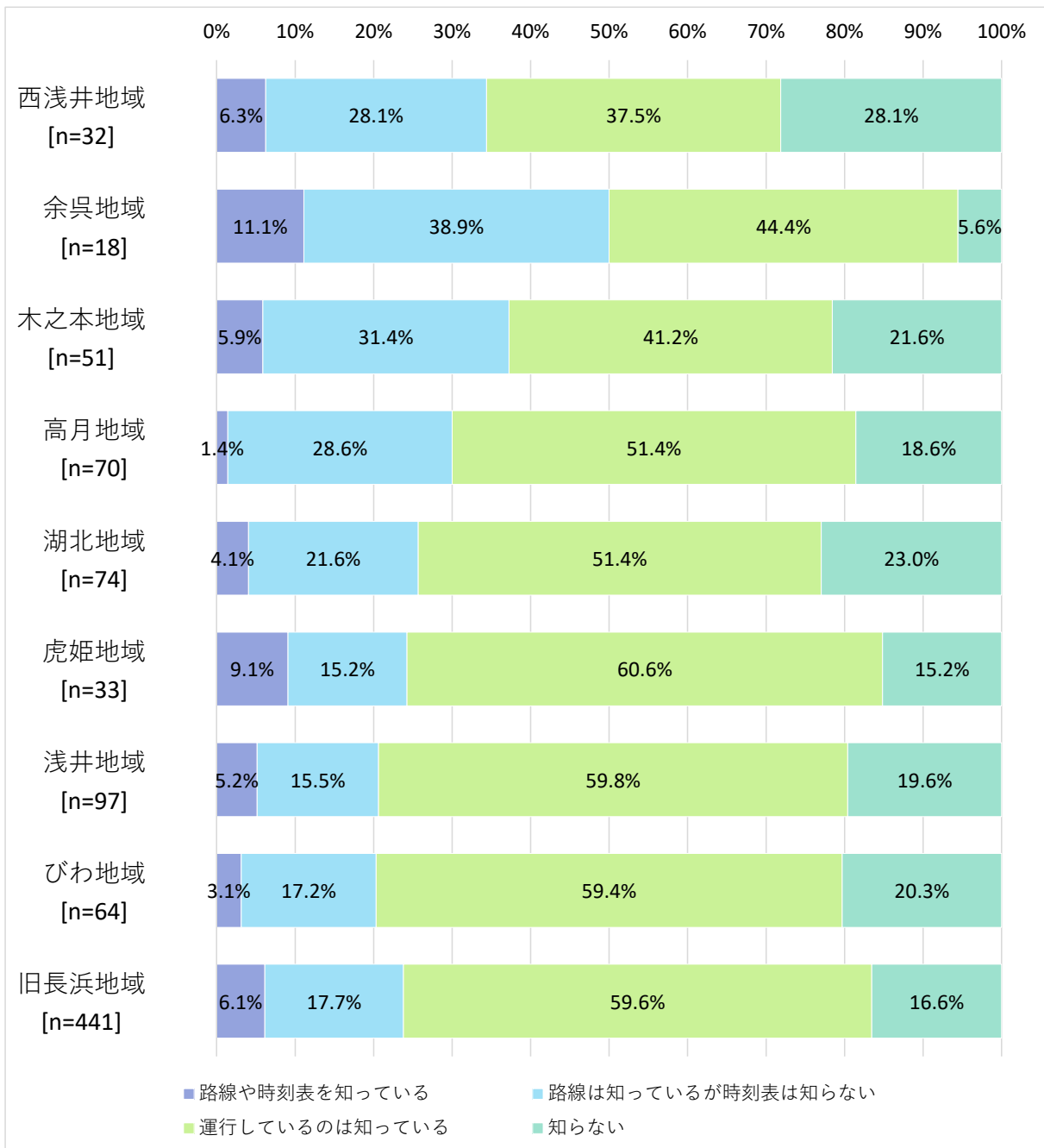


図 長浜市内を運行するコミュニティバスの認知度（居住地域別）

③乗合タクシー

長浜市内で乗合タクシーが運行していることを知らない方が約 57%となっています。

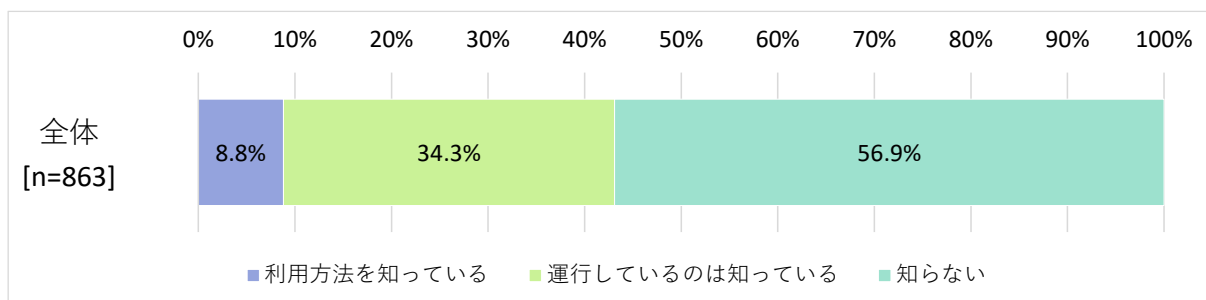


図 長浜市内を運行する乗合タクシーの認知度

年齢層別にみると、年齢が高くなるほど乗合タクシーのことを知らない人は少なくなりますが、75歳以上の方でも約49%が乗合タクシーのことを知りません。

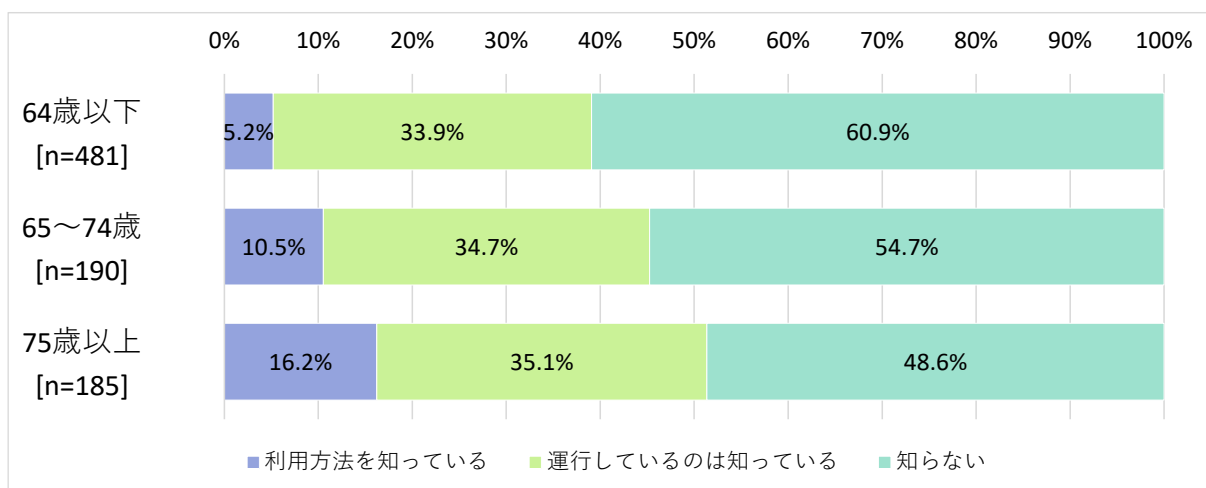


図 長浜市内を運行する乗合タクシーの認知度（年齢層別）

居住地域別にみると、余呉地域、虎姫地域、旧長浜地域において、乗合タクシーのことを知らない方が60%を超えています。

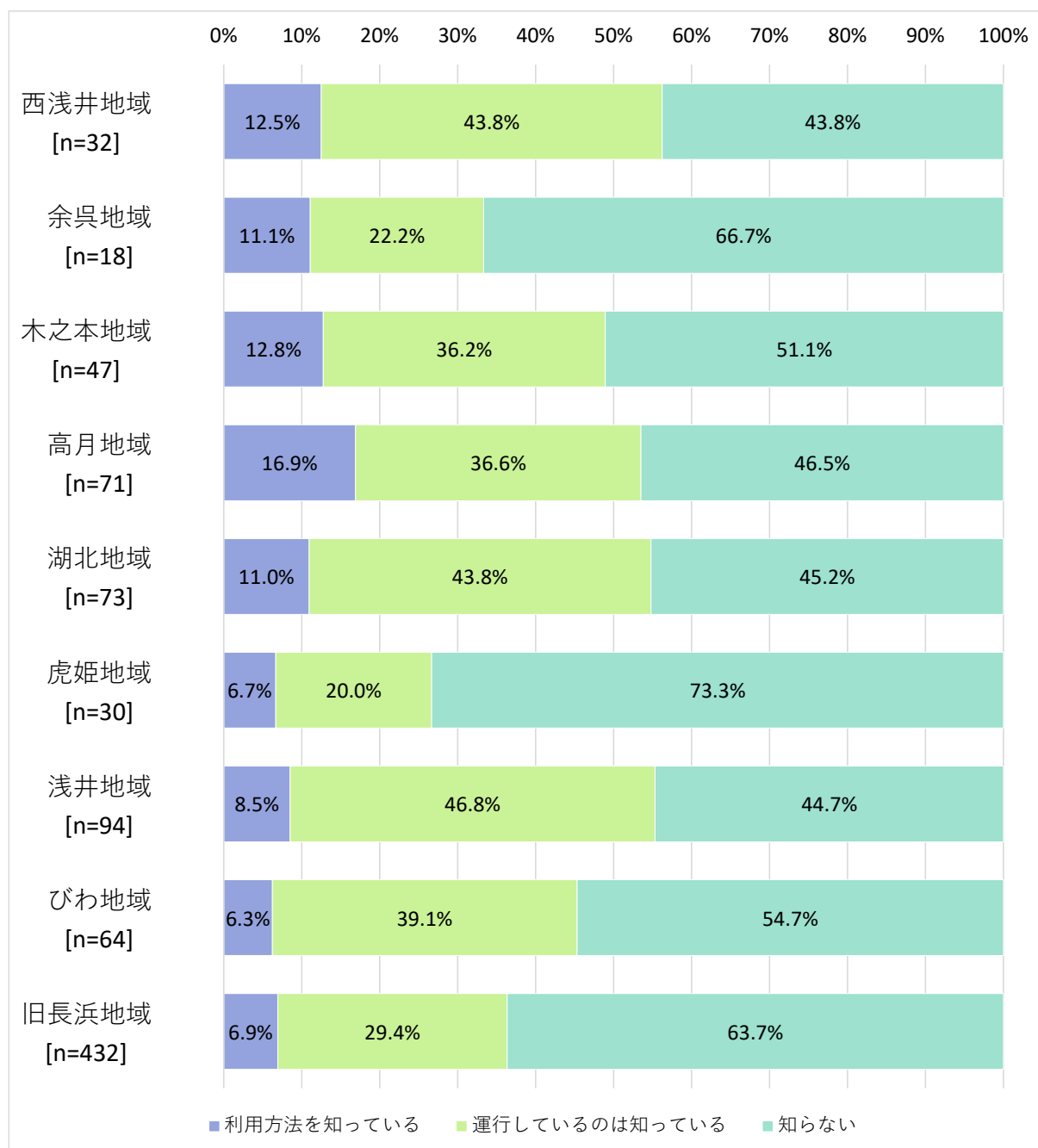


図 長浜市内を運行する乗合タクシーの認知度（居住地域別）

(2) 時刻表や乗り換え、利用方法の調べ方

①鉄道

約59%の方がスマートフォン（アプリ等）で調べており、次に紙・本の時刻表等で調べる方が多くなっています。

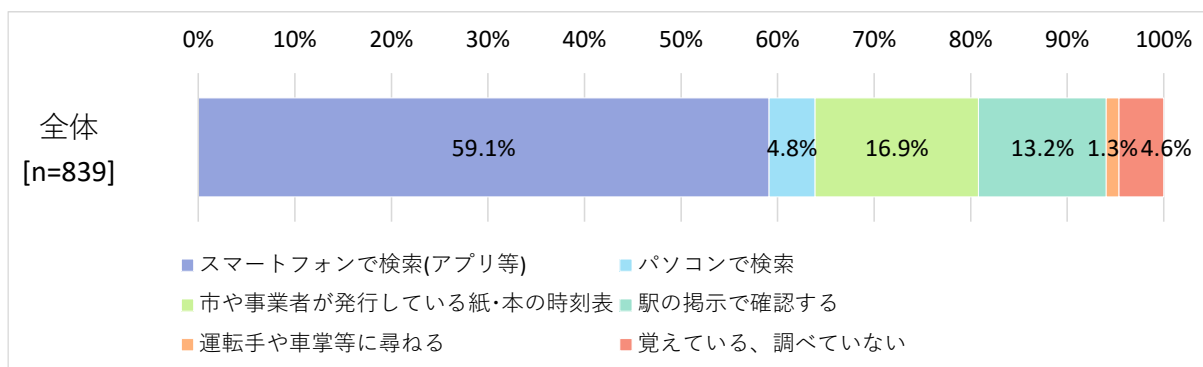


図 鉄道を利用する際の調べ方

年齢層別にみると、64歳以下の方は80%を超える方がスマートフォン（アプリ等）で調べる一方で、65歳以上になると紙・本の時刻表等で調べる方が増え、75歳以上の方の場合、約46%が紙・本の時刻表等で調べています。

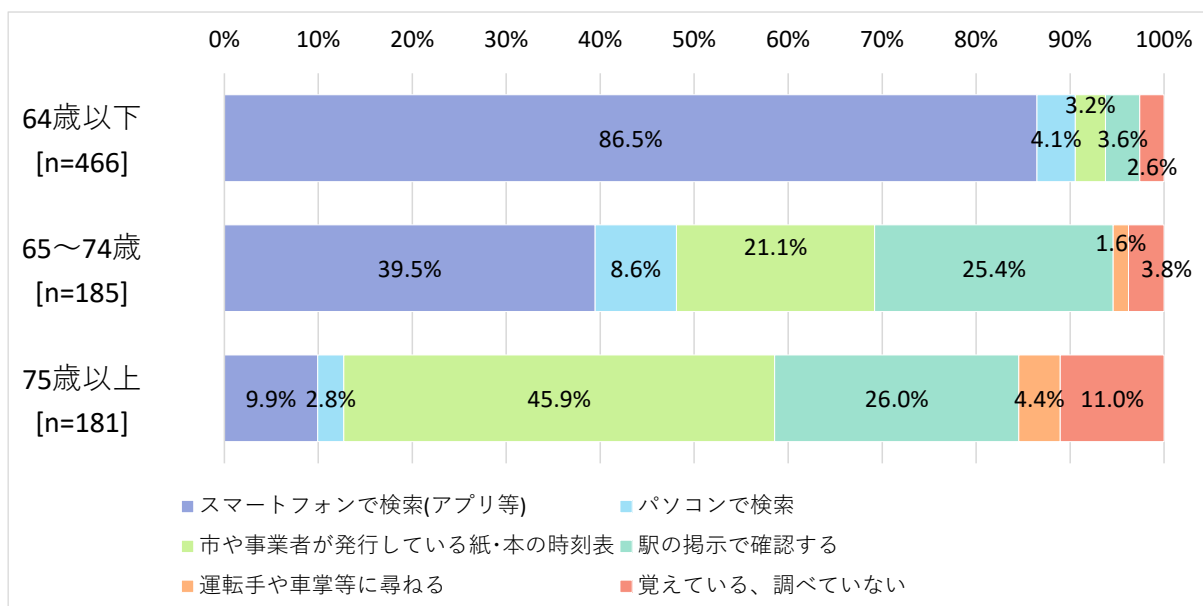


図 鉄道を利用する際の調べ方（年齢層別）

居住地域別にみると、余呉地域、木之本地域、高月地域、虎姫地域の4地域では紙・本の時刻表等で調べている方が20%を超えています。

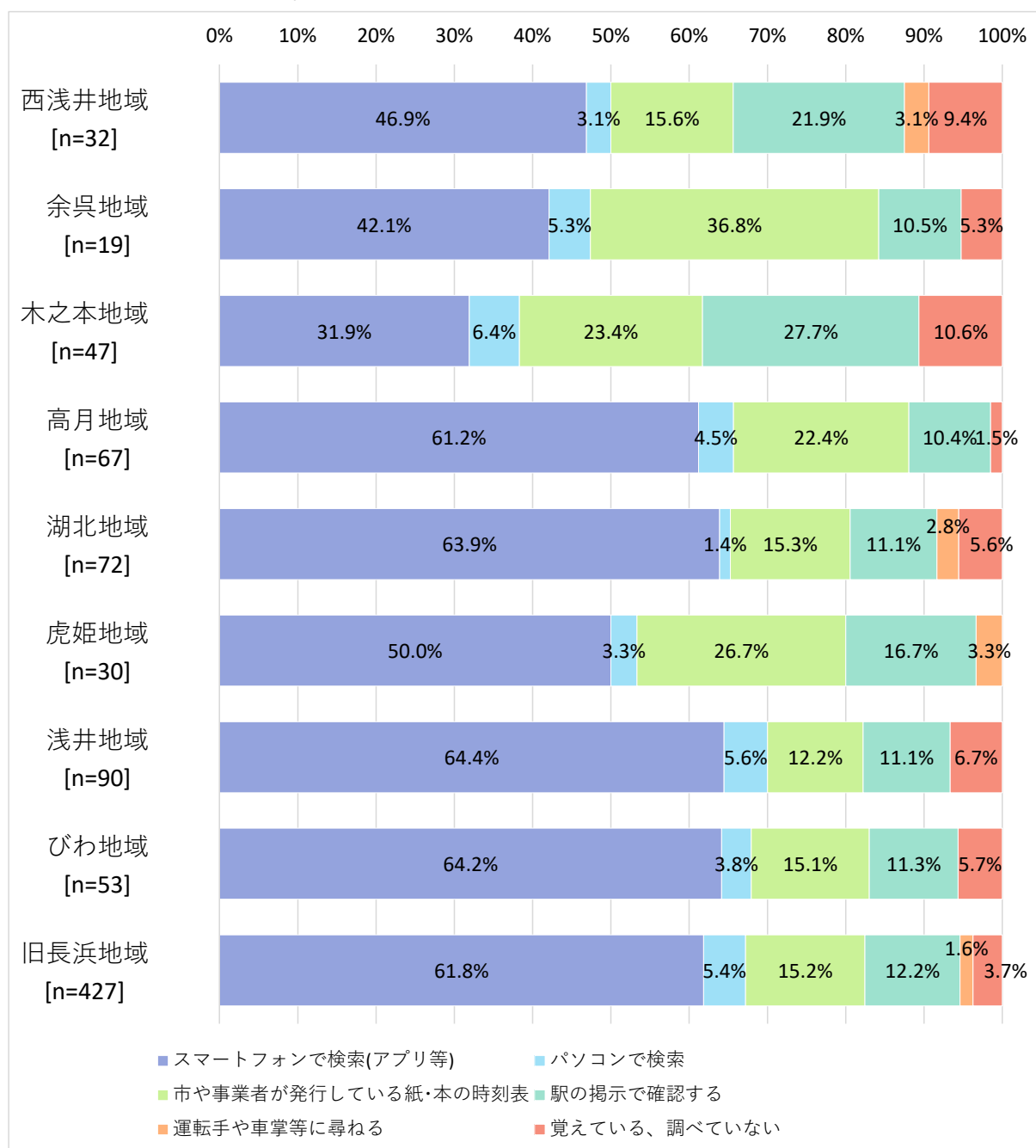


図 鉄道を利用する際の調べ方（居住地域別）

②コミュニティバス

スマートフォン（アプリ等）で調べる方と、停留所の掲示で確認する方の割合がほぼ同じで 30%を超えています。また、覚えている若しくは調べていない方が約 15%となっています。

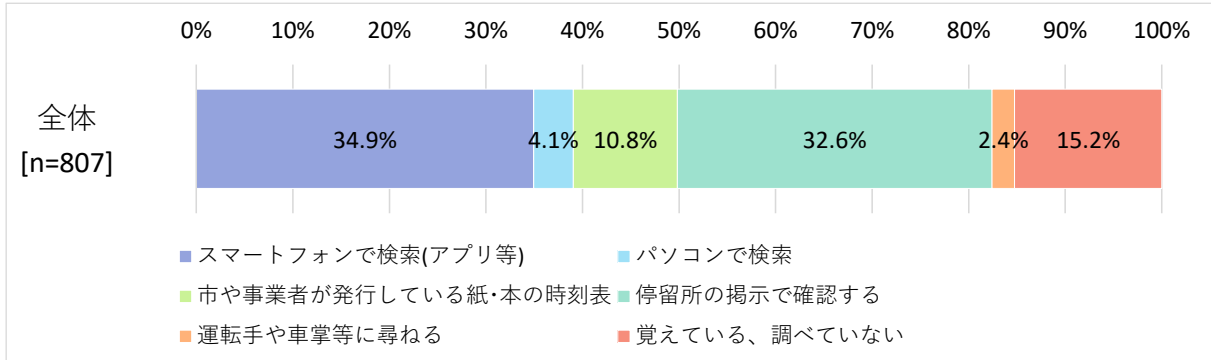


図 コミュニティバスを利用する際の調べ方

年齢層別にみると、64 歳以下の方は 50%以上がスマートフォン（アプリ等）で調べる一方で、65 歳以上になると約半数の方が停留所の掲示で調べています。

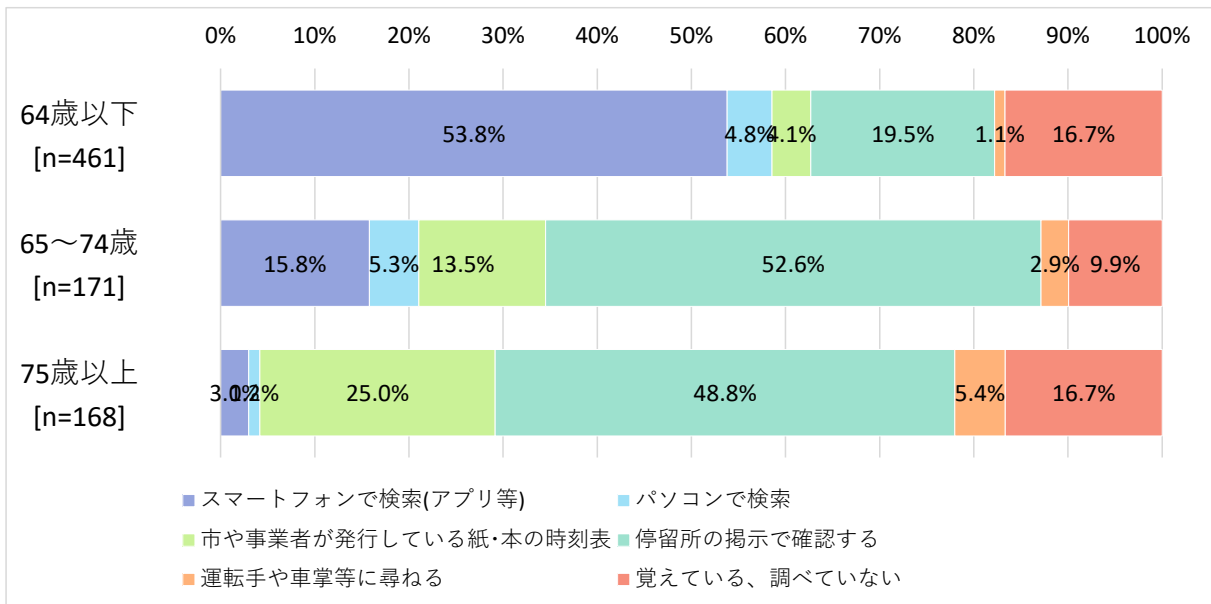


図 コミュニティバスを利用する際の調べ方（年齢層別）

居住地域別にみると、西浅井地域、余呉地域などの6地域では停留所の掲示で確認する方が30%以上となっています。一方、虎姫地域ではスマートフォンで検索する方が40%を超えています。

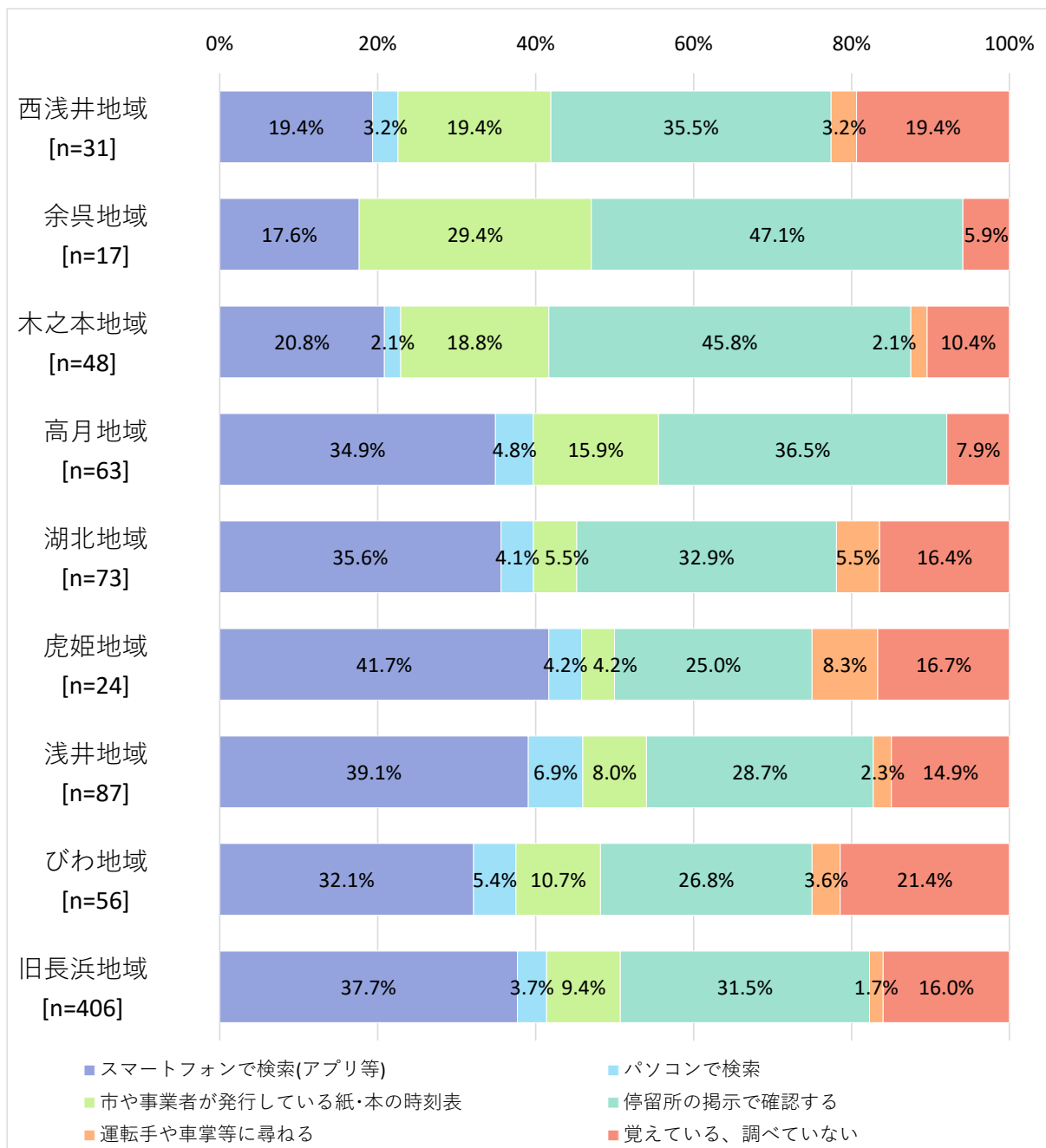


図 コミュニティバスを利用する際の調べ方（居住地域別）

③乗合タクシー

スマートフォン（アプリ等）で調べる方と利用方法を覚えている若しくは調べていない方の割合がほぼ同じで 30%を超えています。

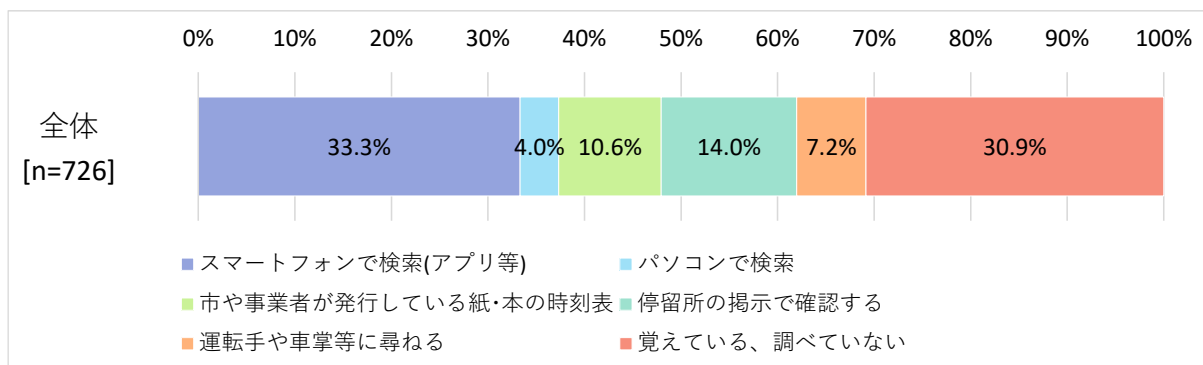


図 乗合タクシーを利用する際の調べ方

年齢層別にみると、64歳以下の方は約半数がスマートフォン（アプリ等）で調べる一方で、65歳以上になると紙・本の時刻表、停留所の掲示で確認する、運転手や車掌等に尋ねる方の割合が増えています。

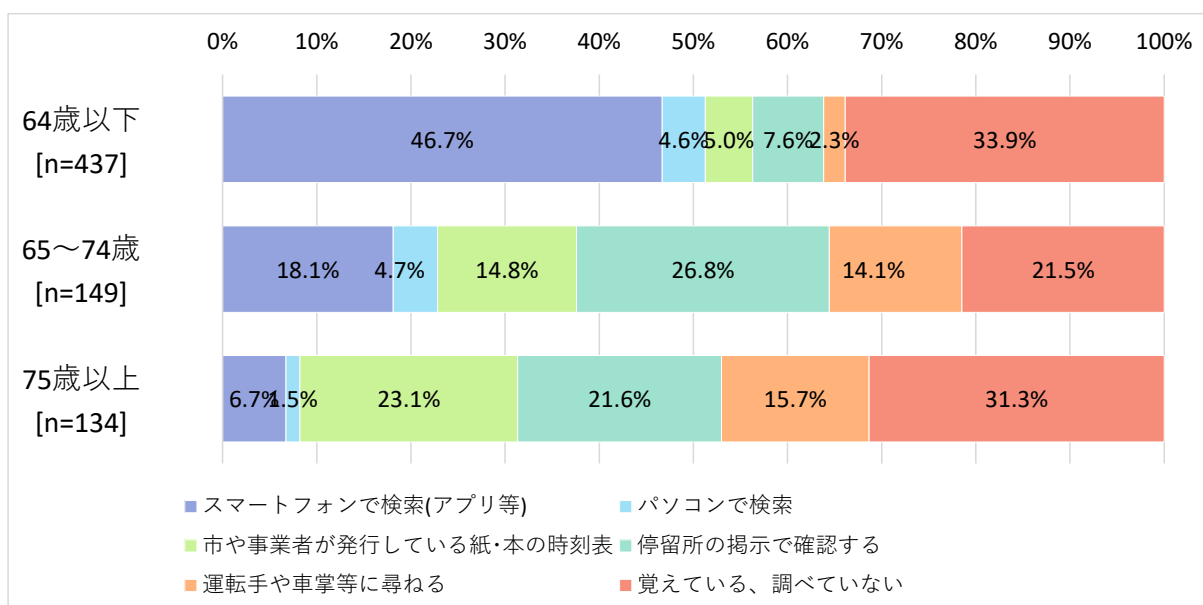


図 乗合タクシーを利用する際の調べ方（年齢層別）

居住地域別にみると、西浅井地域では停留所の掲示で確認されている方が約38%と他地域と比較して多くなっています。その他には、余呉地域で紙・本の時刻表等で確認される方が約32%と他地域より多く、木之本地域、湖北地域、虎姫地域、旧長浜地域の4地域で覚えていない方が30%を超えています。

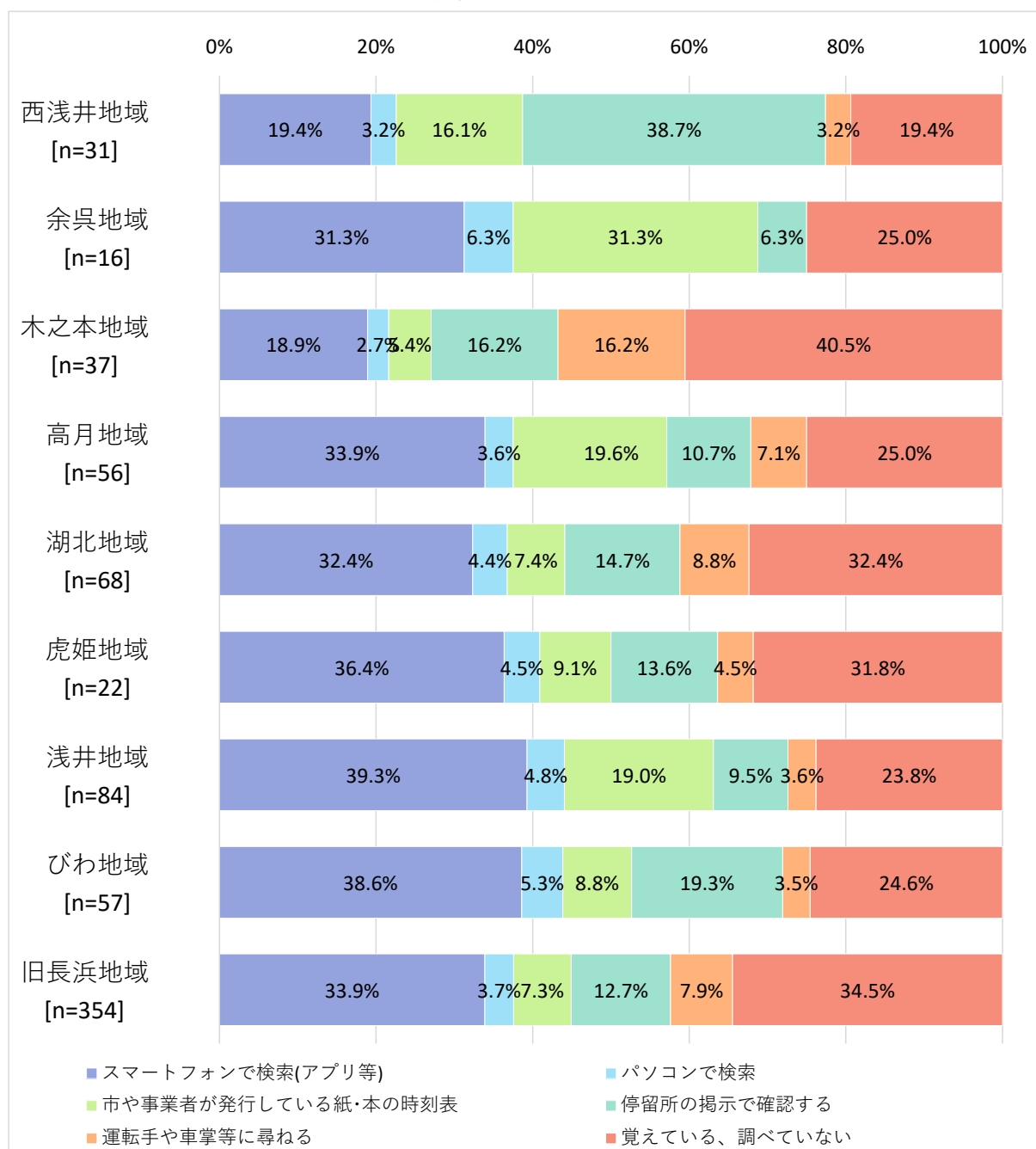
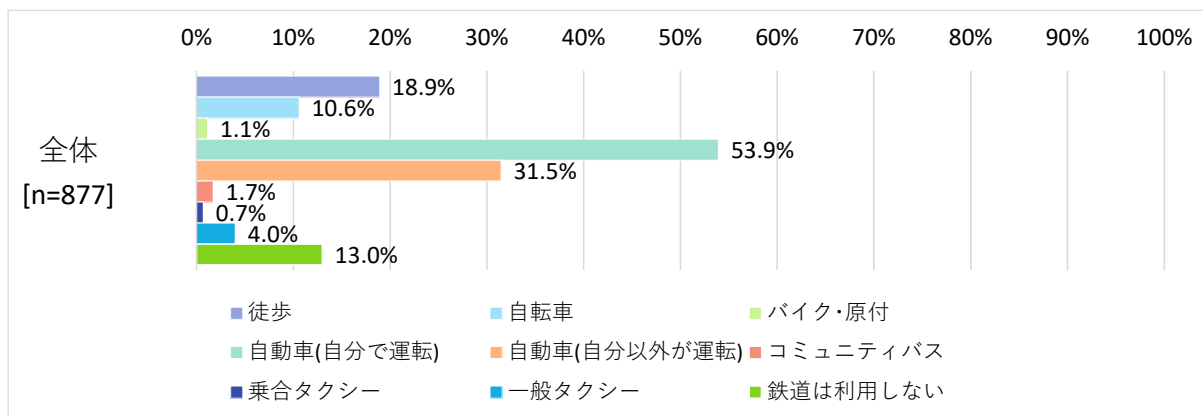


図 乗合タクシーを利用する際の調べ方（居住地域別）

(3) 鉄道駅までに向かうための移動

① 鉄道駅までの移動手段

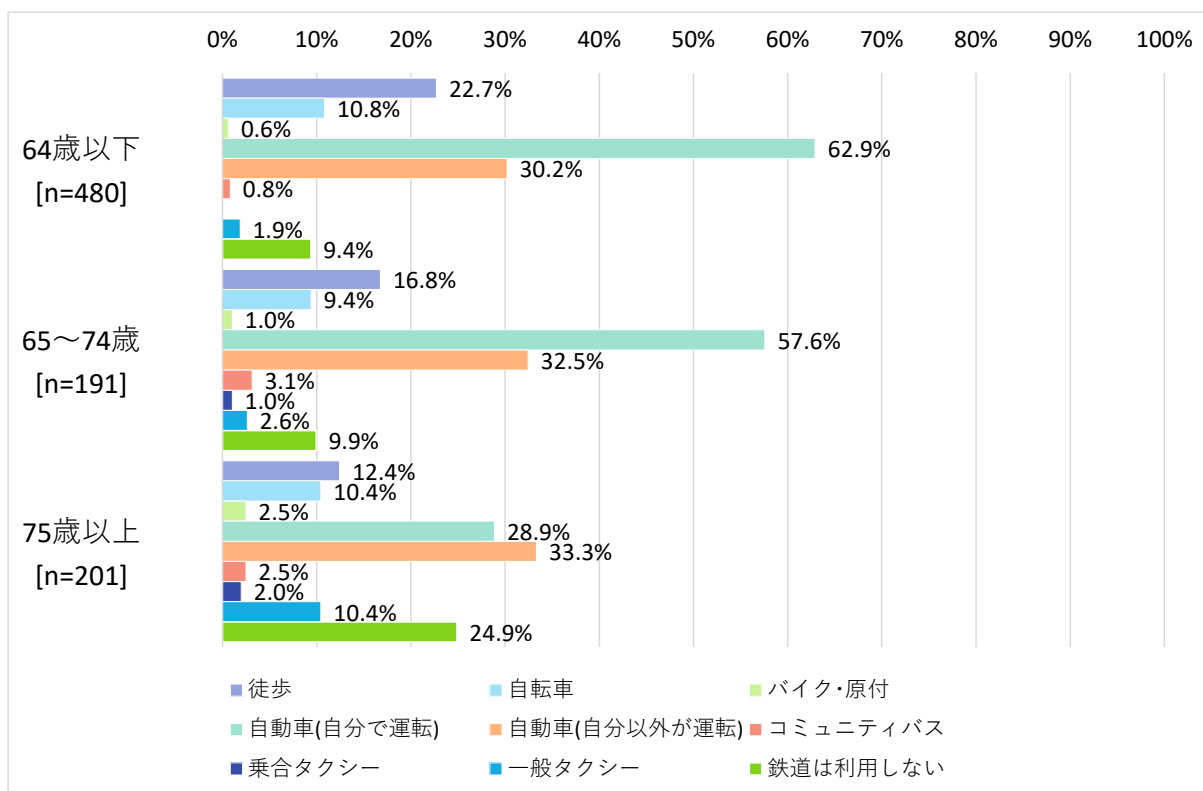
自分で自動車を運転して鉄道駅に向かう方が約 54%と最も多く、自分以外が運転する自動車で鉄道駅に向かう方が約 32%と続いています。自動車以外では徒歩や自転車が約 10%を超えている一方で、鉄道駅を利用しない方が約 13%となっています。



※複数回答

図 鉄道駅までの移動手段

年齢層別にみると、64歳以下の方において徒歩で鉄道駅まで向かう方が約 23%と他年齢層と比べて多くなっているほか、75歳以上では鉄道を利用しない方が約 25%となっています。

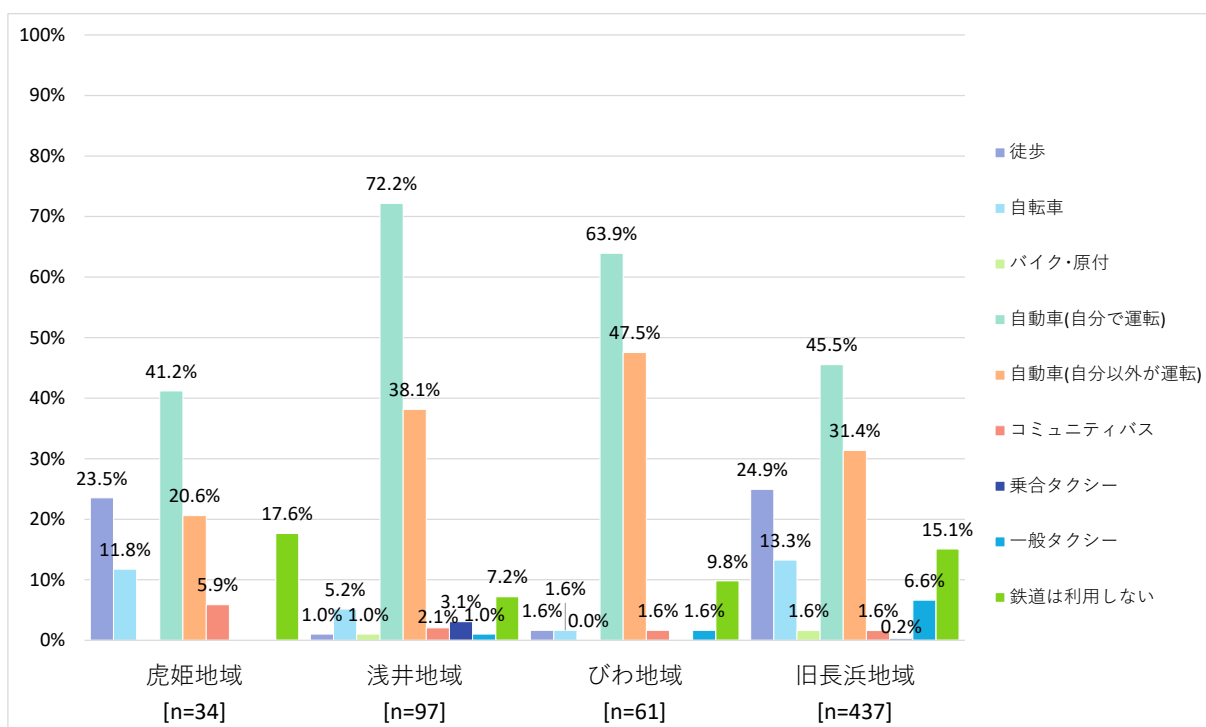
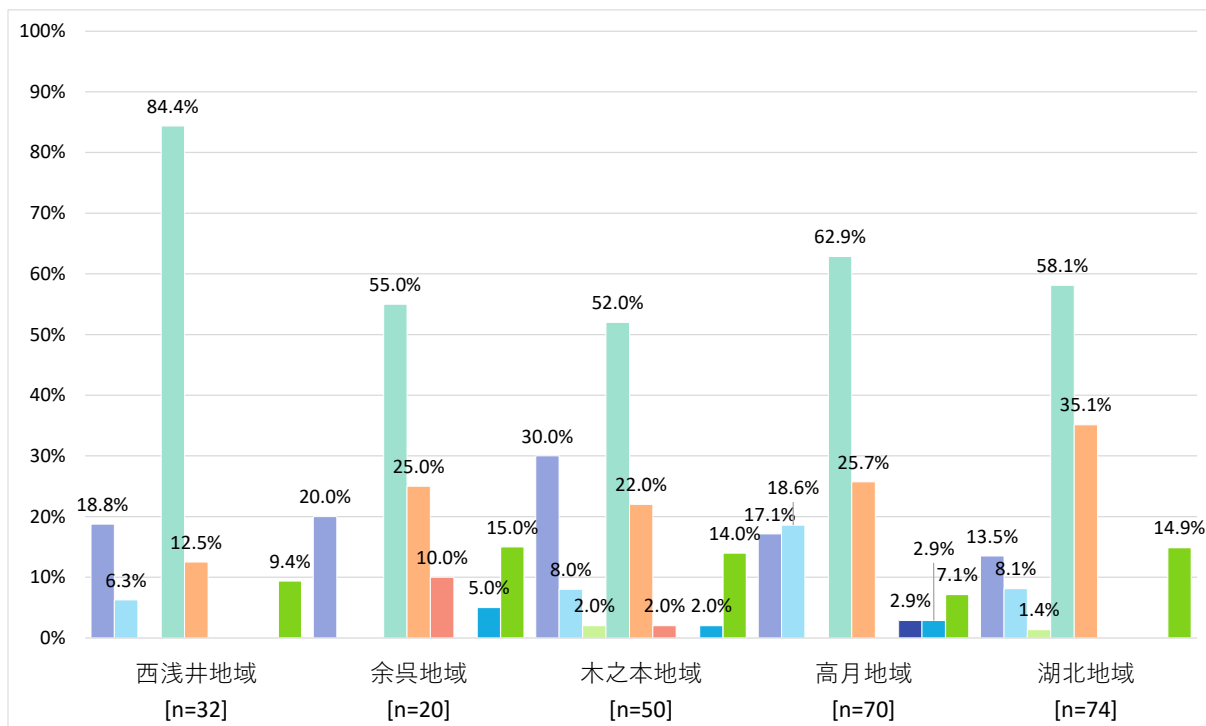


※複数回答

図 鉄道駅までの移動手段（年齢層別）

居住地域別にみると、自分で自動車を運転している、自分以外に自動車を運転してもらう方が多くを占めています。

余呉地域で唯一、コミュニティバスによる移動が10%を超えています。また木之本地域では徒歩での移動が30%を超えています。

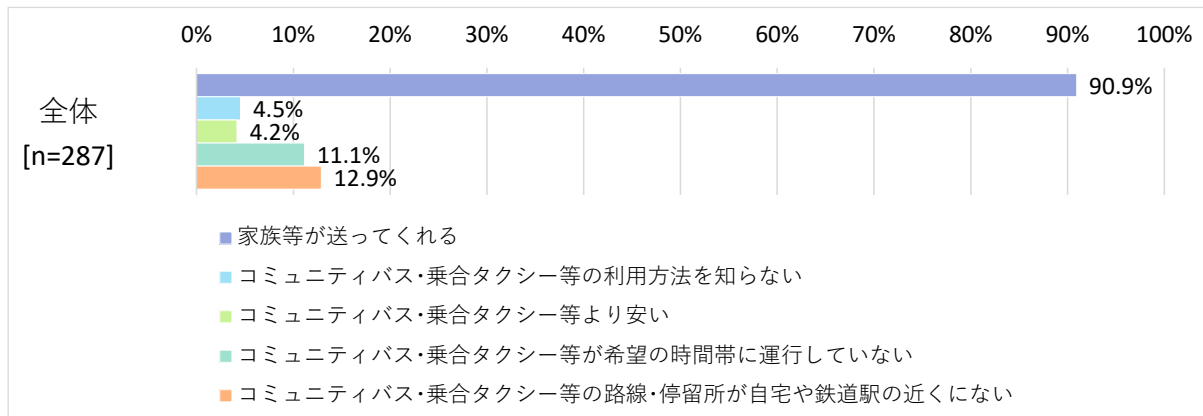


※複数回答

図 鉄道駅までの移動手段（居住地域別）

②鉄道駅までの移動に地域公共交通を利用しない理由

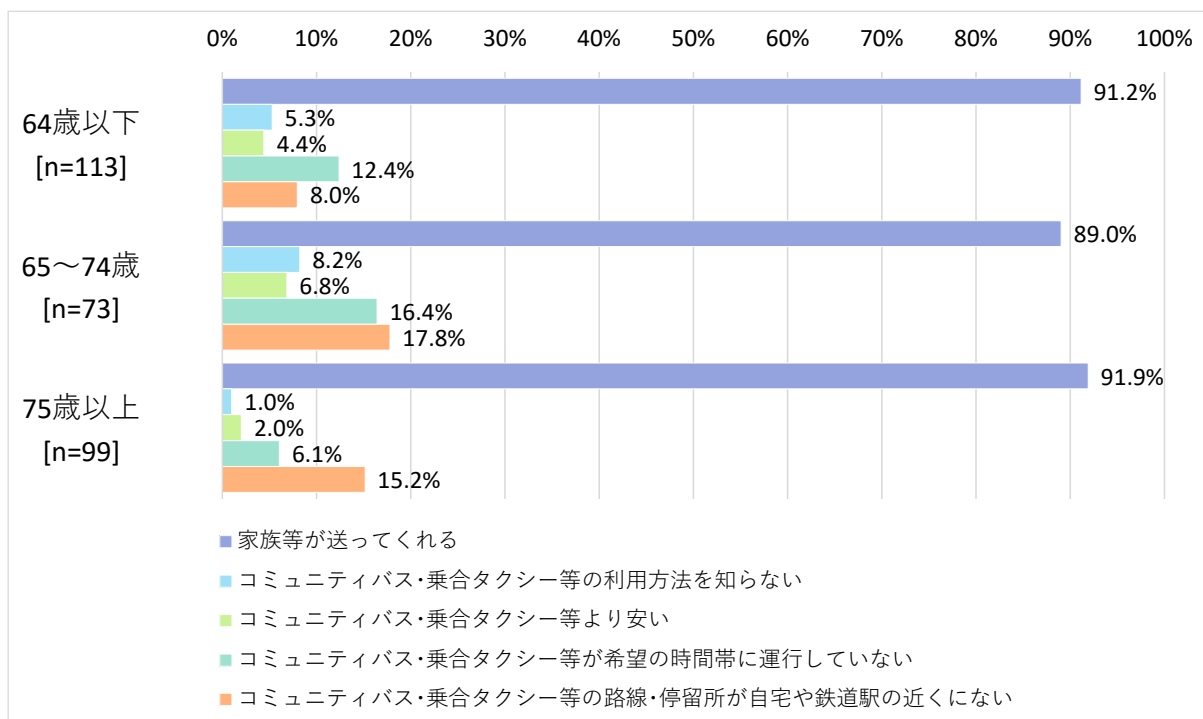
約91%が家族に送迎してもらい、鉄道駅まで向かっています。そのほかに自宅や鉄道駅近くにコミュニティバスや乗合タクシーが運行していない、利用したい時間にコミュニティバスや乗合タクシーが運行していないことを挙げている方が10%を超えています。



※複数回答

図 鉄道駅まで地域公共交通を使わない理由

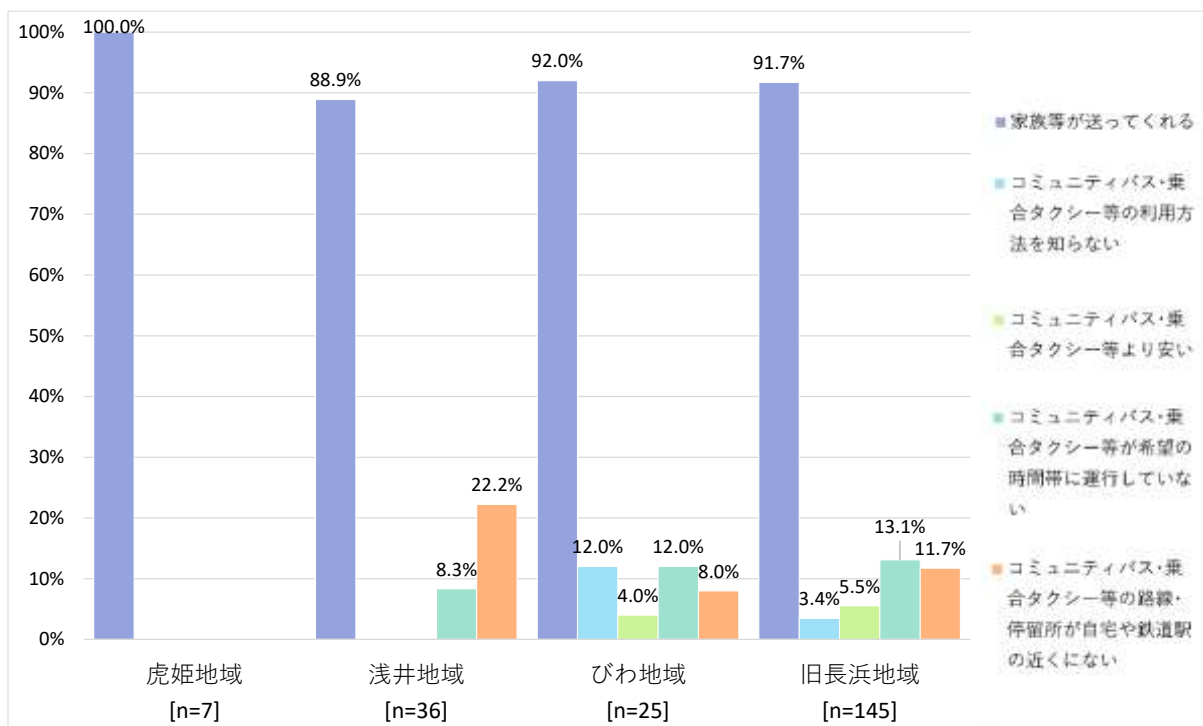
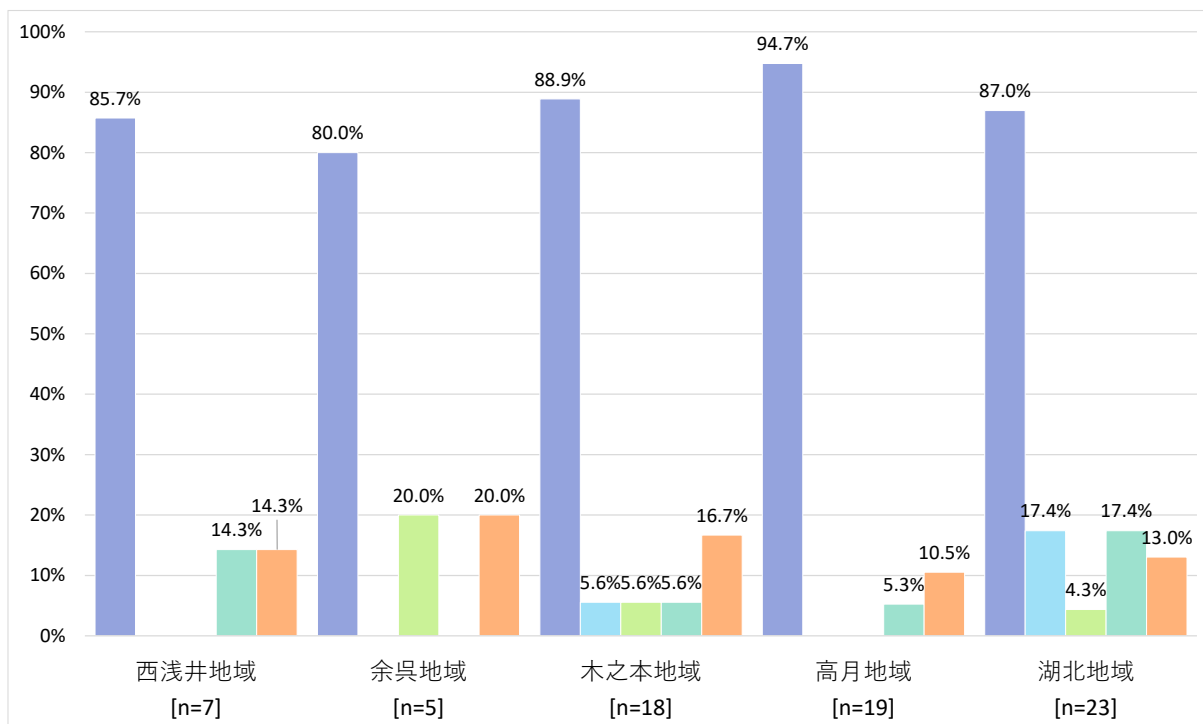
年齢層別にみると、65～74歳でコミュニティバスや乗合タクシーが自宅、鉄道駅近くを運行していないことを挙げている方が他年齢層と比較して多くなっています。



※複数回答

図 鉄道駅まで地域公共交通を使わない理由（年齢層別）

居住地域別にみると、余呉地域において自動車で移動する方が安いことを挙げている方が約20%と、他地域より高くなっています。また、浅井地域では近くに路線、停留所が無いことを挙げている方が約22%となっています。



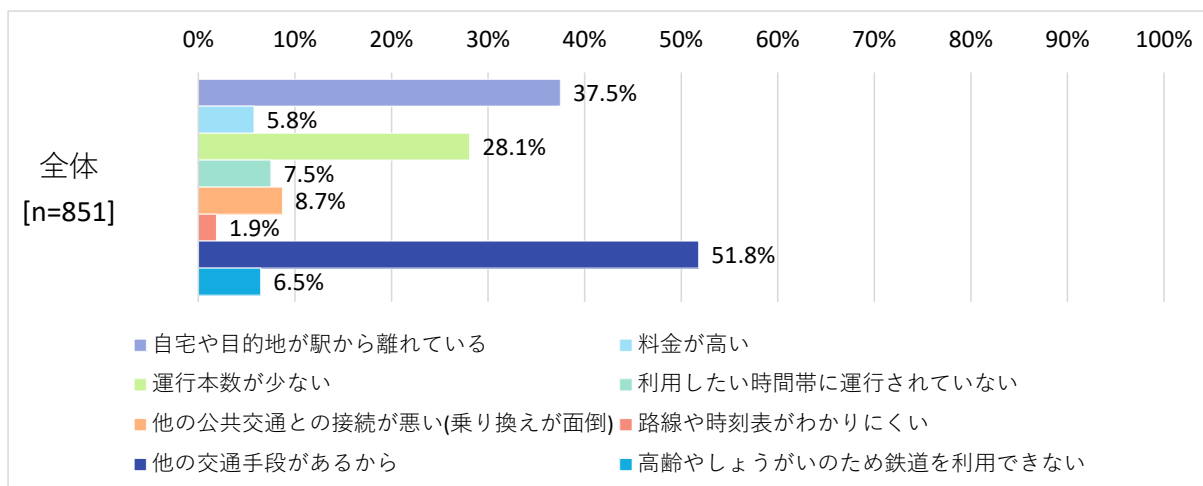
※複数回答

図 鉄道駅まで地域公共交通を使わない理由（居住地域別）

(4) 利用しない理由、利用時のお困りごと

①鉄道

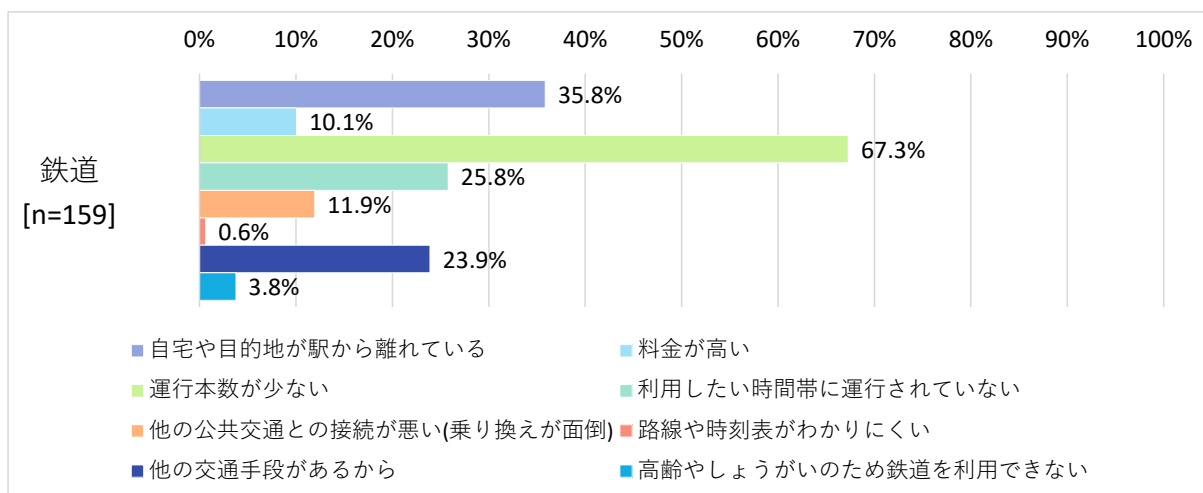
他の交通手段があるからと回答している方が約52%と最も多いほか、自宅や目的地が駅から離れている、運行本数が少ないが20%を超えています。



※複数回答

図 鉄道を利用しない理由若しくは利用している中で感じている困りごと

鉄道利用者を抽出してみると、運行本数が少ないが約67%と最も多くなっています。その次に多い意見として、自宅や目的地から駅が離れていることが約36%となっています。

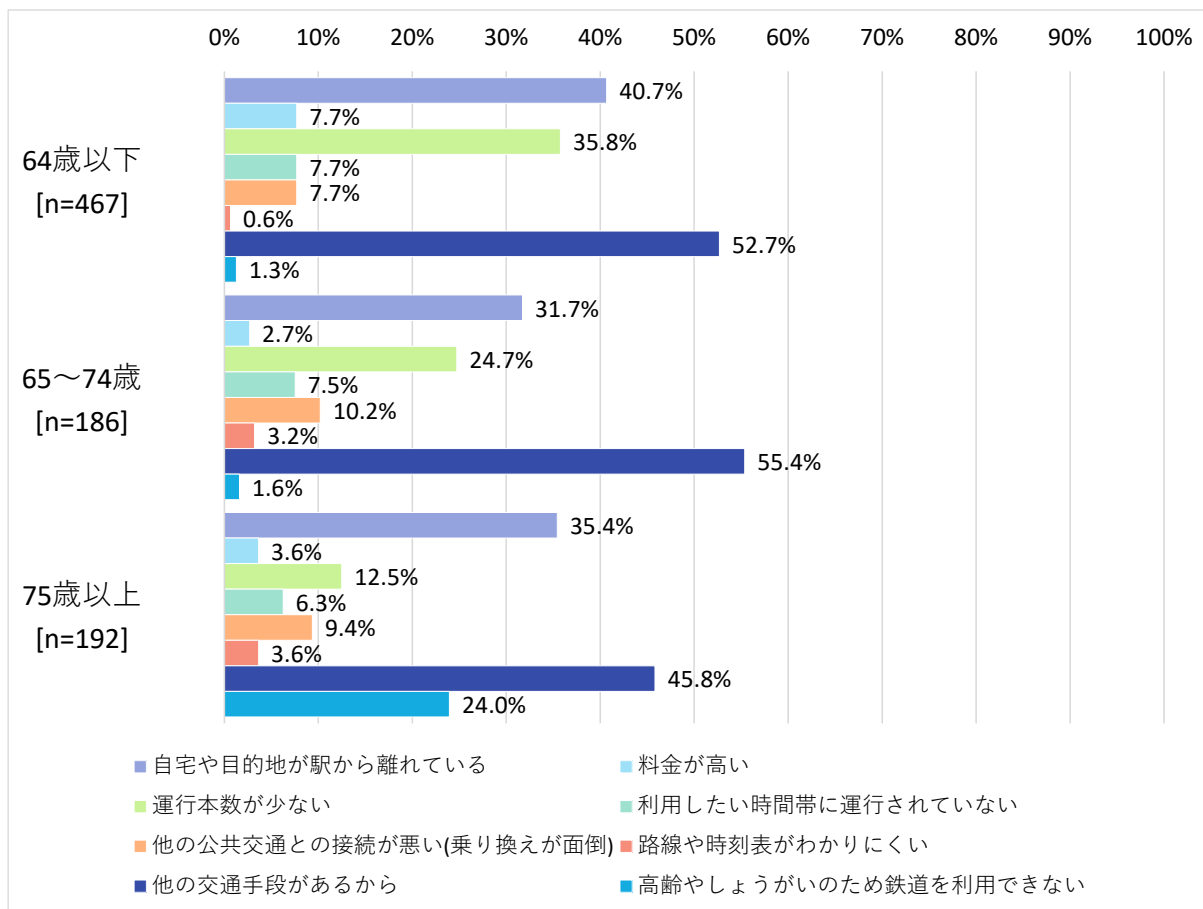


※複数回答

※通勤・通学、買物、通院、その他の移動で鉄道を利用している方を対象に集計。

図 鉄道を利用しない理由若しくは利用している中で感じている困りごと (鉄道利用者)

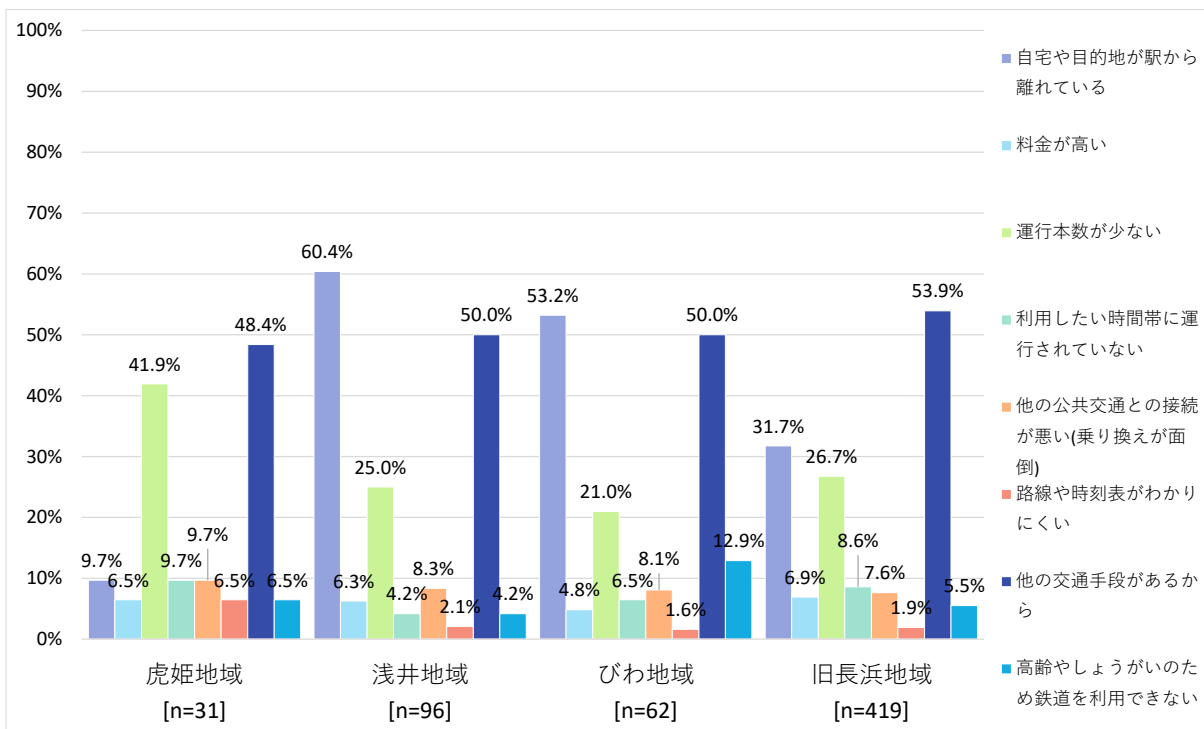
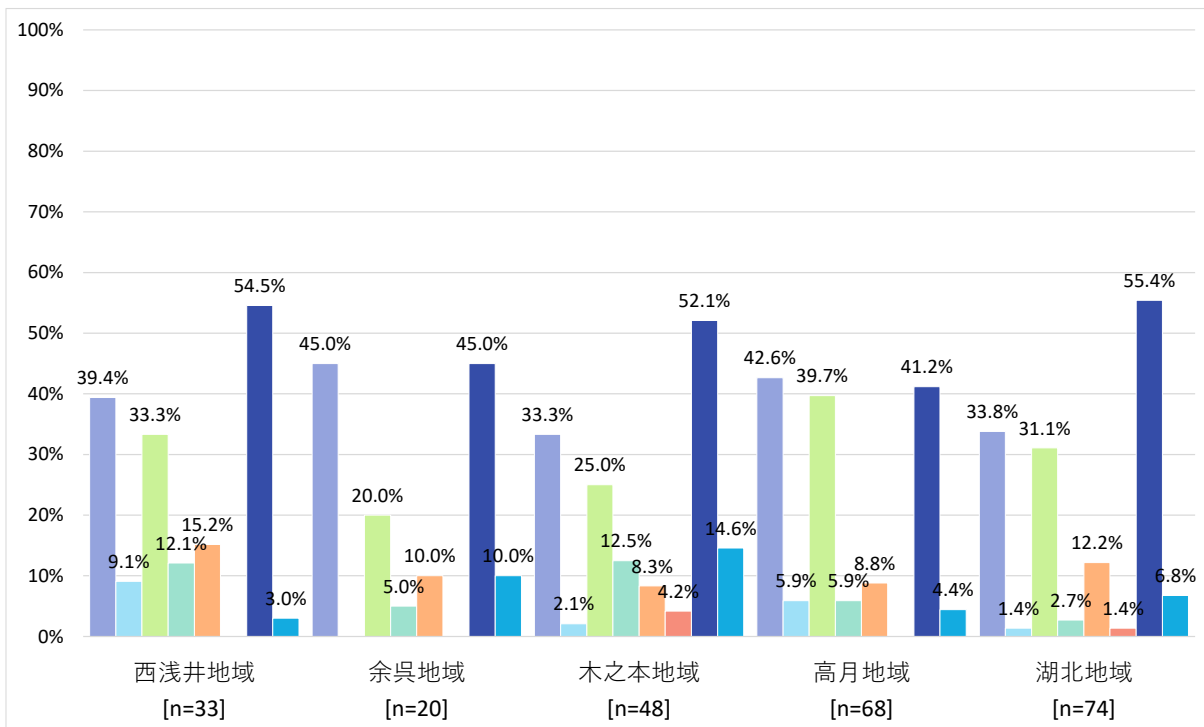
年齢層別にみると、75歳以上の方で高齢やしょうがいを利用できないと回答している方が約24%と多くなっています。



※複数回答

図 鉄道を利用しない理由若しくは利用している中で感じている困りごと (年齢層別)

居住地域別にみると、他の移動手段があることが最も理由として多くなっている地域が多い中で、鉄道駅がない浅井地域、びわ地域では自宅や目的地が駅から離れていることが理由として最も多くなっています。

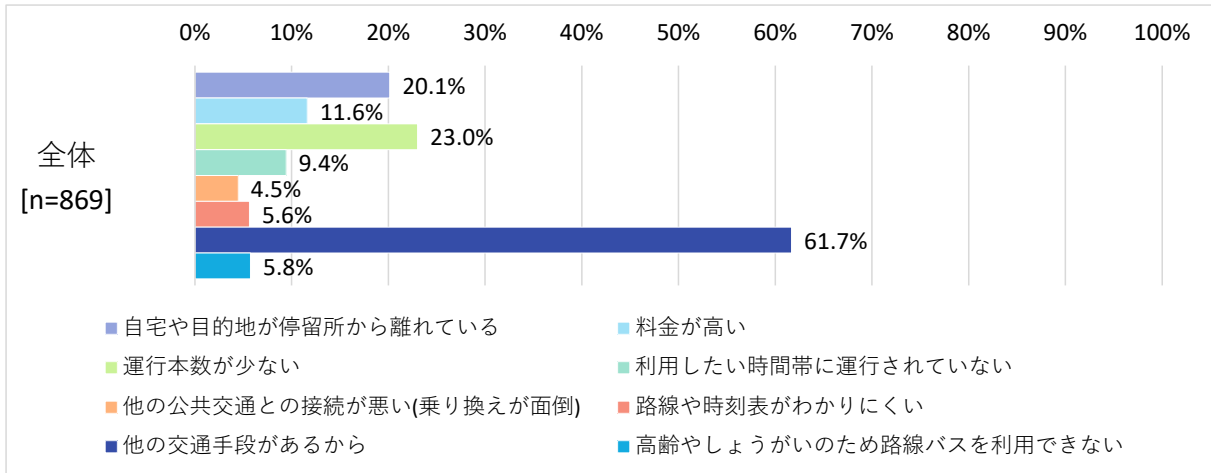


※複数回答

図 鉄道を利用しない理由若しくは利用している中で感じている困りごと (居住地域別)

②コミュニティバス

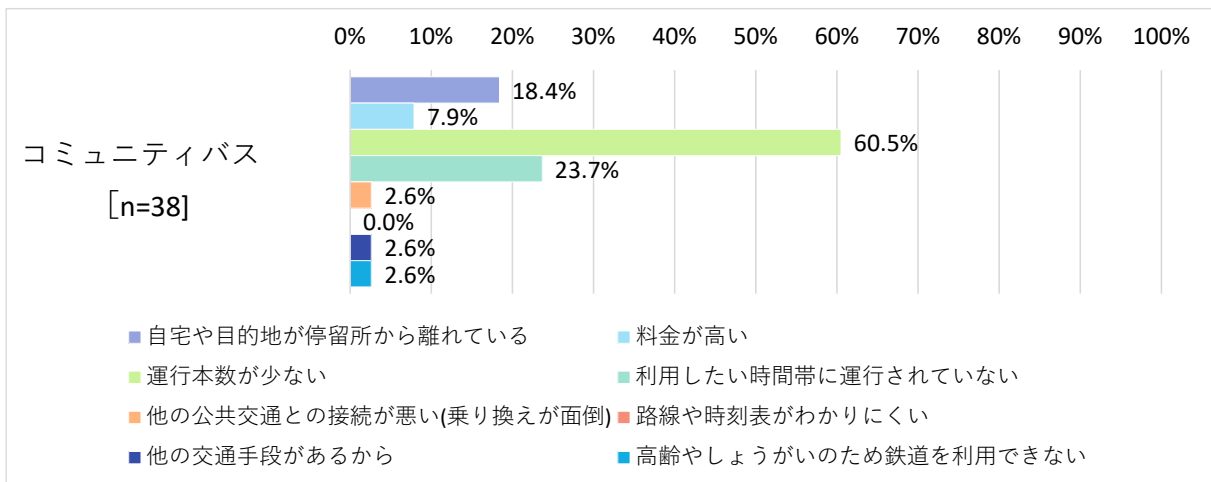
他の交通手段があるからと回答している方が約62%と最も多いほか、自宅や目的地が停留所から離れている、運行本数が少ないが20%を超えています。



※複数回答

図 コミュニティバスを利用しない理由若しくは利用している中で感じている困りごと

コミュニティバス利用者を抽出してみると、運行本数が少ないが約61%と最も多くなっています。その次に多い意見として、利用したい時間帯に運行されていないことが約24%となっています。

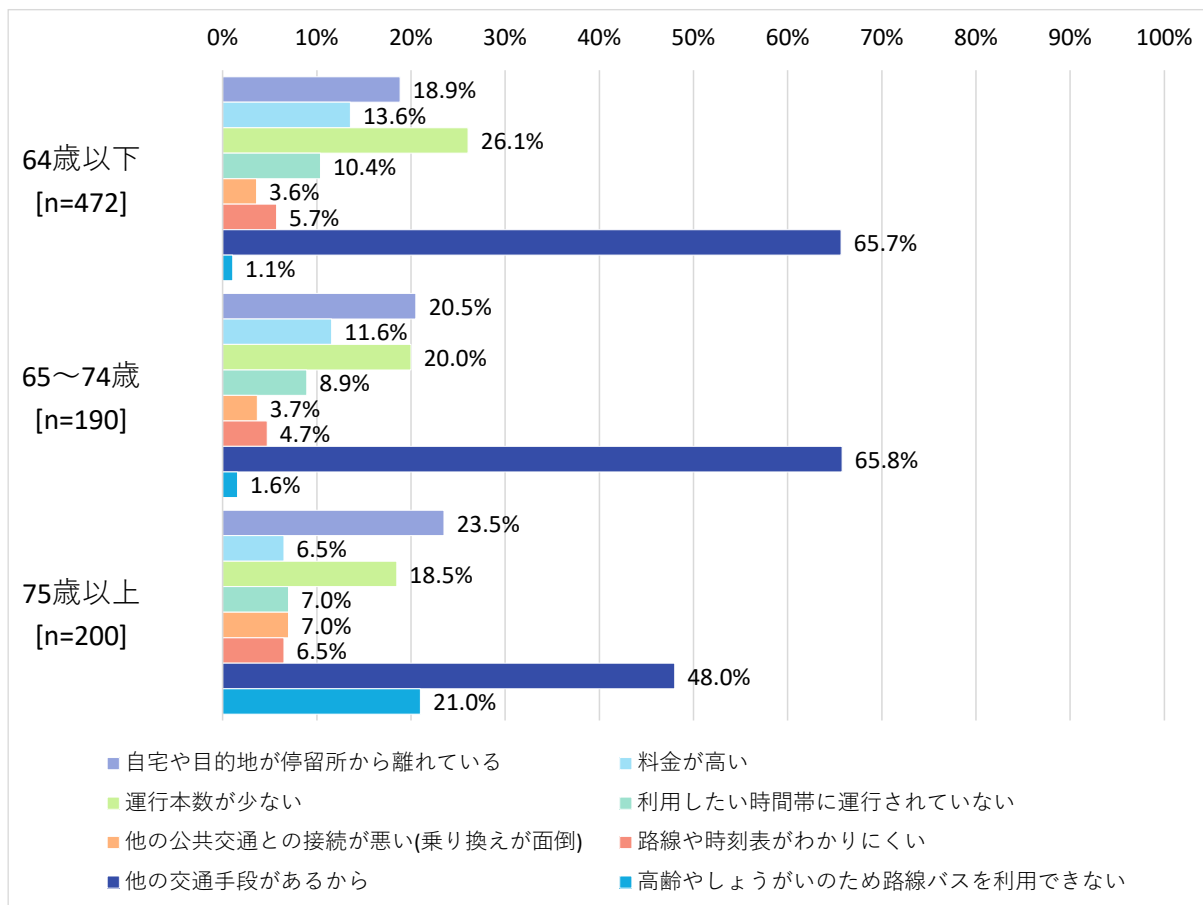


※複数回答

※通勤・通学、買物、通院、その他の移動でコミュニティバスを利用している方を対象に集計。

図 コミュニティバスを利用しない理由若しくは利用している中で感じている困りごと（コミュニティバス利用者）

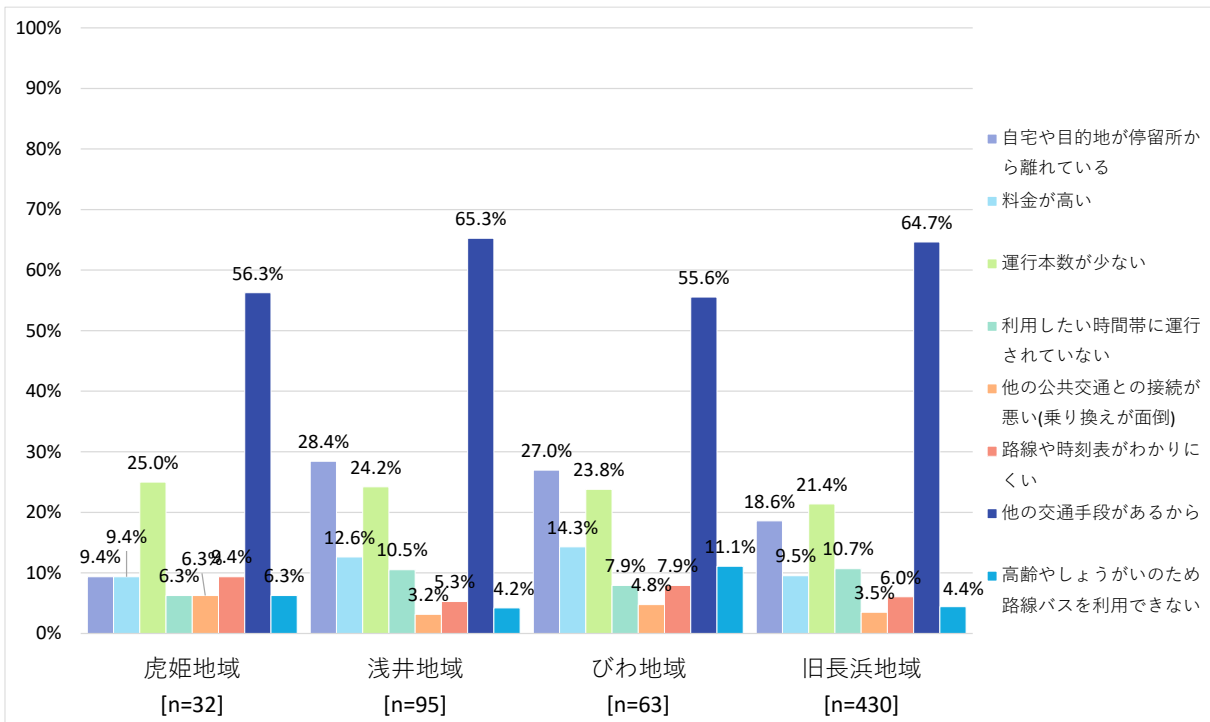
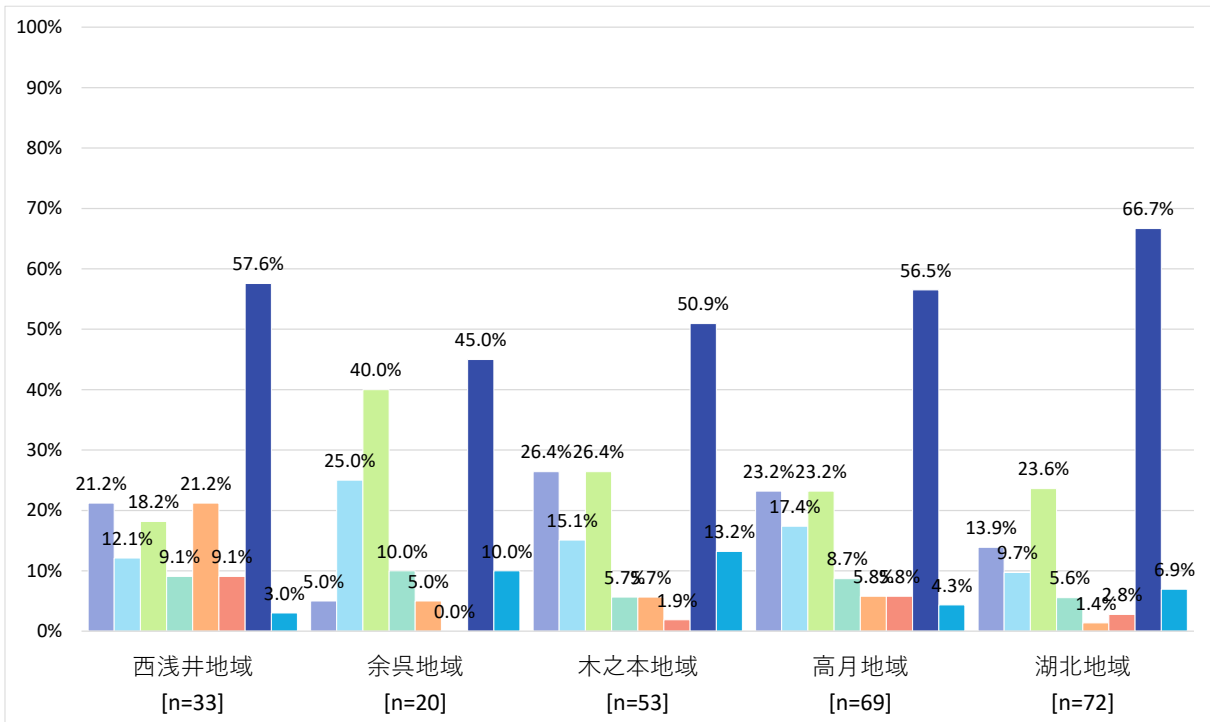
年齢層別にみると、どの年齢層でも他の交通手段があるからとの回答が最も多いものの、75歳以上の方で高齢やしょうがいを利用できないとしている方が約21%と多くなっています。



※複数回答

図 コミュニティバスを利用しない理由若しくは利用している中で感じている困りごと（年齢層別）

居住地域別にみると、余呉地域では運行本数の少なさを挙げている方が約40%、料金が安いことを挙げていない方が約25%と他地域と比べて多くなっています。

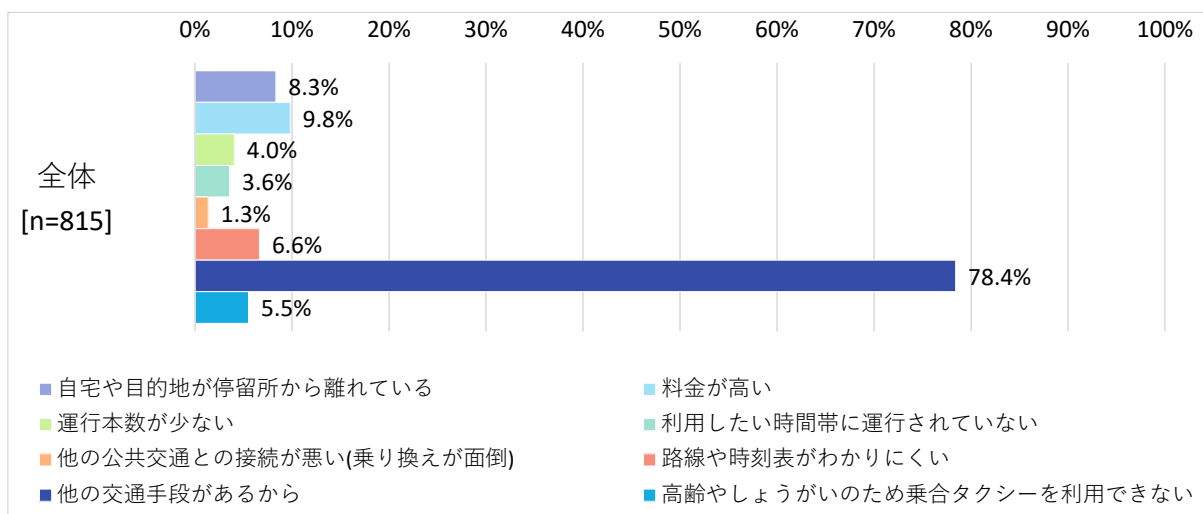


※複数回答

図 コミュニティバスを利用しない理由若しくは利用している中で感じている困りごと（居住地域別）

③乗合タクシー

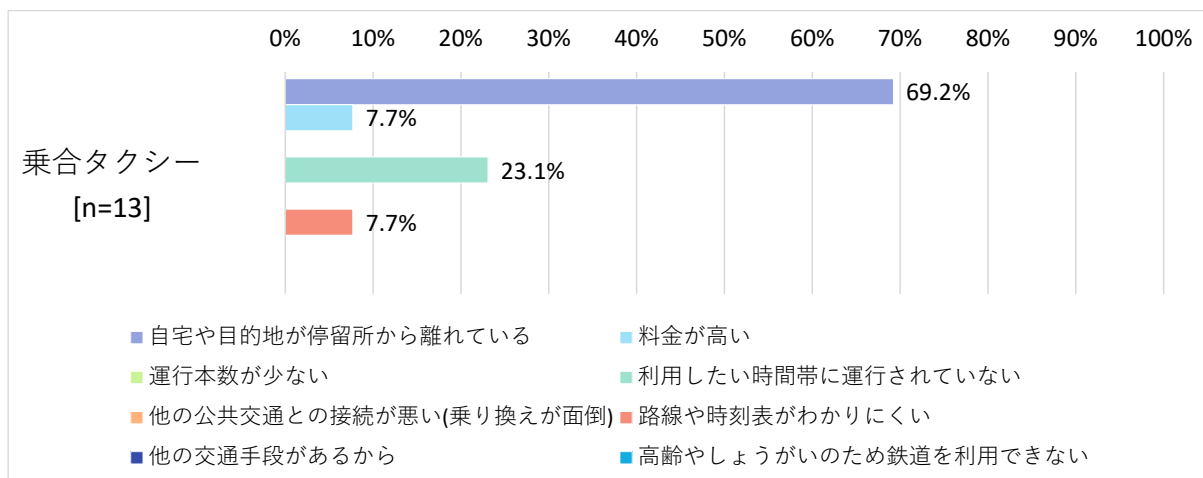
他の交通手段があるからと回答している方が約78%と最も多くなっています。



※複数回答

図 乗合タクシーを利用しない理由若しくは利用している中で感じている困りごと

乗合タクシー利用者を抽出してみると、自宅や目的地が停留所から離れているが約69%と最も多くなっています。その次に多い意見として、利用したい時間帯に運行されていないことが約23%となっています。

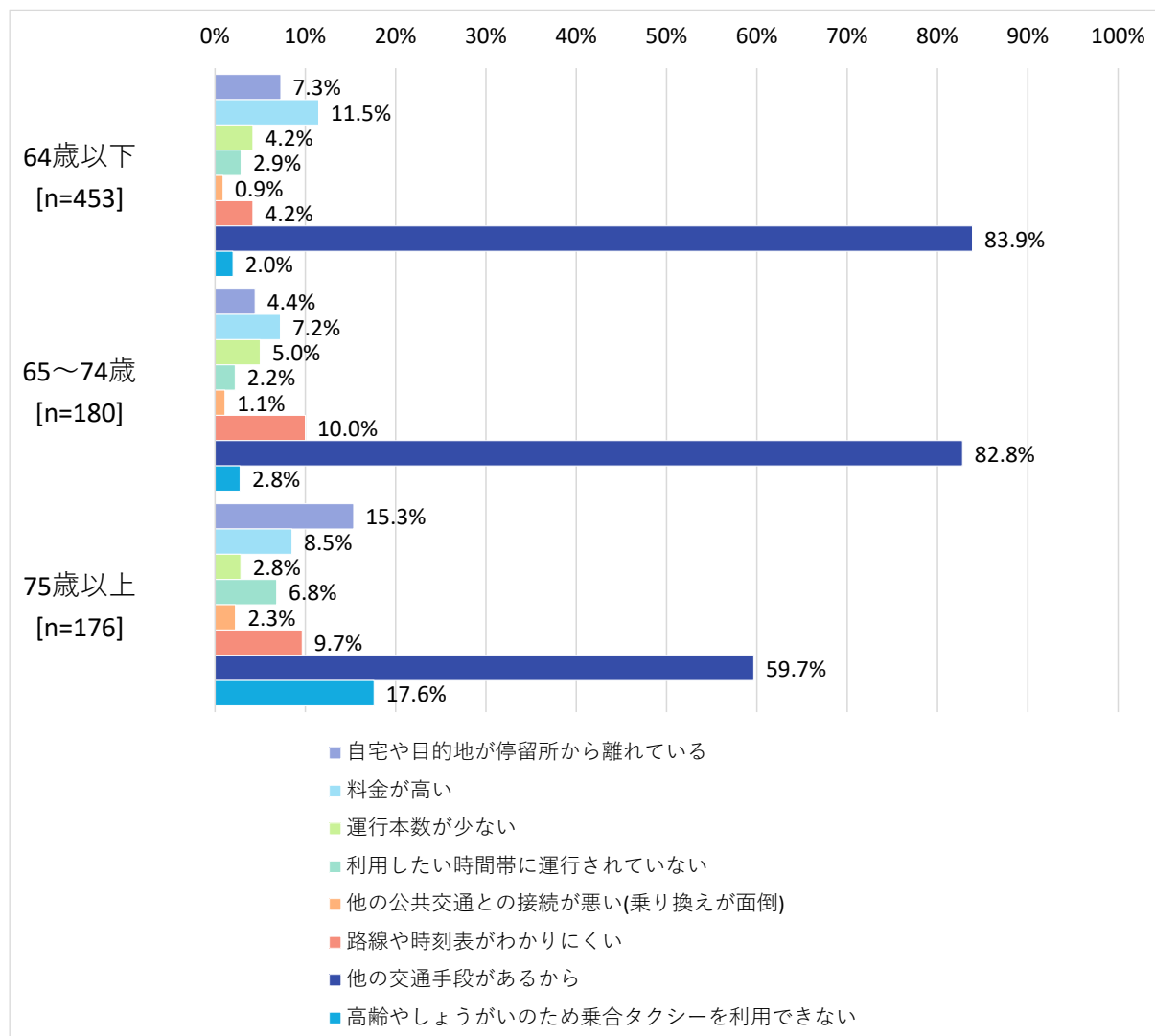


※複数回答

※通勤・通学、買物、通院、その他の移動で乗合タクシーを利用している方を対象に集計。

図 乗合タクシーを利用しない理由若しくは利用している中で感じている困りごと (乗合タクシー利用者)

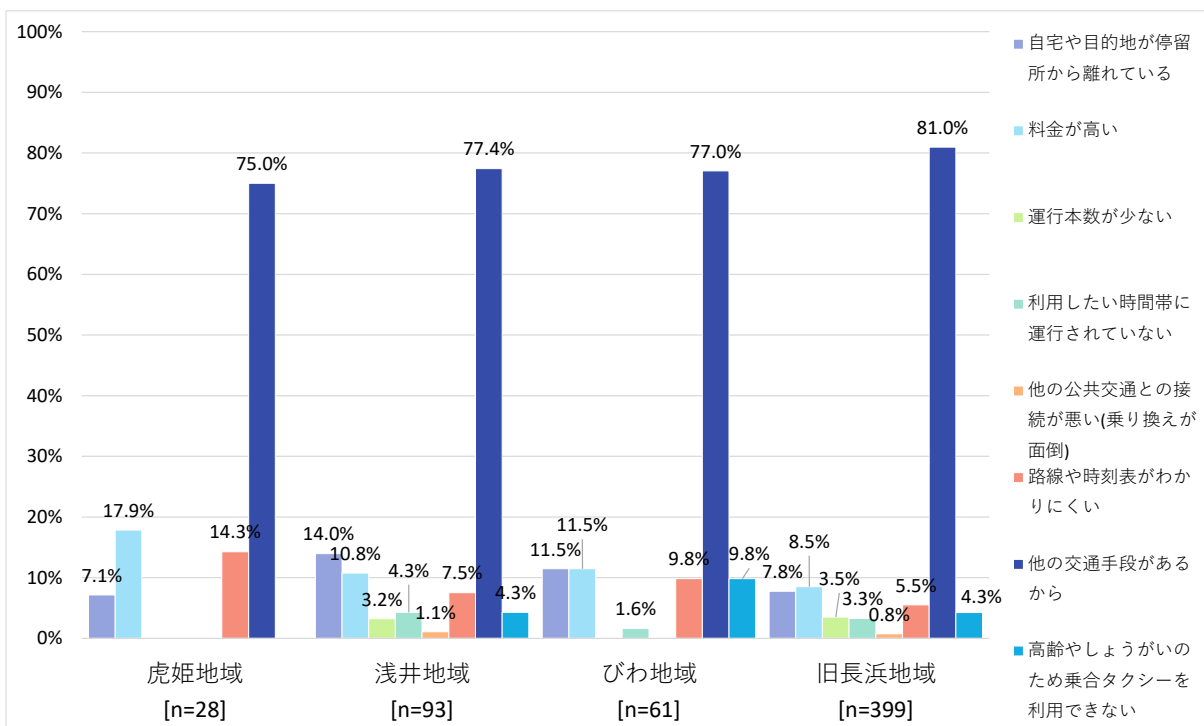
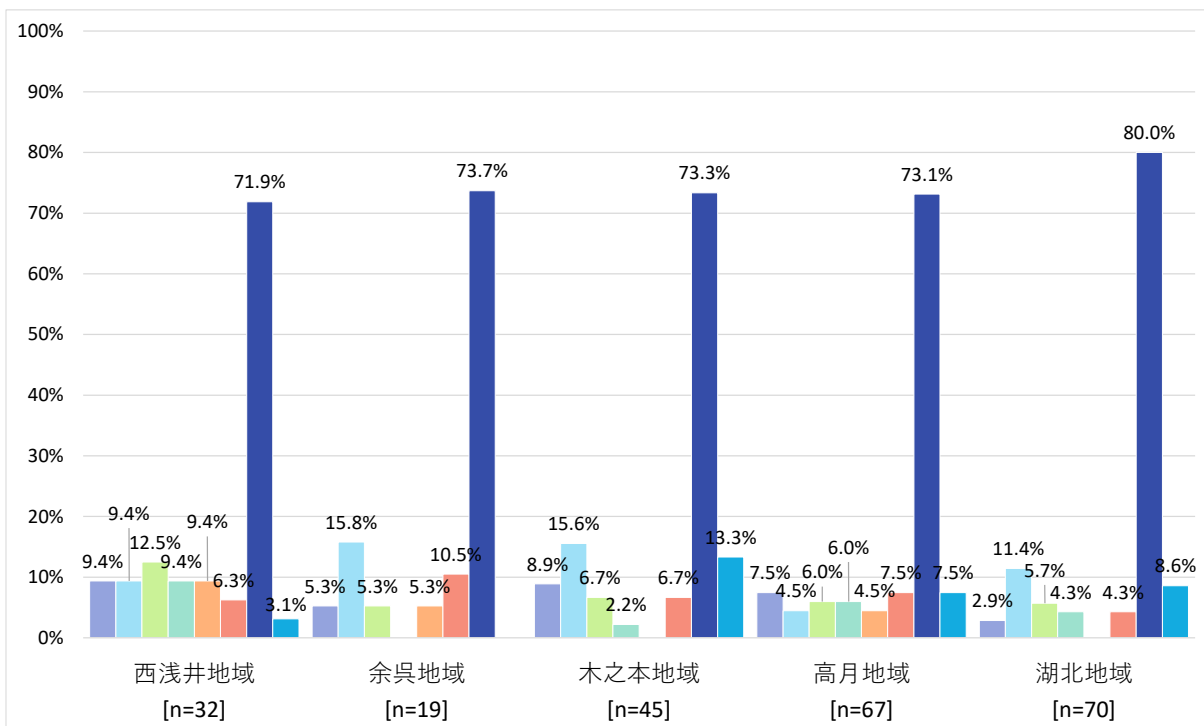
年齢層別にみると、どの年齢層でも他の交通手段があるからとの回答が最も多いものの、75歳以上の方で高齢やしょうがいを利用できないとしている方が約18%と多くなっています。



※複数回答

図 乗合タクシーを利用しない理由若しくは利用している中で感じている困りごと (年齢層別)

居住地域別にみると、余呉地域、木之本地域、虎姫地域で料金が高いことを挙げている方が15%を超えているなど、他地域と比べて多くなっています。そのほかには、余呉地域、虎姫地域では路線や時刻表のわかりにくさを挙げている方が10%を超えています。



※複数回答

図 乗合タクシーを利用しない理由若しくは利用している中で感じている困りごと (居住地域別)

(5) 地域公共交通が無くなった場合の生活への影響

①鉄道

鉄道が無くなった場合、移動手段がなくなる、地域公共交通以外の手段で移動する等、影響が生じてとしている方が約 55%となっています。

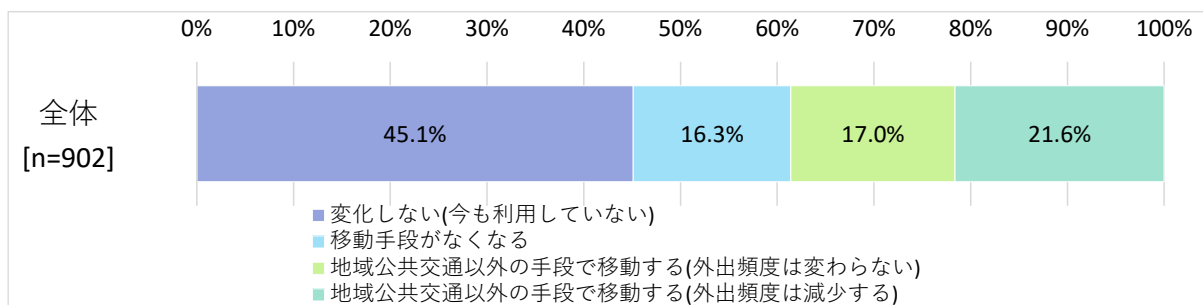


図 鉄道が無くなった場合の生活への影響

運転免許の有無別で見ると、運転免許を保有していない方のうち、移動手段がなくなると回答されている方が約 25%と高くなっています。

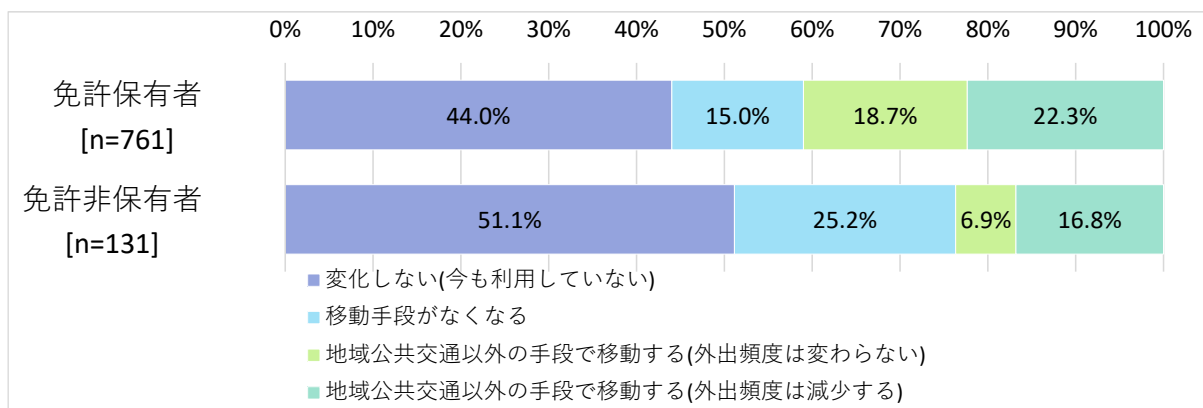


図 鉄道が無くなった場合の生活への影響（運転免許の有無別）

年齢層別にみると、75歳以上で移動手段がなくなると回答している方の割合が20%を超えています。

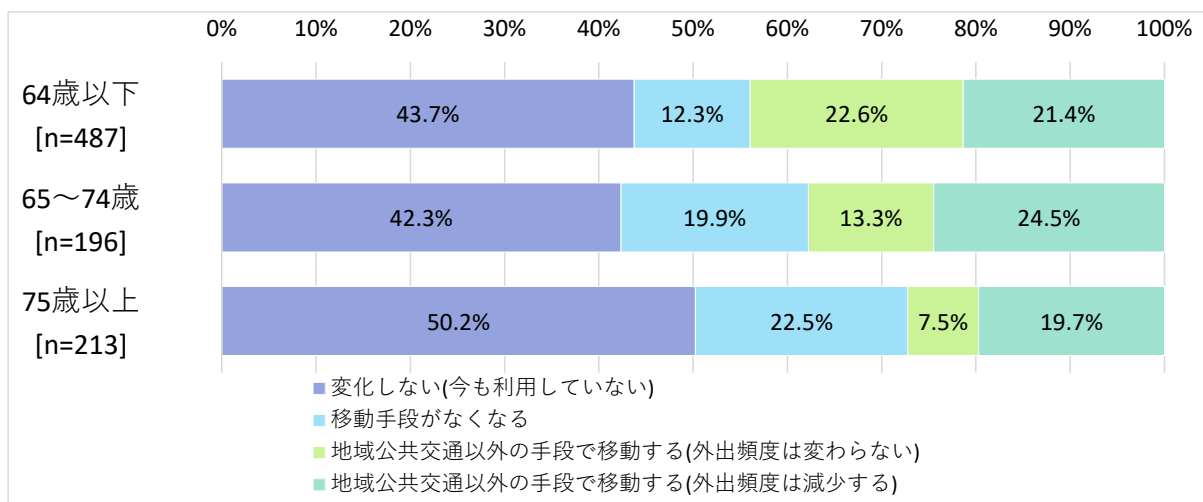


図 鉄道が無くなった場合の生活への影響（年齢層別）

居住地域別にみると、高月地域において地域公共交通以外の手段で移動すると回答されている方の割合が 50%を超えるなど、他地域と比較して高くなっています。

そのほかに湖北地域において、移動手段がなくなると回答されている方の割合が約 26%と他地域と比較して高くなっています。

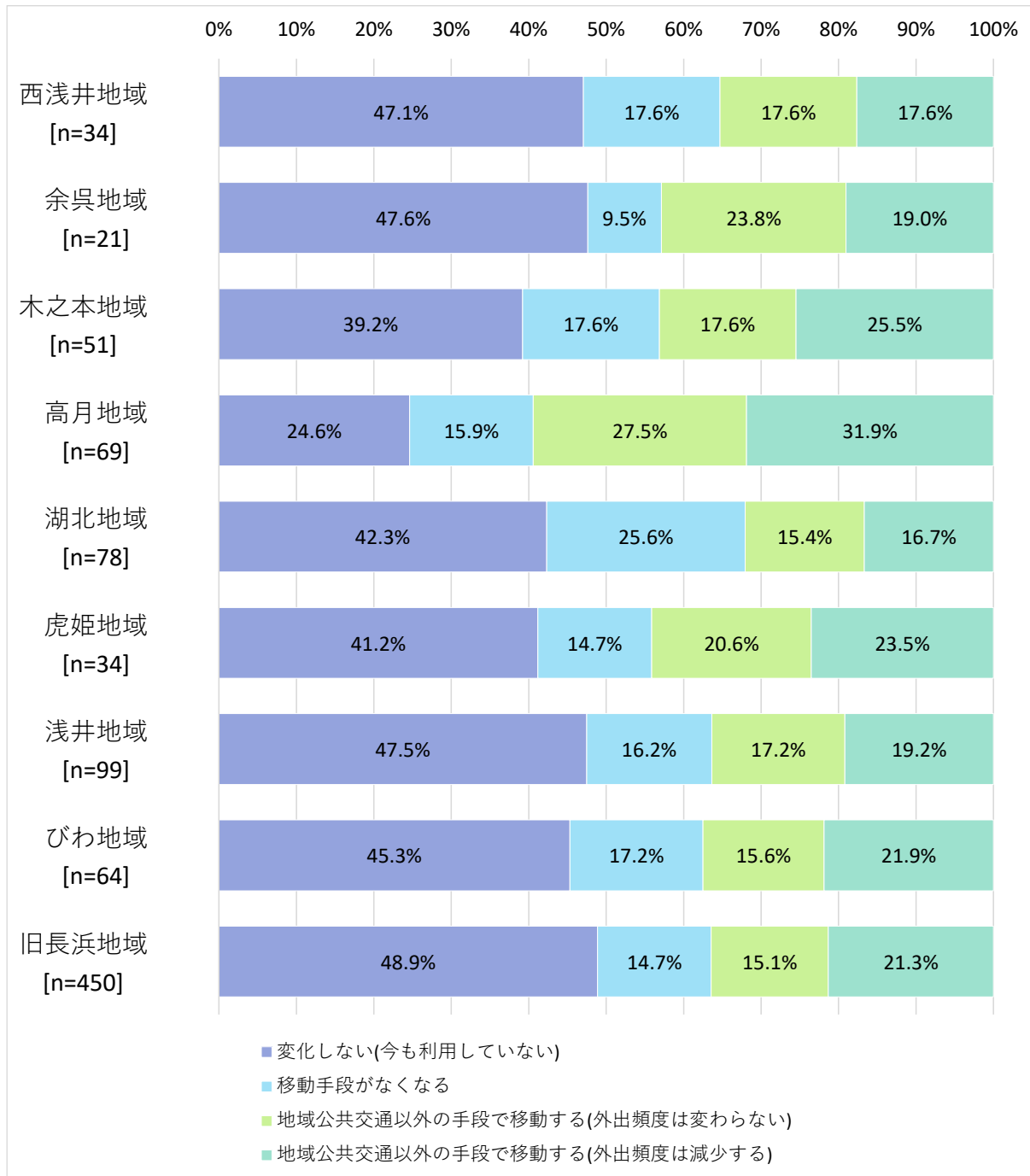


図 鉄道が無くなった場合の生活への影響（居住地域別）

②コミュニティバス

コミュニティバスが無くなった場合、約80%の方が変化しない（今も利用していない）とされています。

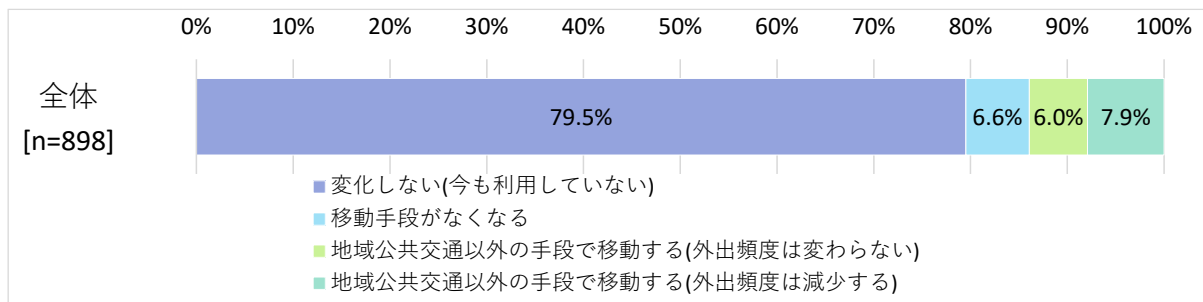


図 コミュニティバスが無くなった場合の生活への影響

運転免許の有無別で見ると、運転免許を保有していない方のうち、移動手段がなくなる、地域公共交通以外の手段で移動する等、影響が生じるとしている方が約36%となっています。

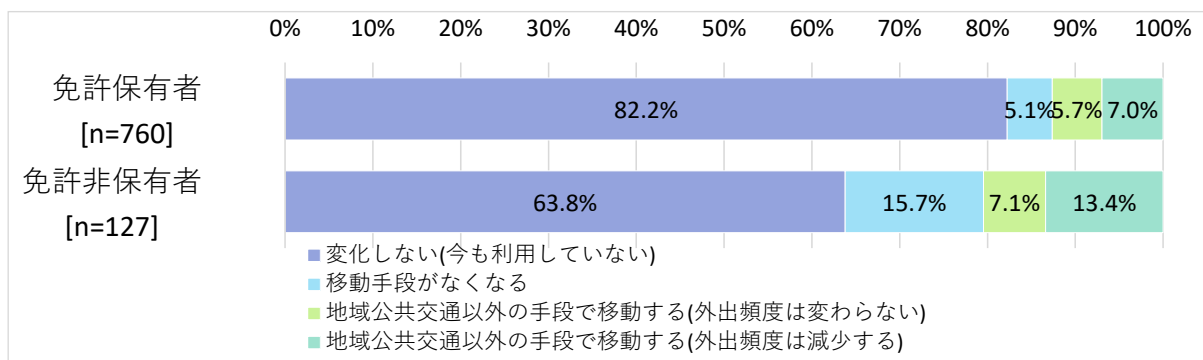


図 コミュニティバスが無くなった場合の生活への影響（運転免許の有無別）

年齢層別にみると65歳以上で移動手段がなくなると回答している方の割合が約10%となっていますが、どの年齢層でも、変化しない（今も利用していない）としている方の割合が最も大きくなっています。

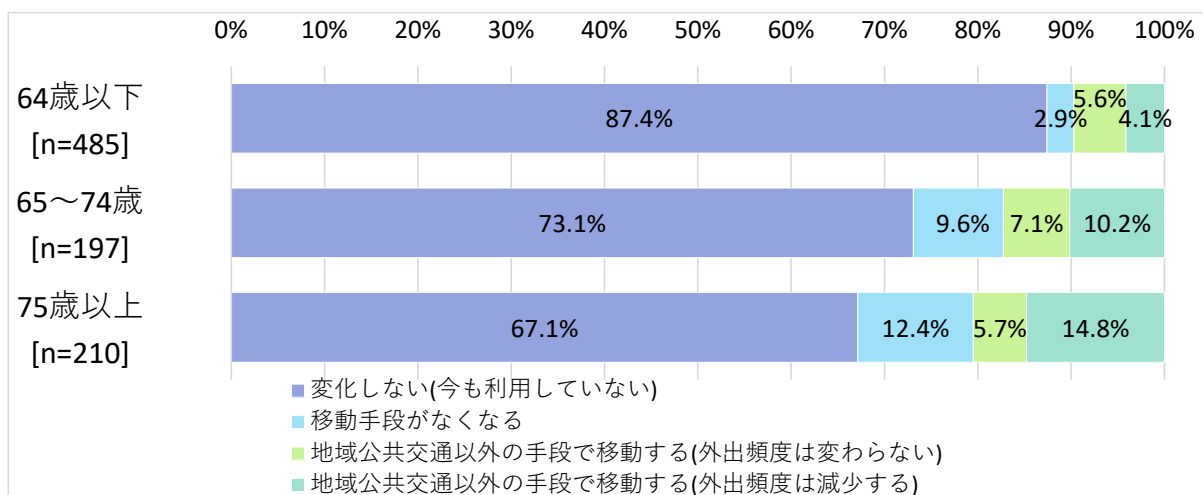


図 コミュニティバスが無くなった場合の生活への影響（年齢層別）

居住地域別にみると、余呉地域において移動手段がなくなる、地域公共交通以外の手段で移動する等、影響が生じるとしている方が約 48%と他地域と比べて高くなっています。

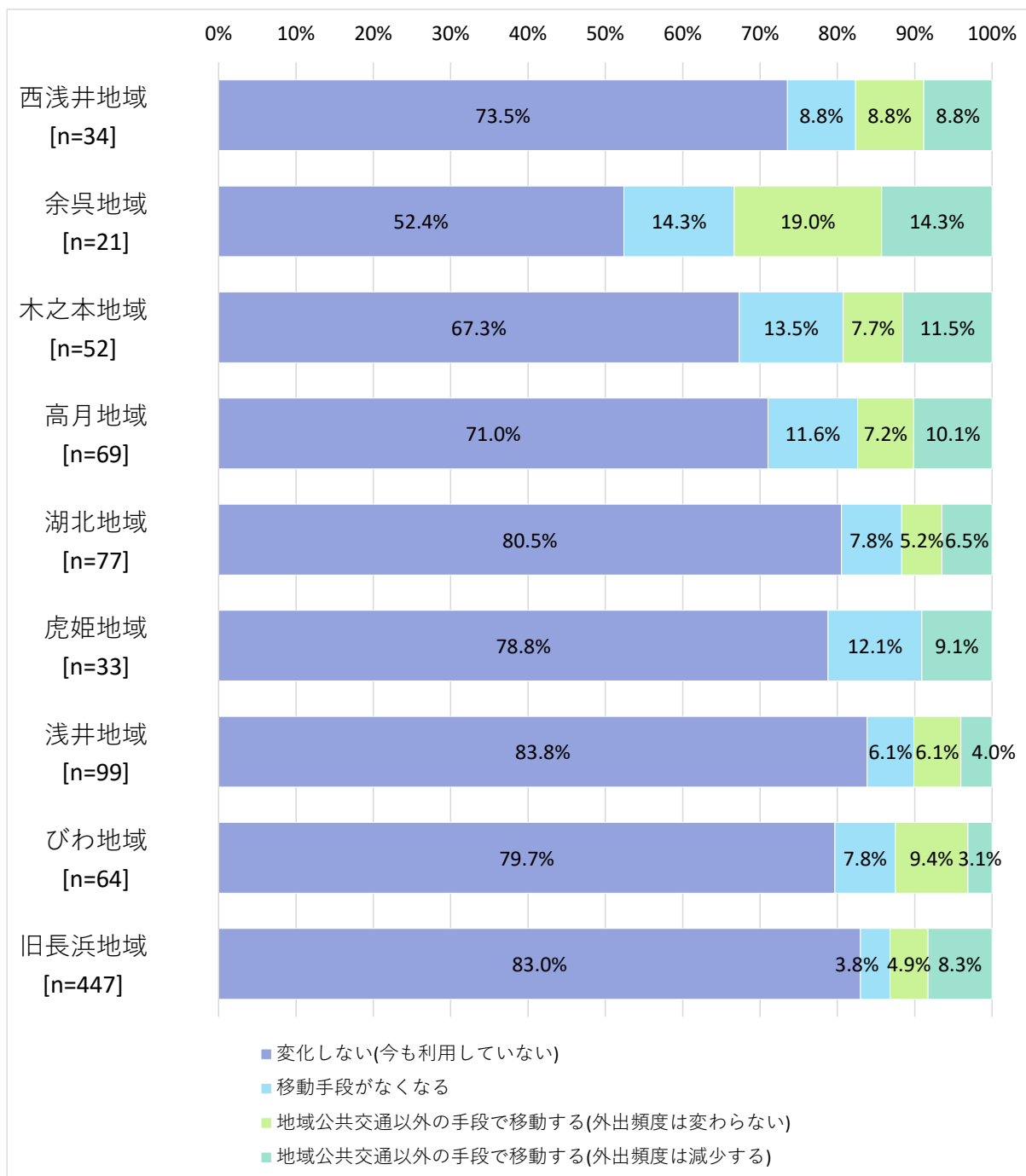


図 コミュニティバスが無くなった場合の生活への影響（居住地域別）

③乗合タクシー

乗合タクシーが無くなった場合、約 85%の方が変化しない（今も利用していない）としています。乗合タクシーは運行している地域が限られていることや、事前登録が必要であることから、変化しない（今も利用していない）と回答した方が他の交通手段の回答より多くなったと考えられます。

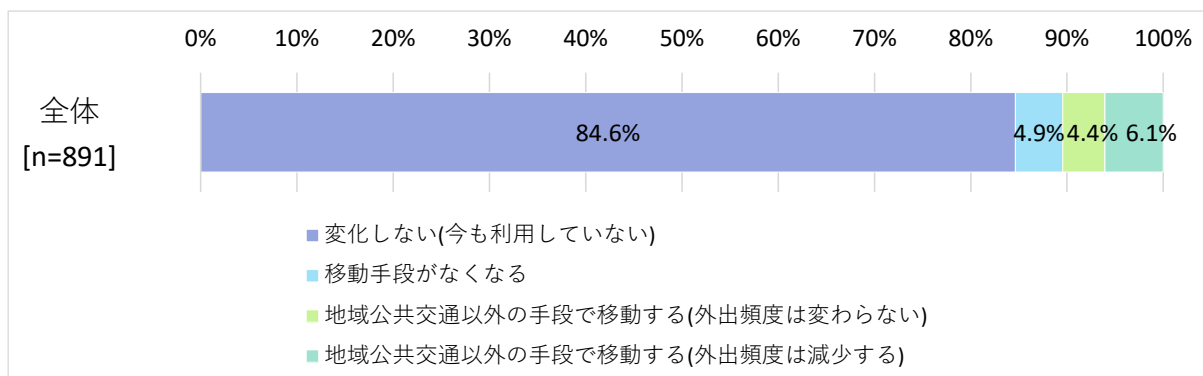


図 乗合タクシーが無くなった場合の生活への影響

運転免許の有無別で見ると、運転免許を保有していない方のうち、移動手段がなくなる、地域公共交通以外の手段で移動する等、影響が生じるとしている方が20%を超えています。そのうち、移動手段がなくなるとしている方が約11%となっています。

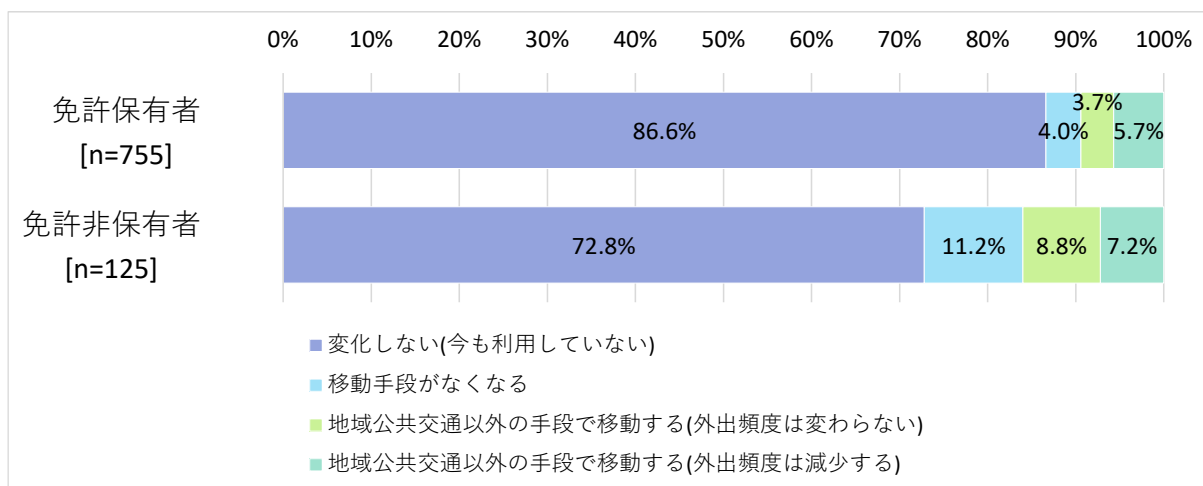


図 乗合タクシーが無くなった場合の生活への影響（運転免許の有無別）

年齢層別にみると、75歳以上で移動手段がなくなると回答している方の割合が約10%を超えていますが、どの年齢層でも約70%以上の方が変化しない（今も利用していない）としています。

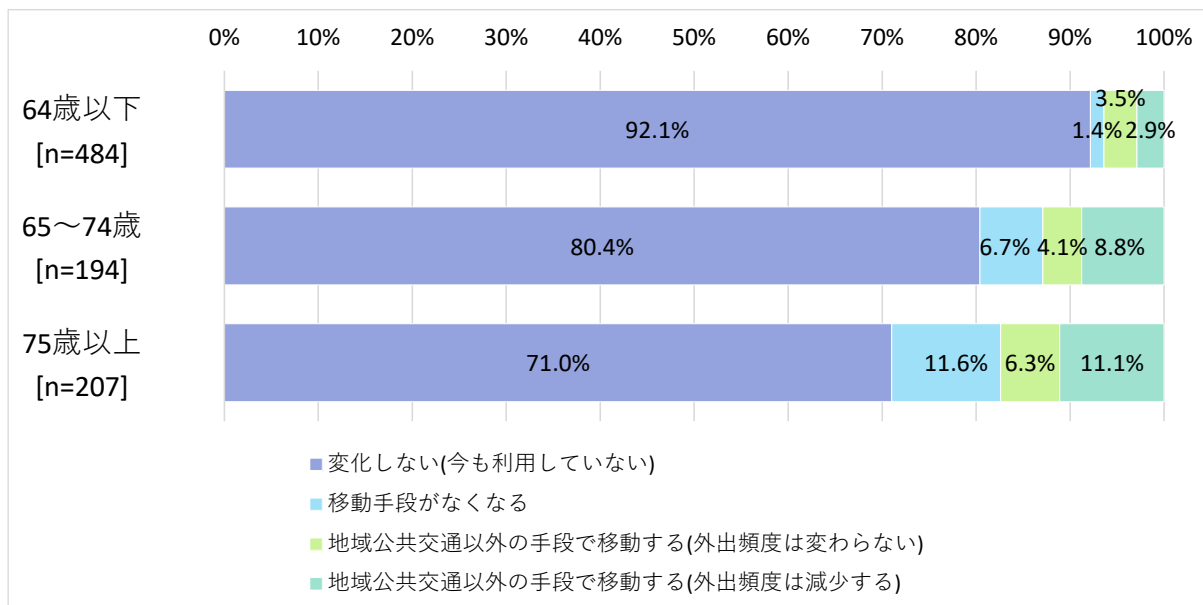


図 乗合タクシーが無くなった場合の生活への影響（年齢層別）

居住地域別にみると、余呉地域、高月地域において移動手段がなくなる、地域公共交通以外の手段で移動する等、影響が生じるとしている方が30%を超えるなど、他地域と比べて高くなっています。

また、西浅井地域、高月地域において移動手段がなくなるとしている方が10%を超えています。

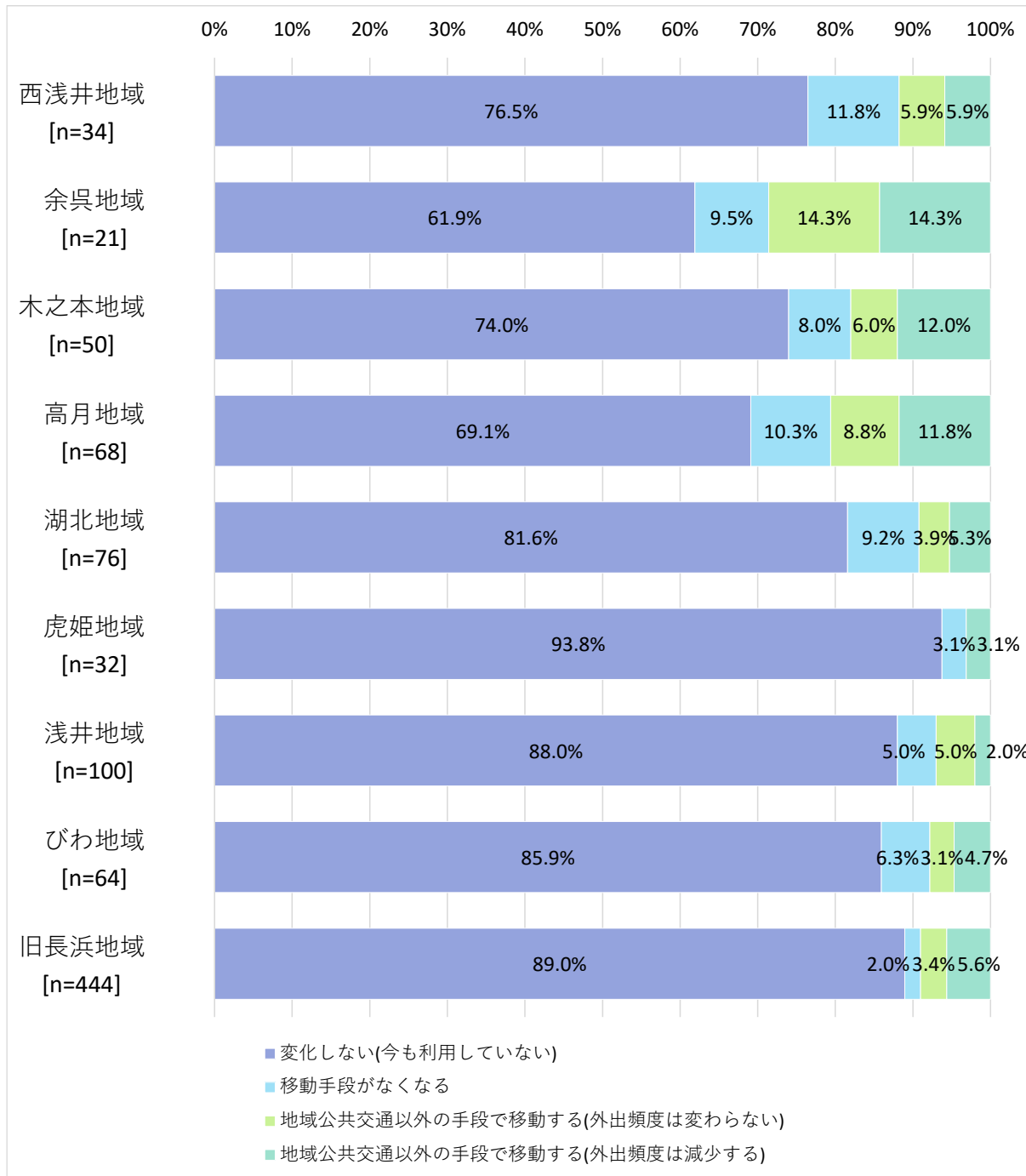


図 乗合タクシーが無くなった場合の生活への影響（居住地域別）

④一般タクシー

一般タクシーが無くなった場合、約 75%の方が変化しない（今も利用していない）としています。

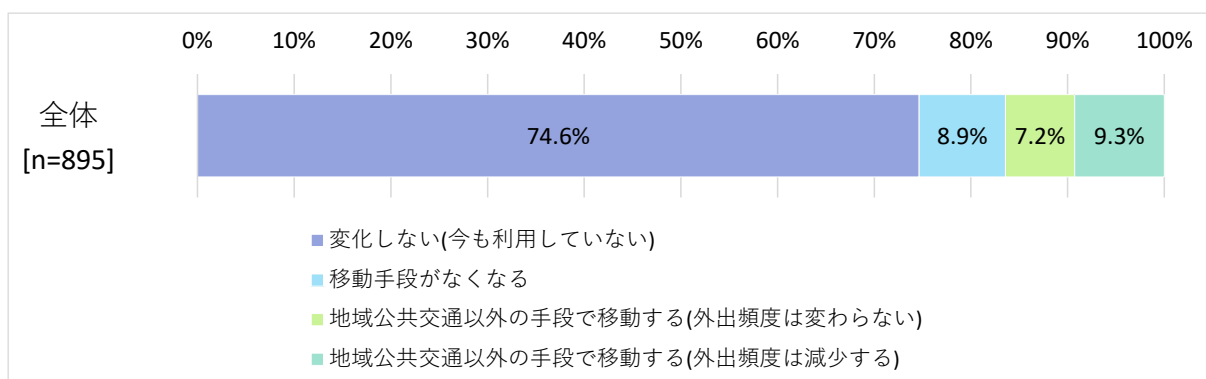


図 一般タクシーが無くなった場合の生活への影響

運転免許の有無別で見ると、運転免許を保有していない方のうち、移動手段がなくなる、地域公共交通以外の手段で移動する等、影響が生じるとしている方が40%を超えています。そのうち、移動手段がなくなるとしている方が約18%となっています。

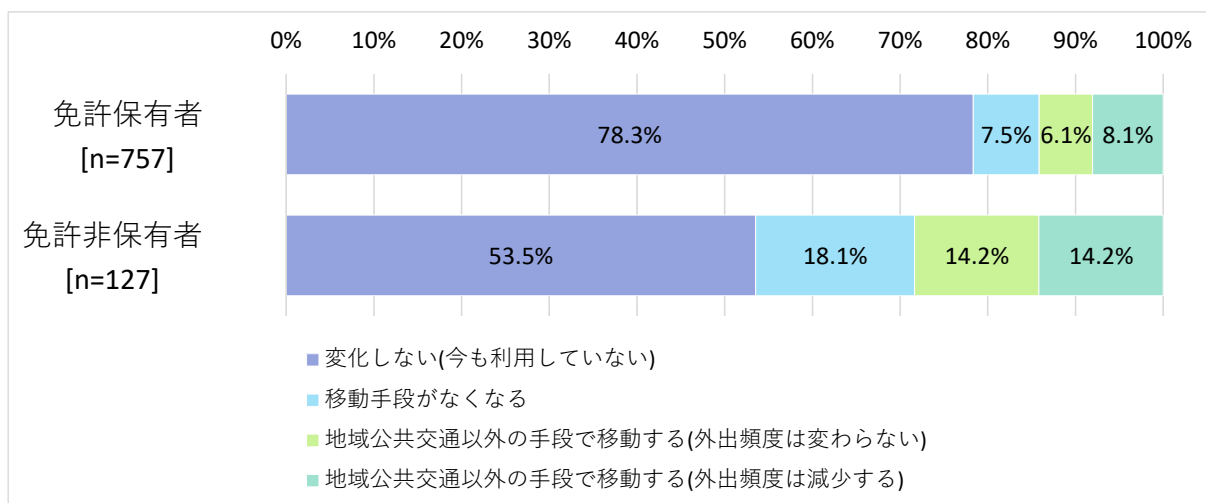


図 一般タクシーが無くなった場合の生活への影響（運転免許の有無別）

年齢層別にみると、65歳以上で移動手段がなくなると回答している方の割合が10%を超えています。

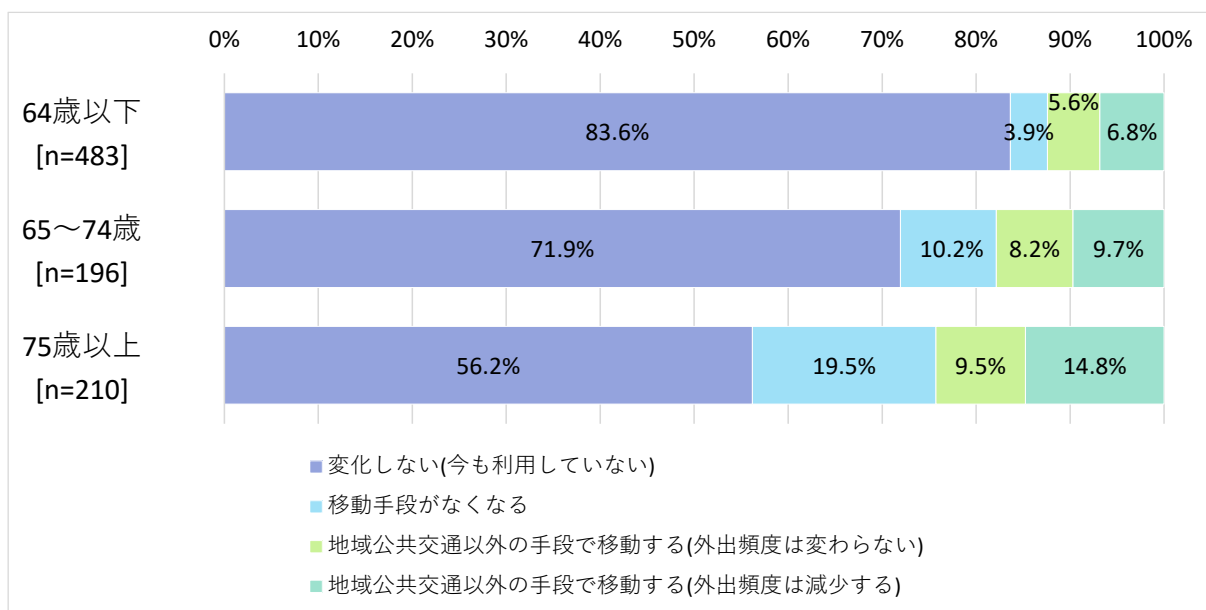


図 一般タクシーが無くなった場合の生活への影響（年齢層別）

居住地域別にみると、余呉地域において移動手段がなくなる、地域公共交通以外の手段で移動する等、影響が生じるとしている方が約48%と他地域と比べて高くなっています。

また、虎姫地域、湖北地域等、移動手段がなくなるとしている方が約10%を超えている地域が9地域中5地域となっています。

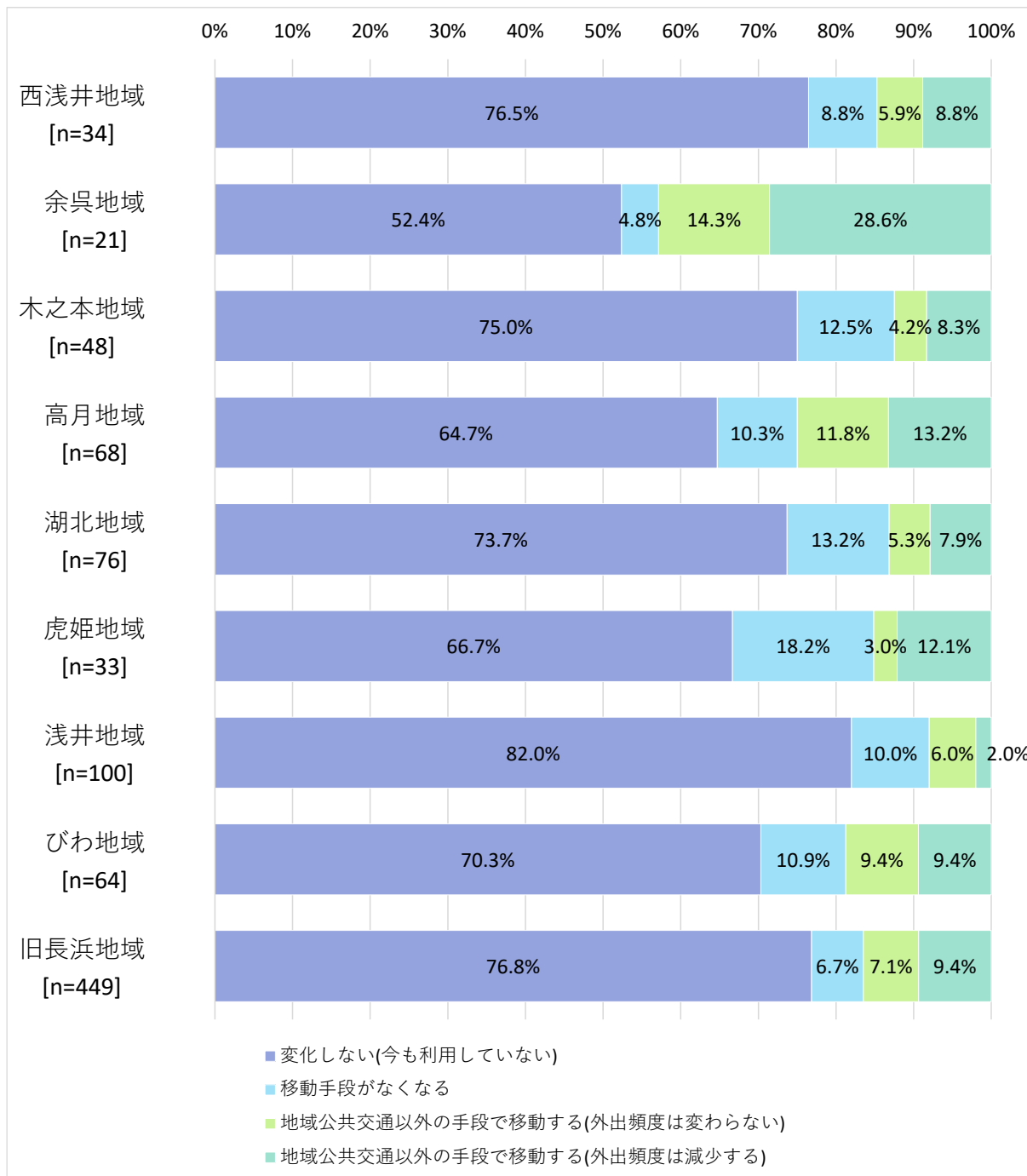


図 一般タクシーが無くなった場合の生活への影響（居住地域別）

1-4. 一般タクシーの利用について

(1) 利用頻度

一般タクシーを利用したことがない方が約62%となっており、利用していた場合でも、年に数回の利用にとどまっている方が90%以上を占めています。

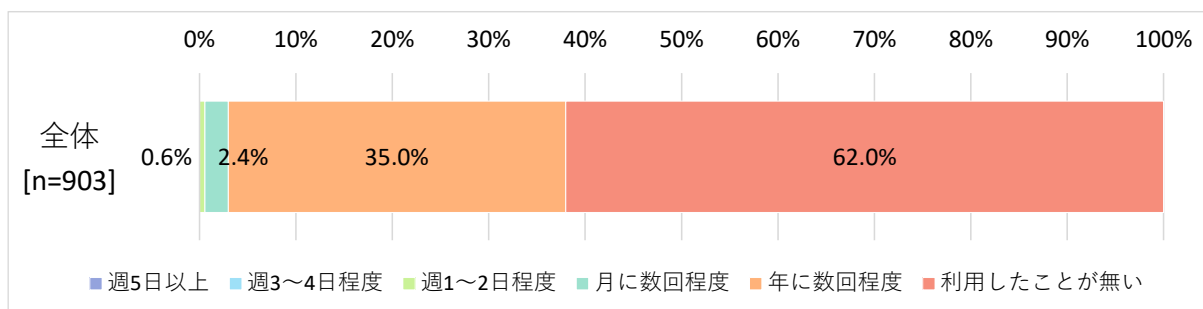


図 一般タクシーの利用頻度

運転免許の有無別で見ると、運転免許を保有していない方の場合、月に数回利用している方が約11%となっており、一般タクシーも移動手段として利用していることがわかります。

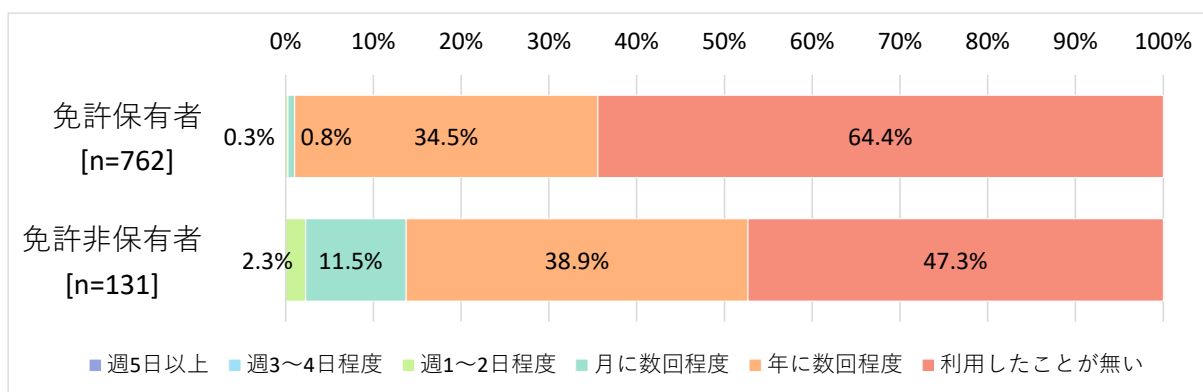


図 一般タクシーの利用頻度（運転免許の有無別）

年齢層別にみると、75歳以上の方で利用頻度がやや多くなっています。

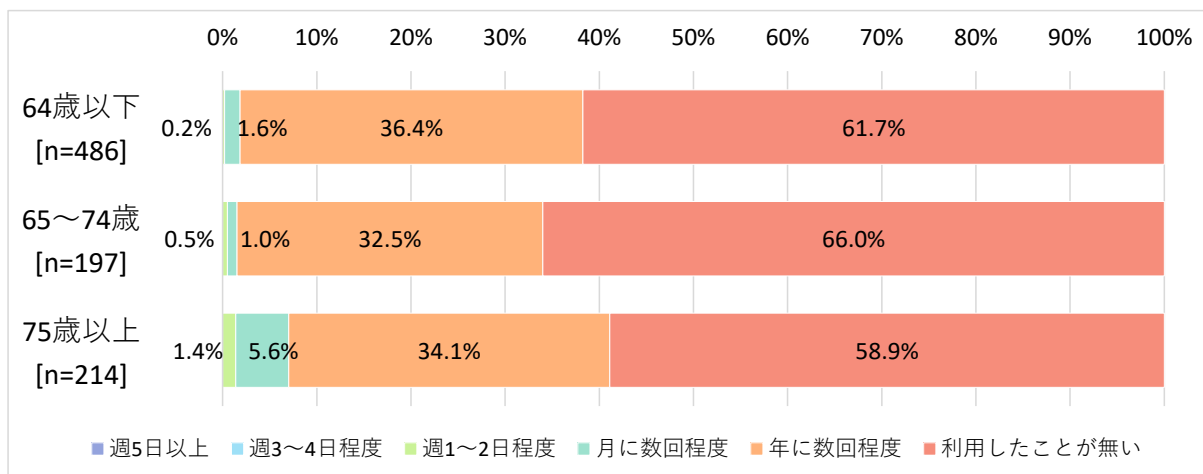


図 一般タクシーの利用頻度（年齢層別）

居住地域別にみると、湖北地域、浅井地域、旧長浜地域で週1日以上利用されている方がみられます。

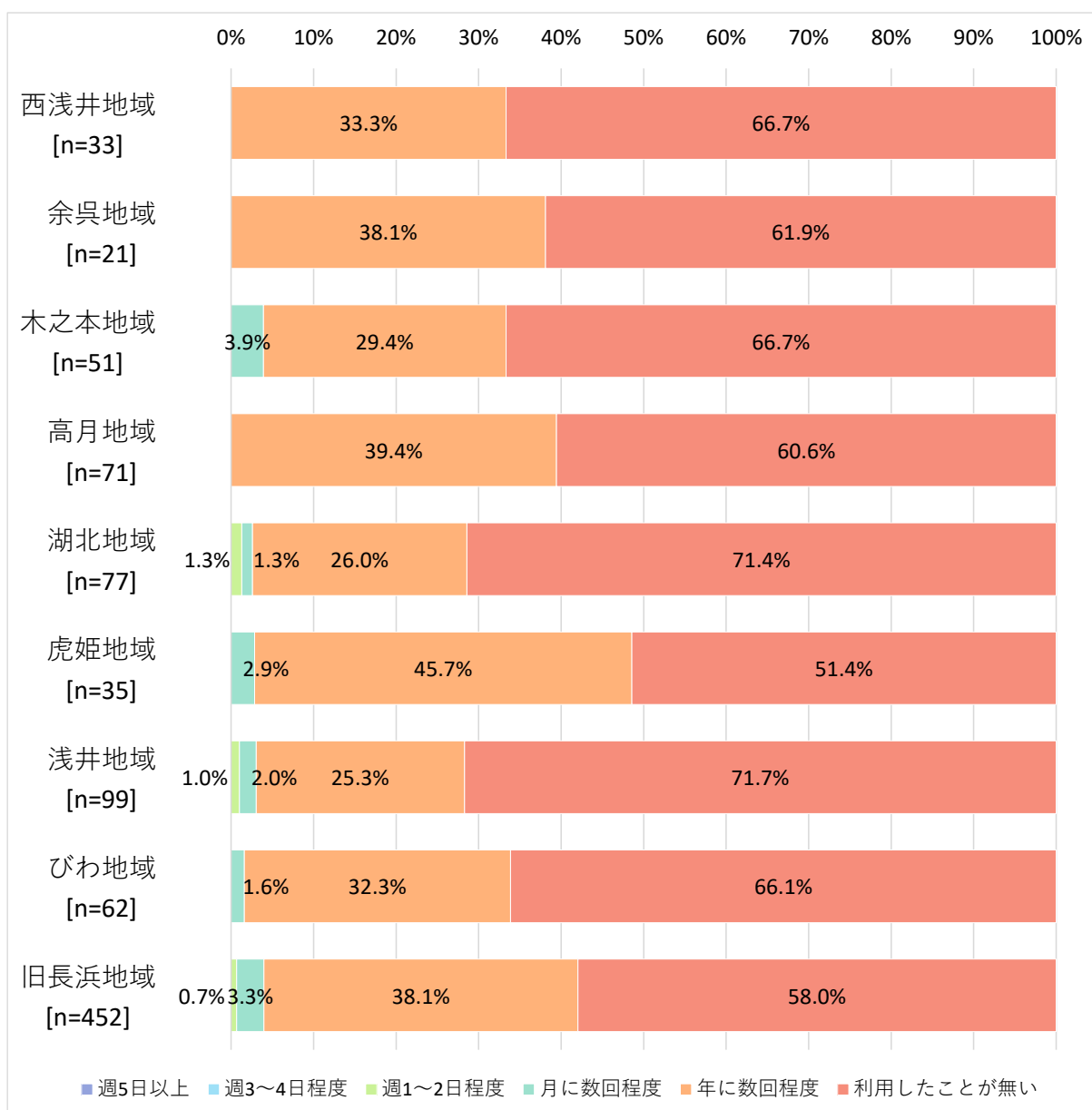


図 一般タクシーの利用頻度（居住地域別）

(2) 外出目的

約70%が行事への参加や余暇などの目的で利用されています。また通院を目的とした利用が約28%となっています。

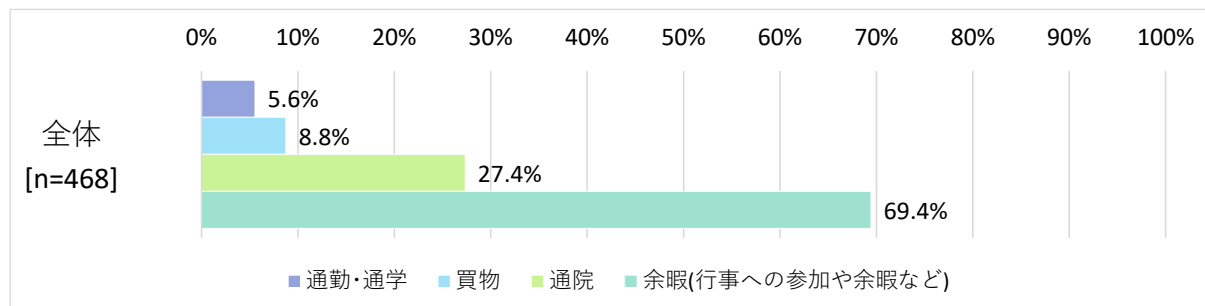


図 一般タクシーの利用目的

年齢層別にみると、75歳以上で通院での目的が最も多くなっています。

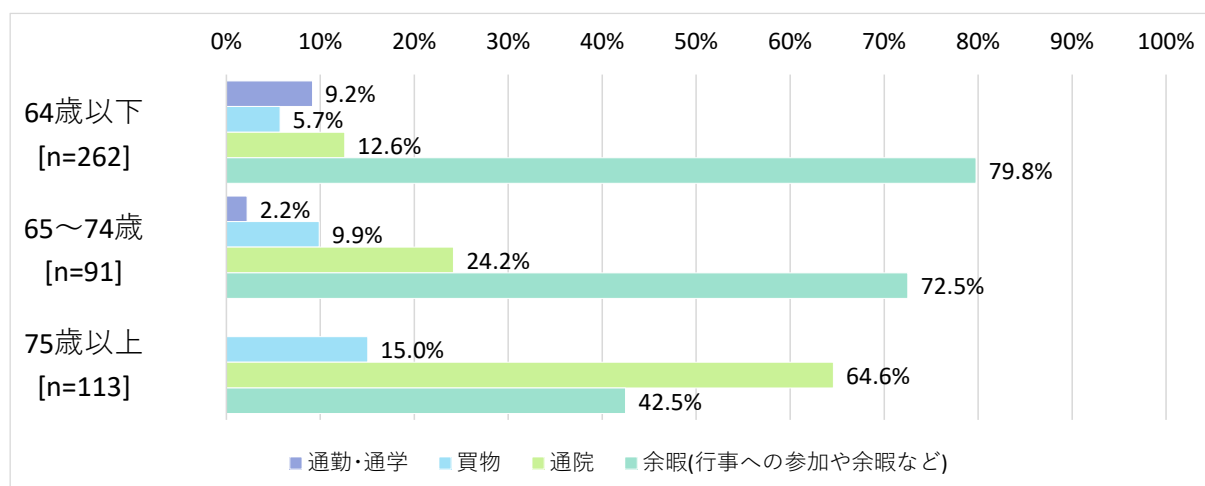


図 一般タクシーの利用目的（年齢層別）

居住地域別にみると、木之本地域では通院を目的とした利用が40%を超えています。また、西浅井地域では通勤・通学を目的とした利用が10%を超えています。

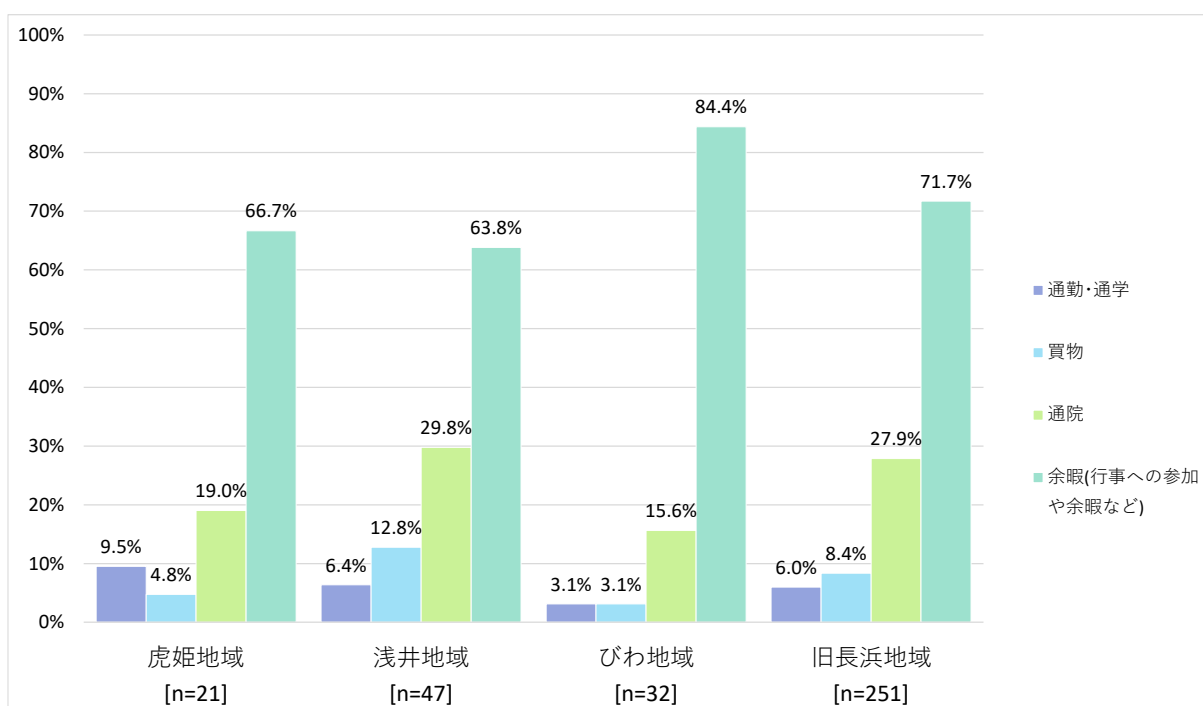
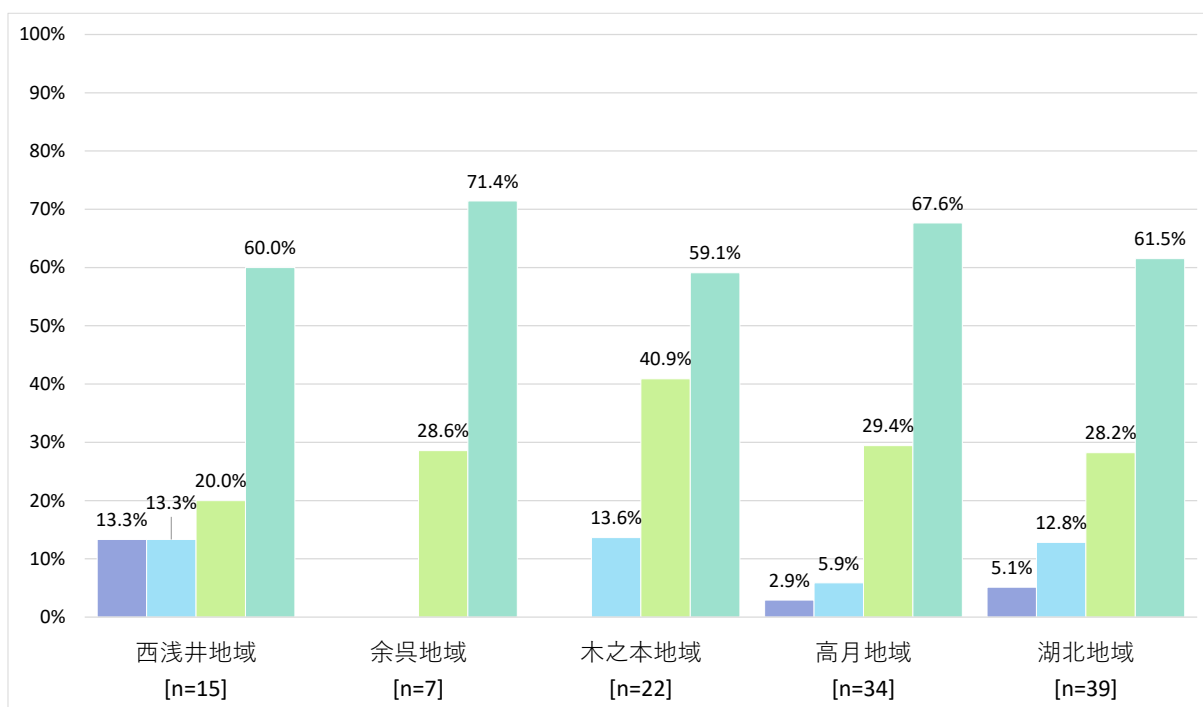


図 一般タクシーの利用目的（居住地域別）

1-5. 地域公共交通に対する考えについて

(1) 今後の地域公共交通の利用意向

① 鉄道

引き続き利用を考えている方が約 20%であるのに対し、今後の利用を考えていない方が約 25%となっています。

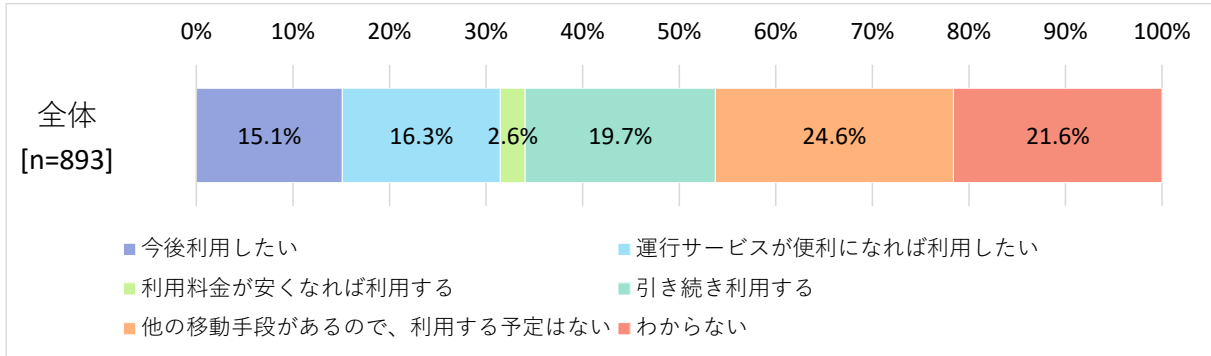


図 今後の鉄道の利用意向

運転免許を所有していない、又は今後、運転免許返納を考えている方の意向をみると、今後利用する予定がない、わからないとしている方が全体で占める割合よりも多くなっています。

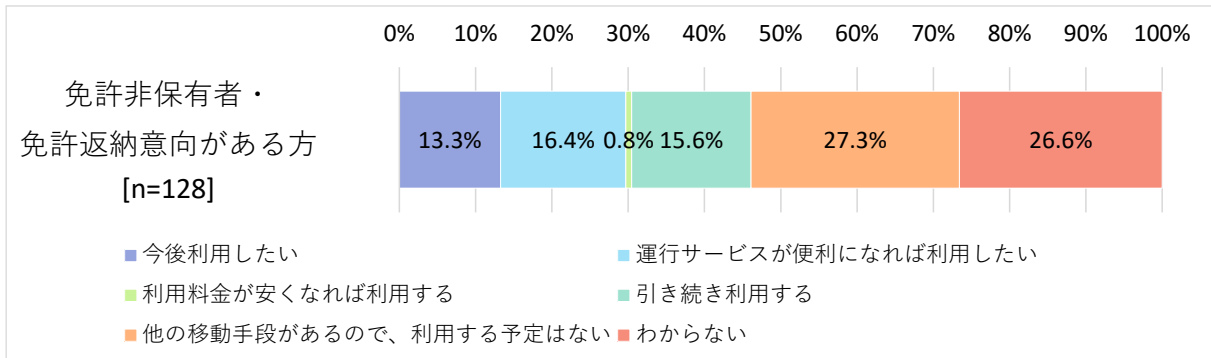


図 今後の鉄道の利用意向（運転免許非保有者・免許返納意向がある方）

年齢層別にみると、年齢が高くなるにつれて今後の利用予定がない、わからないとしている方の割合が多くなっています。

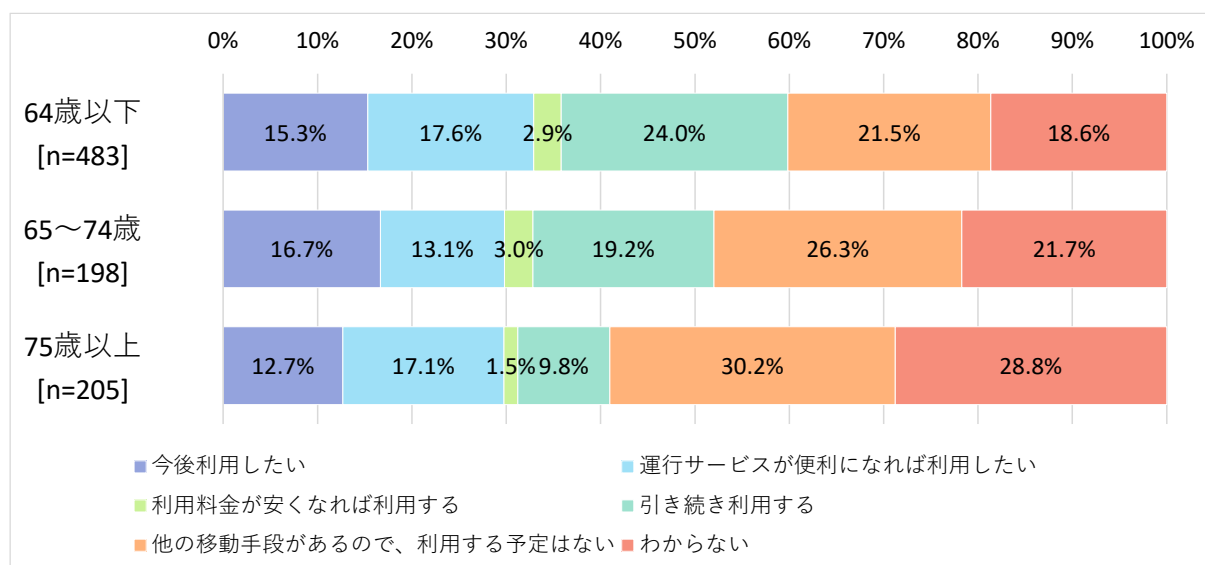


図 今後の鉄道の利用意向（年齢層別）

居住地域別にみると、高月地域、虎姫地域において、今後利用したいとしている方が20%を超えています。

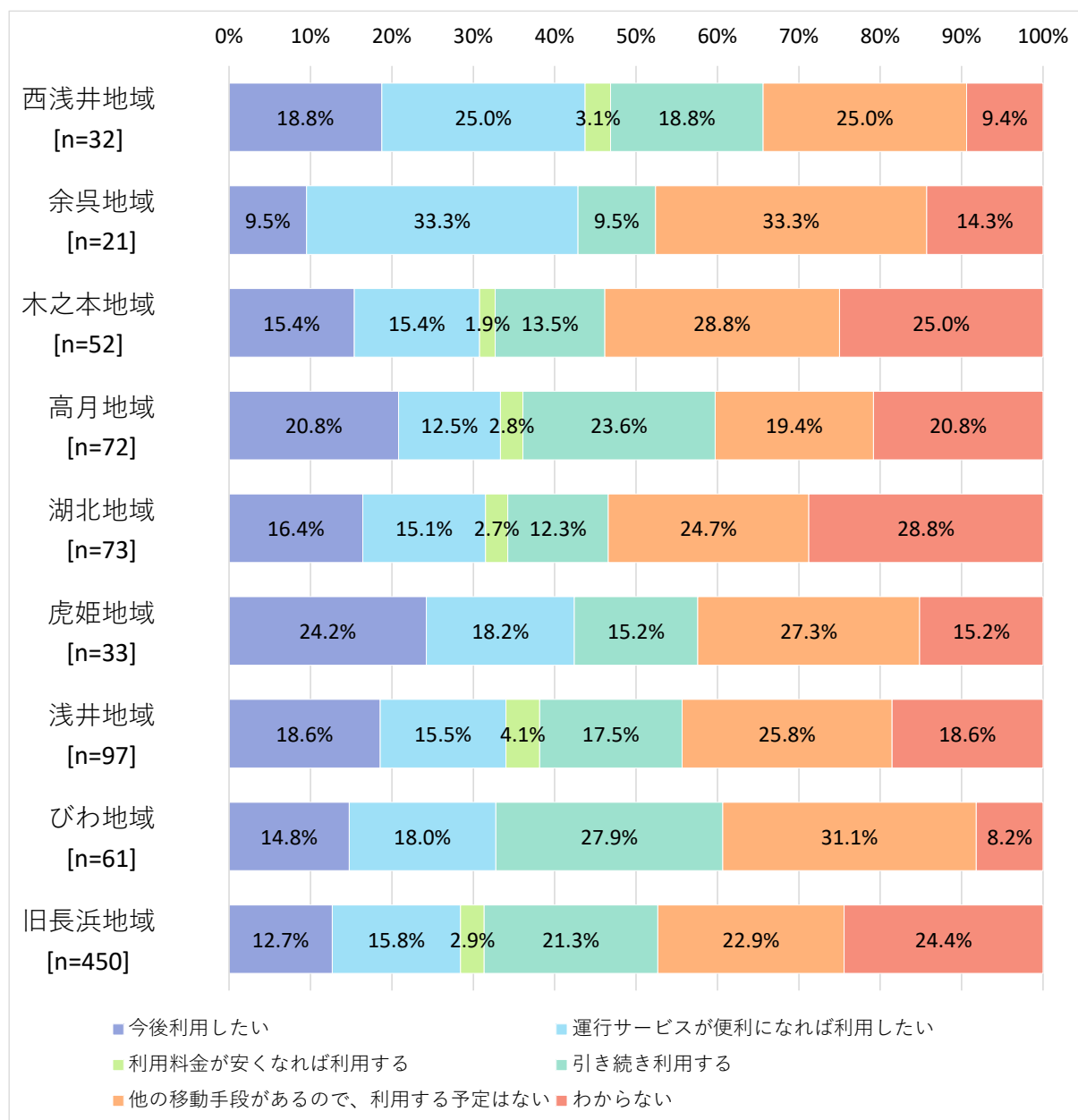


図 今後の鉄道の利用意向（居住地域別）

②コミュニティバス

今後利用したいと考えている方が約8%であるのに対し、利用予定がないとしている方が約42%となっています。

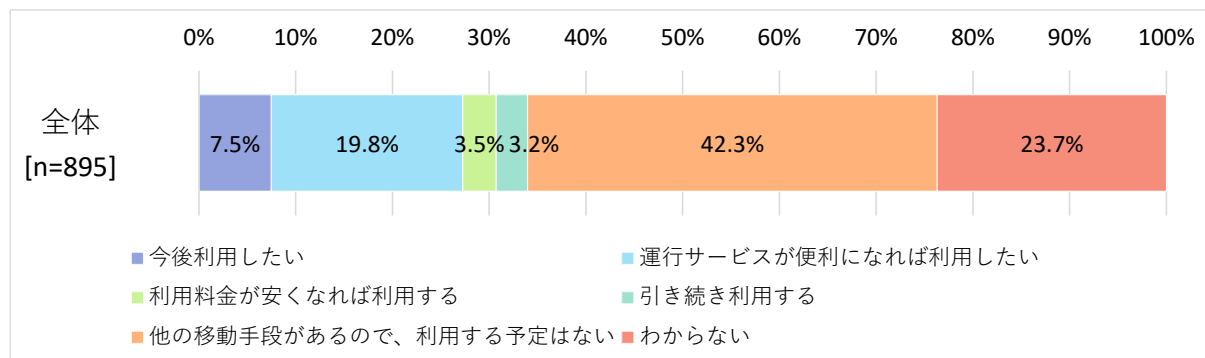


図 今後のコミュニティバスの利用意向

運転免許を所有していない、又は今後、運転免許返納を考えている方の意向をみると、今後利用したいとしている方が約13%と、全体の割合と比べてやや多くなっています。その他に引き続き利用するとしている方が全体の割合と比べて約10%多くなっています。

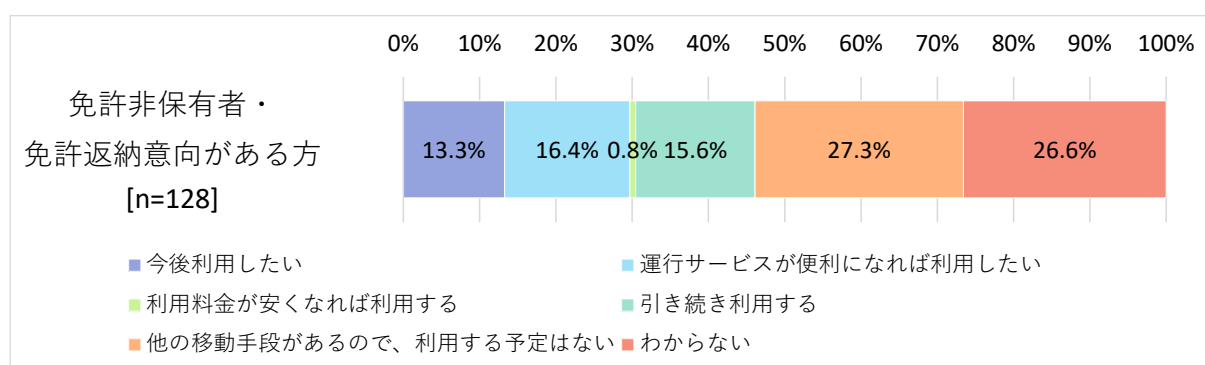


図 今後のコミュニティバスの利用意向(運転免許非所有者・免許返納意向がある方)

年齢層別にみると、年齢が高くなるにつれて今後利用したいとしている方の割合が多くなっています。

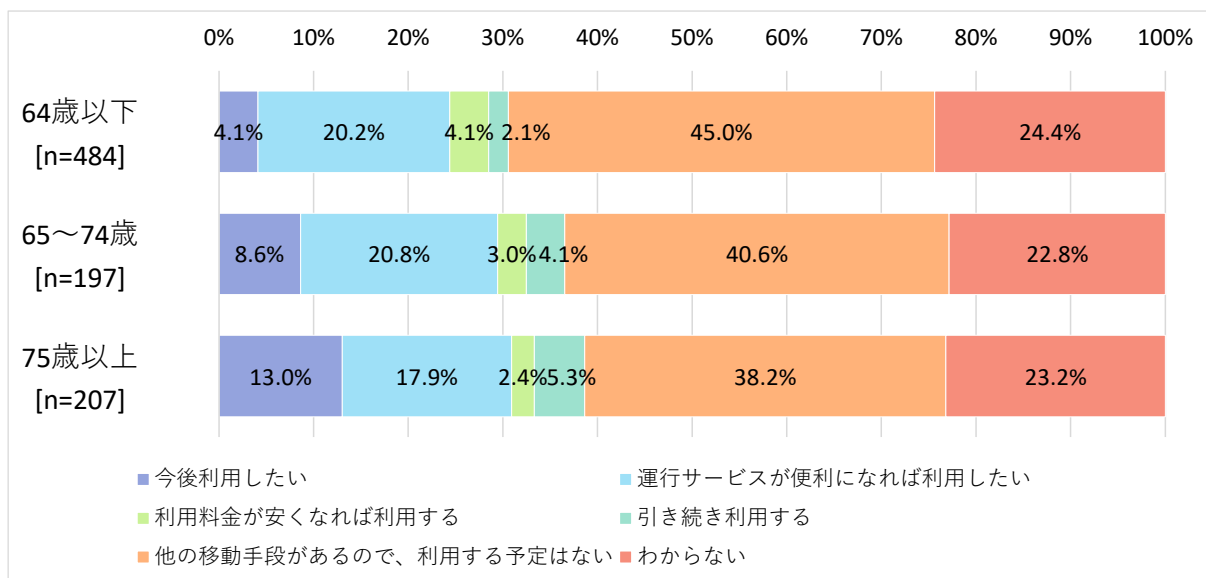


図 今後のコミュニティバスの利用意向（年齢層別）

居住地域別にみると、湖北地域、浅井地域で今後利用したいとする方が10%を超えている一方、浅井地域、びわ地域で利用予定がないとしている方が50%を超えています。

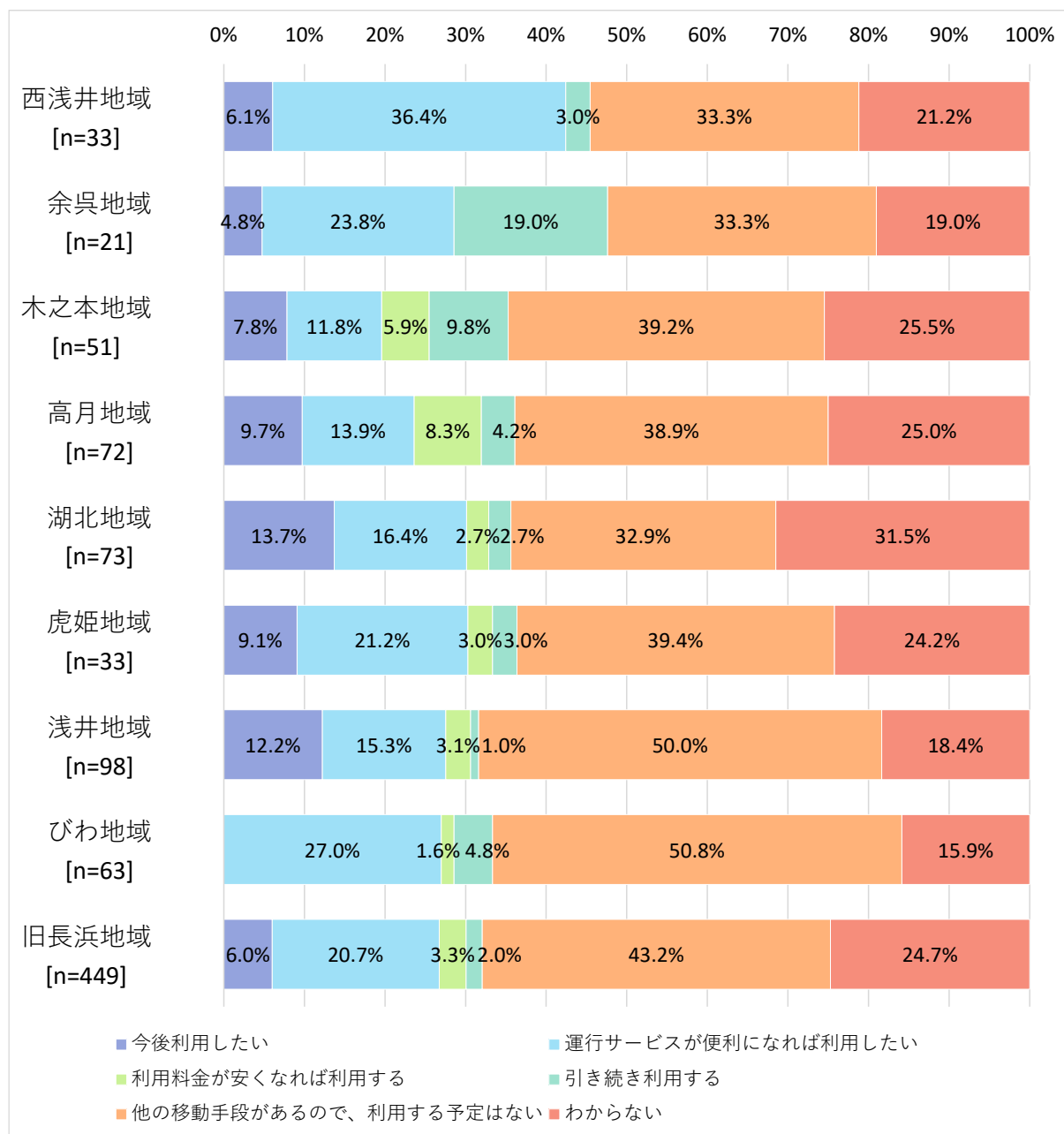


図 今後のコミュニティバスの利用意向（居住地域別）

③乗合タクシー

今後利用したいと考えている方が約6%であるのに対し、利用予定がないとしている方が約43%となっています。

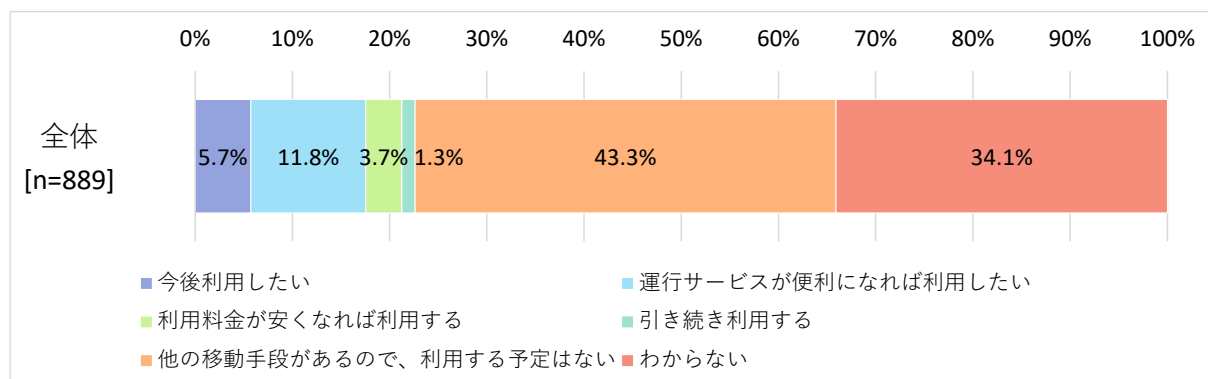


図 今後の乗合タクシーの利用意向

運転免許を所有していない、又は今後、運転免許返納を考えている方の意向をみると、他の移動手段があるので利用する予定はないという方の割合が全体に対してやや低くなっていますが、利便性や運賃等の改善を求める方の割合が多くなっています。

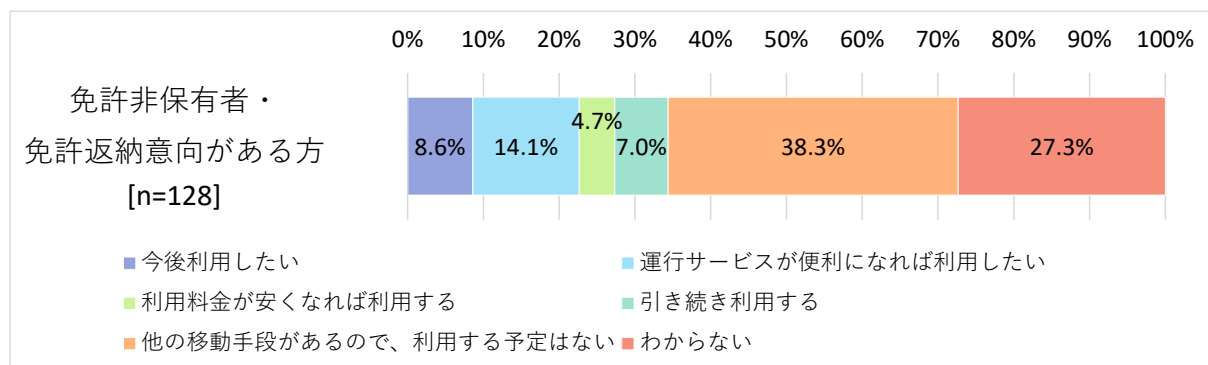


図 今後の乗合タクシーの利用意向（運転免許非保有者・免許返納意向がある方）

年齢層別にみると、75歳以上で今後利用したいとしている方が10%を超えています。

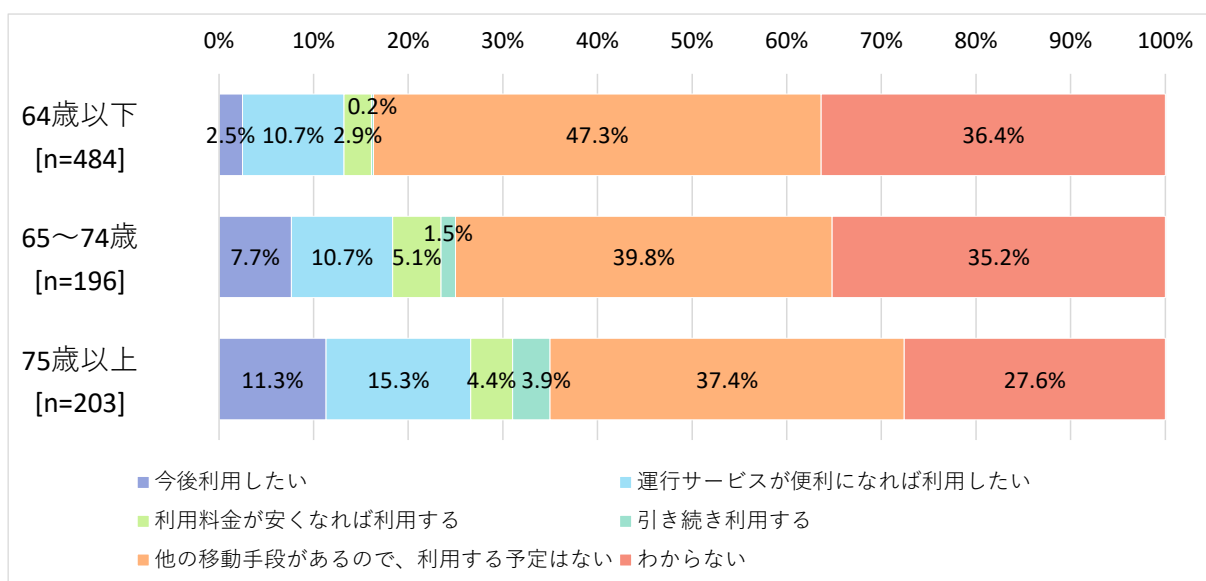


図 今後の乗合タクシーの利用意向（年齢層別）

居住地域別にみると、浅井地域で今後利用したいとしている方が10%を超えています。びわ地域では今後利用予定はないとしている方が50%を超えています。

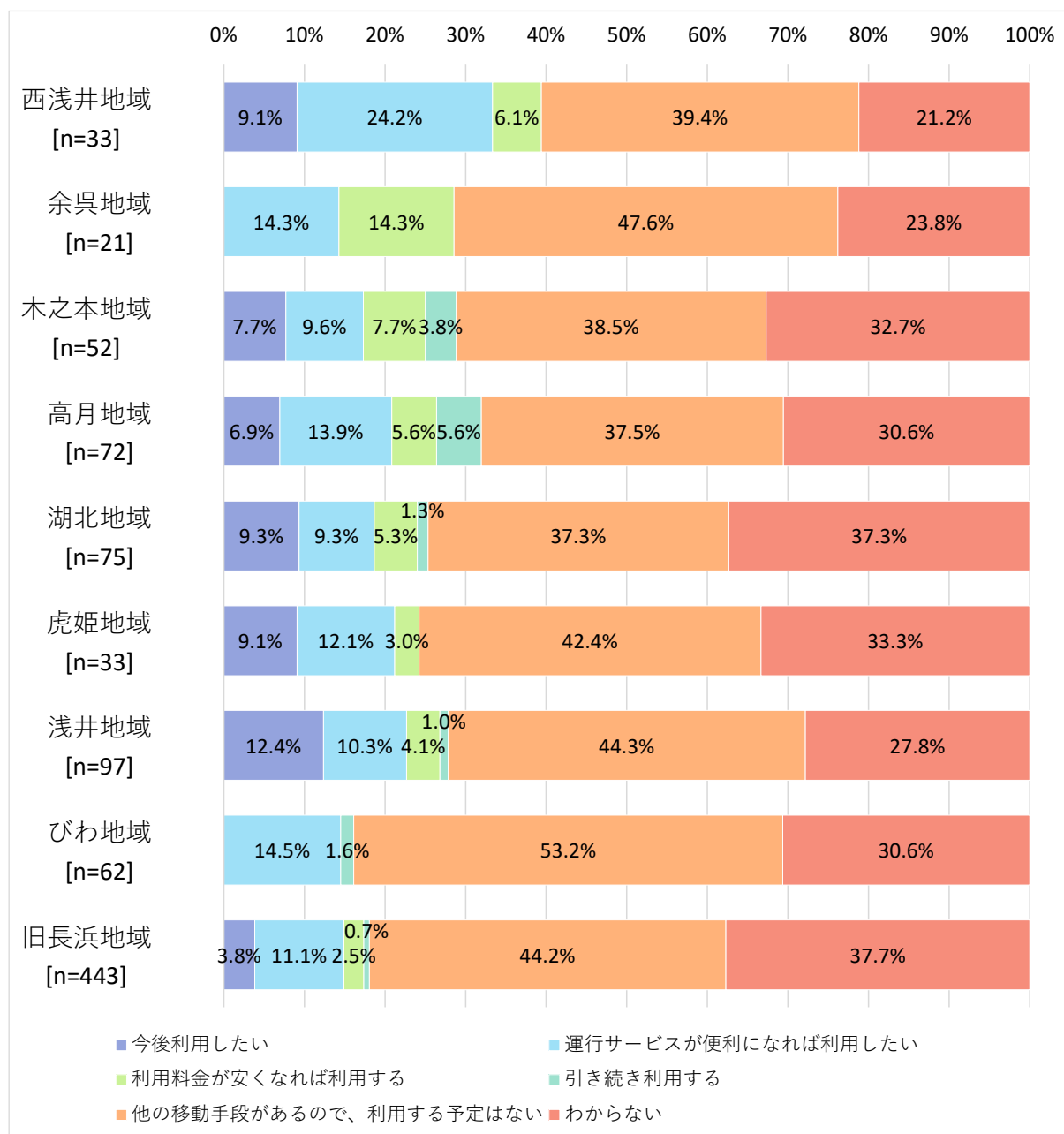


図 今後の乗合タクシーの利用意向（居住地域別）

④一般タクシー

今後利用したいと考えている方が約8%であるのに対し、利用予定がないとしている方が約36%となっています。

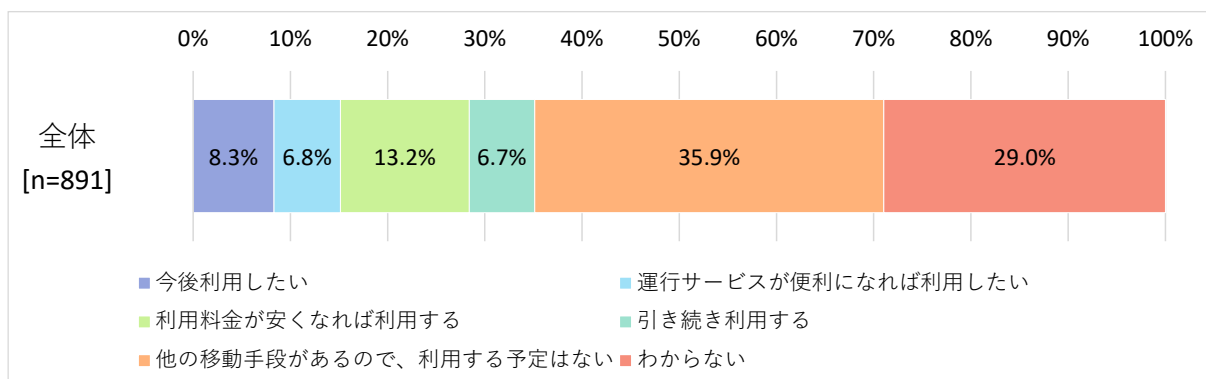


図 今後の一般タクシーの利用意向

運転免許を所有していない、又は今後、運転免許返納を考えている方の意向をみると、今後利用したいとしている方が約12%、引き続き利用したいとしている方が約16%と、全体の割合と比べて多くなっています。

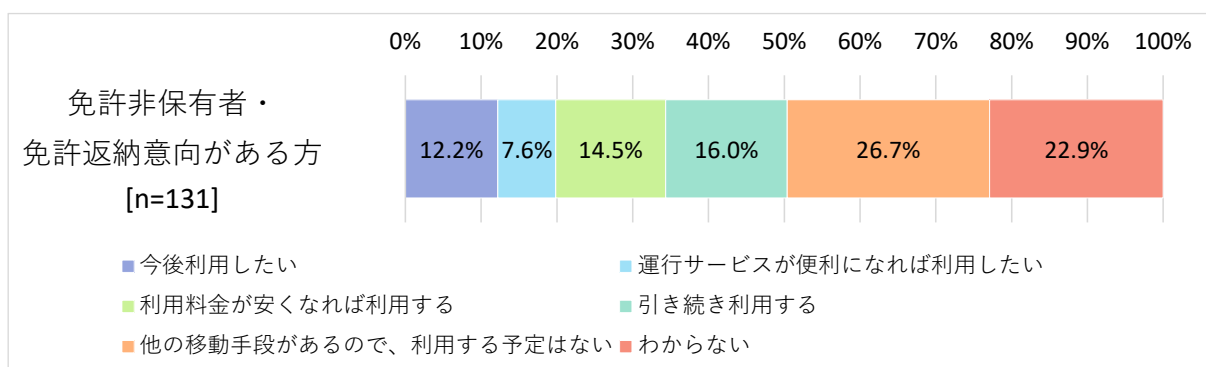


図 今後の一般タクシーの利用意向（運転免許非保有者・免許返納意向がある方）

年齢層別にみると、75歳以上で今後利用したいとしている方が約16%となっています。

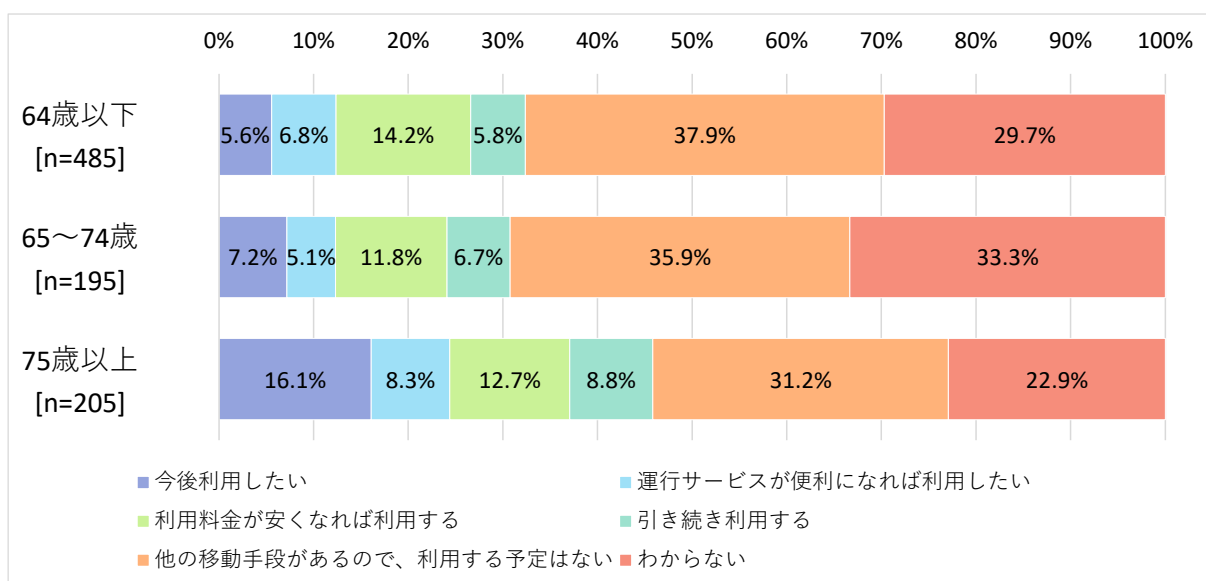


図 今後の一般タクシーの利用意向（年齢層別）

居住地域別にみると余呉地域、虎姫地域、浅井地域で今後利用したいとしている方が10%を超えています。

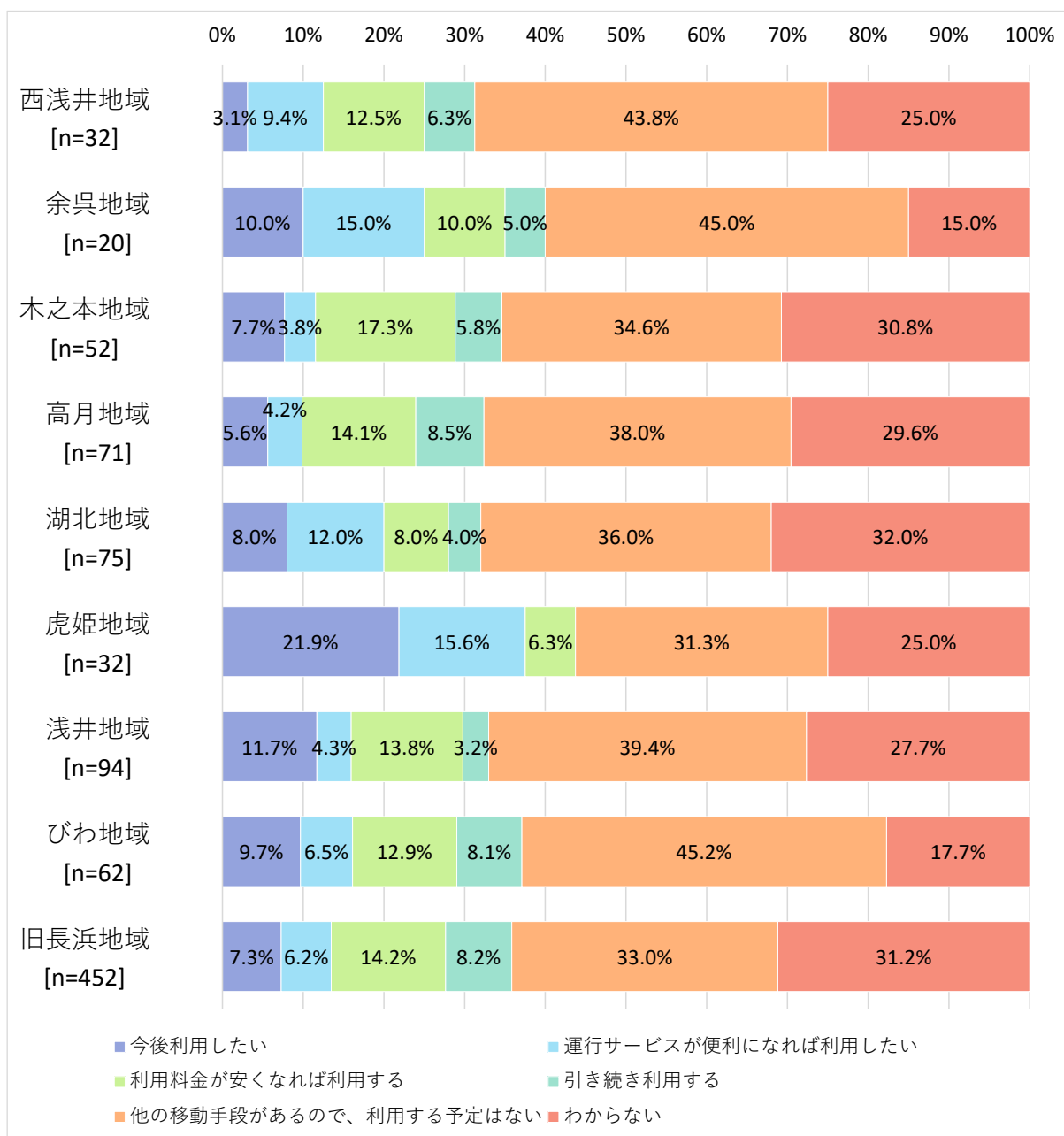


図 今後の一般タクシーの利用意向（居住地域別）

(2) 今後の長浜市の地域公共交通の維持に向けた考え

他の施策や事業を見直してでも移動手段を確保すべきが約 44%であるのに対し、サービスの縮小や廃止による経費の削減をすべきが約 33%と、意見が分かれています。

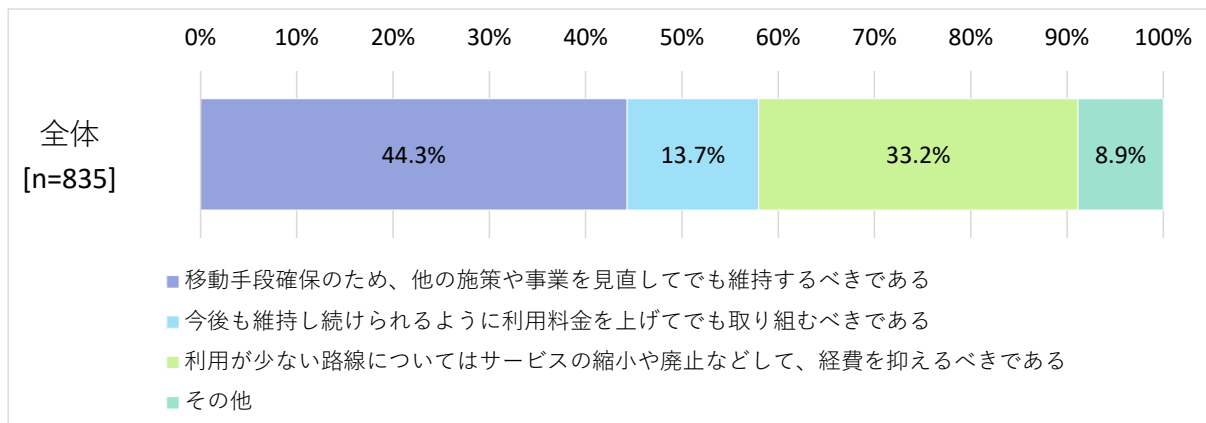


図 地域公共交通の維持に向けた考え

年齢層別にみても、全体の傾向と大きな違いは見られません。

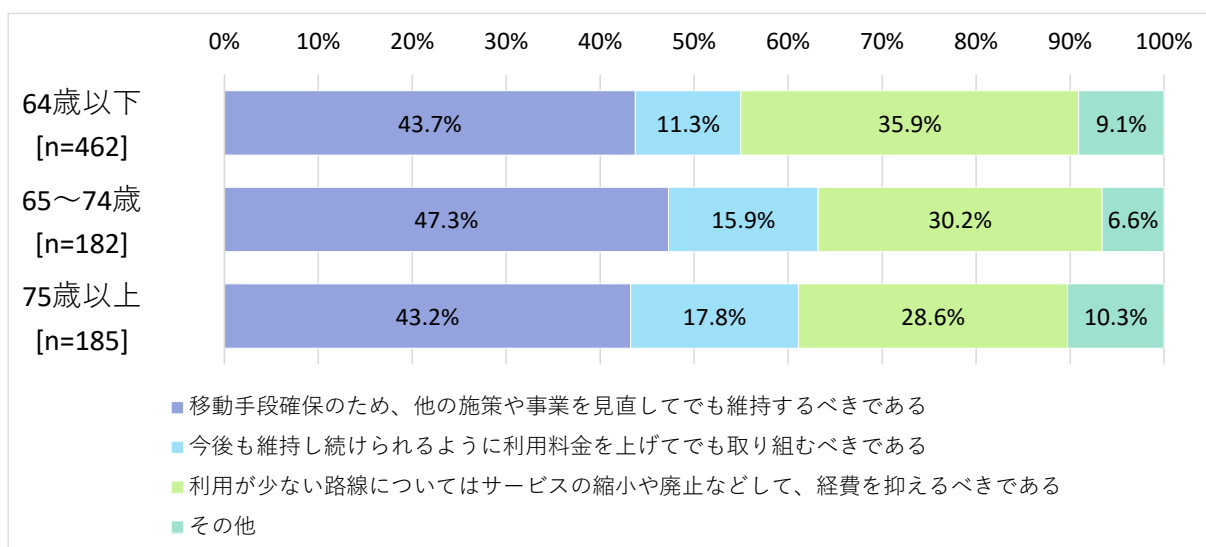


図 地域公共交通の維持に向けた考え（年齢層別）

居住地域別にみると、西浅井地域、木之本地域、湖北地域、浅井地域で、他の施策や事業を見直してでも移動手段を確保すべきとしている方が50%を超えています。一方で虎姫地域ではサービスの縮小や廃止による経費の削減をすべきとしている方が40%を超えています。

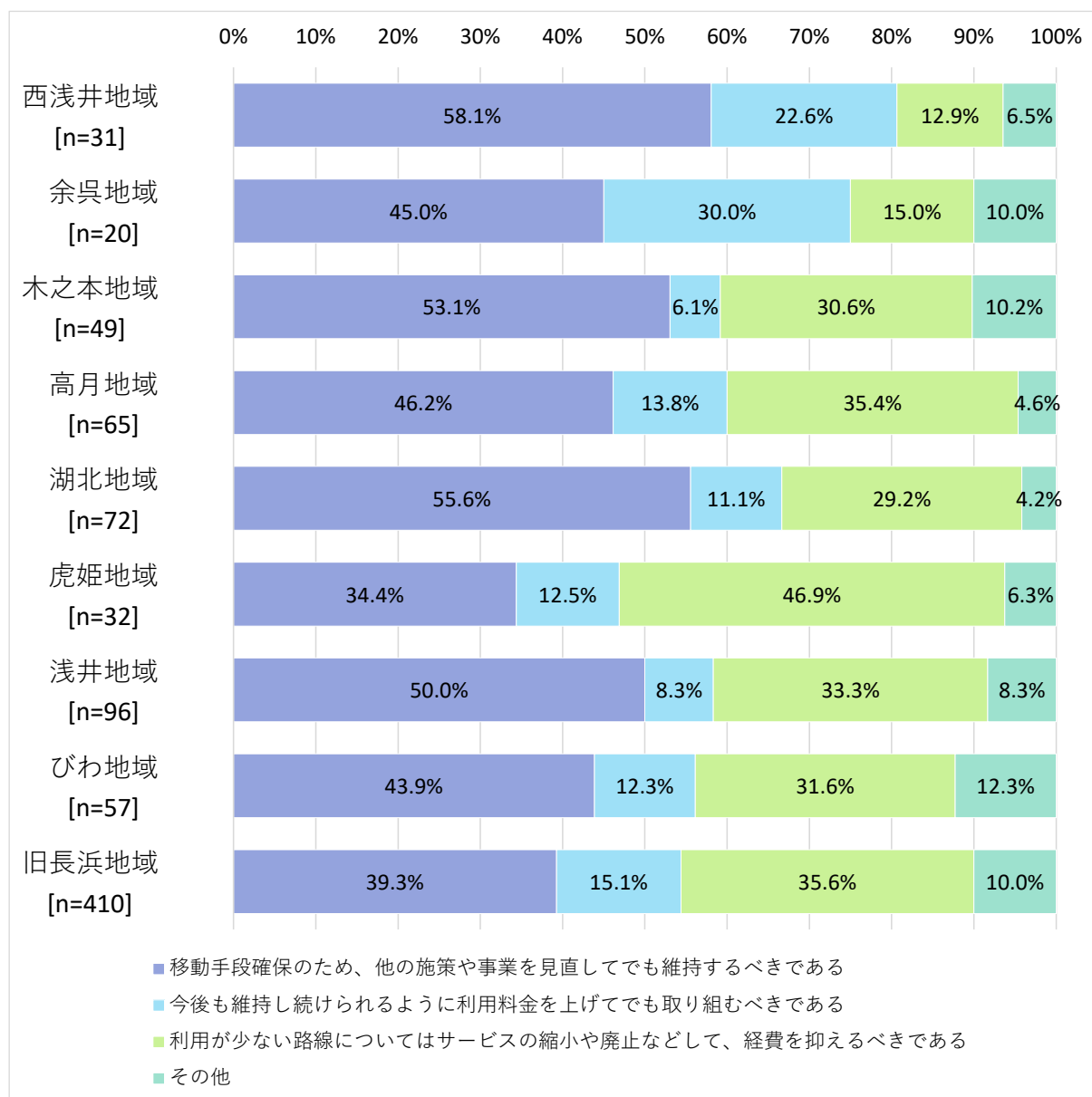


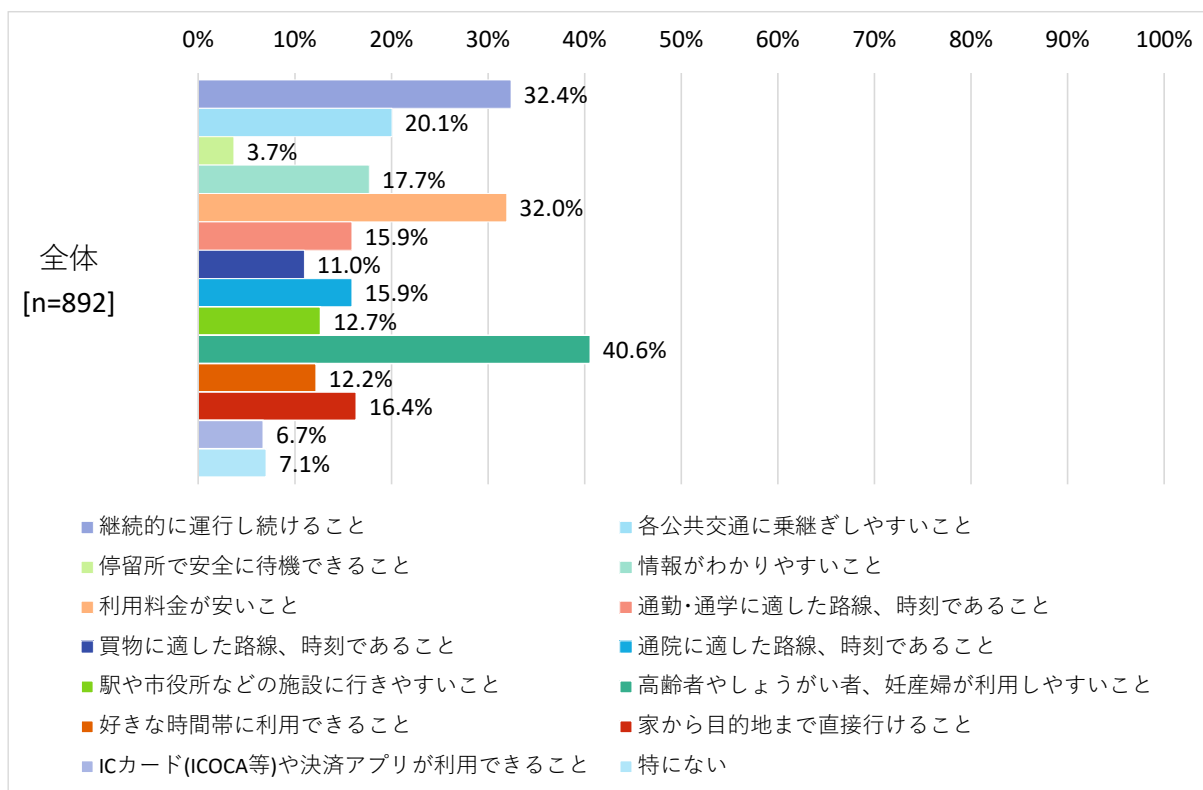
図 地域公共交通の維持に向けた考え（居住地域別）

【「その他」の回答における主な記載内容】

種類	主な意見
運行の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が少ないのであれば規模を縮小すべき ● 車両の大きさを小さくする ● 参入規制緩和や白タク規制緩和をしてみても ● 予約制にして予約がないなら運行しないようにする
公共交通の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来的には必要になる ● 移動手段がない人もいると思うので必要だと思う ● 子どもや高齢者には必要
公共交通の維持・導入・廃止	<ul style="list-style-type: none"> ● 今は必要ないと思うが将来的に必要になると思うので維持すべきだと思う ● 費用を抑える形で維持すべき ● 今、運行していない地区にも運行してほしい ● 乗合タクシーは必要ないと思う
代替手段の提案	<ul style="list-style-type: none"> ● オンデマンド方式にしたらいいと思う ● コミュニティバスだと利用者がいなくても運行するので、予約制にすればいいと思う ● 福祉タクシーに切り替えては
公共交通にかかる費用	<ul style="list-style-type: none"> ● 費用が投入されている割には現状の利便性は低いと思うので抜本的な見直しをしてほしい ● 道路や施設にお金を投資するより公共交通や過疎地域に住む人に対して費用を投じてほしい ● 利用者のいない公共交通にお金を投じることは意味がないと思う
利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 買い物や通院で使いやすいようにしてほしい ● 高齢者にわかりやすいサービスにしてほしい ● 家にまで来てほしい ● ドアツードアにする
認知状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 知らない人の方が多いと思う
運賃	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者が支払いやすい値段設定にすべき ● コミュニティバス・タクシーは値段が一定でないので使いにくい ● 無料券を配布してほしい ● 100円程度で病院へ移動できるようにしてほしい
将来的な利用	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢になれば使うかもしれない ● 運転免許がないと不便な地域に住んでいる

(3) 長浜市の地域公共交通において重視すべきこと

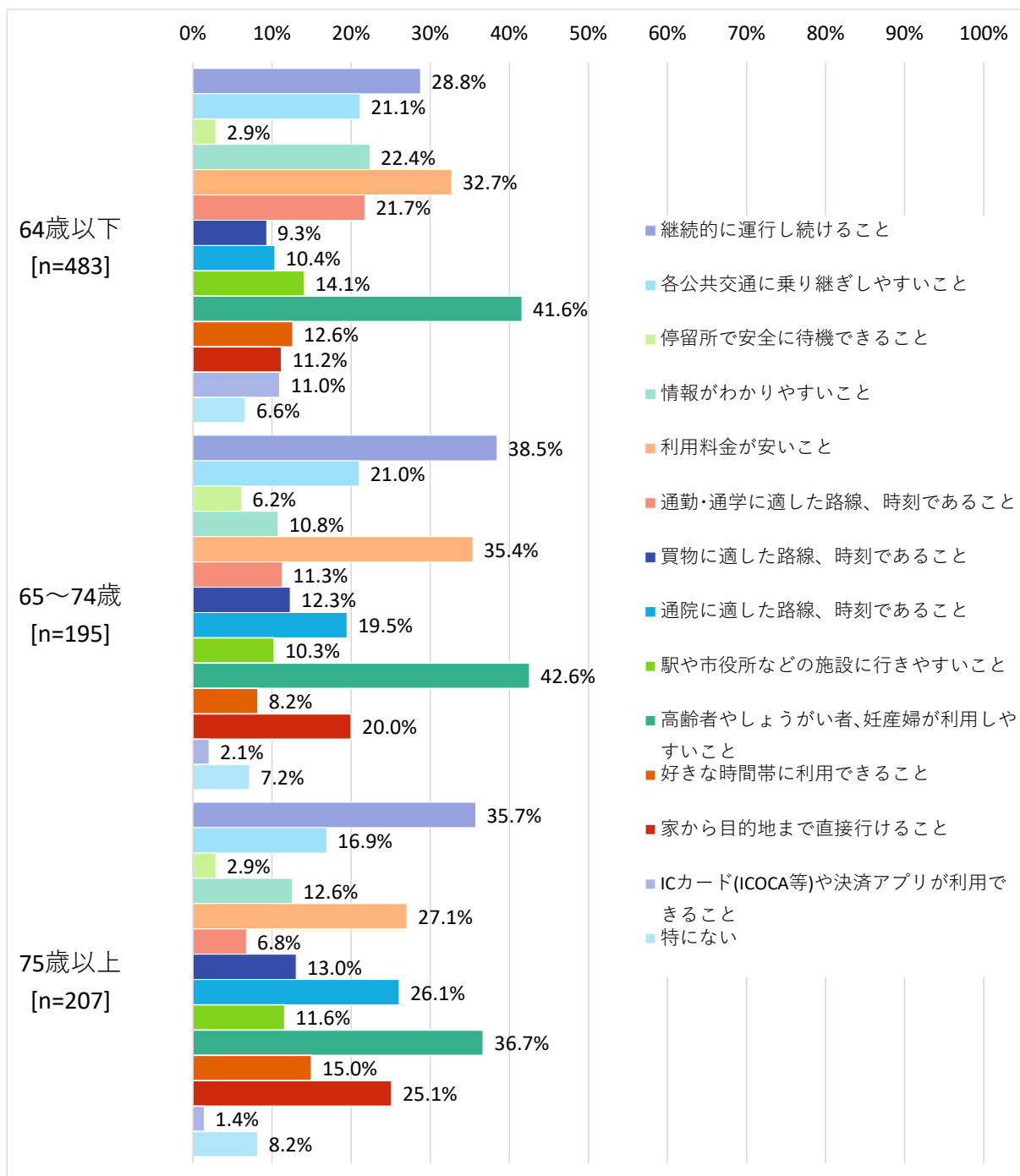
高齢者やしょうがい者、妊産婦が利用しやすいことが約41%と最も多くなっています。そのほかには、継続的に運行すること、利用料金が安いことが30%を超えています。



※複数回答

図 地域公共交通において重視すべきこと

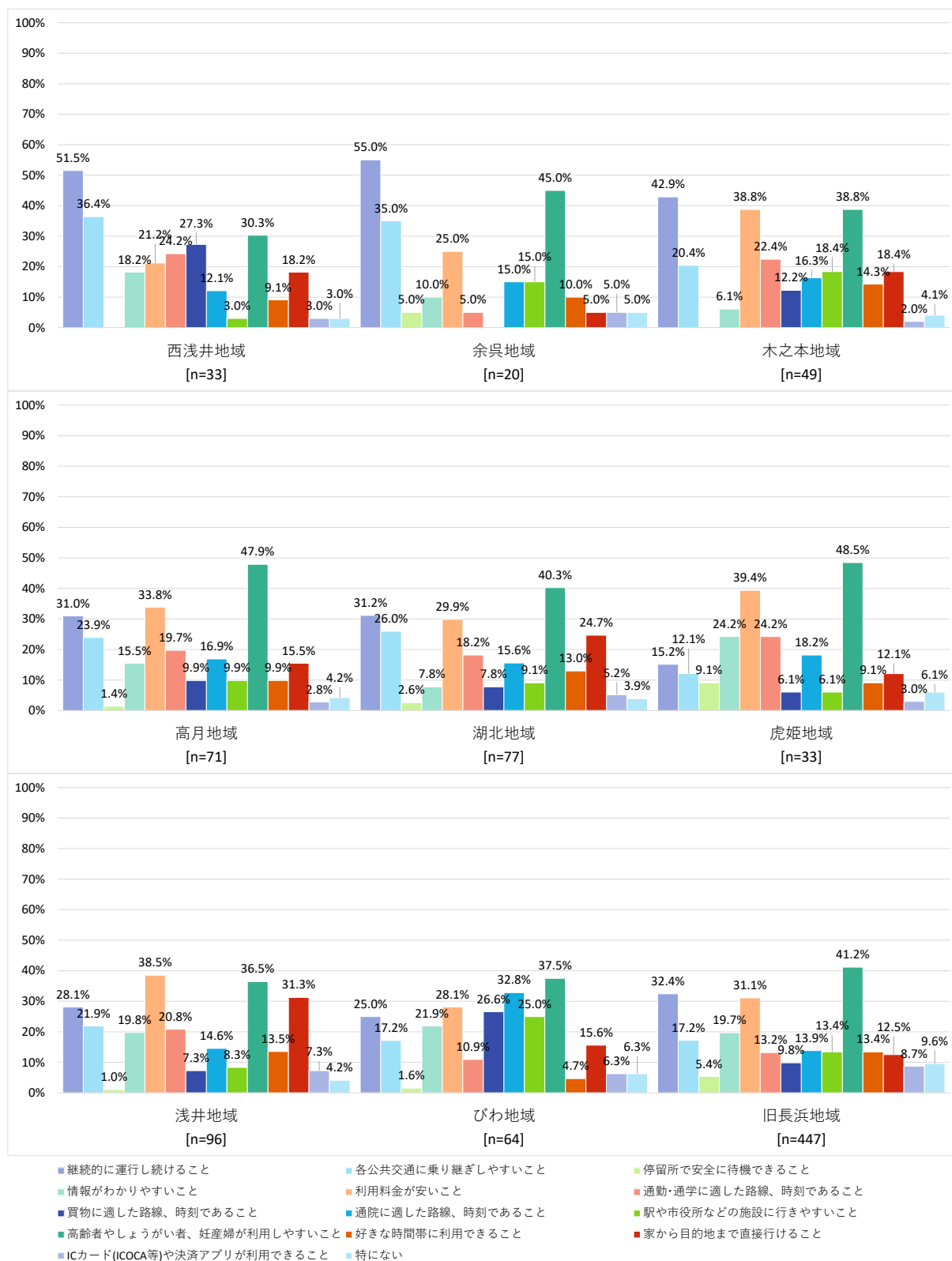
年齢層別にみると、65歳以上で通院に適した路線、時刻であることや家から目的地まで直接行けることを挙げている方が約20%以上となっています。



※複数回答

図 地域公共交通において重視すべきこと（年齢層別）

居住地域別にみると、西浅井地域、余呉地域、木之本地域では継続的に運行し続けること、高月地域、湖北地域、虎姫地域、びわ地域、旧長浜地域では高齢者やしょうがい者、妊産婦が利用しやすいこと、浅井地域では利用料金が安いことを挙げている方が最も多くなっています。



※複数回答

図 地域公共交通において重視すべきこと（居住地域別）

【長浜市内の地域公共交通についての主なご意見】

種類	主な意見
停留所	<ul style="list-style-type: none"> ● 停留所が遠い ● 停留所に建屋があるといい ● 停留所の数が少ない
運行時間や時間帯、運行便数	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティバスの本数が少ない ● 1時間に2本程度は運行してほしい ● 北部の本数は特に少ない ● 病院行きの運行本数は増やしてほしい
運行区域や目的地	<ul style="list-style-type: none"> ● 買物施設や病院施設に行きやすくしてほしい ● 駅に行かないのが不便
運賃	<ul style="list-style-type: none"> ● 安くしてほしい ● 長浜市内は定額にしてほしい
運行実態	<ul style="list-style-type: none"> ● 乗換があると利用しにくい
運行サービスの維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ● 市役所や大型商業施設等の主要な施設にレンタサイクルを導入してはどうか ● 子どもの通学に利用しやすい運行をしてほしい ● 好きな時に利用できる運行形態にしてほしい ● ドアツードアのサービスにしてほしい ● 乗合タクシーのサービスを充実してほしい ● 利用の多い地域のバス路線は維持して、少ない地域はタクシーもしくは乗合タクシーで補完してはどうか ● 車両を小さくしてはどうか ● 子どもや高齢者が移動に困らないような公共交通の環境整備をお願いしたい ● 停留所の位置や時刻表がわかりにくい
運転士	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転士の態度が悪いと思う
道路整備等のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● カーブミラーが曇っていて見えづらいことがある ● 歩道が整備されておらず、歩きづらい場所がある ● 積雪時の対応が悪いことがある
高齢化によるお困りごと	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢になると移動が不安なので、公共交通を充実させてほしい ● 現状だと免許返納ができない
鉄道・駅	<ul style="list-style-type: none"> ● 電車の運行本数が少ない ● 米原での乗り換えが不便 ● 長浜駅に駐車できる場所が少ない ● 積雪時に電車が動かなくなることが多々あるので対策してほしい
事業にかかる費用	<ul style="list-style-type: none"> ● 投入している費用に対するサービスが不十分であると思う ● 税金を有効活用してほしい
普段の移動	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道や乗合タクシーを使っているが本数が少ない ● 高齢の両親を送迎しているが、買物や通院が重なるとしんどい ● 駅に行くにも車が必要
感謝	<ul style="list-style-type: none"> ● 駅まで乗合タクシーを使っており、ありがたい

2 コミュニティバス利用者アンケート

調査概要（コミュニティバス）

コミュニティバスの利用者の移動実態や意見を把握するために、バス車内での配布・設置によるアンケート調査を行いました。調査概要を下記に記載します。なお、パーセント表記は小数第二位の値を四捨五入した値を記載しているため、合計値が100%とならない場合もあります。

表 コミュニティバス利用者アンケート調査の実施概要

調査時期	令和4(2022)年11月21日(月)～令和4(2022)年12月9日(金)
調査対象者	コミュニティバス利用者
調査方法	コミュニティバス車内に調査票及び回収箱を設置(一部、市職員がバスに乗車して直接配布・回収)
回答数	133名

2-1. 回答者の属性について

(1) 性別

男性が約35%、女性が約63%となっています。

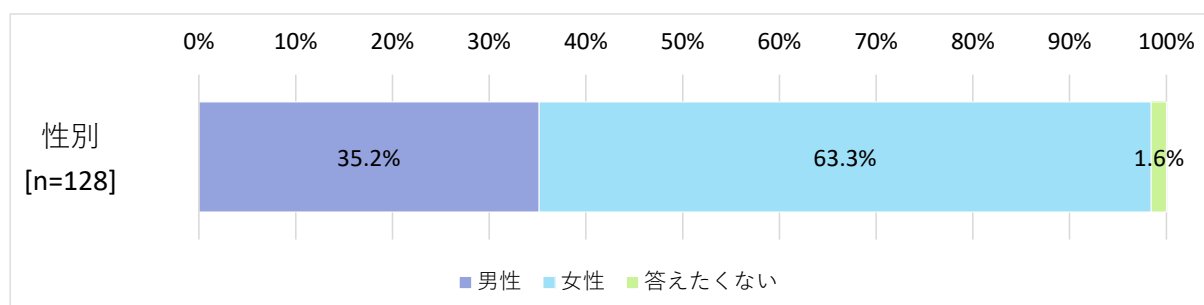


図 性別

(2) 年齢

65歳以上の高齢者からの回答が約58%となっています。

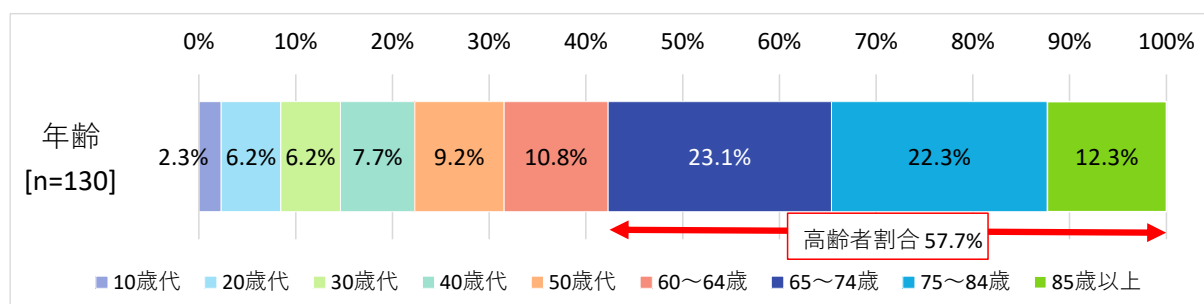


図 年齢層

(3) 居住地域

余呉地域が約24%と最も多くなっています。そのほかに旧長浜地域、浅井地域などで回答者が多くなっています。

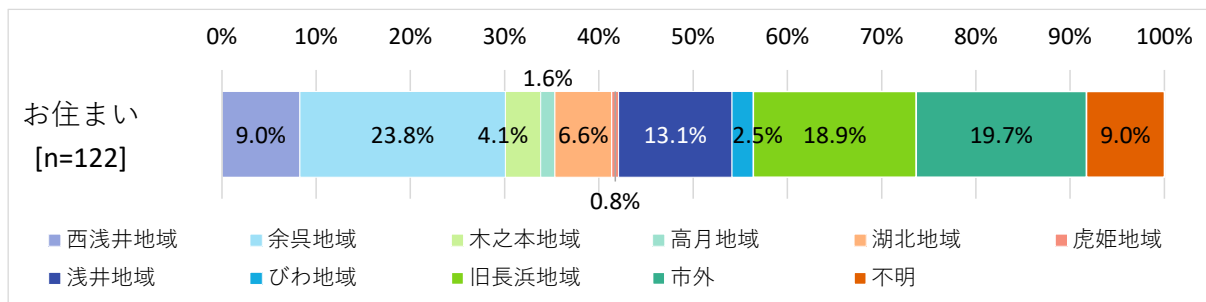


図 お住まいの地域

(4) 世帯構成

約40%が一人暮らしとなっています。

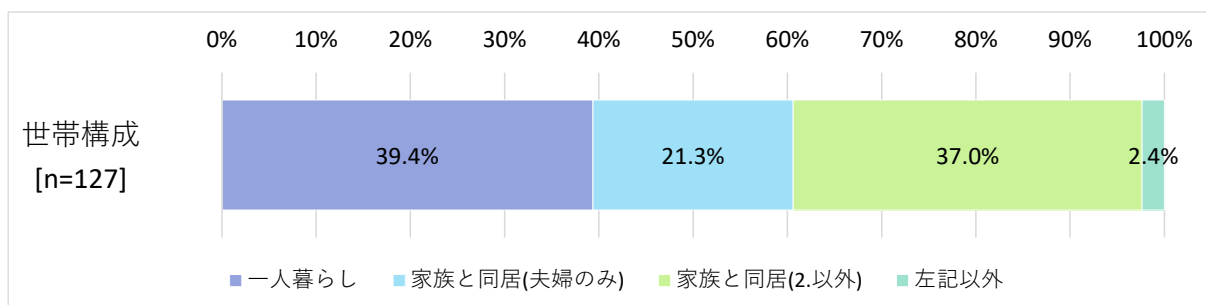


図 世帯構成

(5) 運転免許の保有状況

運転免許を保有していない方が約63%となっており、利用者の多くは自動車という移動手段が使えないということが推察されます。

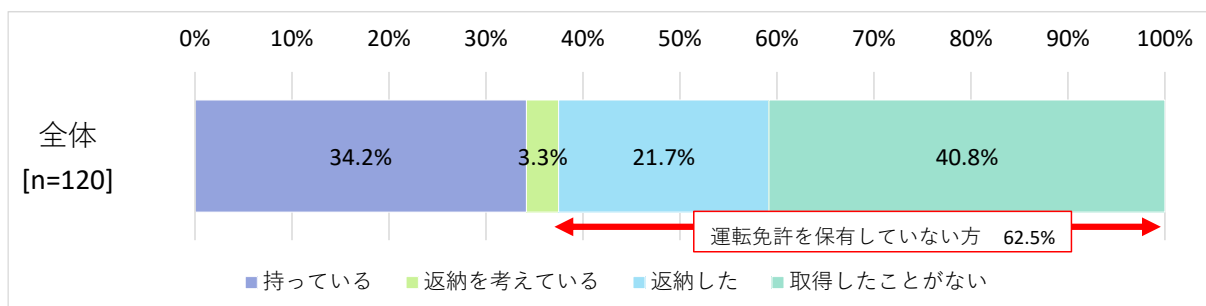


図 運転免許保有状況

年齢階層別にみると、64歳以下では約64%の方が運転免許を保有しているのに対し、それ以外の年齢層では運転免許を保有していない方が多くなっています。

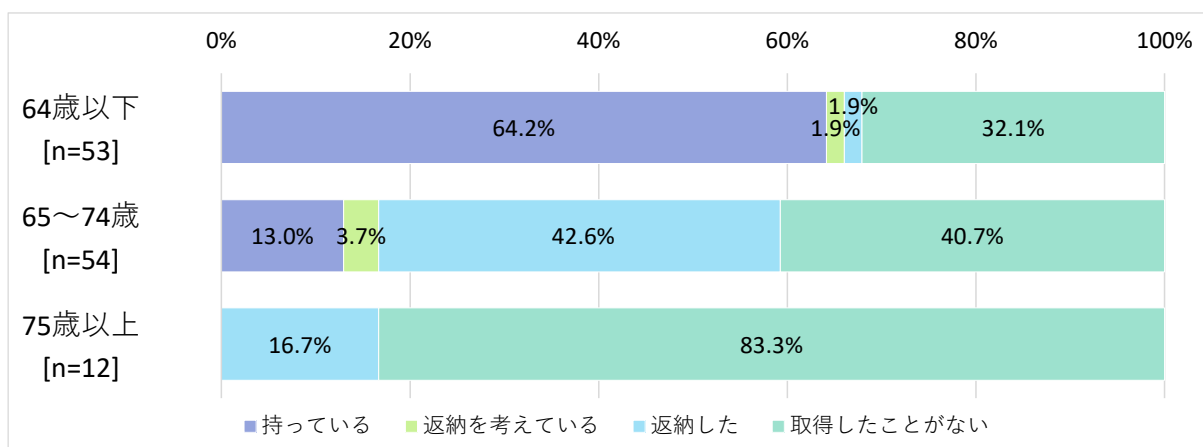


図 運転免許保有状況（年齢層別）

2-2. 普段の利用について

(1) 利用時の目的

通勤・通学が約32%で最も多く、次いで通院が約26%と続いています。

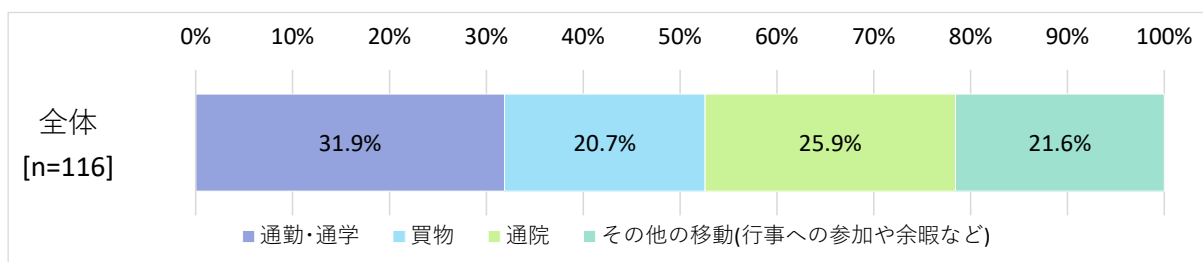


図 コミュニティバスを利用した目的

年齢層別にみると、64歳以下は半数が通勤・通学での利用となっています。年齢が高くなるにつれ、買物、通院での利用が増えています。

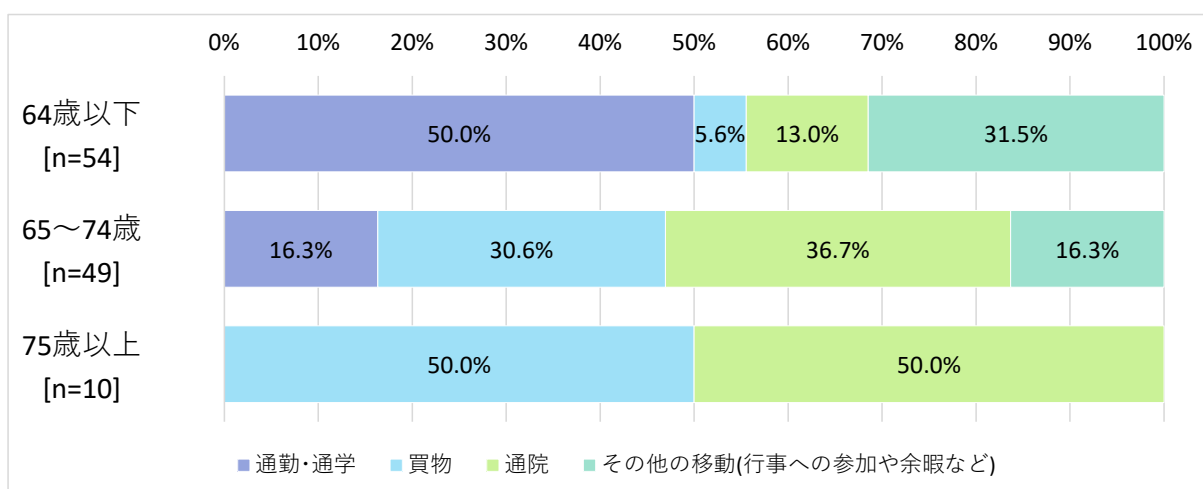


図 コミュニティバスを利用した目的（年齢層別）

居住地域別にみると、西浅井地域、湖北地域、虎姫地域では通勤・通学の目的での利用が多くなっています。

また、浅井地域、びわ地域では買物での利用が多く、西浅井地域、余呉地域、木之本地域、高月地域では通院を目的とした利用が最も多くなっており、地域によって利用目的が異なります。

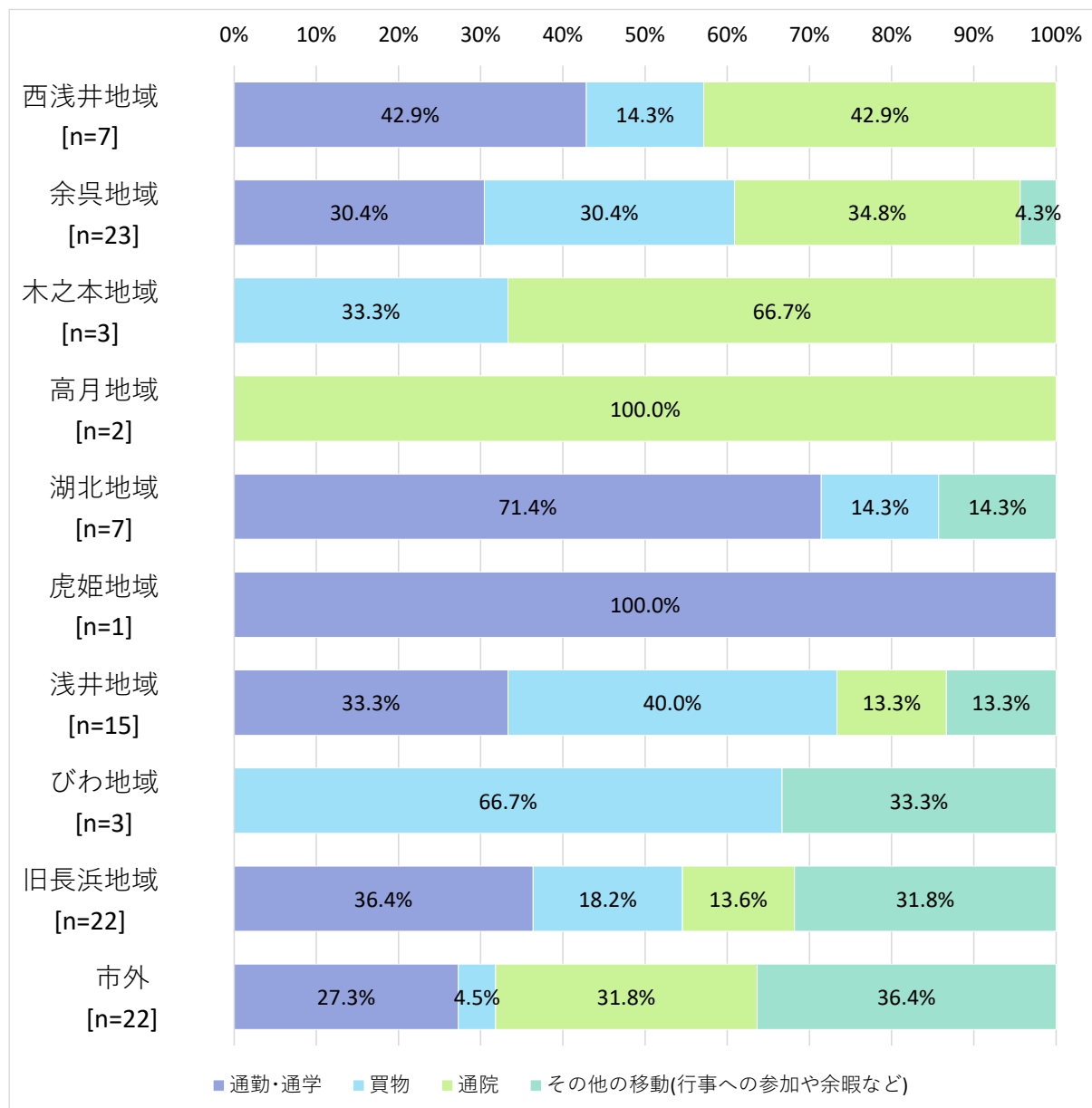


図 コミュニティバスを利用した目的（居住地域別）

(2) 利用時の移動先

旧長浜地域への移動が約40%と最も多くなっています。そのほか、木之本地域、市外などへの移動が10%を超えています。

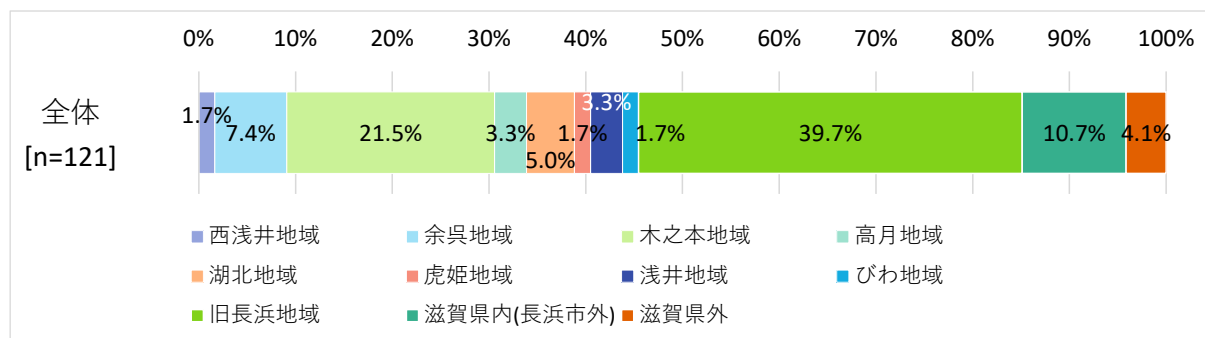


図 コミュニティバスを利用した外出先

年齢層別にみると、年齢が高くなるにつれ市外への移動が減り、木之本地域への移動が多くなっています。

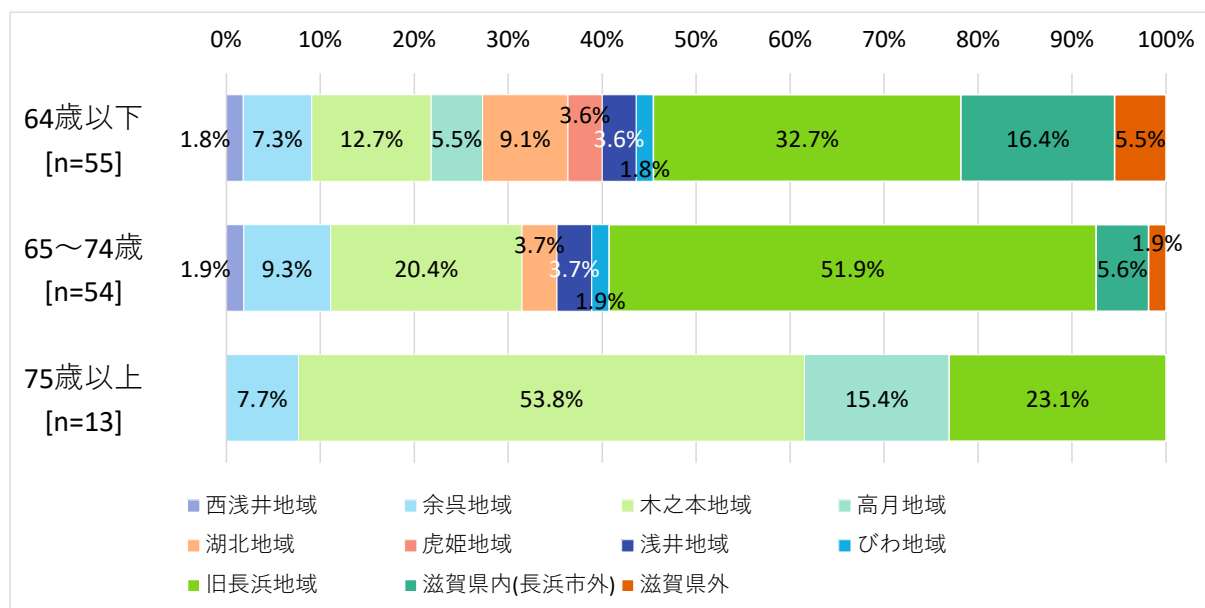


図 コミュニティバスを利用した外出先（年齢層別）

居住地域別にみると、西浅井地域、余呉地域、木之本地域、高月地域では木之本地域へ移動している方の割合が多くなっています。

また、湖北地域では湖北地域内での移動が多く、浅井地域、旧長浜地域では旧長浜地域への移動が多くなっています。

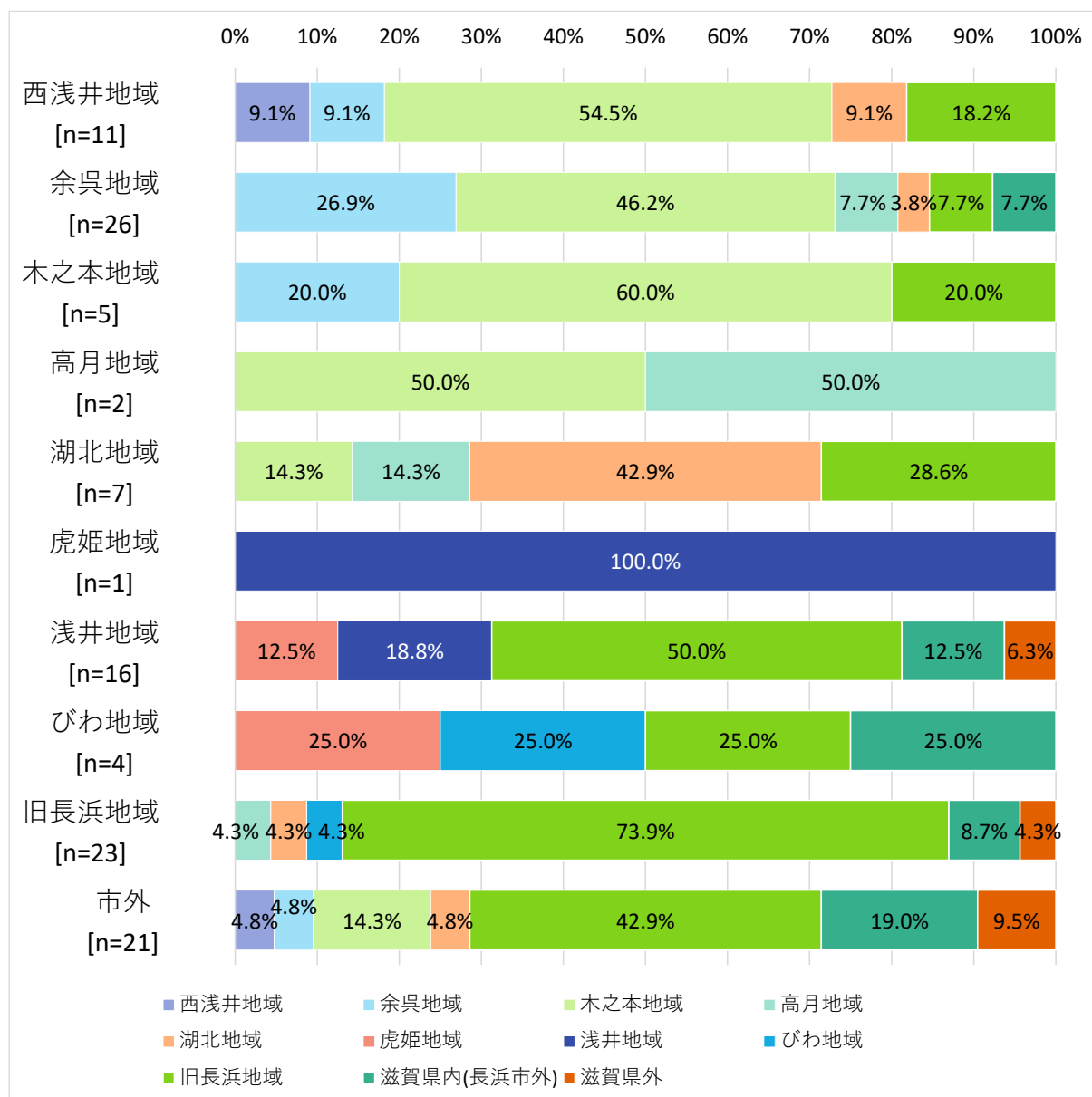


図 コミュニティバスを利用した外出先（居住地域別）

(3) よく利用している停留所

乗車場所をみると、長浜駅からの乗車が最も多くなっており、それ以外の停留所をみると居住地から利用されている傾向にあります。

降車場所をみると、長浜駅、木之本バスターミナル等の交通結節点での降車が多くなっています。

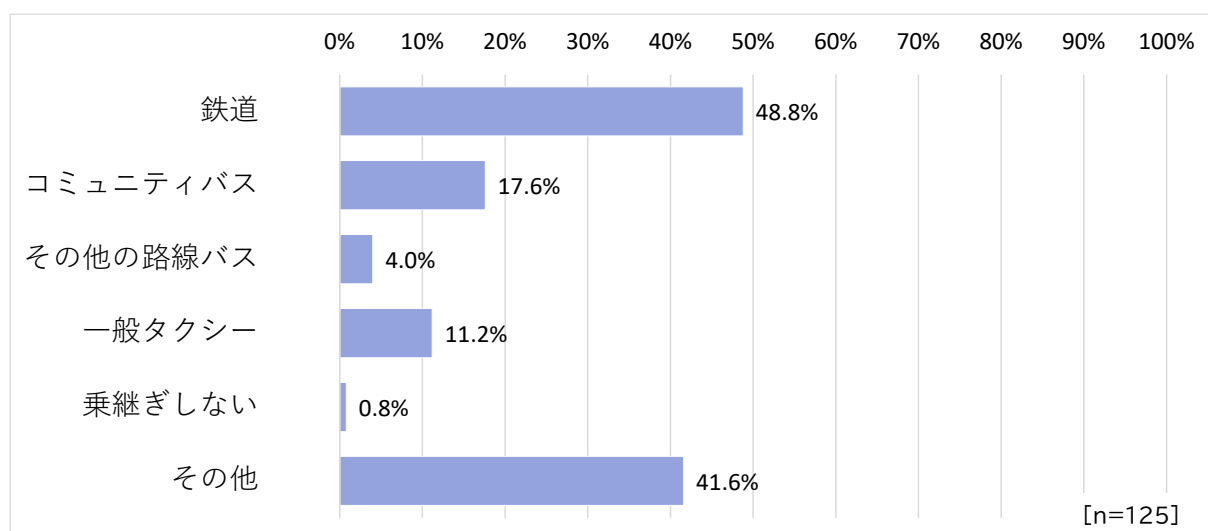
表 よく利用している乗車場所・降車場所

乗車場所		回答数	降車場所		回答数
1	長浜駅	18	1	長浜駅	21
2	中之郷	5	2	木之本バスターミナル	18
3	下丹生	4	3	市立長浜病院	7
4	坂口	3	4	平和堂木之本店	5
4	小谷	3	5	湖北病院	4
4	上丹生	3	5	木ノ本駅	4
4	中河内	3	7	余呉駅	4
4	木之本バスターミナル	3	7	アルプラザ口	3
9	加納新町	2	9	イオン長浜店	2
9	沓掛	2	9	高橋	2
9	消防署浅井出張所前	2	9	長浜赤十字病院	2
9	千田	2	9	病院前	2
9	浅井支所	2			
9	椿坂	2			

※利用の多い停留所上位15位を掲載。なお、1票のみの停留所は記載していない。

(4) コミュニティバス以外の地域公共交通との乗継ぎ

鉄道に乗継ぎをしている方が約49%と最も多くなっています。乗継をしないと回答しているのは1%を下回っており、コミュニティバスを用いて移動する場合、その他の公共交通機関と併せて移動しています。



※複数回答

図 地域公共交通との乗継ぎについて

(5) 利用頻度

利用者の約63%の方が週1日以上の利用をしている方となっています。

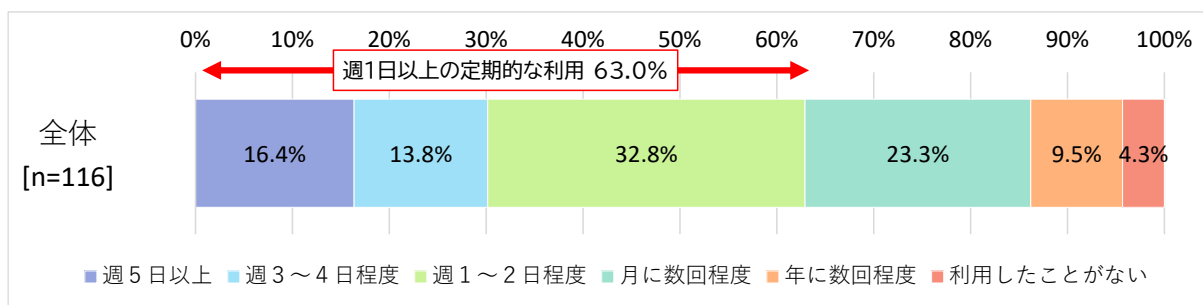


図 コミュニティバスを利用する頻度

年齢層別にみると、64歳以下は約24%が週5日以上の利用となっています。65歳以上の場合、週1～2日での利用が最も多くなっています。

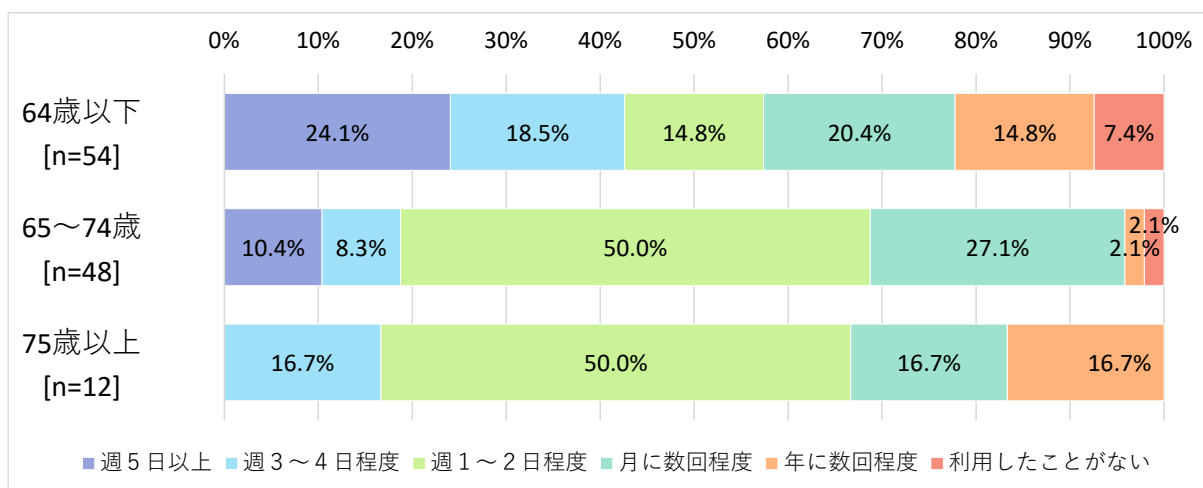


図 コミュニティバスを利用する頻度（年齢層別）

居住地域別にみると、西浅井地域や木之本地域等の北部より、旧長浜地域やびわ地域等の南部で利用が多くなっている傾向にあります。

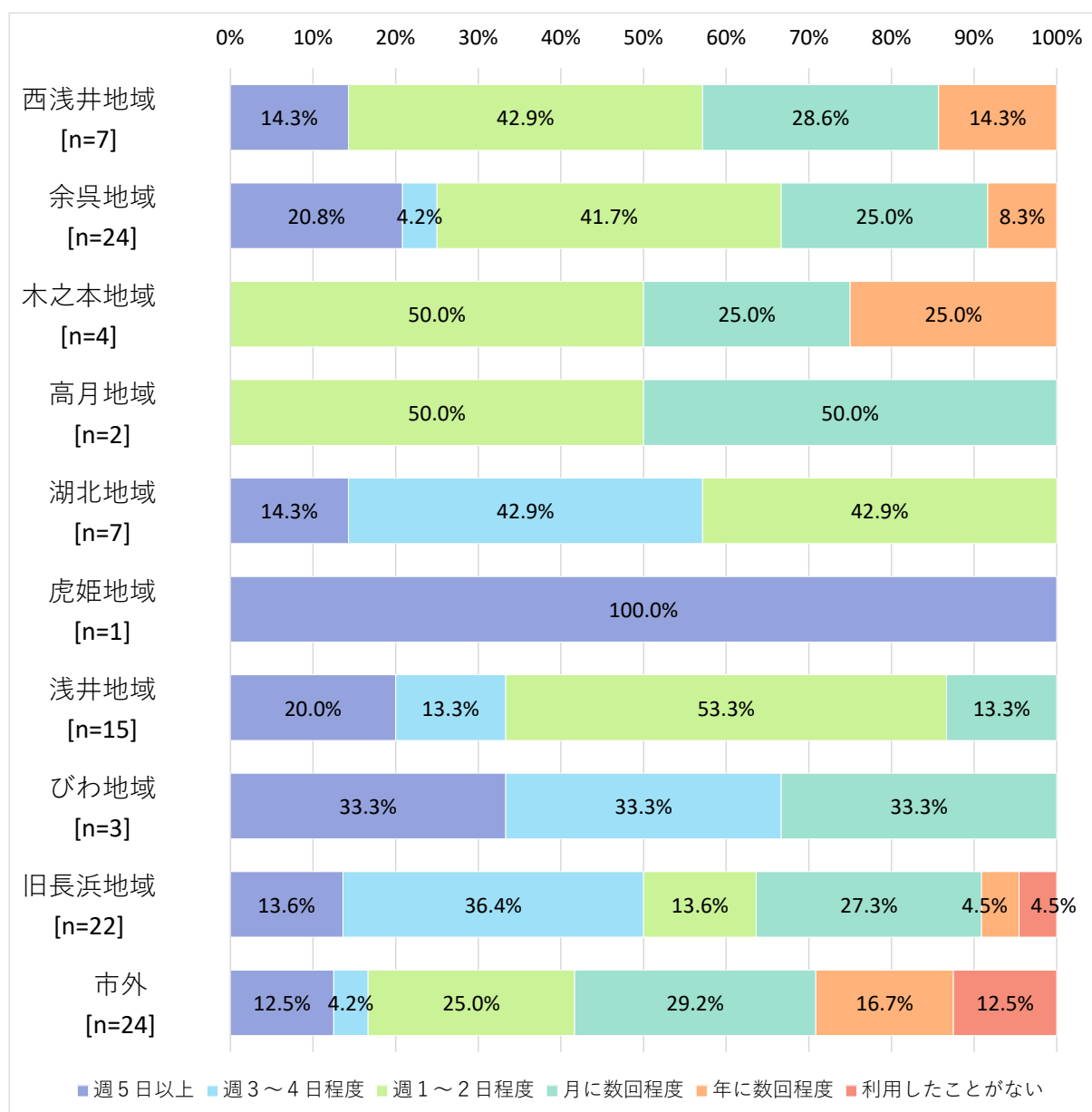


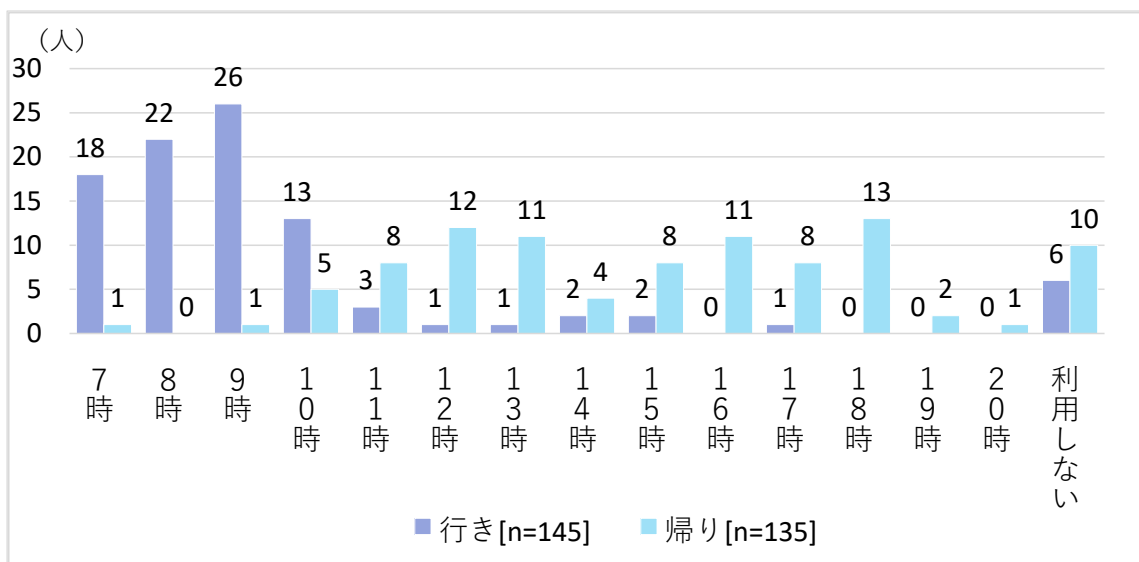
図 コミュニティバスを利用する頻度（居住地域別）

(6) 利用時間帯

平日の場合、行きは7時～10時台に利用が集中しています。帰りは11時以降に多くなりますが、特に利用の多い時間帯はなく、幅広い時間帯で利用されています。

休日の場合も平日と同様の利用傾向となっていますが、平日と比べ利用していないと回答している方が多くなっています。

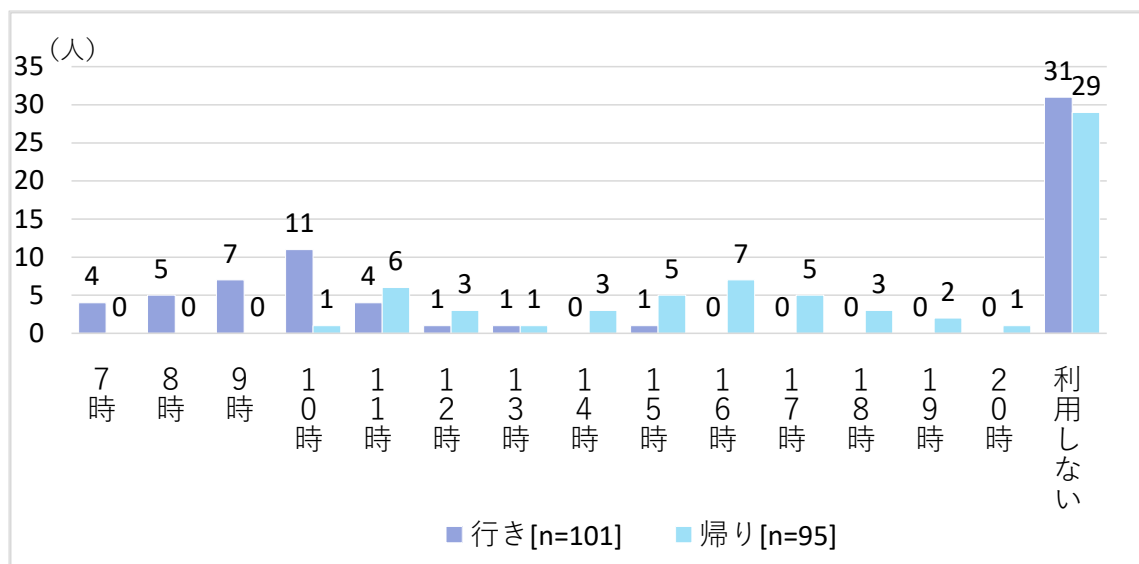
【平日】



※上記グラフ以外に午前中に利用すると回答している方がおり、4名が行き、2名が帰りと回答。
 ※上記グラフ以外に午後利用すると回答している方がおり、1名が行き、5名が帰りと回答。

図 コミュニティバスを最も利用する時間帯（平日）

【休日】

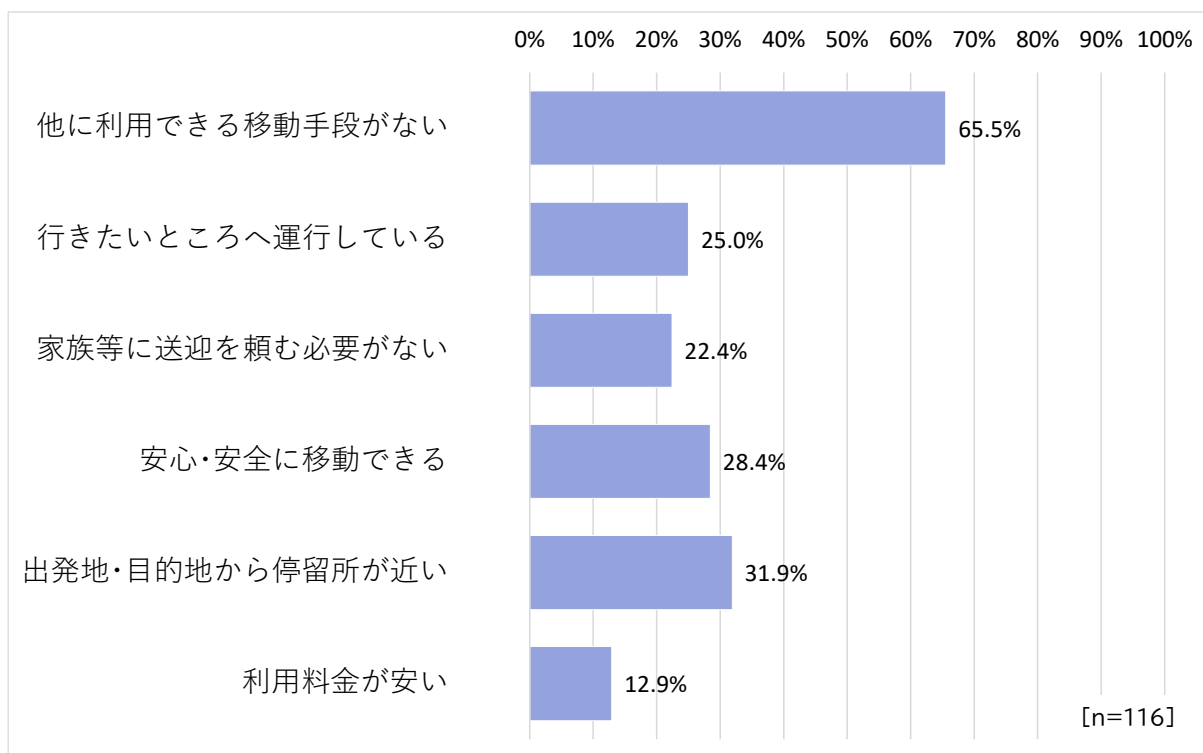


※上記グラフ以外に午後利用すると回答している方がおり、1名が帰りと回答。

図 コミュニティバスを最も利用する時間帯（休日）

(7) 利用する理由

他に利用できる移動手段がないが約66%と最も多くなっています。

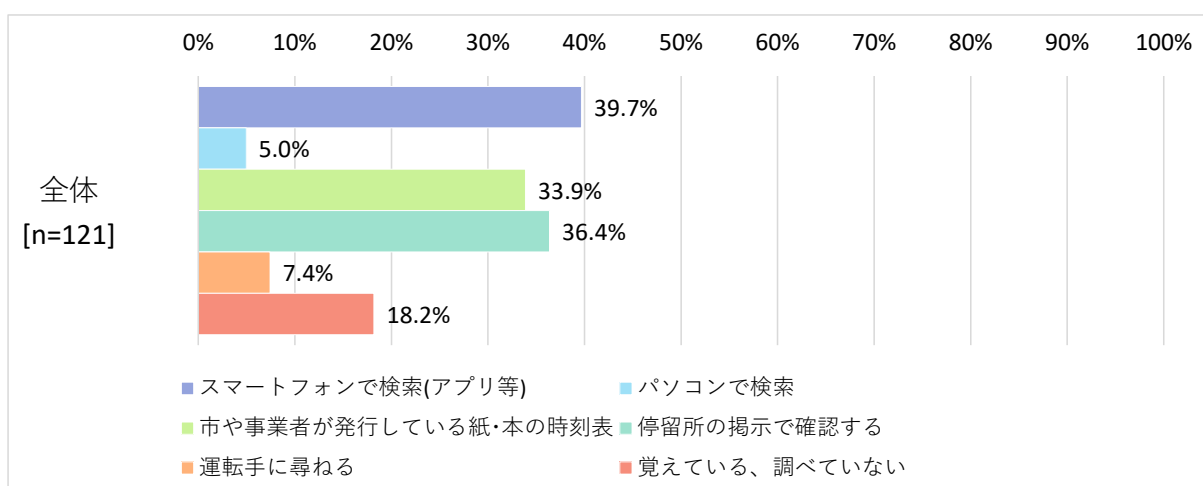


※複数回答

図 コミュニティバスを利用する理由

(8) 利用方法や運行ダイヤ等の情報の調べ方

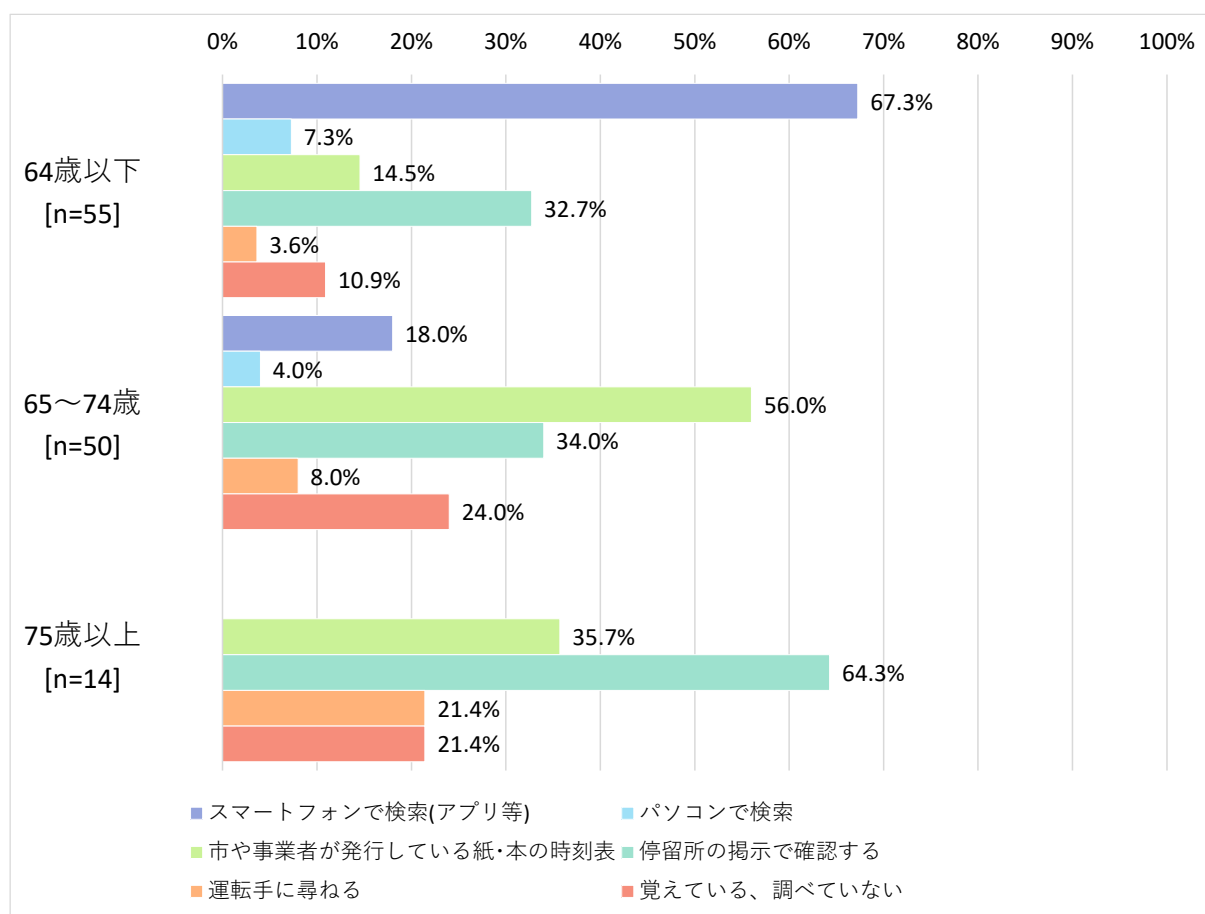
スマートフォン（アプリ等）で検索、停留所の掲示での確認、紙や時刻表で調べる方が多くなっています。



※複数回答

図 コミュニティバスの情報取得方法

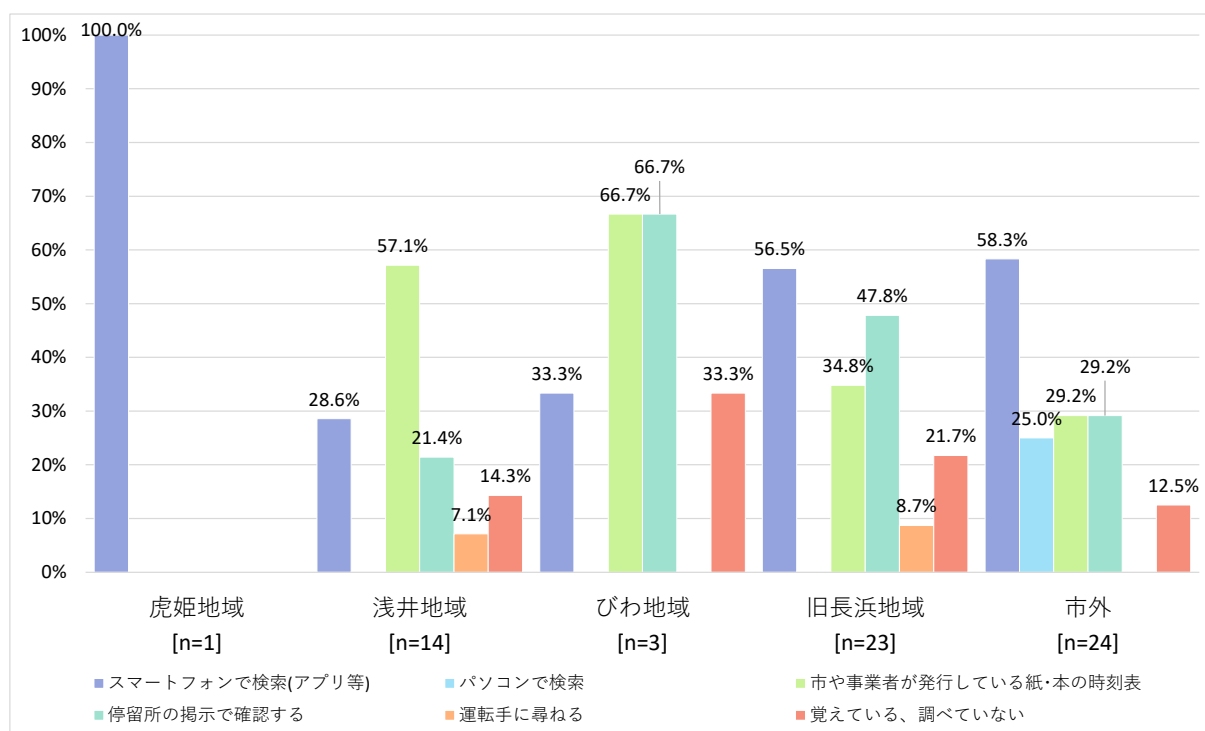
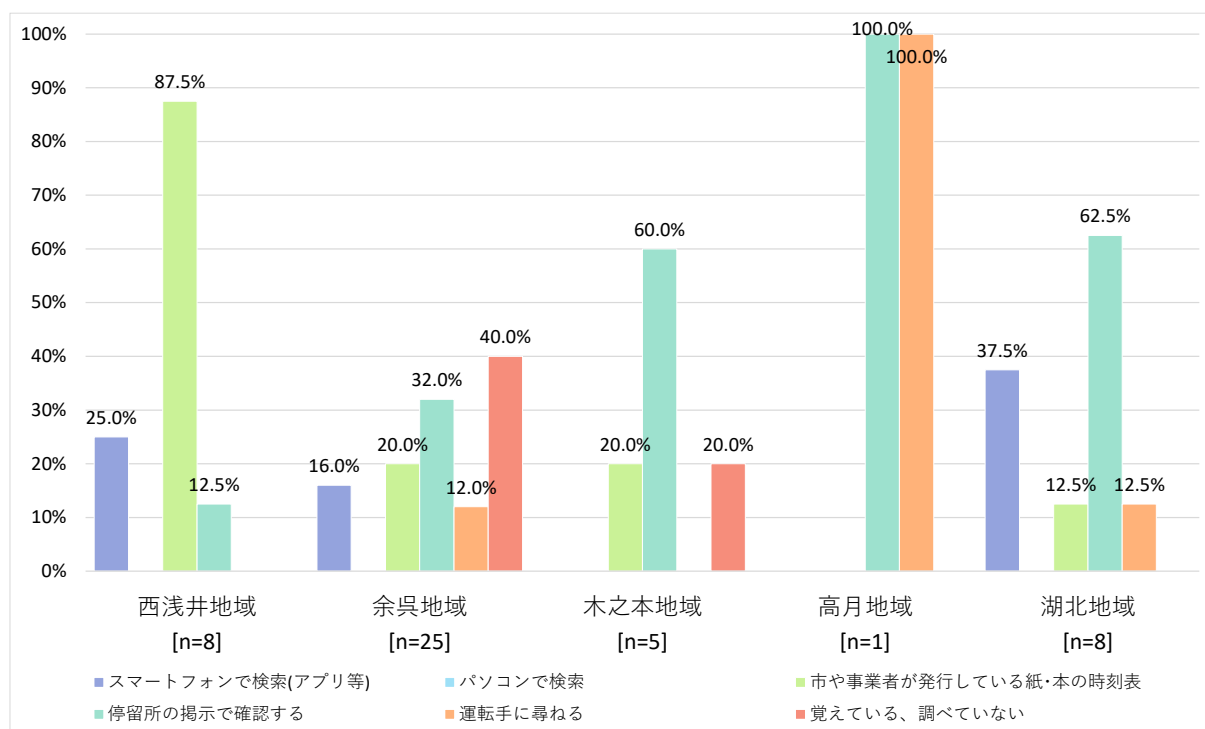
年齢層別にみると、年齢が高くなるにつれてスマートフォン（アプリ等）での検索が減少し、停留所の掲示で確認をされる方が増えています。紙や本などの時刻表で調べる方は65歳以上で多くなっています。



※複数回答

図 コミュニティバスの情報取得方法（年齢層別）

居住地域別にみると、木之本地域、高月地域、湖北地域、びわ地域では停留所の掲示で、西浅井地域、びわ地域では紙・本の時刻表で調べる方が60%を超えています。



※複数回答

図 コミュニティバスの情報取得方法（居住地域別）

(9) 満足度

満足、ほぼ満足と併せて約71%の方が肯定的な回答をしています。

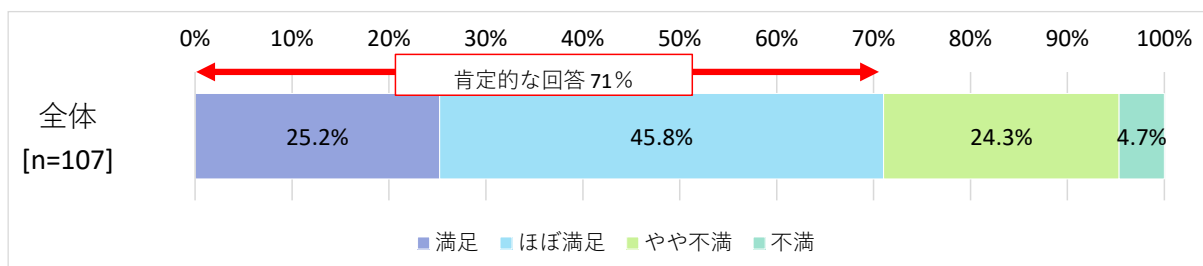


図 コミュニティバスの満足度

年齢層別にみると、65歳以上の高齢者で満足、ほぼ満足としている方が80%を超えています。一方、64歳以下においては、満足、ほぼ満足以外に感じている方と不満、やや不満に感じている方が概ね半数ずつとなっています。

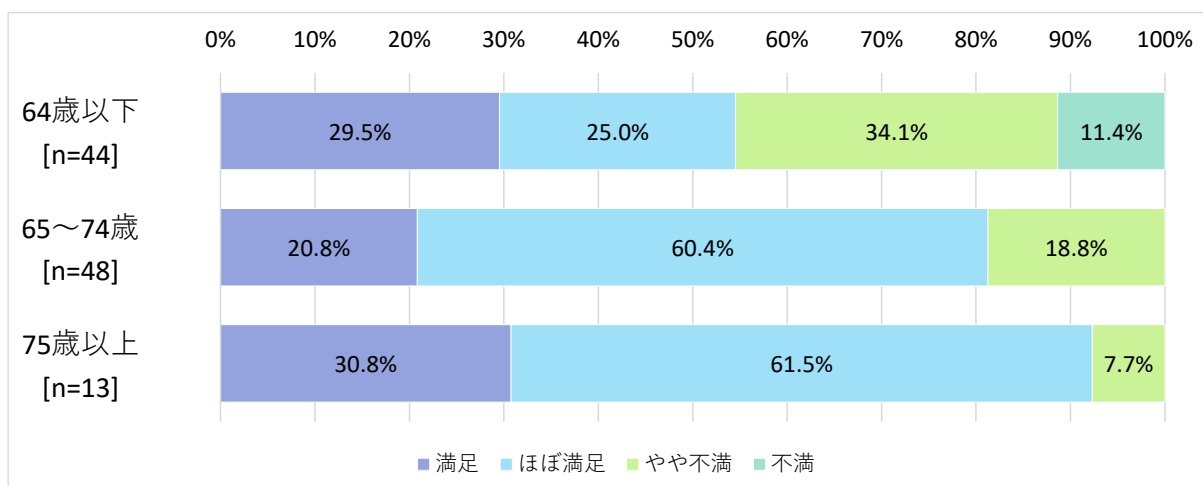


図 コミュニティバスの満足度（年齢層別）

居住地域別にみると、長浜市内では満足、ほぼ満足としている方が、いずれの地域においても50%以上となっています。市外にお住まいの方にとっては、不満、やや不満と感じている方が多くなっています。

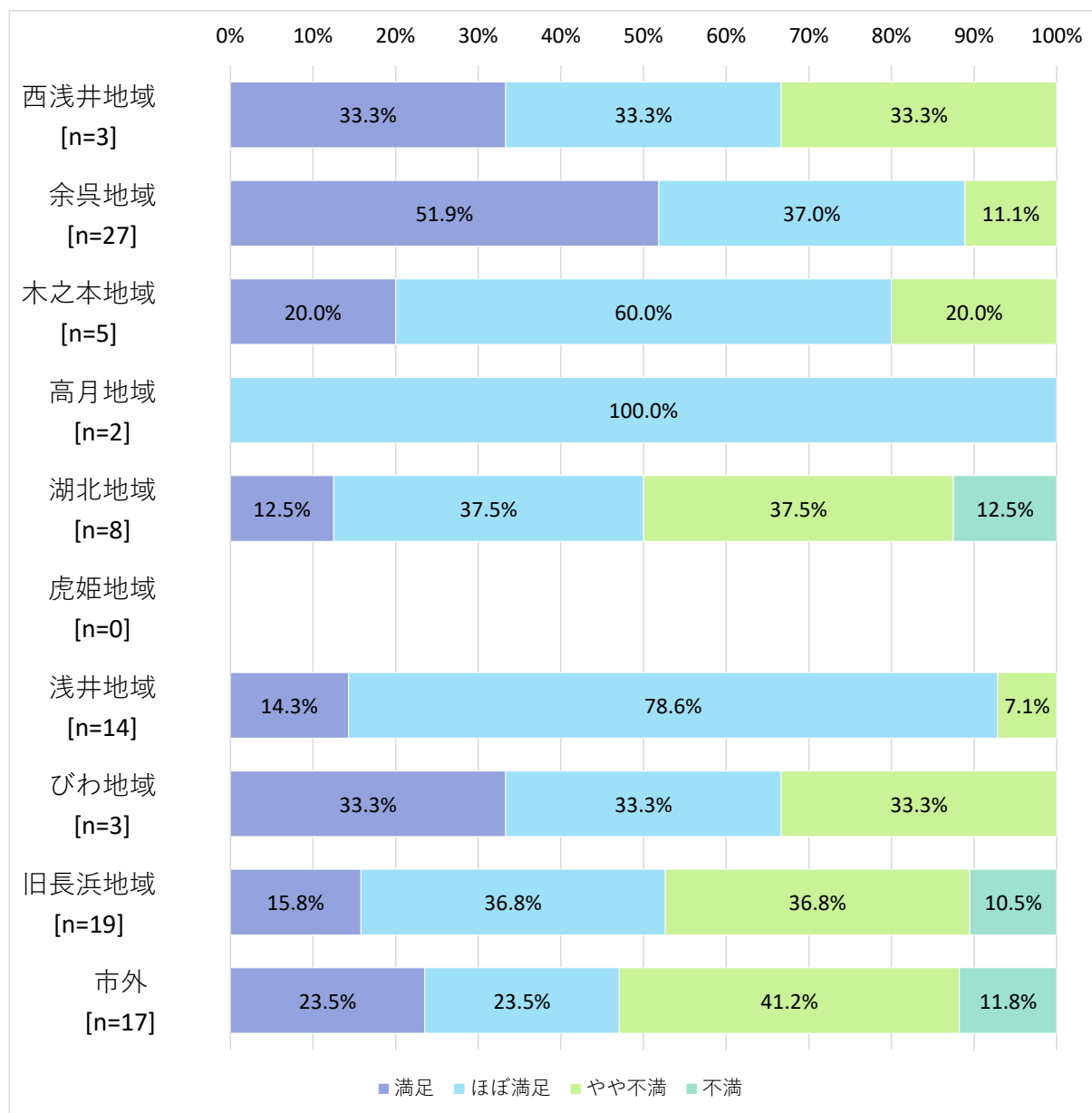


図 コミュニティバスの満足度（居住地域別）

2-3. 地域公共交通に対する考えについて

(1) 今後の長浜市の地域公共交通の維持に向けた考え

他の施策や事業を見直してでも維持するべきと回答している方が約61%と最も多くなっています。その次に利用料金を上げてでも取り組むべきという回答が多くなっています。その他の意見として、他の移動サービスと併合してみても、などの意見があります。

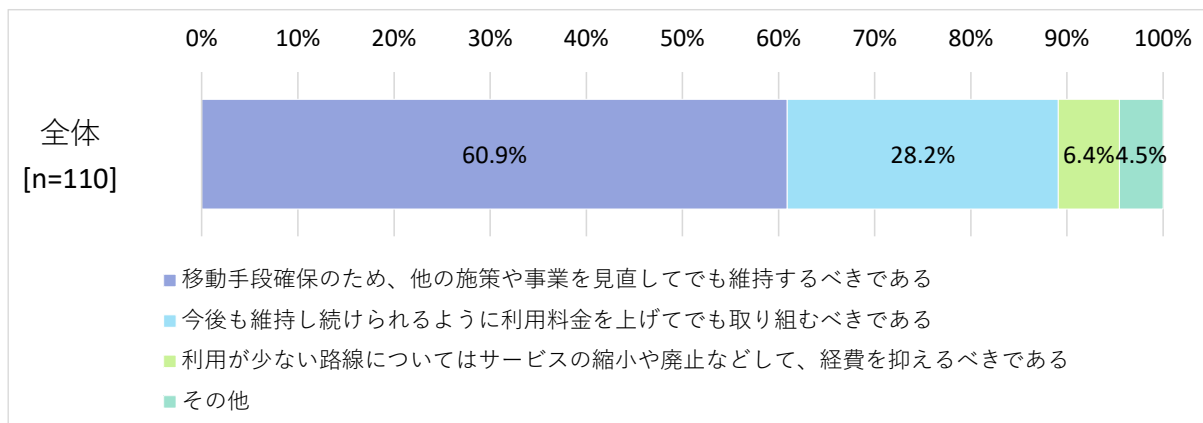


図 地域公共交通の維持に向けた考え

運転免許の保有状況別で見ると、免許を返納した方、取得したことが無い方で、利用料金を上げてでも維持すべきという意見が免許保有者の同じ意見と比較して多くなっています。

表 地域公共交通の維持に向けた考え（運転免許の保有状況別）

考え方	免許 持っている	返納を考えている	返納した	取得したことがない
移動手段確保のため、他の施策や事業を見直してでも維持するべきである [合計件数 64]	25 件 39.1%	1 件 1.6%	10 件 15.6%	28 件 43.8%
今後も維持し続けられるように利用料金を上げてでも取り組むべきである [合計件数 28]	7 件 25.0%	2 件 7.1%	8 件 28.6%	11 件 39.3%
利用が少ない路線についてはサービスの縮小や廃止などして、経費を抑えるべきである [合計件数 7]	4 件 57.1%	1 件 14.3%	0 件 0.0%	2 件 28.6%
その他 [合計件数 5]	2 件 40.0%	0 件 0.0%	0 件 0.0%	3 件 60.0%

年齢層別にみると、74歳以下の年齢層では他の施策や事業を見直してでも維持すべきとしている方が60%を超えています。一方、75歳以上になると利用料金を上げてでも取り組むべきとしている方が60%を超えるなど、74歳付近の年齢を境に意見が分かれています。

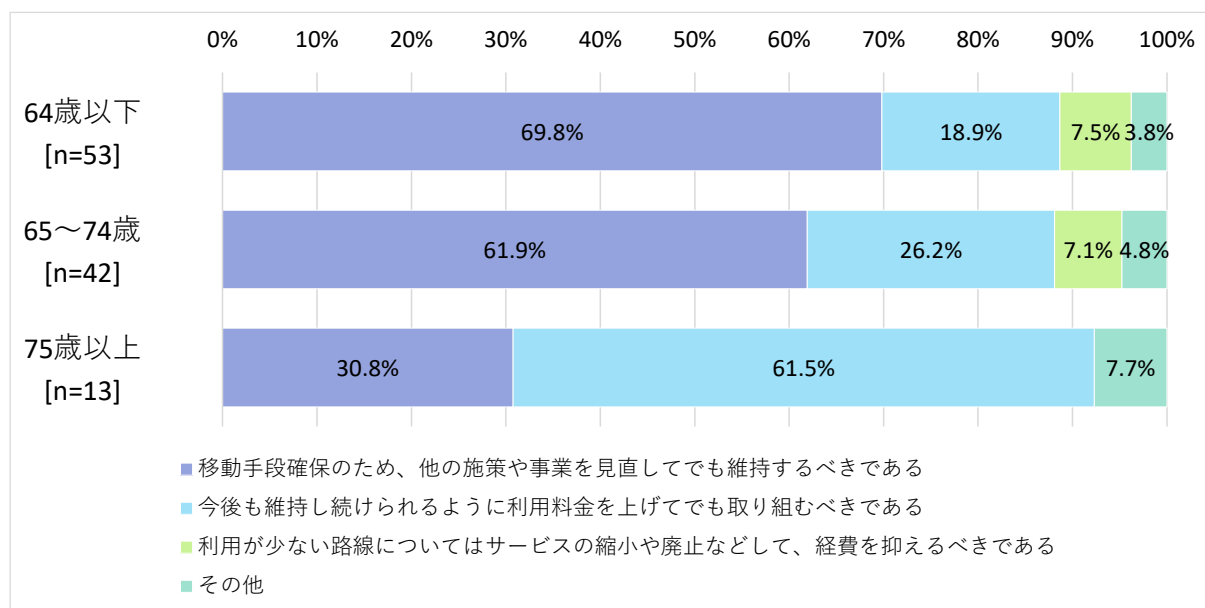


図 地域公共交通の維持に向けた考え（年齢層別）

居住地域別にみると、余呉地域、木之本地域、市外では、他地域と比べて利用料金を上げてでも取り組むべきという意見が多く、40%を超えています。

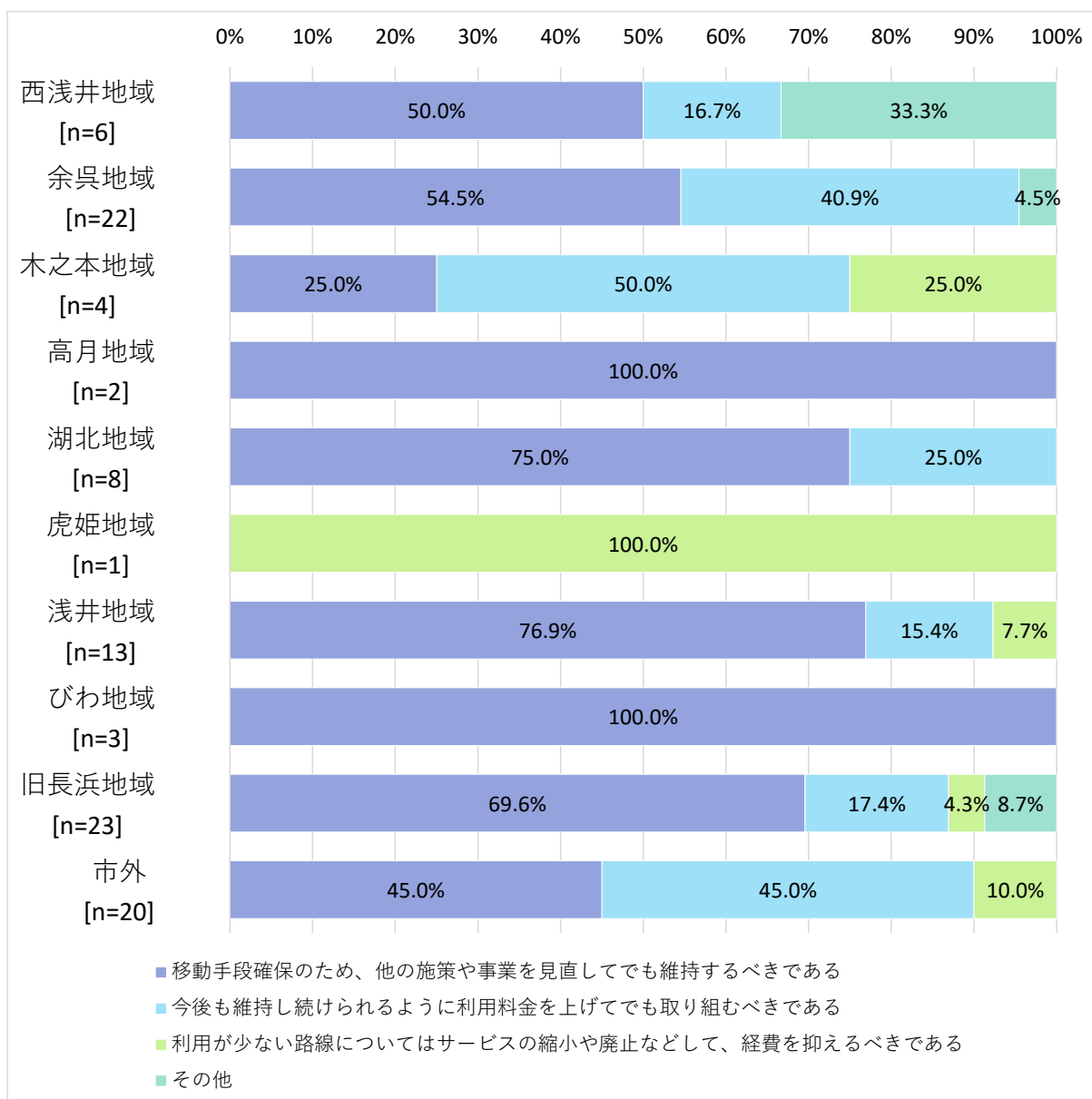
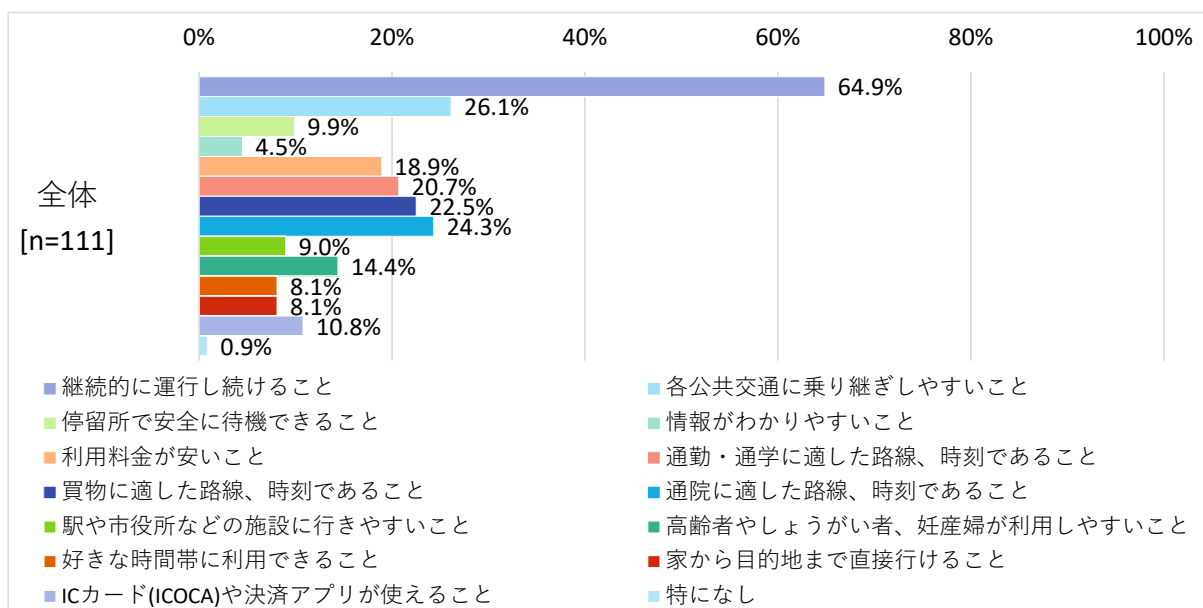


図 地域公共交通の維持に向けた考え（居住地域別）

(2) 長浜市の地域公共交通において重視すべきこと

継続的に運行し続けることが約65%と最も多くなっています。そのほかには、乗継ぎのしやすさや通院に適した運行であることなどを求めている方が多くなっています。



※複数回答

図 地域公共交通において重視すべきこと

運転免許の保有状況別でみると、免許を返納した方、取得したことがない方は通院や買物に適した路線、時刻であることを重視すべきという意見が、免許を持っている方の同じ意見と比較して多くなっています。

一方、免許を持っている方は通勤・通学に適した運行、ICカードや決済アプリの活用に関して、免許を返納した方、取得したことがない方の同じ意見と比べて多くなっています。

表 地域公共交通において重視すべきこと（運転免許の保有状況別）

考え方	免許 持っている	返納を考えている	返納した	取得したことがない
継続的に運行し続けること [合計件数 68]	25 件 36.8%	1 件 1.5%	18 件 26.5%	24 件 35.3%
各公共交通に乗り継ぎしやすいこと [合計件数 27]	11 件 40.7%	1 件 3.7%	4 件 14.8%	11 件 40.7%
停留所で安全に待機できること [合計件数 9]	3 件 33.3%	0 件 0.0%	2 件 22.2%	4 件 44.4%
情報がわかりやすいこと [合計件数 5]	5 件 100.0%	0 件 0.0%	0 件 0.0%	0 件 0.0%
利用料金が安いこと [合計件数 18]	4 件 22.2%	1 件 5.6%	2 件 11.1%	11 件 61.1%
通勤・通学に適した路線、時刻 であること [合計件数 23]	14 件 60.9%	0 件 0.0%	3 件 13.0%	6 件 26.1%
買物に適した路線、 時刻であること [合計件数 23]	5 件 21.7%	0 件 0.0%	3 件 13.0%	15 件 65.2%
通院に適した路線、時刻である こと [合計件数 27]	5 件 18.5%	0 件 0.0%	10 件 37.0%	12 件 44.4%
駅や市役所などの施設に行き やすいこと [合計件数 10]	2 件 20.0%	0 件 0.0%	3 件 30.0%	5 件 50.0%
高齢者やしょうがい者、妊産婦 が利用しやすいこと [合計件数 14]	4 件 28.6%	0 件 0.0%	4 件 28.6%	6 件 42.9%
好きな時間帯に利用できること [合計件数 10]	2 件 20.0%	0 件 0.0%	2 件 20.0%	6 件 60.0%
家から目的地まで直接行けるこ と [合計件数 9]	2 件 22.2%	0 件 0.0%	2 件 22.2%	5 件 55.6%
ICカード(ICOCA)や決済アプ リが使えること [合計件数 12]	8 件 66.7%	1 件 8.3%	0 件 0.0%	3 件 25.0%
特になし [合計件数 1]	1 件 100.0%	0 件 0.0%	0 件 0.0%	0 件 0.0%

※複数回答

年齢層別にみると、どの年齢層においても、継続的な運行を求める意見が最も多くなっています。また、65～74歳の方は通院に適した運行であること、75歳以上の方は高齢者やしょうがい者、妊産婦が利用しやすいことを求めている意見が40%以上となっています。

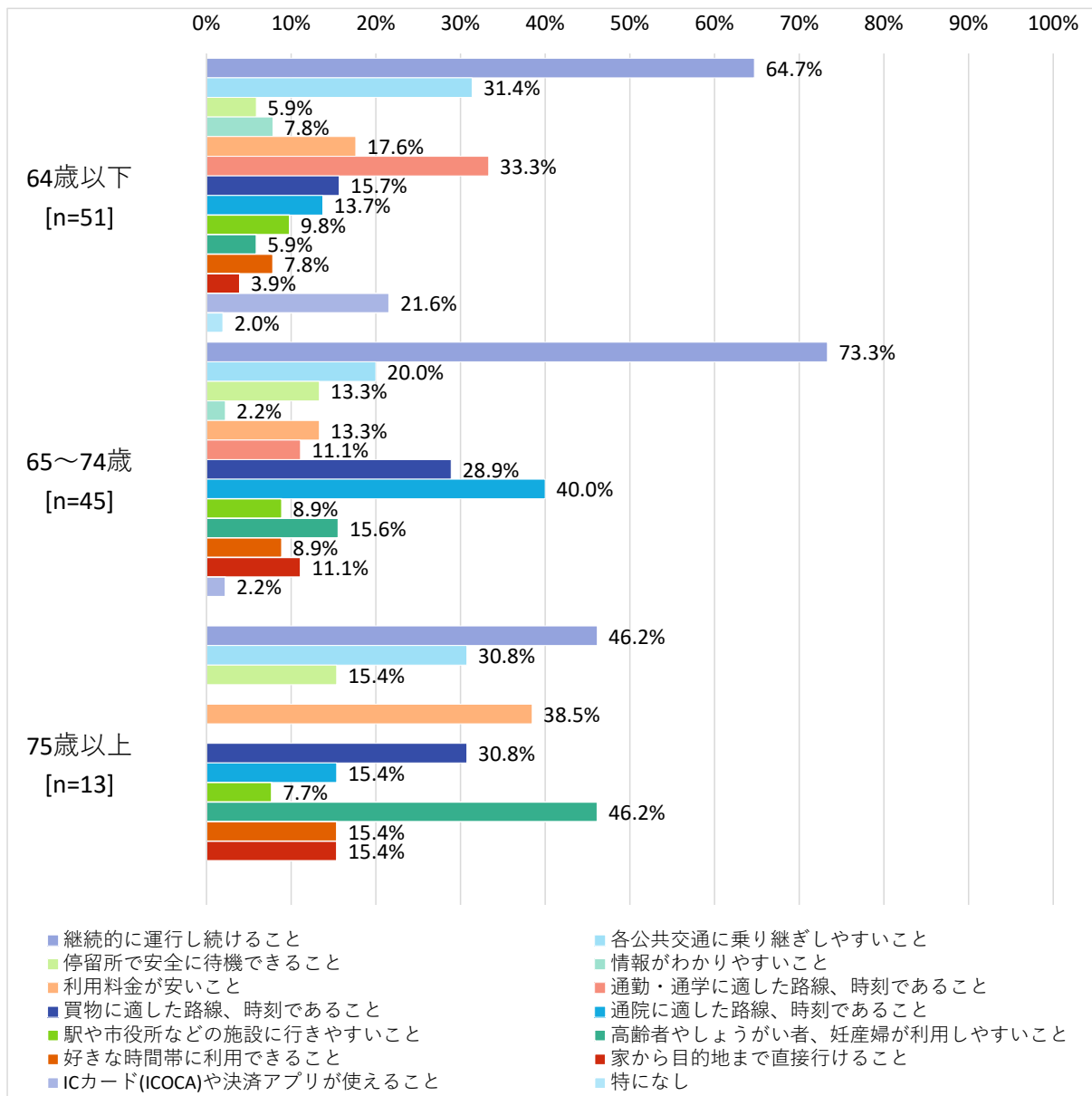
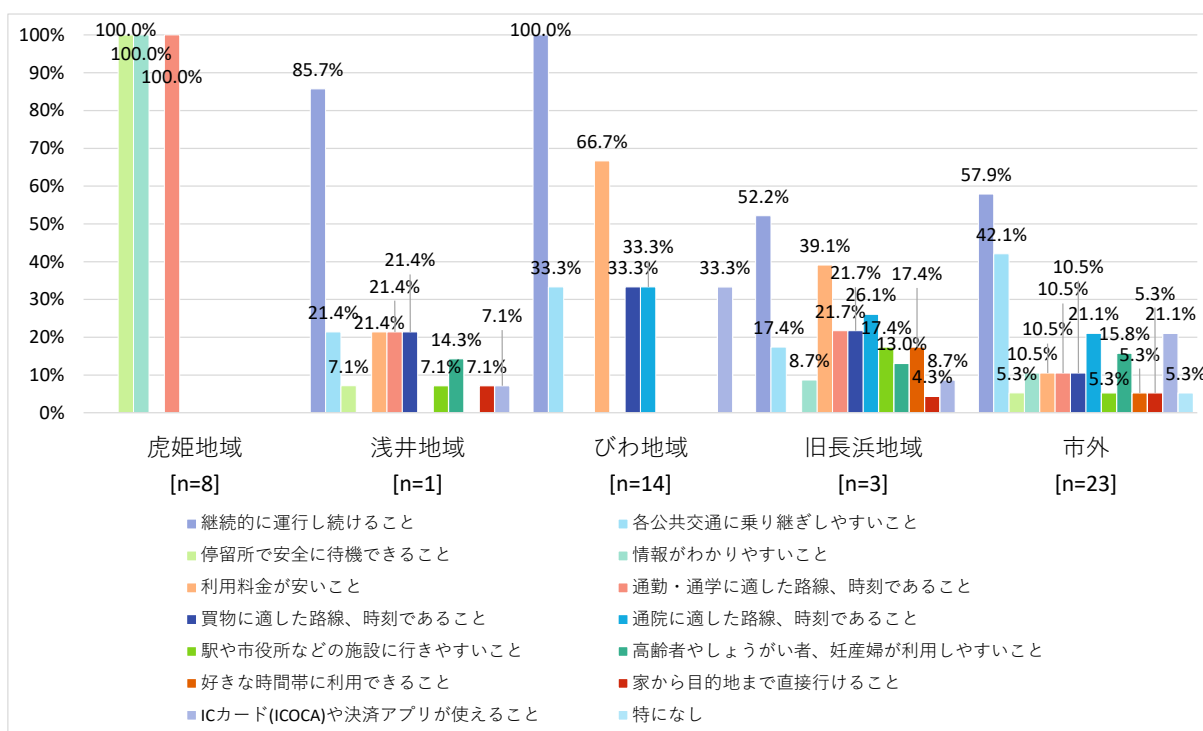
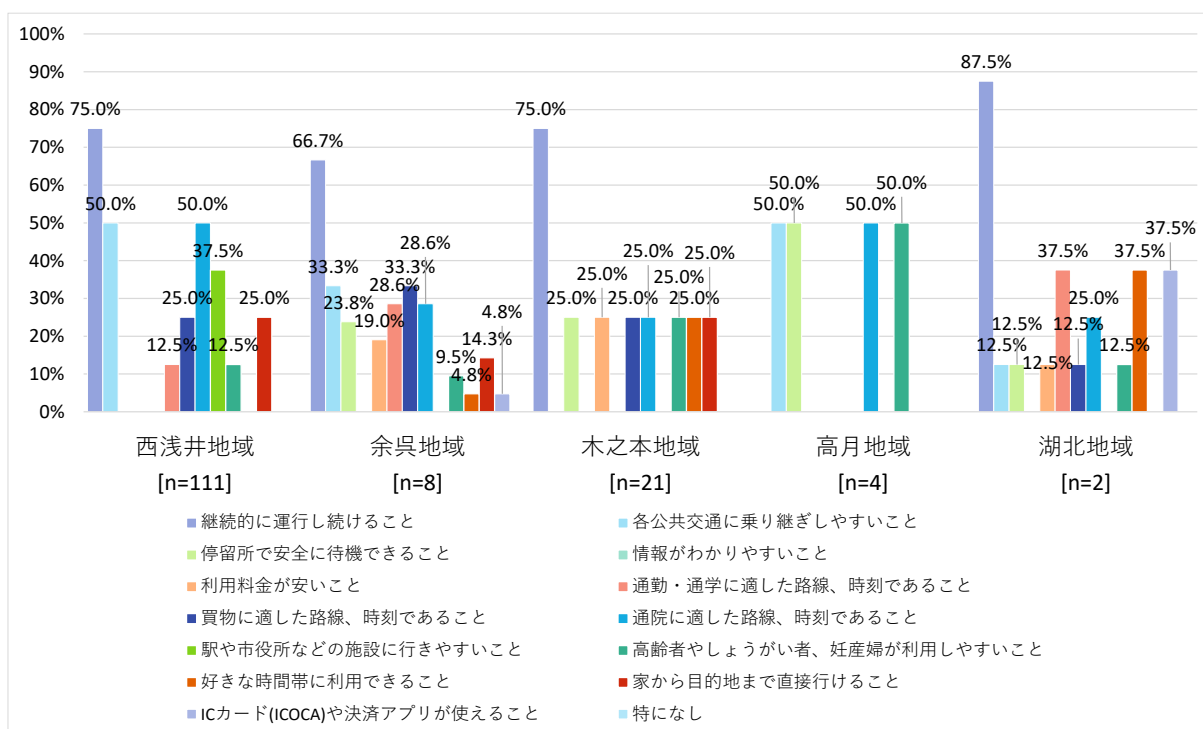


図 地域公共交通において重視すべきこと（年齢層別）

居住地域別にみると、虎姫地域以外では、継続的な運行を求める意見が最も多くなっています。



※複数回答

図 地域公共交通において重視すべきこと（居住地域別）

(3) 市内の地域公共交通についての主なご意見

種類	主な意見
停留所	<ul style="list-style-type: none"> ● 停留所の近くに自転車置場を設置してほしい
運行時間や時間帯、運行便数	<ul style="list-style-type: none"> ● 北部の運行を充実してほしい ● 帰りの時間帯に運行してない ● 鉄道や他の路線との乗り継ぎが悪い ● バスが遅れることが多々ある
運賃	<ul style="list-style-type: none"> ● 運賃が高い ● 小判手形は助かっている
運行サービスの維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ● ICカードで支払いができると良い ● コミュニティバスは市民の移動手段であるので利用しやすくしてほしい ● 市営で運行してはどうか
運転士	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転士によって態度が良い時と悪い時がある ● 運転士がシルバーカーを運んでくれることがあり助かっている
道路整備等のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道駅がバリアフリーでないことや無人駅であることが原因で車いすの方が利用できない ● 停留所と道路の区別がはっきりしない場所がある
周知	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティバスや乗合タクシーのことを知らない人が多いと思う

3 乗合タクシー利用者アンケート

調査概要（乗合タクシー）

乗合タクシーの利用者の移動実態や意見を把握するために無作為抽出によるアンケート調査を行いました。調査概要を下記に記載します。なお、パーセント表記は小数第二位の値を四捨五入した値を記載しているため、合計値が100%とならない場合もあります。

表 乗合タクシー利用者アンケート調査の実施概要

調査時期	令和4(2022)年11月21日(月)～令和4(2022)年12月9日(金)
調査対象者	乗合タクシー利用者
調査方法	乗合タクシー利用登録者者300名に調査票を送付
回答数	180名

3-1. 回答者の属性について

(1) 性別

男性が約31%、女性が約69%となっています。

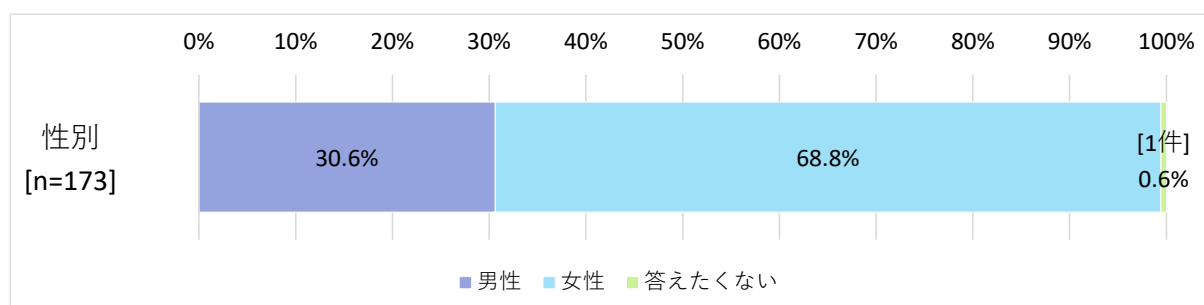


図 性別

(2) 年齢

65歳以上の高齢者からの回答が約75%となっています。

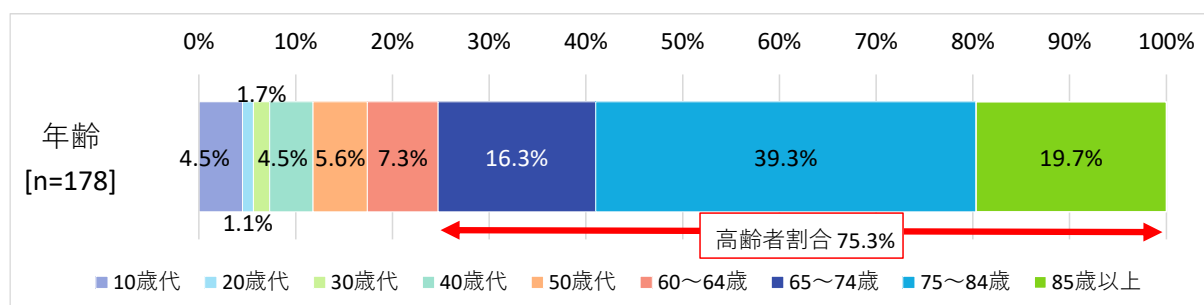


図 年齢層

(3) 居住地域

湖北地域、浅井地域での回答が20%を超え、他地域と比べ多くなっています。

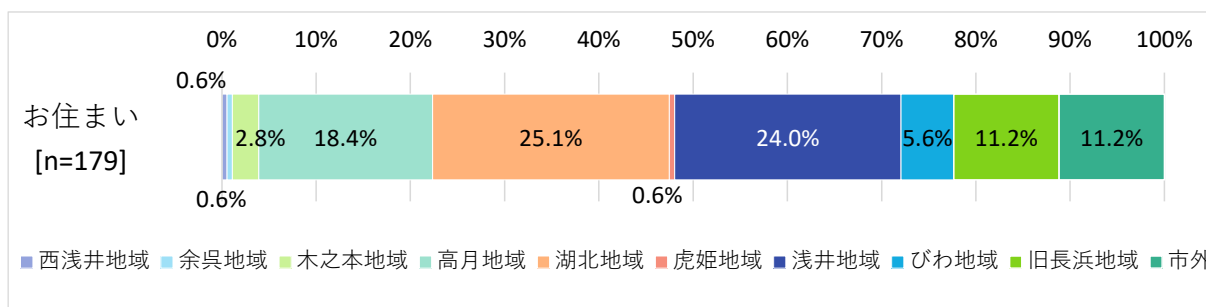


図 お住まいの地域

(4) 世帯構成

子ども若しくはその他親族と同居している家族世帯が約40%と最も多くなっています。

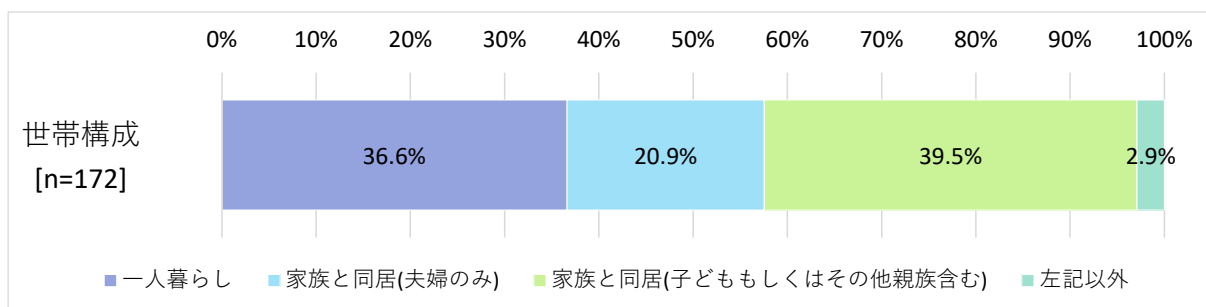


図 世帯構成

(5) 運転免許の保有状況

運転免許を保有していない方が約80%となっており、利用者の多くは自動車という移動手段が使えないということが推察されます。

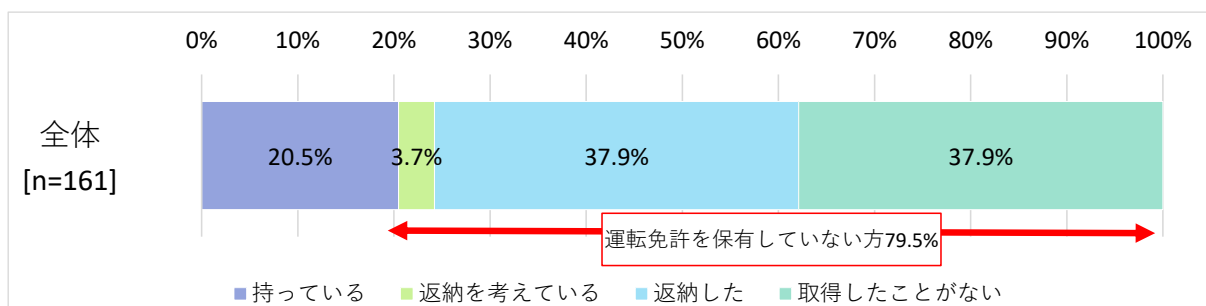


図 運転免許保有状況

年齢階層別にみると、65歳以上の方において、運転免許を保有していない方が80%を超えています。64歳以下の方においては、約51%が運転免許を保有していません。

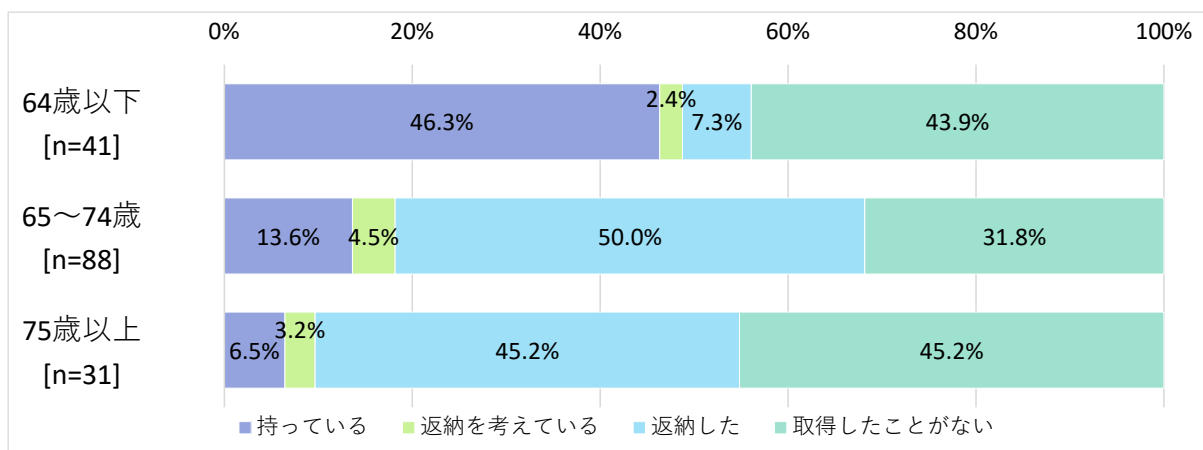


図 運転免許保有状況（年齢層別）

3-2. 普段の利用について

(1) 利用時の目的

通院が約50%と最も多くなっています。

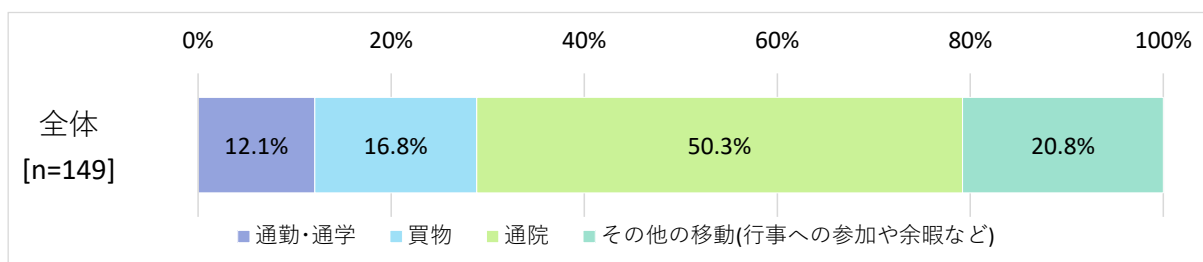


図 乗合タクシーを利用した目的

年齢層別にみると、64歳以下は約39%が通勤・通学での利用となっています。65歳以上では半数以上が通院を目的とした利用となっています。

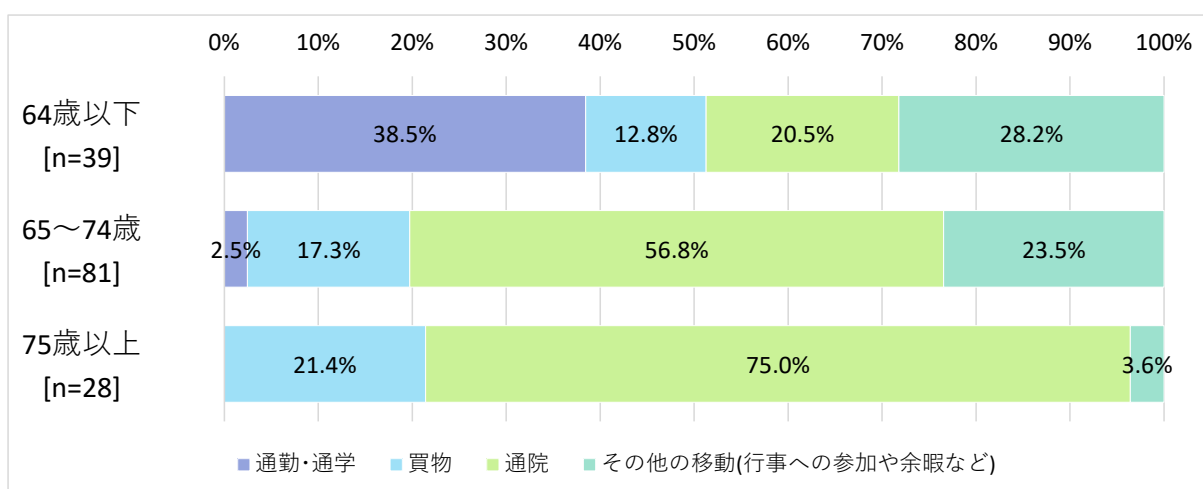


図 乗合タクシーを利用した目的（年齢層別）

居住地域別にみると、西浅井地域では通勤・通学、虎姫地域では買物、その他の地域では通院を目的とした利用が主となっています。

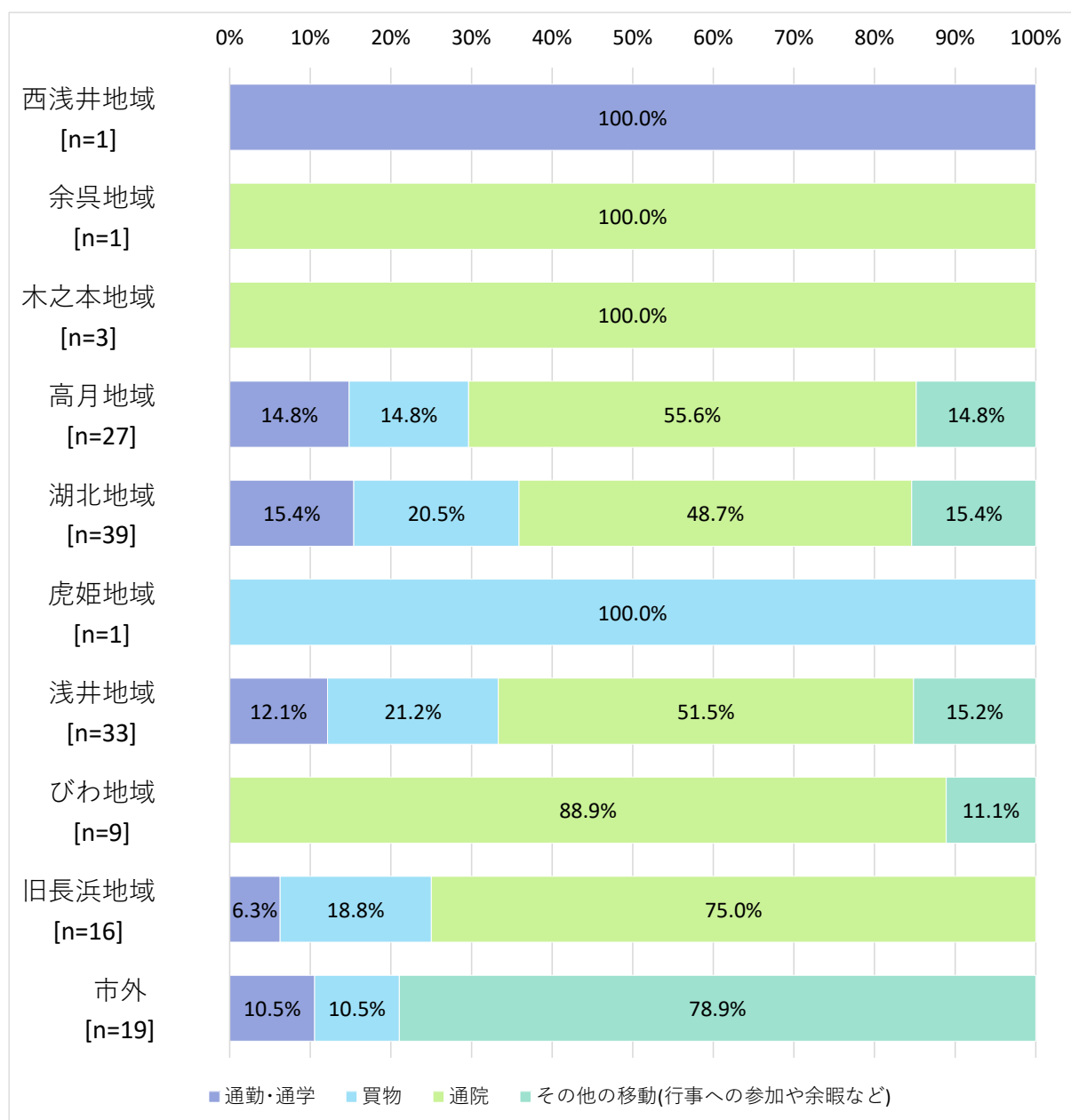


図 乗合タクシーを利用した目的（居住地域別）

(2) 利用時の移動先

旧長浜地域への移動が約29%と最も多くなっているほか、湖北地域、浅井地域への移動が20%を超えています。

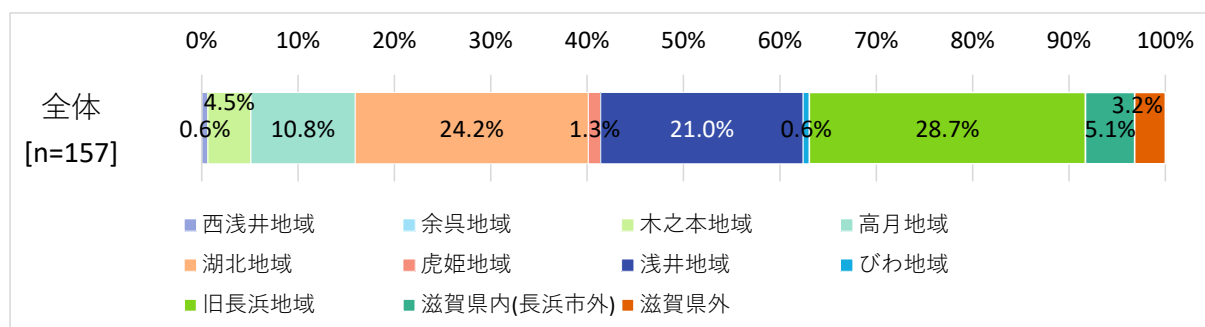


図 乗合タクシーを利用した外出先

年齢層別にみると、64歳以下は湖北地域への移動、65～74歳は旧長浜地域、75歳以上は浅井地域への移動が最も多くなっています。

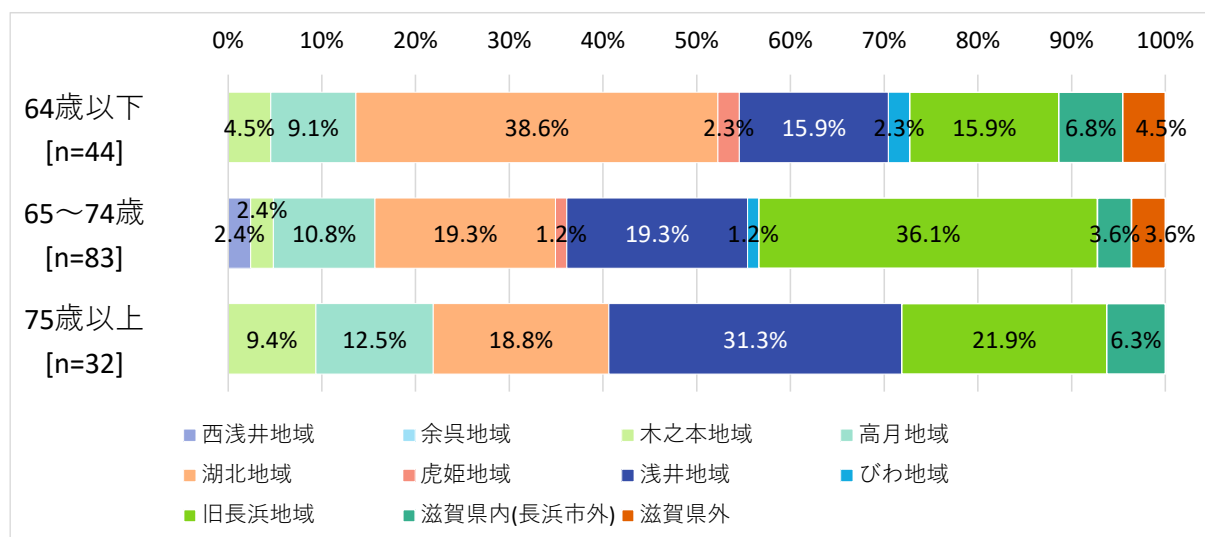


図 乗合タクシーを利用した外出先（年齢層別）

居住地域別にみると、居住地域によって移動先の地域は大きく異なります。

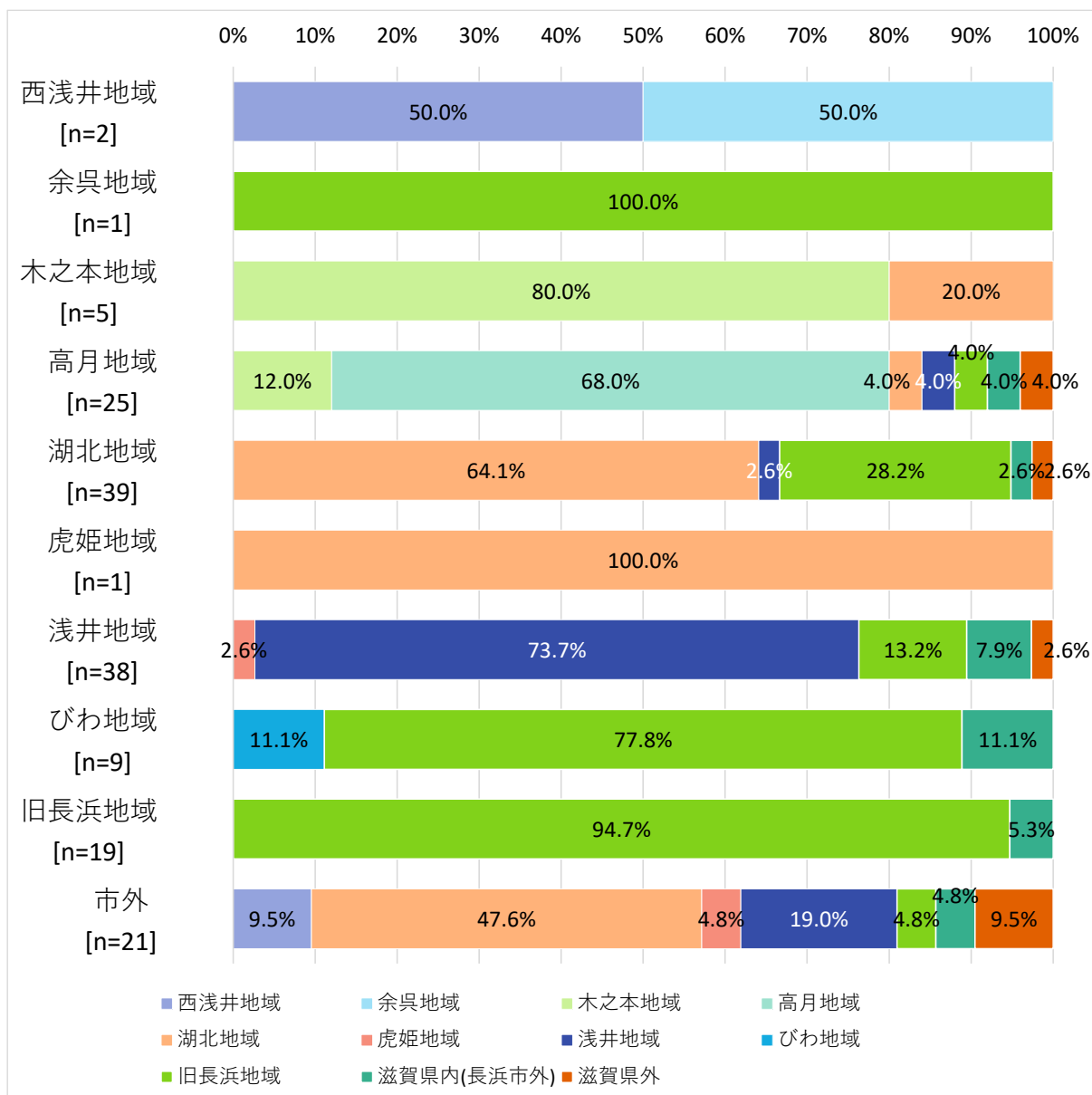


図 乗合タクシーを利用した外出先（居住地域別）

(3) よく利用している停留所

乗車場所では湖北地域に位置している河毛駅や河毛での乗車が多くなっています。駅や施設からの利用も一部見られますが、利用者の居住地から利用されている傾向にあります。

降車場所では河毛駅や平和堂前をはじめ、鉄道駅や商業施設、医療施設などの目的地がある停留所に降りている傾向にあります。

表 よく利用している乗車場所・降車場所

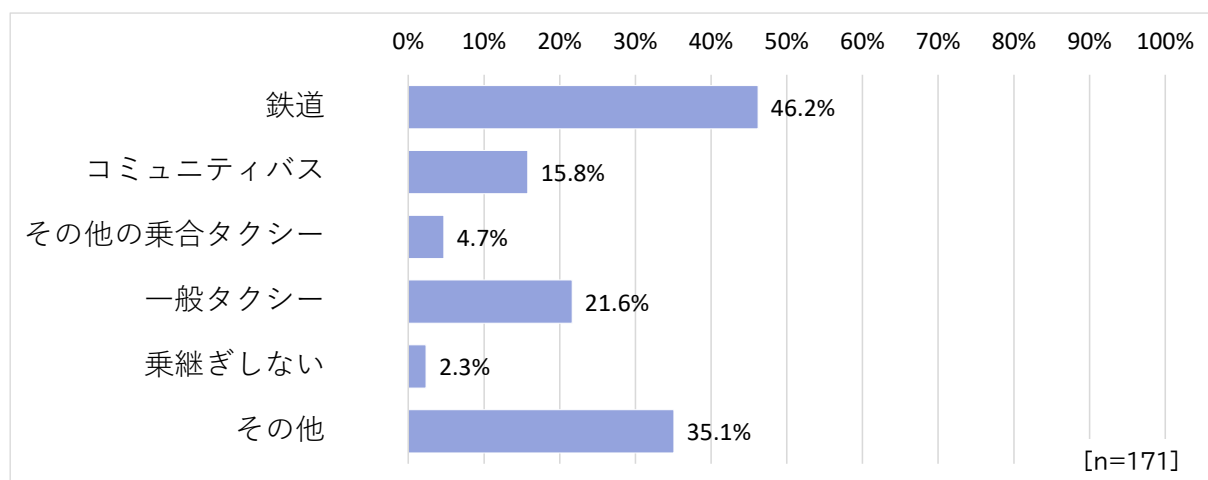
乗車場所		回答数	降車場所		回答数
1	河毛駅	11	1	河毛駅	11
2	河毛	8	2	平和堂前	8
3	山本五条橋・山本三条橋・山本山登山口	7	3	フレンドマート浅井店	7
4	尾上	5	3	長浜駅	7
5	虎姫駅	4	13	アルブラザ	5
5	鳥羽上北	4	6	ビック北	5
7	海老江	3	7	高月駅東口	5
7	熊野	3	7	長浜赤十字病院	5
7	高畑	3	9	山本五条橋・山本三条橋・山本山登山口	4
7	市立長浜病院	3	10	さざなみ整形外科	3
7	常喜新	3	10	下坂クリニック	3
7	丁野中	3	10	河毛	3
			10	湖北病院	3
			10	虎姫駅	3
			10	高月支所前	3
			10	市立長浜病院	3

※利用の多い停留所上位15位を掲載。

※山本五条橋・山本三条橋・山本山登山口については、「山本」と回答されている場合が複数見られたため統一している。

(4) 乗合タクシー以外の地域公共交通との乗継ぎ

乗継をしない方は約2%に留まっており、鉄道や一般タクシーへの乗継を前提として利用されています。



※複数回答

図 地域公共交通との乗継ぎについて

(5) 利用頻度

利用者の約48%が月に数回程度の利用となっています。また、週1回以上の定期的な利用をしている方も約34%みられます。

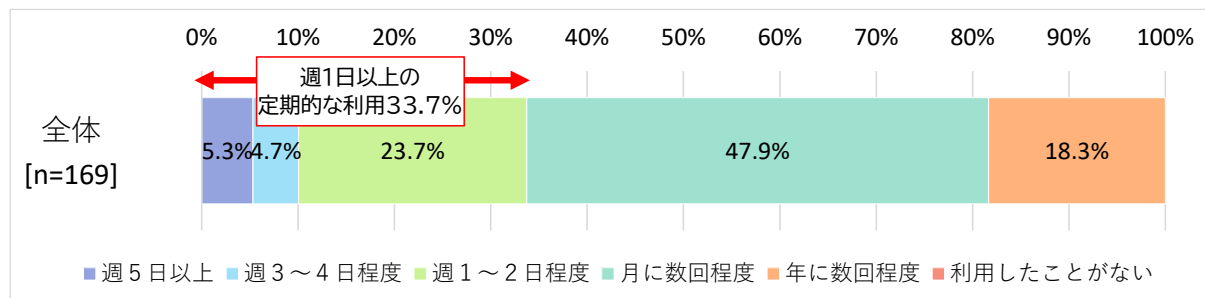


図 乗合タクシーを利用する頻度

年齢層別にみると、どの年齢層においても月に数回程度の利用が多くなっている中で、64歳以下で約18%が週5日以上の利用と、一部の利用者から定期的に利用されています。

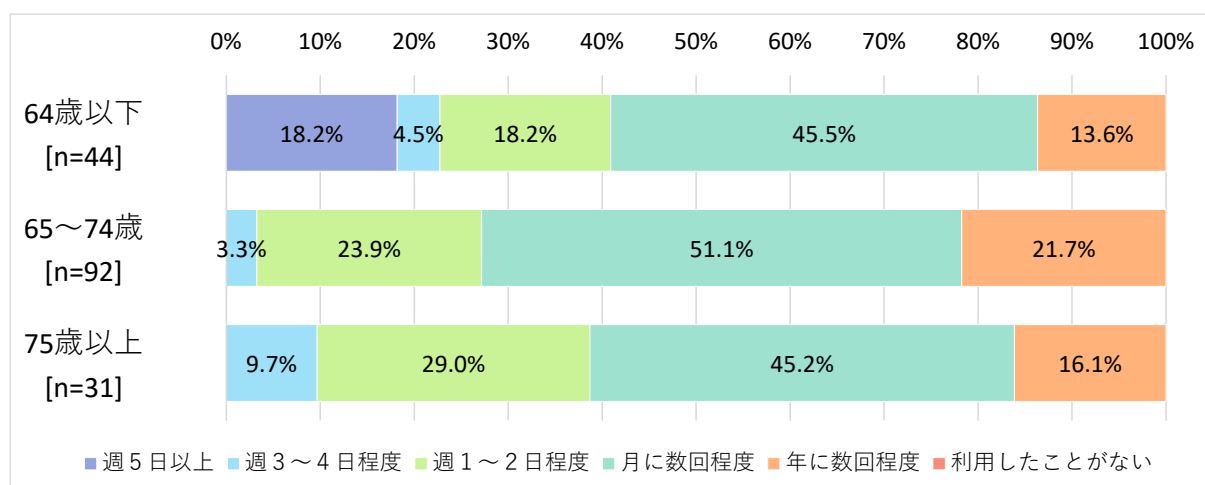


図 乗合タクシーを利用する頻度（年齢層別）

居住地域別にみると、高月地域では週1日以上利用している方が50%となっているほか、浅井地域、びわ地域で週1日以上利用している方が30%を超えています。

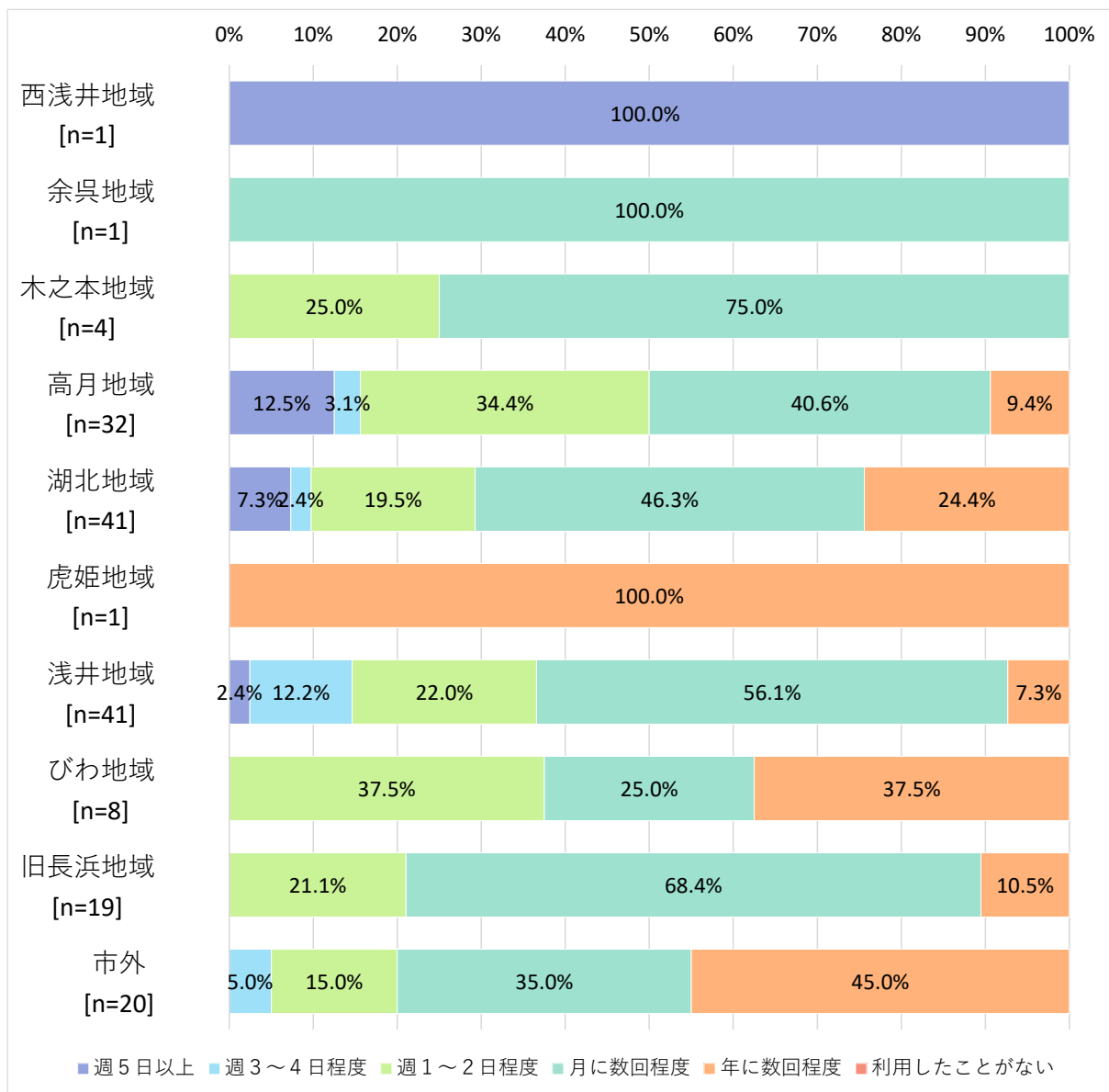


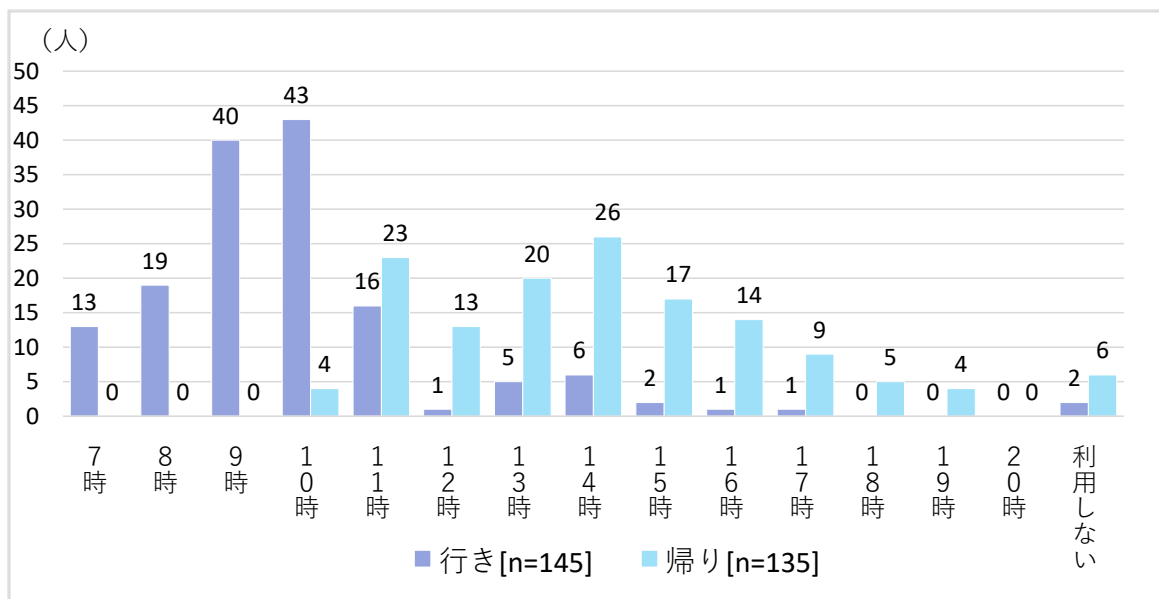
図 乗合タクシーを利用する頻度（居住地域別）

(6) 利用時間帯

平日の場合、行きは9時、10時台に利用し、帰りは11時台と14時台の前後で利用されている場合が多く見られます。

休日の場合、利用していない方が多くなっていますが、利用している場合、行きは9時、10時台に利用されており、帰りは特に利用の多い時間帯はなく、幅広い時間帯で利用されています。

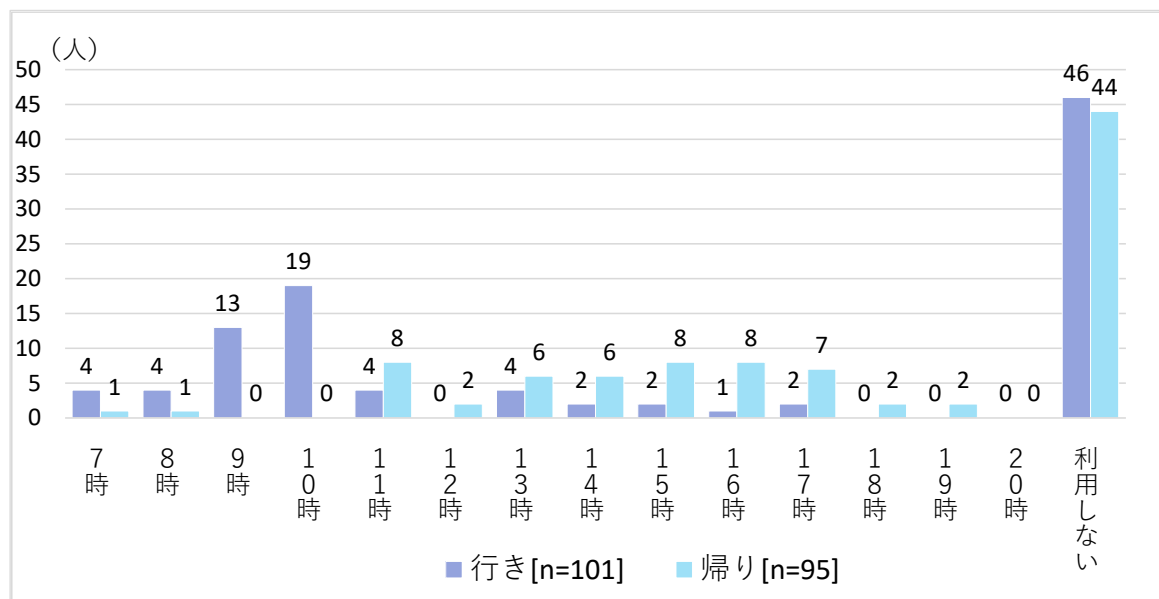
【平日】



※上記グラフ以外に午前中に利用すると回答している方がおり、8名が行き、1名が帰りと回答。
 ※上記グラフ以外に午後利用すると回答している方がおり、1名が行き、9名が帰りと回答。

図 乗合タクシーを最も利用する時間帯（平日）

【平日】

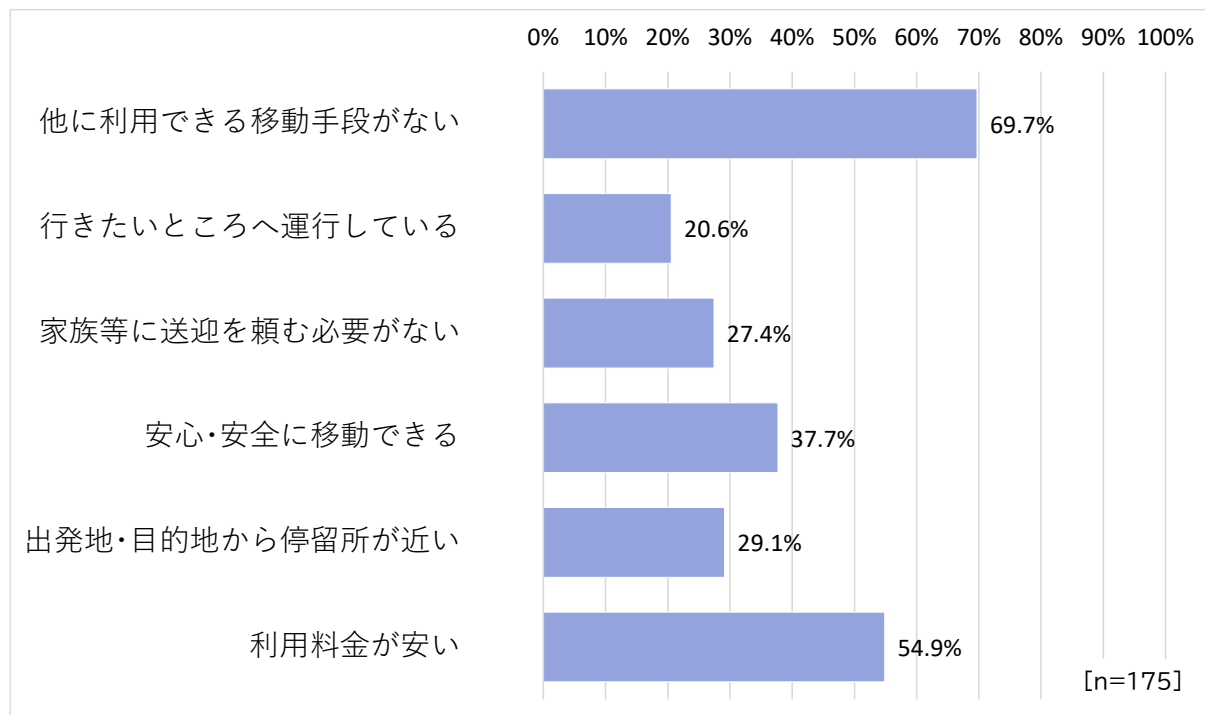


※上記グラフ以外に午後利用すると回答している方がおり、1名が帰りと回答。

図 乗合タクシーを最も利用する時間帯（休日）

(7) 利用する理由

他に利用できる移動手段がないと回答している方が約70%と最も多いほか、利用料金の安さや安心・安全に移動できることを挙げている方が多くなっています。

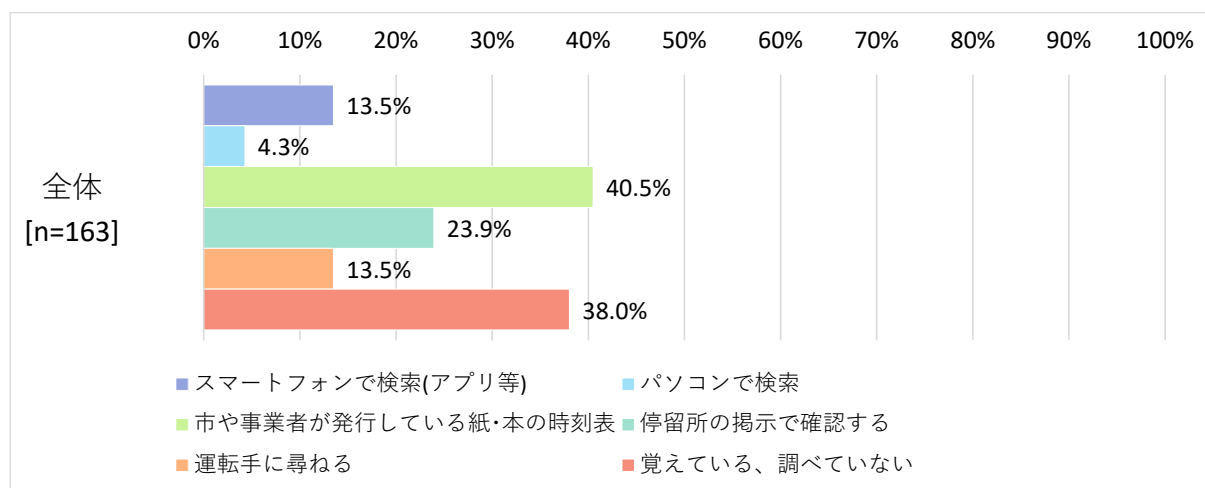


※複数回答

図 乗合タクシーを利用する理由

(8) 利用方法や運行ダイヤ等の情報取得方法

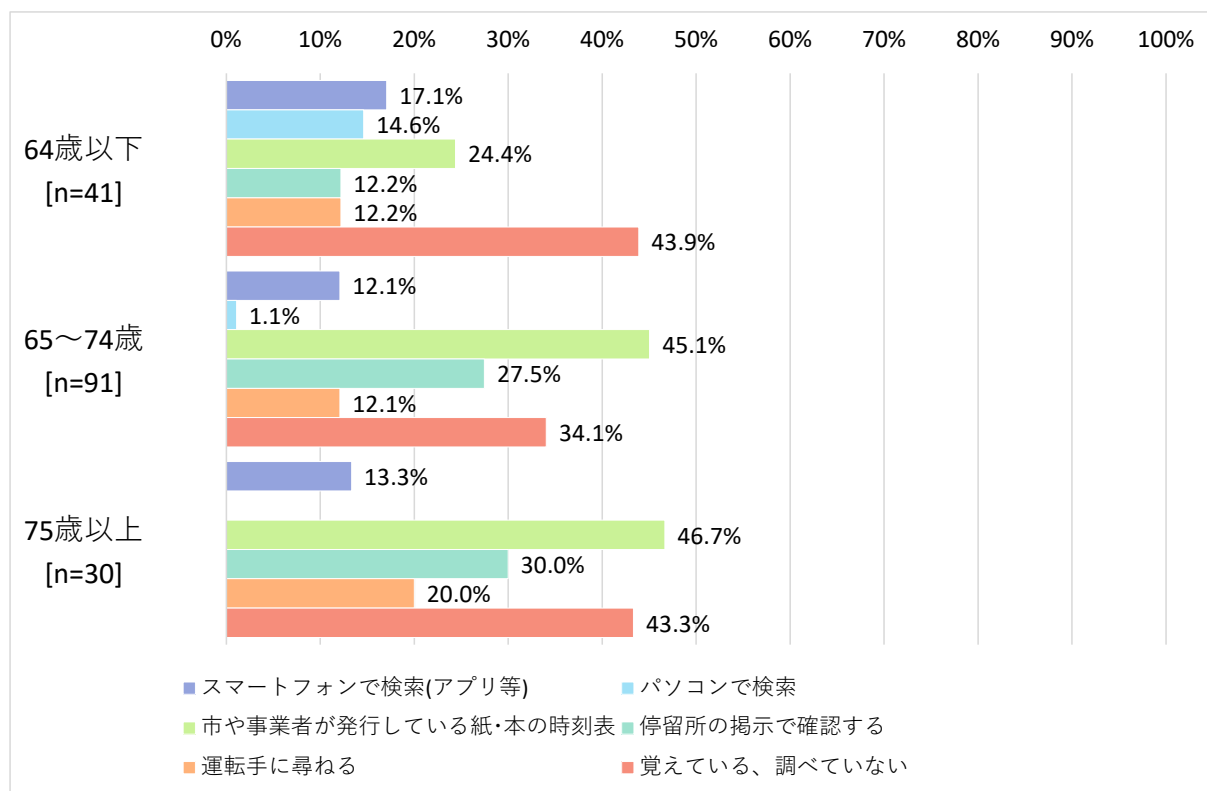
市や事業者が発行している紙、本の時刻表で調べる方が最も多くなっています。



※複数回答

図 乗合タクシーの情報取得方法

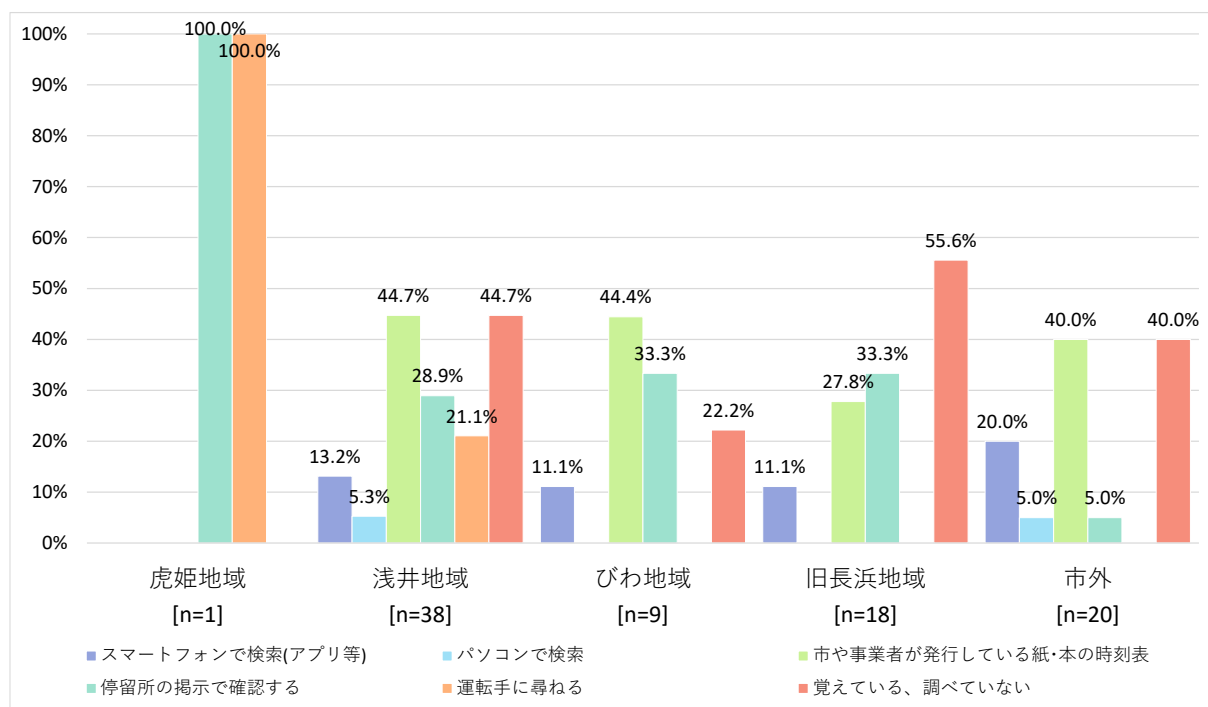
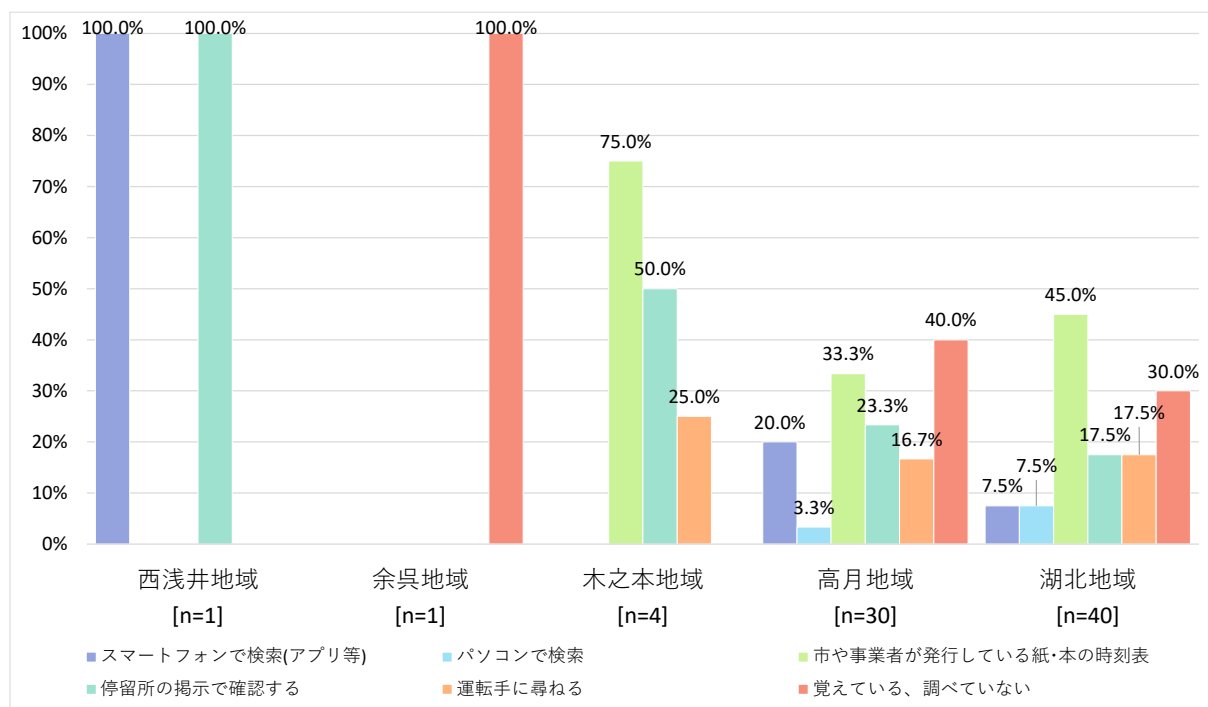
年齢層別にみると、年齢が高くなるにつれて、紙、本の時刻表で調べる、停留所の掲示で確認する、運転手に尋ねる方が多くなっています。



※複数回答

図 乗合タクシーの情報取得方法（年齢層別）

居住地域別にみると、木之本地域、湖北地域、浅井地域、びわ地域で紙、本の時刻表で確認される方が多くなっています。



※複数回答

図 乗合タクシーの情報取得方法（居住地域別）

3-3. 地域公共交通に対する考えについて

(1) 今後の長浜市の地域公共交通の維持に向けた考え

約65%が他の施策や事業を見直してでも維持するべきだとしています。他に、利用料金を上げてでも取り組むべきという意見が約24%となっています。その他の意見として高齢者の自家用車の運転を減らすためにも維持するべきで料金は上げて良いと思う、などの意見がありました。

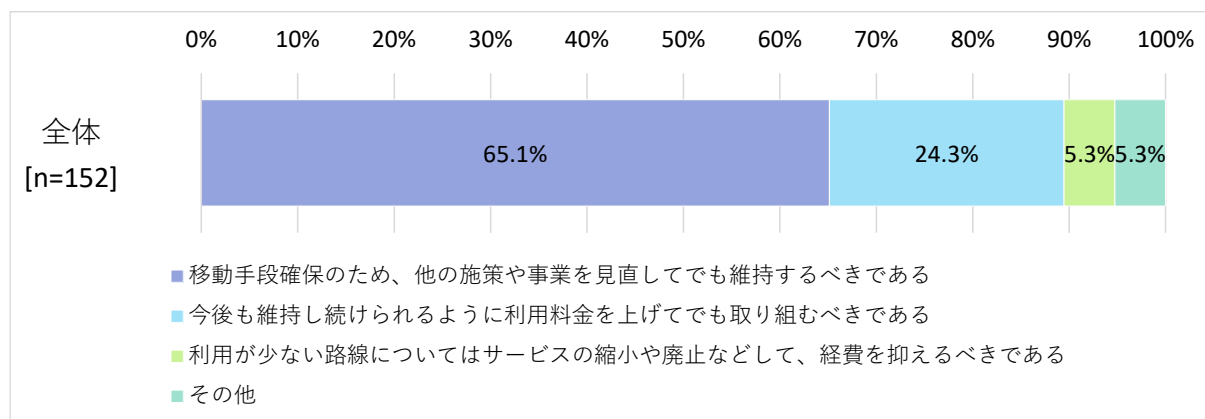


図 地域公共交通の維持に向けた考え

運転免許の保有状況別で見ると、免許を返納した方、取得したことがない方で、他の施策や事業を見直してでも維持するべきであるという意見が免許保有者の同じ意見と比較して多くなっています。

表 地域公共交通の維持に向けた考え（運転免許の保有状況別）

考え方	免許 持っている	返納を考えている	返納した	取得したことがない
移動手段確保のため、他の施策や事業を見直してでも維持するべきである [合計件数 91]	16 件 17.6%	5 件 5.5%	39 件 42.9%	31 件 34.1%
今後も維持し続けられるように利用料金を上げてでも取り組むべきである [合計件数 31]	10 件 32.3%	0 件 0.0%	8 件 25.8%	13 件 41.9%
利用が少ない路線についてはサービスの縮小や廃止などして、経費を抑えるべきである [合計件数 8]	3 件 37.5%	0 件 0.0%	1 件 12.5%	4 件 50.0%
その他 [合計件数 7]	3 件 42.9%	0 件 0.0%	2 件 28.6%	2 件 28.6%

年齢層別にみると、年齢が高くなるにつれ利用料金を上げてでも取り組んでいくべきとする方が多くなります。一方、64歳以下では経費の削減を考えるべきとする方が約15%となっています。

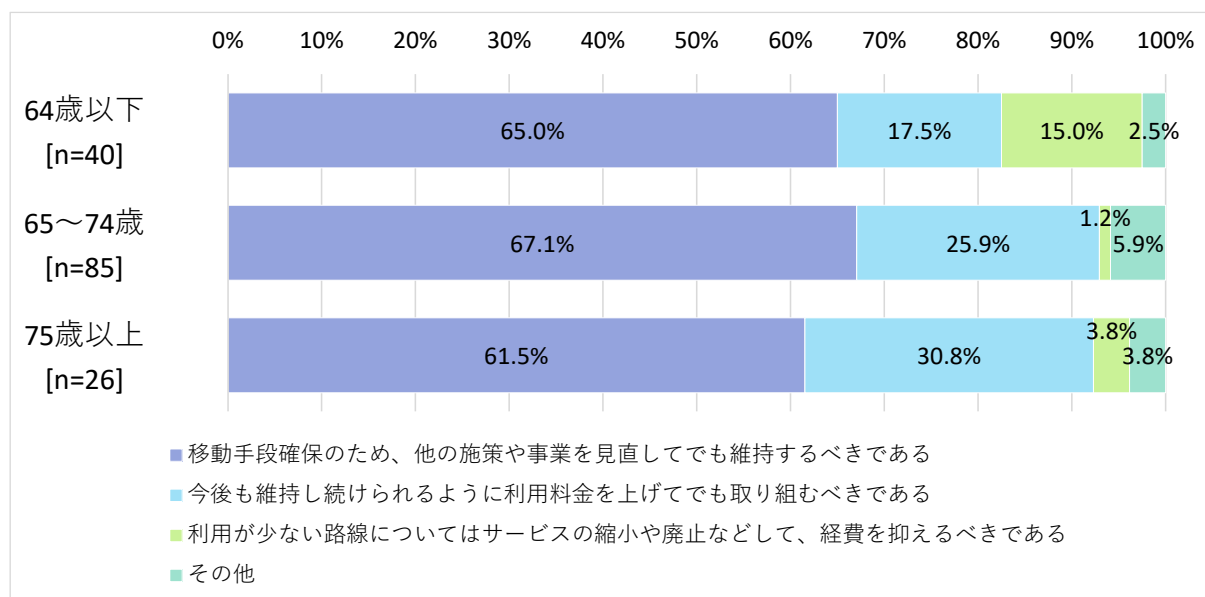


図 地域公共交通の維持に向けた考え（年齢層別）

居住地域別にみると、長浜市内各地域の利用者においては、他施策や事業の見直しによる維持を求める方が多くなっていますが、長浜市外の利用者においては利用料金を上げてでも取り組んでいくべきとしている方が多くなっています。

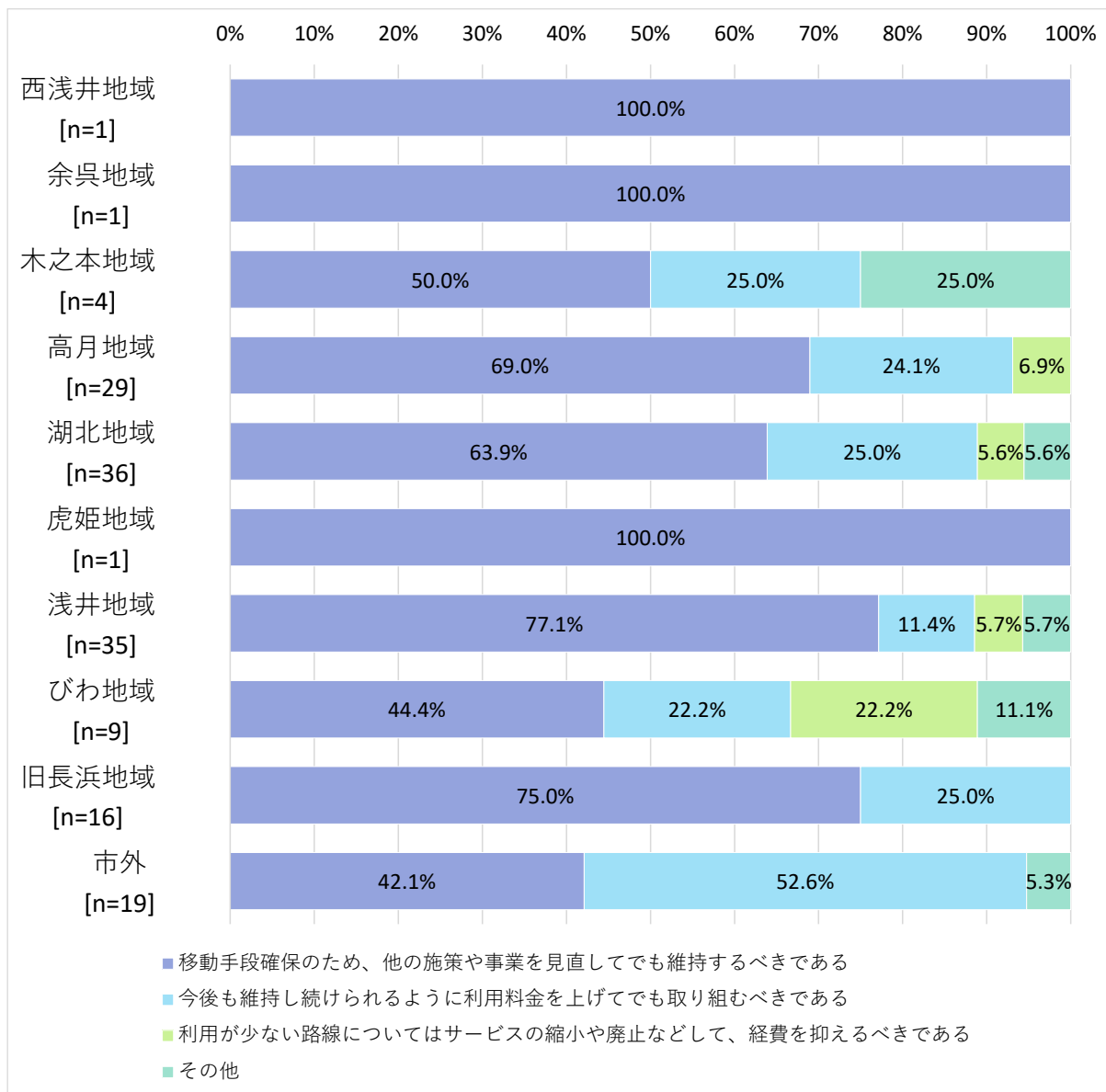
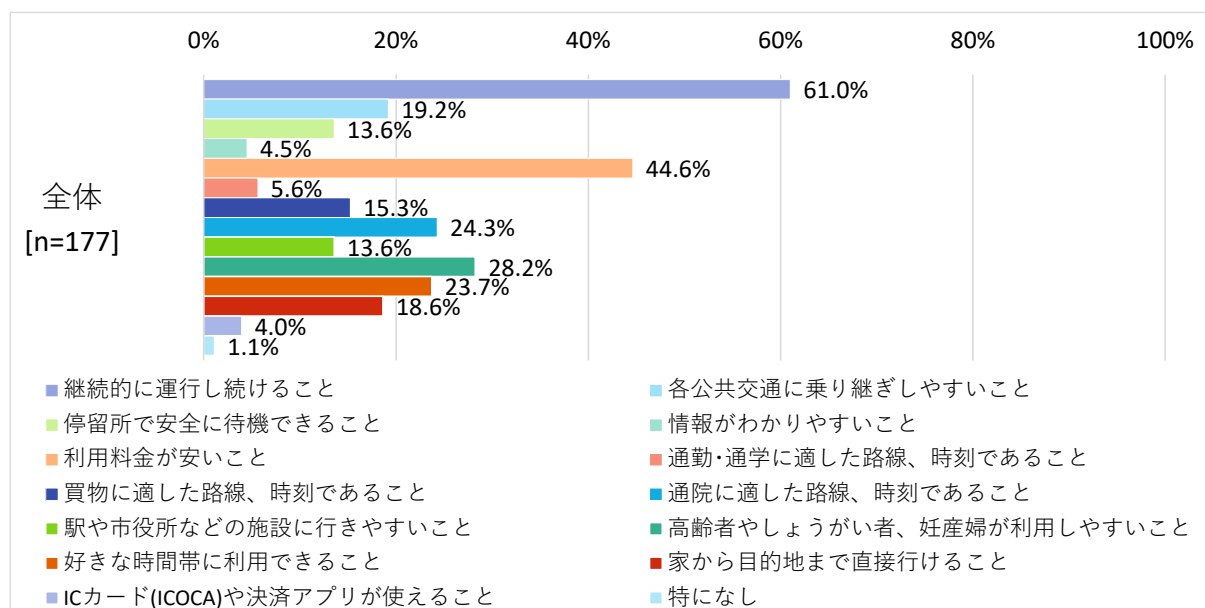


図 地域公共交通の維持に向けた考え（居住地域別）

(2) 長浜市の地域公共交通において重視すべきこと

継続的に運行し続けることが約61%と最も多くなっています。そのほかに利用料金の安さ、高齢者やしょうがい者、妊産婦が利用しやすいことなどの意見が多くなっています。



※複数回答

図 地域公共交通において重視すべきこと

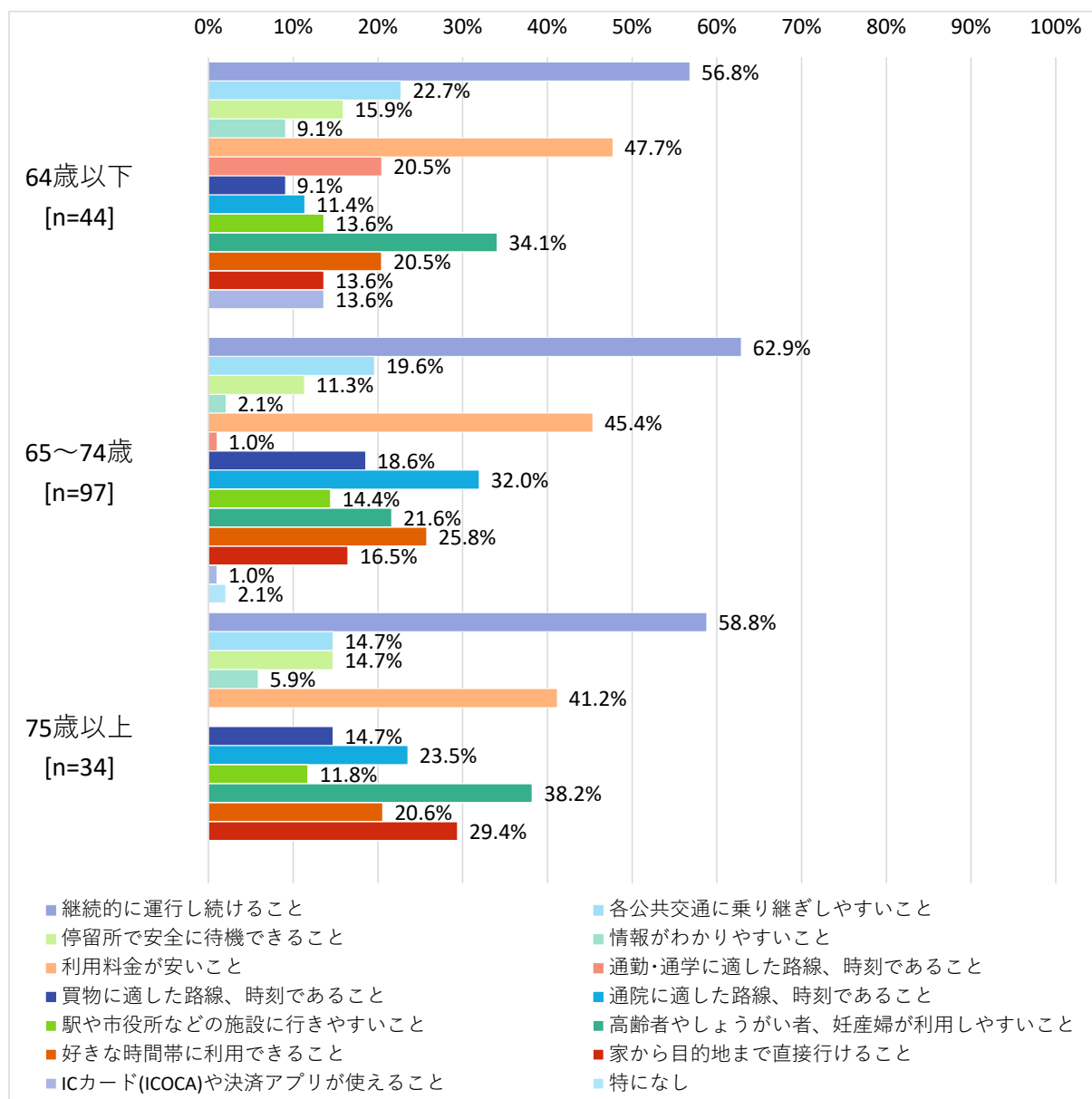
運転免許の保有状況別でみると、運転免許を返納した方、取得したことがない方は、買物や通院に適した路線、時刻であることや好きな時間帯に利用できることを重視すべきという意見が、免許を持っている方の同じ意見と比較して多くなっています。

表 地域公共交通において重視すべきこと（運転免許の保有状況別）

考え方	免許 持っている	返納を考えている	返納した	取得したことがない
継続的に運行し続けること [合計件数 99]	24 件 24.2%	3 件 3.0%	36 件 36.4%	36 件 36.4%
各公共交通に乗り継ぎしやすいこと [合計件数 33]	9 件 27.3%	1 件 3.0%	12 件 36.4%	11 件 33.3%
停留所で安全に待機できること [合計件数 21]	2 件 9.5%	1 件 4.8%	6 件 28.6%	12 件 57.1%
情報がわかりやすいこと [合計件数 8]	4 件 50.0%	0 件 0.0%	1 件 12.5%	3 件 37.5%
利用料金が安いこと [合計件数 71]	23 件 32.4%	3 件 4.2%	24 件 33.8%	21 件 29.6%
通勤・通学に適した路線、時刻 であること [合計件数 9]	4 件 44.4%	0 件 0.0%	0 件 0.0%	5 件 55.6%
買物に適した路線、時刻である こと [合計件数 23]	3 件 13.0%	0 件 0.0%	12 件 52.2%	8 件 34.8%
通院に適した路線、時刻である こと [合計件数 39]	1 件 2.6%	1 件 2.6%	22 件 56.4%	15 件 38.5%
駅や市役所などの施設に行き やすいこと [合計件数 22]	8 件 36.4%	1 件 4.5%	6 件 27.3%	7 件 31.8%
高齢者やしょうがい者、妊産婦 が利用しやすいこと [合計件数 48]	7 件 14.6%	3 件 6.3%	16 件 33.3%	22 件 45.8%
好きな時間帯に利用できること [合計件数 37]	4 件 10.8%	0 件 0.0%	19 件 51.4%	14 件 37.8%
家から目的地まで直接行けるこ と [合計件数 27]	6 件 22.2%	0 件 0.0%	8 件 29.6%	13 件 48.1%
ICカード(ICOCA)や決済アプ リが使えること [合計件数 7]	1 件 14.3%	0 件 0.0%	2 件 28.6%	4 件 57.1%
特になし [合計件数 1]	0 件 0.0%	0 件 0.0%	0 件 0.0%	1 件 100.0%

※複数回答

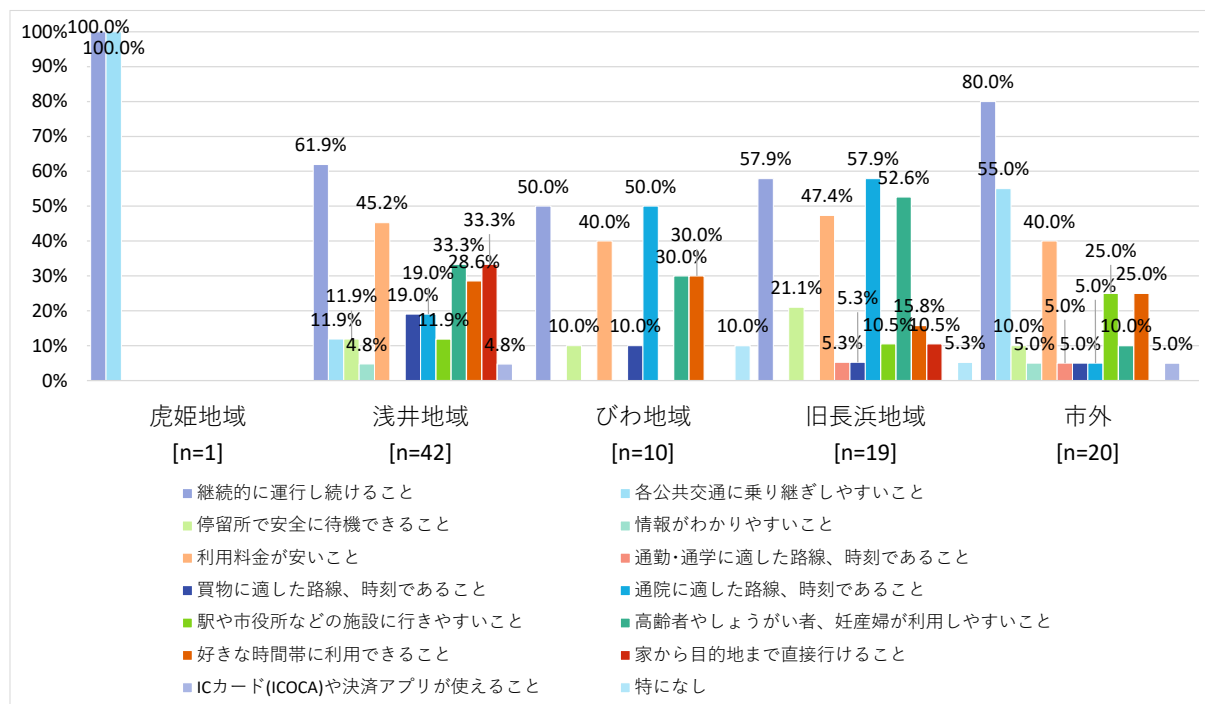
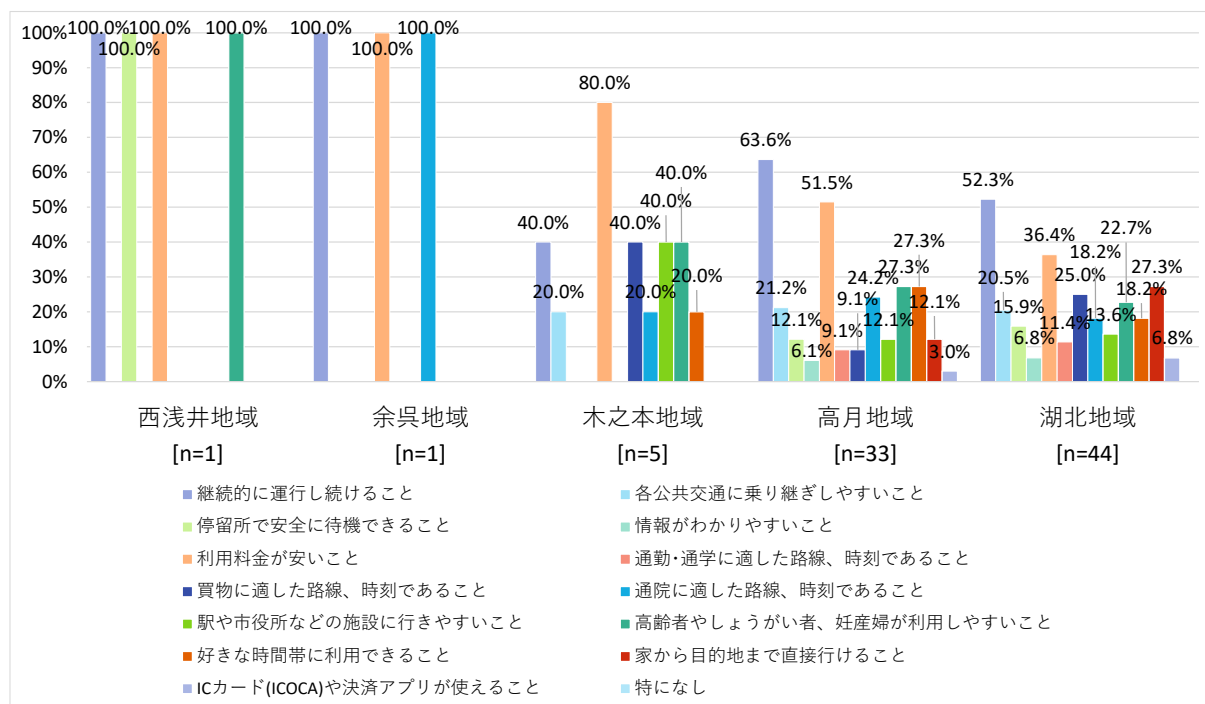
年齢層別にみると、どの年齢層においても、継続的に運行し続けることが最も多く、利用料金が安いが続いています。



※複数回答

図 地域公共交通において重視すべきこと（年齢層別）

居住地域別にみると、木之本地域以外で継続的に運行し続けることを求める意見が最も多くなっていますが、木之本地域では利用料金の安さを求める意見が最も多くなっています。



※複数回答

図 地域公共交通において重視すべきこと（居住地域別）

(3) 市内の地域公共交通についての主なご意見

種類	主な意見
停留所	<ul style="list-style-type: none"> ● 病院や医院に停留所を設置してほしい ● 停留所を増やしてほしい ● ベンチ、椅子のない停留所があるので、作ってほしい ● 区域外停留所を増やしてほしい ● 乗り継ぎが大変なので目的地に直接行くようにしてほしい
運行時間や時間帯、運行便数	<ul style="list-style-type: none"> ● 朝6時から運行してほしい ● 9時、10時台に利用を断れることがあり、運行できる車両を増やしてほしい
運賃	<ul style="list-style-type: none"> ● 今の料金で良いと思う
運行サービスの維持・改善	<ul style="list-style-type: none"> ● 乗合タクシーを充実させてはどうか ● 予約の締切時間を短くしてほしい ● 登録制を廃止すれば利用しやすくなると思う ● 子どもや高齢者が利用しやすいサービスにしてほしい ● 生涯学習や講座など、市が実施してる取組に関しては直接目的地まで行けるようにしてほしい
運転士	<ul style="list-style-type: none"> ● 一部の運転士が個人のプライバシーに関することを聞いてくるのでやめてほしい ● 気楽に話しかけてくれるので良いと思います
感謝	<ul style="list-style-type: none"> ● 非常に助かっている ● 以前に比べると便利になったと思う

4 交通事業者等アンケート

4-1. 交通事業者・庁内関係部署・関係団体からの意見

長浜市内で地域公共交通等の移動サービスを展開している交通事業者及び庁内関係部署、関係団体に対して、現在の地域公共交通サービスの提供状況や抱える問題、今後の意向等についてアンケートを実施しました。直近の問題として主に運転士の確保や高齢者の移動手段の確保が挙げられています。

表 交通事業者・庁内関係部署・関係団体アンケート調査の実施概要

調査時期	令和4(2022)年12月12日(月)～令和4(2022)年12月23日(金)
調査対象者	長浜市内で運行している交通事業者：10社 長浜市庁内関係部署：12部署 関係団体：長浜市社会福祉協議会
調査方法	対象者への調査票の送付
回答数	長浜市内で運行している交通事業者：5社 長浜市庁内関係部署：12部署 関係団体：長浜市社会福祉協議会

表 質問内容と主な回答内容

	質問内容	回答内容
交通事業者	現在又は将来予測される問題点	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転士不足と高齢化の加速 ● 地域による交通サービスの格差 ● 燃料費の高騰等によるコスト面の負担増 ● 車両の確保・更新 ● 運行に関する情報提供
	現在行っている取組や今後の取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ● 退職者の再雇用 ● 様々なツールを用いた運転士の雇用
	他事業者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者によって情報共有の程度が異なる
庁内関係部署・関係団体	地域公共交通におけるお困りごと等	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域公共交通の利便性の低さ（特定行事の際に運行していない、商業施設や医療機関、観光地等へ向かう路線が少ないなど） ● 運転士の高齢化と高齢ドライバーによる事故の増加
	現在行っている取組や今後の取組計画	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動支援（しょうがい者、学生、子育て層、運転免許返納者） ● 観光促進（レンタサイクルの普及、周知）
	地域公共交通との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉や学生におけるタクシー利用助成 ● 各目的に特化した移動手段の実証実験の実施

4-2. 企業からの意見

長浜市内に立地している従業員100人以上の企業66社に対して、現在の移動状況や今後の展望についてアンケートを実施しました。

表 企業アンケート調査の実施概要

調査時期	令和5(2023)年8月17日(木)～令和5(2023)年8月31日(木)
調査対象者	長浜市内にある従業員100人以上の企業：66社
調査方法	対象者への調査票の送付
回答数	39社(回収率：59.1%)

(1) 従業員の移動手段の規定の有無

通勤時の移動手段に制限をかけている企業はほとんどありません。

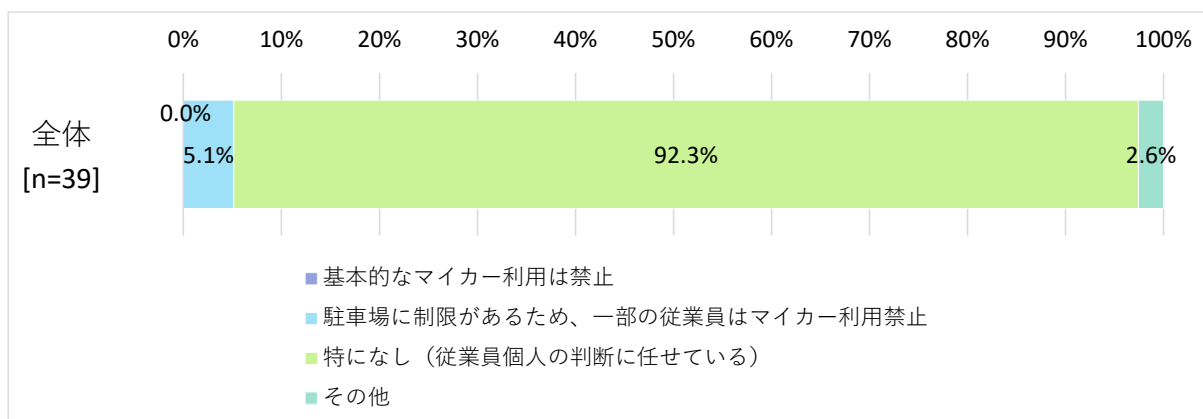


図 従業員の移動手段の規定の有無

(2) 通勤時のコミュニティバスの利用意向の有無

バス停が近くにあった場合、通勤時に従業員にコミュニティバスを利用させたいと考えている企業は約36%となっています。

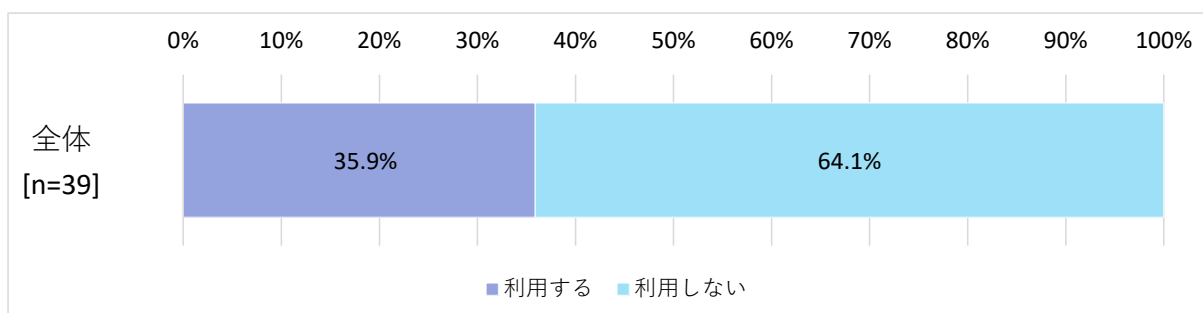


図 通勤時のコミュニティバスの利用意向の有無

(3) バス路線と便数の拡充の重要性

重要又はやや重要と回答した企業が70%を超えており、拡充が望まれています。

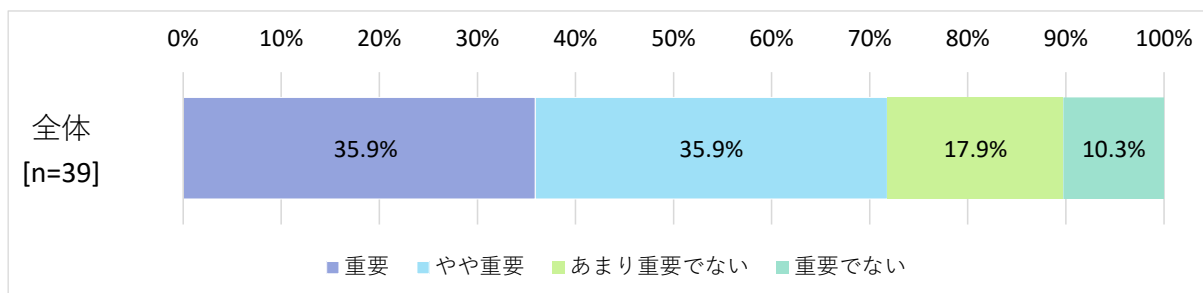


図 バス路線と便数の拡充の重要性

(4) コミュニティバスの運行時間帯の拡大の重要性

重要又はやや重要と回答した企業が約54%となっています。

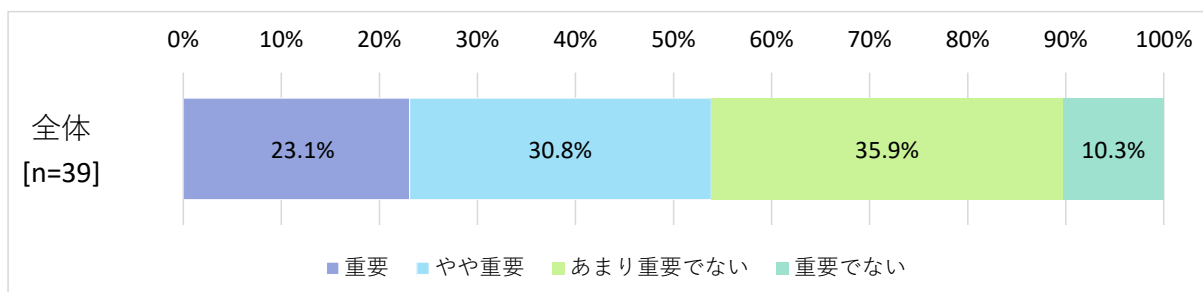


図 コミュニティバスの運行時間帯の拡大の重要性

(5) バス運賃割引などによる利用しやすさの向上

重要又はやや重要と回答した企業が56%となっています。

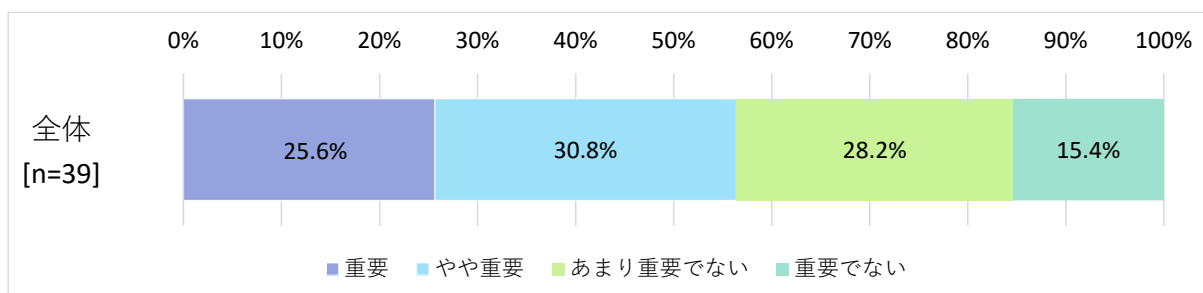


図 バス運賃割引などによる利用しやすさの向上

(6) 自力移動が困難な人のバス利用のしやすさ

重要又はやや重要と回答した企業が約82%を占めています。

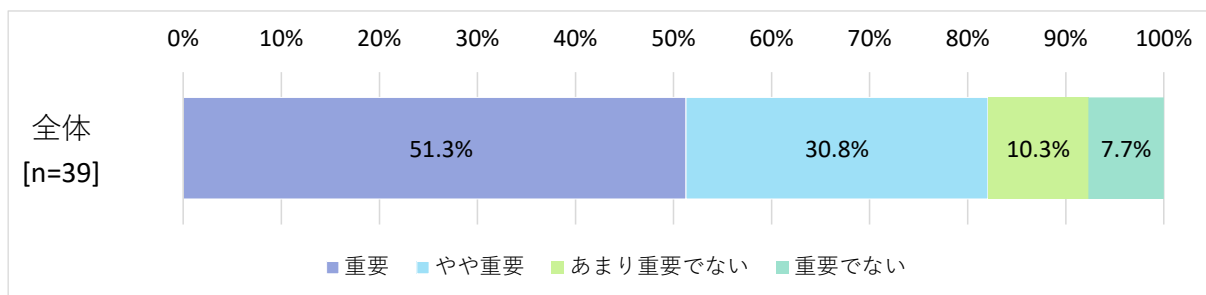


図 自力移動が困難な人のバス利用しやすさ

(7) 周辺駅～市内のバス連絡利便性の向上

重要又はやや重要と回答した企業が約77%を占めています。

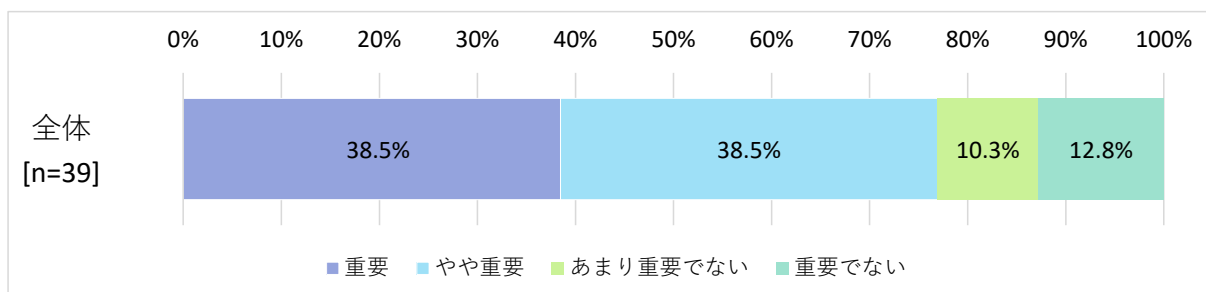


図 周辺駅～市内のバス連絡利便性の向上

(8) バス運行情報のきめ細やかな提供

重要又はやや重要と回答した企業が約62%を占めています。

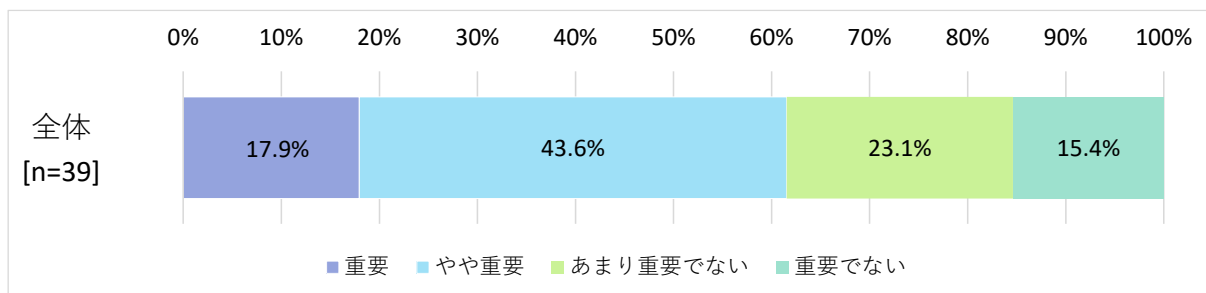


図 バス運行情報のきめ細やかな提供

(9) ICカード等による決済システムの導入

重要又はやや重要と回答した企業が約54%を占めています。

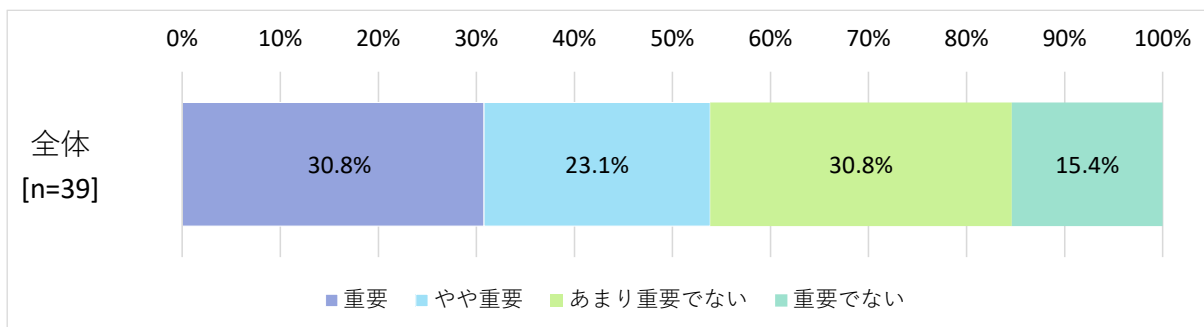


図 ICカード等による決済システムの導入

(10) その他の主な意見

コミュニティバスに対する改善要望	<ul style="list-style-type: none">● 通勤時間帯のコミュニティバスの増便● 利用料金の値下げ
地域公共交通に関する意見	<ul style="list-style-type: none">● 鉄道の増便● 鉄道とコミュニティバスの乗り継ぎの円滑化

4-3. 高校からの意見

長浜市内に立地している高校（米原市内の高校を一部含む）7校に現在の移動状況や今後の展望についてアンケートを実施しました。その結果、5校から回答を得ました。

表 高校アンケート調査の実施概要

調査時期	令和5(2023)年8月17日(木)～令和5(2023)年8月31日(木)
調査対象者	長浜市内の高校及び米原市内の一部の高校：7校
調査方法	対象者への調査票の送付
回答数	5校（回収率：71.4%）

(1) 保護者が学生を送迎している状況

保護者による送迎がされている高校は多くありますが、混雑については高校によって異なります。

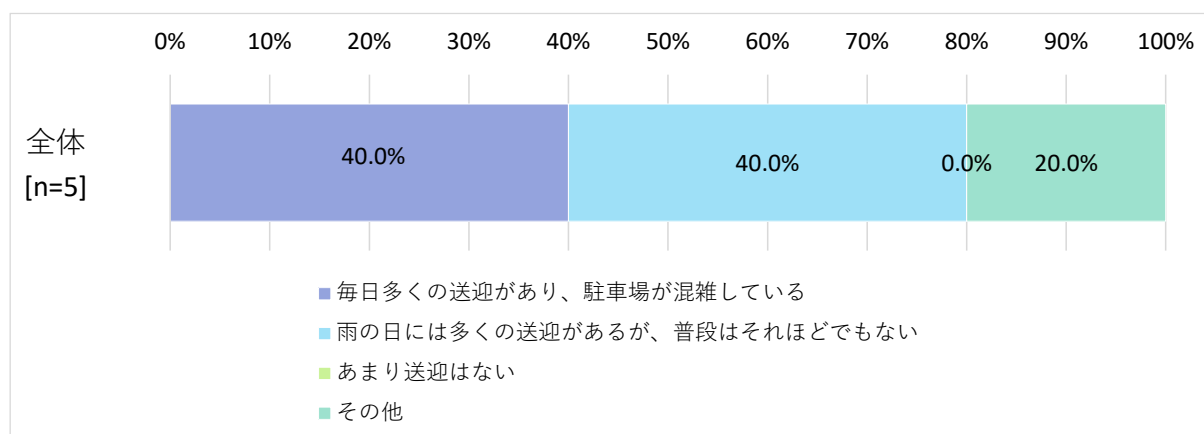


図 保護者が学生を送迎している状況

(2) 通学時のコミュニティバスの利用状況

通学時、コミュニティバスを利用している学生はほとんどいない状況になっています。

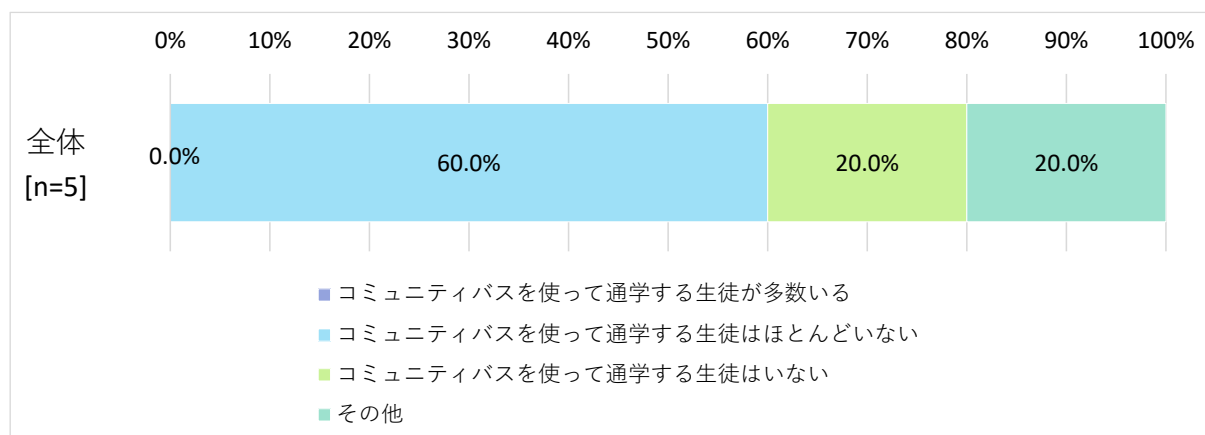


図 通勤時のコミュニティバスの利用状況

(3) バス路線と便数の拡充の重要性

重要又はやや重要と回答した高校が約 80%となっています。

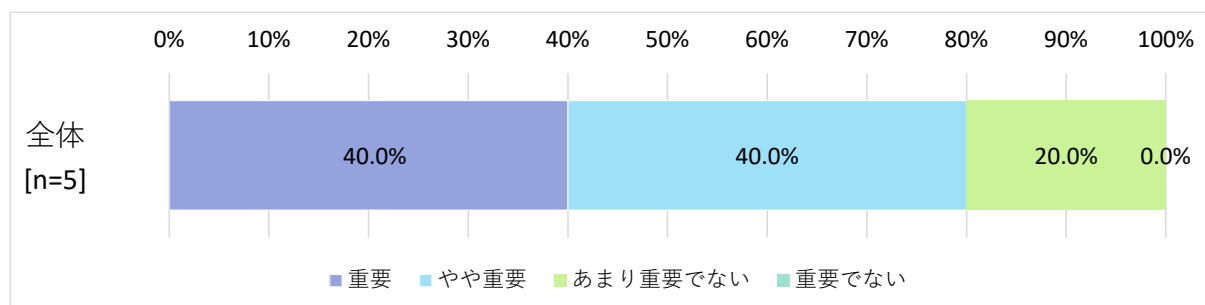


図 バス路線と便数の拡充性の重要性

(4) コミュニティバスの運行時間帯の拡大の重要性

重要又はやや重要と回答した高校が約 80%となっています。

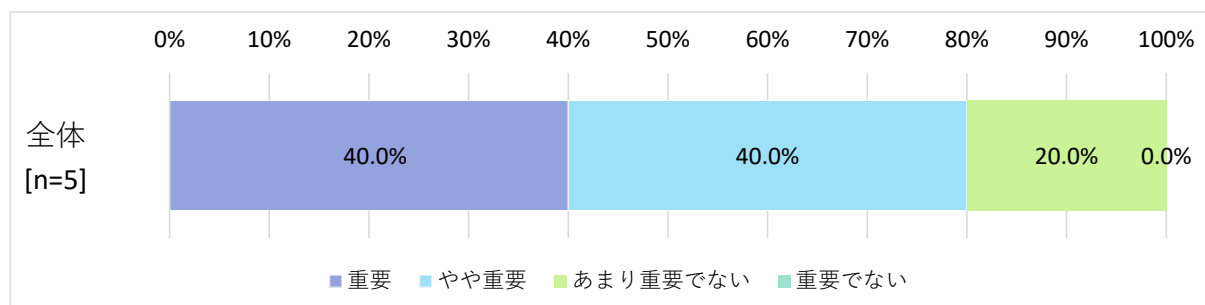


図 コミュニティバスの運行時間帯の拡大の重要性

(5) バス運賃割引などによる利用しやすさの向上

全ての高校で重要又はやや重要と回答しており、重要と回答しているのは約40%となっています。

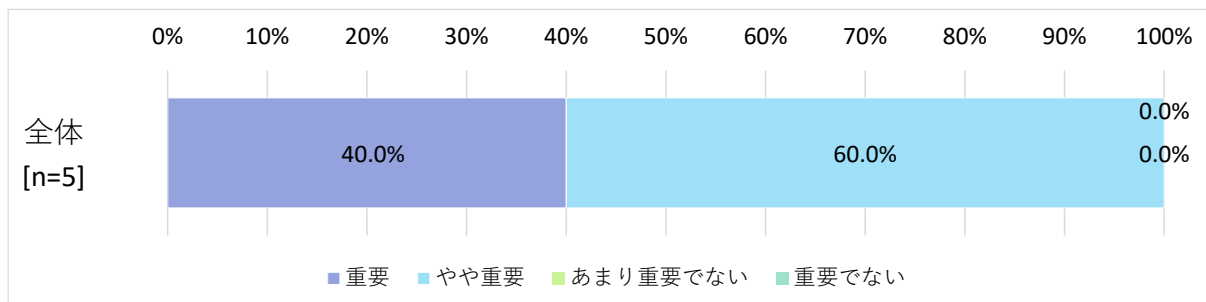


図 バス運賃割引などによる利用しやすさの向上

(6) 自力移動が困難な人のバス利用しやすさ

全ての高校で重要又はやや重要と回答しており、重要と回答しているのは約60%となっています。

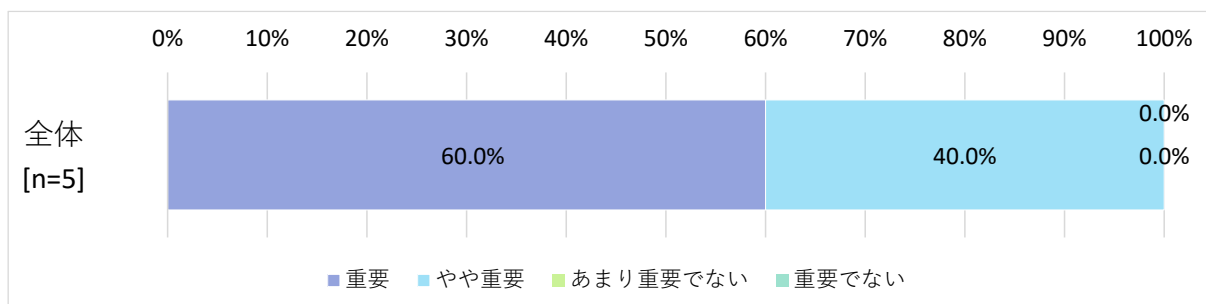


図 自力移動が困難な人のバス利用しやすさ

(7) 周辺駅～市内のバス連絡利便性の向上

全ての高校で重要又はやや重要と回答しており、重要と回答しているのは約60%となっています。

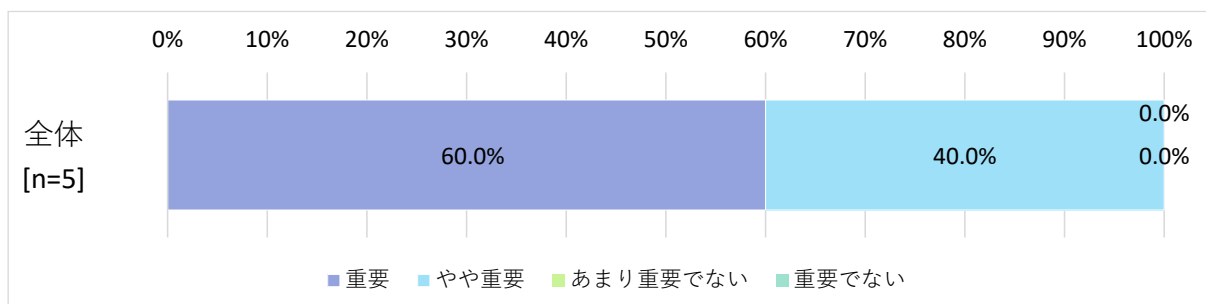


図 周辺駅～市内のバス連絡利便性の向上

(8) バス運行情報のきめ細やかな提供

全ての高校で重要又はやや重要と回答しており、重要と回答しているのは約40%となっています。

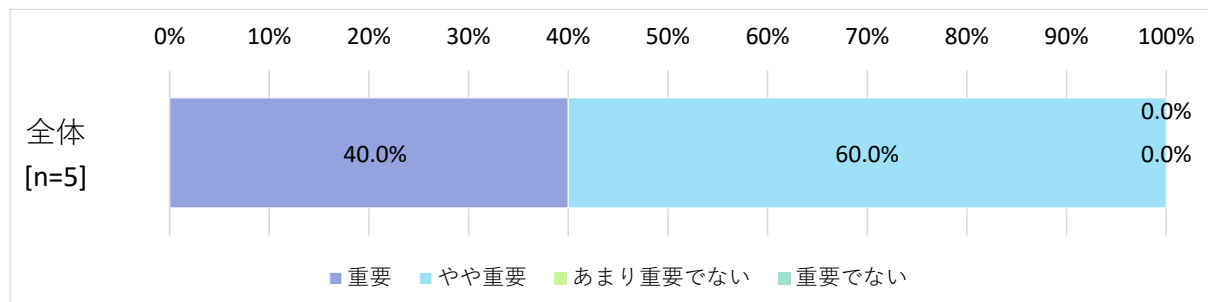


図 バス運行情報のきめ細やかな提供

(9) ICカード等による決済システムの導入

重要又はやや重要と回答した高校が約60%となっています。

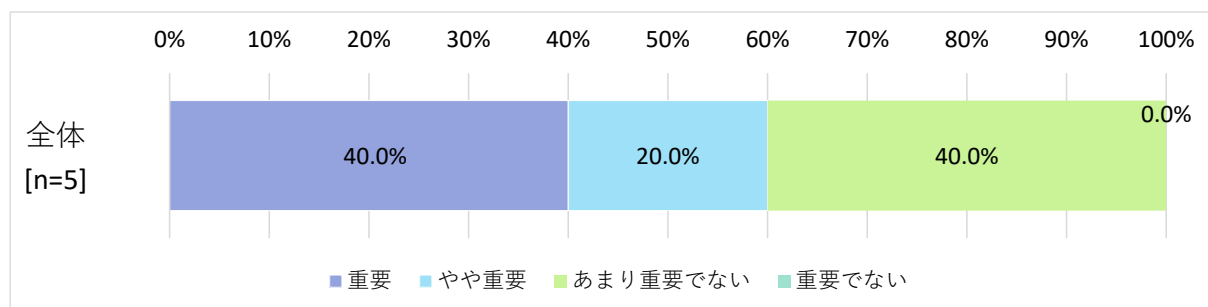


図 ICカード等による決済システムの導入

(10) その他の主な意見

コミュニティバスに対する改善要望	● 高校をルートに入れた路線の新設
地域公共交通に関する意見	● 鉄道の増便

参考 アンケート調査票

1 市民アンケート

長浜市民のみなさまの移動に関するアンケート

◆ あなたご自身のことについて教えてください。

質問1 あなたの性別や年齢、お住まいなどについて教えてください。【○はそれぞれ1つ】

①性別	1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない		
②年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	
	5. 50歳代	6. 60～64歳	7. 65～69歳	8. 70～74歳	
	9. 75～79歳	10. 80～84歳	11. 85歳以上		
③お住まい	郵便番号 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>				
	1. 西浅井地域	2. 余呉地域	3. 木之本地域	4. 高月地域	5. 湖北地域
	6. 虎姫地域	7. 浅井地域	8. びわ地域	9. 旧長浜地域	
④世帯構成	1. 一人暮らし	2. 家族と同居(夫婦のみ)	3. 家族と同居(2.以外)	4. 1.～3.以外	
⑤運転免許証	1. 持っている		2. 返納した		
	3. 返納を考えている		4. 取得したことがない		

質問2 あなたは外出する際、介助等が必要ですか。【○は1つ】

1. 一人で不自由なく外出できる 2. 介助等があれば外出できる 3. 全面的な介助等が必要

質問3 ご自身でスマートフォンなどをお持ちですか。【○は1つ】

1. スマートフォン・タブレット 2. 携帯電話(スマートフォン以外) 3. 持っていない

↓
利用する機能は?
【○はいくつでも】

1. 通話 2. メール 3. SNS(LINEなど)
4. インターネット 5. 路線・乗換検索 6. キャッシュレス決済(PayPayなど)

質問4 新型コロナウイルス感染症(コロナ禍)の影響について教えてください。

①外出頻度	1. コロナ禍前より減った	2. コロナ禍前と変わらない	3. コロナ禍前より増えた
②公共交通の利用頻度	1. コロナ禍前より減った	2. コロナ禍前と変わらない	3. コロナ禍前より増えた
↓ 代わりに増えた交通手段 【○はいくつでも】	1. 徒歩	2. 自転車	3. 自動車(自分で運転)
	4. 自動車(自分以外が運転)	5. バイク・原付	6. 一般タクシー
③公共交通利用への感染症対策の安心感	1. 安心して利用している		2. 安心できないがやむを得ず利用している
	3. 安心できないので利用を控えている		

◆ 公共交通等の利用について教えてください。

質問5 公共交通等がなくなった場合、あなたの生活はどうなりますか。【○はそれぞれ1つ】


①鉄道	1. 変化しない(今も利用していない)	2. 移動手段がなくなる
	3. 公共交通以外の手段で移動する(外出頻度は変わらない)	4. 公共交通以外の手段で移動する(外出頻度は減少する)
②路線バス	1. 変化しない(今も利用していない)	2. 移動手段がなくなる
	3. 公共交通以外の手段で移動する(外出頻度は変わらない)	4. 公共交通以外の手段で移動する(外出頻度は減少する)
③乗合タクシー	1. 変化しない(今も利用していない)	2. 移動手段がなくなる
	3. 公共交通以外の手段で移動する(外出頻度は変わらない)	4. 公共交通以外の手段で移動する(外出頻度は減少する)
④一般タクシー	1. 変化しない(今も利用していない)	2. 移動手段がなくなる
	3. 公共交通以外の手段で移動する(外出頻度は変わらない)	4. 公共交通以外の手段で移動する(外出頻度は減少する)

質問 6	長浜市内の公共交通についてどの程度知っていますか。【○はそれぞれ1つずつ】			
鉄 道	1. 路線や時刻表を知っている	2. 路線は知っているが時刻表は知らない	3. 運行しているのは知っている	4. 知らない
路線バス	1. 路線や時刻表を知っている	2. 路線は知っているが時刻表は知らない	3. 運行しているのは知っている	4. 知らない
乗合タクシー	1. 利用方法を知っている 2. 運行しているのは知っている 3. 知らない			
質問 7	長浜市内の公共交通を利用する際、時刻表や乗り換え、利用方法などについて、どのように調べていますか。【○はそれぞれ1つずつ】			
鉄 道	1. スマートフォンで検索（アプリ等）	2. パソコンで検索	3. 市や事業者が発行している紙・本の時刻表	4. 覚えていない、調べていない
路線バス	1. スマートフォンで検索（アプリ等）	2. パソコンで検索	3. 市や事業者が発行している紙・本の時刻表	4. 覚えていない、調べていない
乗合タクシー	1. スマートフォンで検索（アプリ等）	2. パソコンで検索	3. 市や事業者が発行している紙・本の時刻表	4. 覚えていない、調べていない
質問 8	長浜市内の公共交通を利用しない理由、または利用して感じるお困りごとについて、教えてください。【○はそれぞれ2つまで】			
鉄 道	1. 自宅や目的地が駅から離れている	2. 料金が高い	3. 運行本数が少ない	4. 利用したい時間帯に運行されていない
路線バス	1. 自宅や目的地が停留所から離れている	2. 料金が高い	3. 運行本数が少ない	4. 利用したい時間帯に運行されていない
乗合タクシー	1. 自宅や目的地が停留所から離れている	2. 料金が高い	3. 運行本数が少ない	4. 利用したい時間帯に運行されていない
質問 9	あなたが自宅から鉄道駅に向かう際に、よく利用する手段を教えてください。【○は利用の多い手段2つまで】			
	1. 鉄道は利用しない	2. 徒歩	3. 自転車	4. バイク・原付
	5. 自動車（自分で運転）	6. 自動車（自分以外が運転）	7. 路線バス	8. 乗合タクシー
			9. 一般タクシー	
質問 10	鉄道駅に「自動車(自分以外が運転)」で移動する方のみ回答ください 自宅から鉄道駅まで、公共交通を利用しない理由を教えてください。【○はいくつでも】			
	1. 家族等が送ってくれる	2. 路線バス・乗合タクシー等の利用方法を知らない	3. 路線バス・乗合タクシー等より安い	4. 路線バス・乗合タクシー等が希望の時間帯に運行していない
	5. 路線バス・乗合タクシー等の路線・停留所が自宅や鉄道駅の近くにない			

◆ あなたのふだんのおでかけについて教えてください。

質問 11 普段の目的ごとの外出状況について、それぞれ選択肢から当てはまるものを教えてください。

①通勤・通学				
外出頻度 【〇は1つ】	1. 週5日以上	2. 週3～4日程度	3. 週1～2日程度	4. 月に数回程度
	5. 年に数回程度	6. その目的では外出しない		
行き先 【〇は1つ】	1. 西浅井地域	2. 余呉地域	3. 木之本地域	4. 高月地域
	5. 湖北地域	6. 虎姫地域	7. 浅井地域	8. びわ地域
	9. 旧長浜地域	10. 市外 ()		11. よく行く場所はない
移動手段 【〇は2つまで】	1. 自動車(自分で運転)	2. 自動車(自分以外が運転)	3. 鉄道	
	4. 路線バス	5. 乗合タクシー	6. 一般タクシー	
	7. 徒歩	8. バイク・原付	9. 自転車	
②買物				
外出頻度 【〇は1つ】	1. 週5日以上	2. 週3～4日程度	3. 週1～2日程度	4. 月に数回程度
	5. 年に数回程度	6. その目的では外出しない		
行き先 【〇は2つまで】	1. 西浅井地域	2. 余呉地域	3. 木之本地域	4. 高月地域
	5. 湖北地域	6. 虎姫地域	7. 浅井地域	8. びわ地域
	9. 旧長浜地域	10. 市外 ()		11. よく行く場所はない
移動手段 【〇は2つまで】	1. 自動車(自分で運転)	2. 自動車(自分以外が運転)	3. 鉄道	
	4. 路線バス	5. 乗合タクシー	6. 一般タクシー	
	7. 徒歩	8. バイク・原付	9. 自転車	
③通院				
外出頻度 【〇は1つ】	1. 週5日以上	2. 週3～4日程度	3. 週1～2日程度	4. 月に数回程度
	5. 年に数回程度	6. その目的では外出しない		
行き先 【〇は2つまで】	1. 西浅井地域	2. 余呉地域	3. 木之本地域	4. 高月地域
	5. 湖北地域	6. 虎姫地域	7. 浅井地域	8. びわ地域
	9. 旧長浜地域	10. 市外 ()		11. よく行く場所はない
移動手段 【〇は2つまで】	1. 自動車(自分で運転)	2. 自動車(自分以外が運転)	3. 鉄道	
	4. 路線バス	5. 乗合タクシー	6. 一般タクシー	
	7. 徒歩	8. バイク・原付	9. 自転車	
④その他の移動(行事への参加や余暇など)				
外出頻度 【〇は1つ】	1. 週5日以上	2. 週3～4日程度	3. 週1～2日程度	4. 月に数回程度
	5. 年に数回程度	6. その目的では外出しない		
行き先 【〇は2つまで】	1. 西浅井地域	2. 余呉地域	3. 木之本地域	4. 高月地域
	5. 湖北地域	6. 虎姫地域	7. 浅井地域	8. びわ地域
	9. 旧長浜地域	10. 市外 ()		11. よく行く場所はない
移動手段 【〇は2つまで】	1. 自動車(自分で運転)	2. 自動車(自分以外が運転)	3. 鉄道	
	4. 路線バス	5. 乗合タクシー	6. 一般タクシー	
	7. 徒歩	8. バイク・原付	9. 自転車	

裏面へお進みください 

◆ 一般タクシーについて教えてください。

質問 12 一般タクシーの利用頻度をお答えください。【○は1つ】

- | | | |
|-----------|------------|--------------|
| 1. 週5日以上 | 2. 週3～4日程度 | 3. 週1～2日程度 |
| 4. 月に数回程度 | 5. 年に数回程度 | 6. 利用したことが無い |

質問 13 一般タクシーを利用する際の主な外出目的をお答えください【○は2つまで】

- | | | | |
|----------|-------|-------|--------------------|
| 1. 通勤・通学 | 2. 買物 | 3. 通院 | 4. 余暇（行事への参加や余暇など） |
|----------|-------|-------|--------------------|

◆ 公共交通等に対するあなたの考えについて教えてください。

質問 14 長浜市内の公共交通等の今後の利用意向を教えてください。【○はそれぞれ1つずつ】

①鉄道	1. 今後利用したい 4. 引き続き利用する	2. 運行サービスが便利になれば利用したい 5. 利用料金が安くなれば利用する	3. 他の移動手段があるので、利用する予定はない 6. わからない
②路線バス	1. 今後利用したい 4. 引き続き利用する	2. 運行サービスが便利になれば利用したい 5. 利用料金が安くなれば利用する	3. 他の移動手段があるので、利用する予定はない 6. わからない
③乗合タクシー	1. 今後利用したい 4. 引き続き利用する	2. 運行サービスが便利になれば利用したい 5. 利用料金が安くなれば利用する	3. 他の移動手段があるので、利用する予定はない 6. わからない
④一般タクシー	1. 今後利用したい 4. 引き続き利用する	2. 運行サービスが便利になれば利用したい 5. 利用料金が安くなれば利用する	3. 他の移動手段があるので、利用する予定はない 6. わからない

質問 15 路線バス、乗合タクシーを維持するのに、年間約2億5千万円の税金が使われています。税金が減る中で今後、持続可能な公共交通を維持するため、あなたの考えに近いものはありますか。【○は1つ】

1. 移動手段確保のため、他の施策や事業を見直してでも維持するべきである
2. 今後も維持し続けられるように利用料金を上げてでも取り組むべきである
3. 利用が少ない路線についてはサービスの縮小や廃止などして、経費を抑えるべきである
4. その他

質問 16 今後の長浜市の公共交通（主に市内の移動）において、何を重視してほしいと考えますか。【○は最大3つ】

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 1. 継続的に運行し続けること | 2. 各公共交通に乗り継ぎしやすいこと |
| 3. 停留所で安全に待機できること | 4. 情報がわかりやすいこと |
| 5. 利用料金が安いこと | 6. 通勤・通学に適した路線、時刻であること |
| 7. 買物に適した路線、時刻であること | 8. 通院に適した路線、時刻であること |
| 9. 駅や市役所などの施設に行きやすいこと | 10. 高齢者やしょうがい者、妊産婦が利用しやすいこと |
| 11. 好きな時間帯に利用できること | 12. 家から目的地まで直接行けること |
| 13. ICカード（ICOCA等）や決済アプリが利用できること | 14. 特にない |

質問 17 日常生活において、移動について困っていることや、公共交通に求める改善点があれば、ご記入ください。

※※ アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。 ※※

2 コミュニティバス利用者アンケート

長浜市路線バスご利用者様へのアンケート ご協力をお願い

日頃から長浜市の市政各般にわたりご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この調査は、来年度の『長浜市地域公共交通計画』策定のため、みなさまの地域公共交通の利用状況等をお伺いするものです。ご多用のところ誠に恐れ入りますが、調査にご協力くださいますよう、お願いいたします。

※この調査票は、**受け取られた方がご回答**ください。

※ご記入いただいた調査票は、以下のいずれかの方法で回収しますので、ご協力のほど、宜しくお願い致します。

- ①バス車内に設置されている回収箱に投函
- ②市職員がバスに乗車している場合、記入後、市職員へ手渡し

※ご回答の内容は、個人が特定されないよう統計処理のうえ、本市のまちづくりに利用させていただきます。

※また、本アンケートについては、スマートフォンからご回答いただくことも可能です。スマートフォンでご回答いただく場合、右のQRコードよりご回答ください。



※本調査の結果は上記の目的以外で使用することはありません。

● **お問合せ先** ● 長浜市地域公共交通会議（長浜市役所都市建設部都市計画課 交通対策室）

TEL：0749-65-6562（月～金曜日 8:30～17:15）

質問1		あなたご自身について教えてください。 【それぞれ〇は1つ または直接記入】			
①性別	⇒	1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない	
②年齢	⇒	1. 高校生以下	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
		5. 50歳代	6. 60～64歳	7. 65～74歳	8. 75～84歳
③お住まい	⇒ 〒	□□□-□□□□		※郵便番号が分からない場合	
		1. 西浅井地域	2. 余呉地域	3. 木の本地域	4. 高月地域
		6. 虎姫地域	7. 浅井地域	8. びわ地域	9. 旧長浜地域
		10. 市外			
④世帯構成	⇒	1. 一人暮らし	2. 家族と同居(夫婦のみ)	3. 家族等と同居(2.以外)	4. 1.～3.以外
⑤運転免許	⇒	1. 持っている	2. 返納した	3. 返納を考えている	4. 取得したことがない

◆ 本日(調査票を受け取られた日)のバス利用について教えてください。

質問2	路線バスを利用して外出された目的を教えてください。 【〇は1つ】			
	1. 通勤・通学	2. 買物	3. 通院	4. その他の移動(行事への参加や余暇など)

質問3	路線バスを利用したお出かけ先を教えてください。 【〇は1つ】			
	1. 西浅井地域	2. 余呉地域	3. 木の本地域	4. 高月地域
	5. 湖北地域	6. 虎姫地域	7. 浅井地域	8. びわ地域
	9. 旧長浜地域	10. 滋賀県内(長浜市外)	11. 滋賀県外()	

質問4	路線バスを利用する乗降場所名を教えてください。 【名称を記入】	
○乗車⇒	() 停留所	○降車⇒ () 停留所

質問5	路線バスと他の地域公共交通を乗継ぎしますか。 【〇はいくつでも】			
	1. 鉄道(JR)	2. 他の路線バス	3. 乗合タクシー	4. 一般タクシー
	5. 施設等の送迎サービス	6. 乗継ぎしない	7. その他()	

裏面におすすみください。▶▶▶

◆ ふだんの路線バスの利用について教えてください。

質問 6	どれくらいの頻度で路線バスを利用されますか。					【〇は 1 つ】
	1. 週 5 日以上	2. 週 3~4 日程度	3. 週 1~2 日程度	4. 月に数回程度	5. 年に数回程度	6. 利用したことが無い
質問 7	どの時間帯で路線バスを最も利用されますか。					【直接記入】
平日	○行き	1. (午前・午後____) 時台 2. 利用しない	○帰り	1. (午前・午後____) 時台 2. 利用しない		
休日	○行き	1. (午前・午後____) 時台 2. 利用しない	○帰り	1. (午前・午後____) 時台 2. 利用しない		
質問 8	ふだん、路線バスを利用する理由を教えてください。					【〇はいくつでも】
	1. 他に利用できる移動手段がない	2. 行きたいところへ運行している	3. 家族等に送迎を頼む必要がない			
	4. 安心・安全に移動できる	5. 出発地・目的地から停留所が近い	6. 利用料金が安い			
質問 9	路線バスの時刻表や乗り換えについて、どのように調べていますか。					【〇はいくつでも】
	1. スマートフォンで検索 (アプリ等)	2. パソコンで検索	3. 市や事業者が発行している紙・本の時刻表			
	4. 停留所の掲示で確認する	5. 運転手に尋ねる	6. 覚えている、調べていない			
質問 10	現在の路線バスに満足していますか。					【〇は 1 つ】
	1. 満足	2. ほぼ満足	3. やや不満	4. 不満	5. 非常に不満	

◆ 長浜市の地域公共交通のあり方について、ご意見をお教えてください。

質問 11	路線バス、乗合タクシーを維持するのに、年間約 2 億 5 千万円の税金が使われています。税収が減る中で今後、持続可能な公共交通を維持するため、あなたの考えに近いものはなんですか。【〇は 1 つ】	
	1. 移動手段確保のため、他の施策や事業を見直してでも維持するべきである	
	2. 今後も維持し続けられるように利用料金を上げてでも取り組むべきである	
	3. 利用が少ない路線についてはサービスの縮小や廃止などして、経費を抑えるべきである	
	4. その他 (_____)	
質問 12	今後の長浜市の公共交通 (主に市内の移動) において、何を重視してほしいと考えますか。【〇は 3 つまで】	
	1. 継続的に運行し続けること	2. 各公共交通に乗り継ぎしやすいこと
	3. 停留所で安全に待機できること	4. 情報がわかりやすいこと
	5. 利用料金が安いこと	6. 通勤・通学に適した路線、時刻であること
	7. 買物に適した路線、時刻であること	8. 通院に適した路線、時刻であること
	9. 駅や市役所などの施設に行きやすいこと	10. 高齢者やしょうがい者、妊産婦が利用しやすいこと
	11. 好きな時間帯に利用できること	12. 家から目的地まで直接行けること
	13. IC カード (ICOCA) や決済アプリが使えること	14. 特になし

質問 13	長浜内の地域公共交通で、お困りごとや、利用を増やすアイデア、利用して楽しかった思い出等があれば教えてください。
<p>.....</p> <p>.....</p>	

ご回答ありがとうございました。

3 乗合タクシー利用者アンケート

長浜市乗合タクシーご利用者様へのアンケート ご協力をお願い

日頃から長浜市の市政各般にわたりご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この調査は、来年度の『長浜市地域公共交通計画』策定のため、みなさまの地域公共交通の利用状況等をお伺いするものです。ご多用のところ誠に恐れ入りますが、調査にご協力くださいますよう、お願いいたします。

※この調査票は、**受け取られた方がご回答**ください。

※ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にいれ、**12月9日（金）まで**に、
切手を貼らず、無記名のまま、ポストにご投函ください。

※ご回答の内容は、個人が特定されないよう統計処理のうえ、本市のまちづくりに利用させていただきます。

※また、本アンケートについては、スマートフォンからご回答いただく
ことも可能です。スマートフォンでご回答いただく場合、右のQRコード
よりご回答ください。



※本調査の結果は上記の目的以外で使用することはございません。

● **お問合せ先** ● 長浜市地域公共交通会議（長浜市役所都市建設部都市計画課 交通対策室）

TEL：0749-65-6562（月～金曜日 8:30～17:15）

質問1	あなたご自身について教えてください。【それぞれ〇は1つ または直接記入】			
①性別 ⇒	1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない	
②年齢 ⇒	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
	5. 50歳代	6. 60～64歳	7. 65～74歳	8. 75～84歳
③お住まい ⇒	〒□□□□-□□□□		※郵便番号が分からない場合	
	1. 西浅井地域	2. 余呉地域	3. 木の本地域	4. 高月地域
④世帯構成 ⇒	1. 一人暮らし	2. 家族と同居(夫婦のみ)	3. 家族等と同居(2.以外)	4. 1.～3.以外
⑤運転免許 ⇒	1. 持っている	2. 返納した	3. 返納を考えている	4. 取得したことがない

◆ ふだんの乗合タクシーの利用について教えてください。

質問2	利用する際の主な外出目的を教えてください。【〇は1つ】		
1. 通勤・通学	2. 買物	3. 通院	4. その他の移動（行事への参加や余暇など）

質問3	利用する際のお出かけ先を教えてください。【〇は1つ】		
1. 西浅井地域	2. 余呉地域	3. 木の本地域	4. 高月地域
5. 湖北地域	6. 虎姫地域	7. 浅井地域	8. びわ地域
9. 旧長浜地域	10. 滋賀県内（長浜市外）	11. 滋賀県外（_____）	

質問4	普段最もよく利用している乗降場所名を教えてください。【名称を記入】
○乗車 ⇒（_____）停留所	○降車 ⇒（_____）停留所

質問5	乗合タクシーと他の地域公共交通を乗継ぎしますか。【〇はいくつでも】		
1. 鉄道（JR）	2. 路線バス	3. その他の乗合タクシー	4. 一般タクシー
5. 施設等の送迎サービス	6. 乗継ぎしない	7. その他（_____）	

裏面におすすみください。▶▶▶

質問6 どれくらいの頻度で乗合タクシーを利用されますか。 【〇は1つ】

1. 週5日以上 2. 週3~4日程度 3. 週1~2日程度 4. 月に数回程度 5. 年に数回程度 6. 利用したことが無い

質問7 どの時間帯で乗合タクシーを最も利用されますか。 【直接記入】

平日	○行き	1. (午前・午後____) 時台 2. 利用しない	○帰り	1. (午前・午後____) 時台 2. 利用しない
休日	○行き	1. (午前・午後____) 時台 2. 利用しない	○帰り	1. (午前・午後____) 時台 2. 利用しない

質問8 ふだん、乗合タクシーを利用する理由を教えてください。 【〇はいくつでも】

1. 他に利用できる移動手段がない 2. 行きたいところへ運行している 3. 家族等に送迎を頼む必要がない
4. 安心・安全に移動できる 5. 出発地・目的地から停留所が近い 6. 利用料金が安い

質問9 乗合タクシーの利用方法について、どのように調べていますか。 【〇はいくつでも】

1. スマートフォンで検索 (アプリ等) 2. パソコンで検索 3. 市や事業者が発行している紙・本の時刻表
4. 停留所の掲示で確認する 5. 運転手に尋ねる 6. 覚えている、調べていない

◆ 長浜市の地域公共交通のあり方について、ご意見をお教えてください。

質問10 路線バス、乗合タクシーを維持するのに、年間約2億5千万円の税金が使われています。税収が減る中で今後、持続可能な公共交通を維持するため、あなたの考えに近いものはなんですか。 【〇は1つ】

1. 移動手段確保のため、他の施策や事業を見直してでも維持するべきである
2. 今後も維持し続けられるように利用料金を上げてでも取り組むべきである
3. 利用が少ない路線についてはサービスの縮小や廃止などして、経費を抑えるべきである
4. その他
()

質問11 今後の長浜市の公共交通 (主に市内の移動) において、何を重視してほしいと考えますか。 【〇は3つまで】

1. 継続的に運行し続けること 2. 各公共交通に乗り継ぎしやすいこと
3. 停留所で安全に待機できること 4. 情報がわかりやすいこと
5. 利用料金が安いこと 6. 通勤・通学に適した路線、時刻であること
7. 買物に適した路線、時刻であること 8. 通院に適した路線、時刻であること
9. 駅や市役所などの施設に行きやすいこと 10. 高齢者やしょうがい者、妊産婦が利用しやすいこと
11. 好きな時間帯に利用できること 12. 家から目的地まで直接行けること
13. ICカード (ICOCA) や決済アプリが使えること 14. 特になし

質問12 長浜内の地域公共交通で、お困りごとや、利用を増やすアイデア、利用して楽しかった思い出等があれば教えてください。

.....

.....

.....

ご回答ありがとうございました。